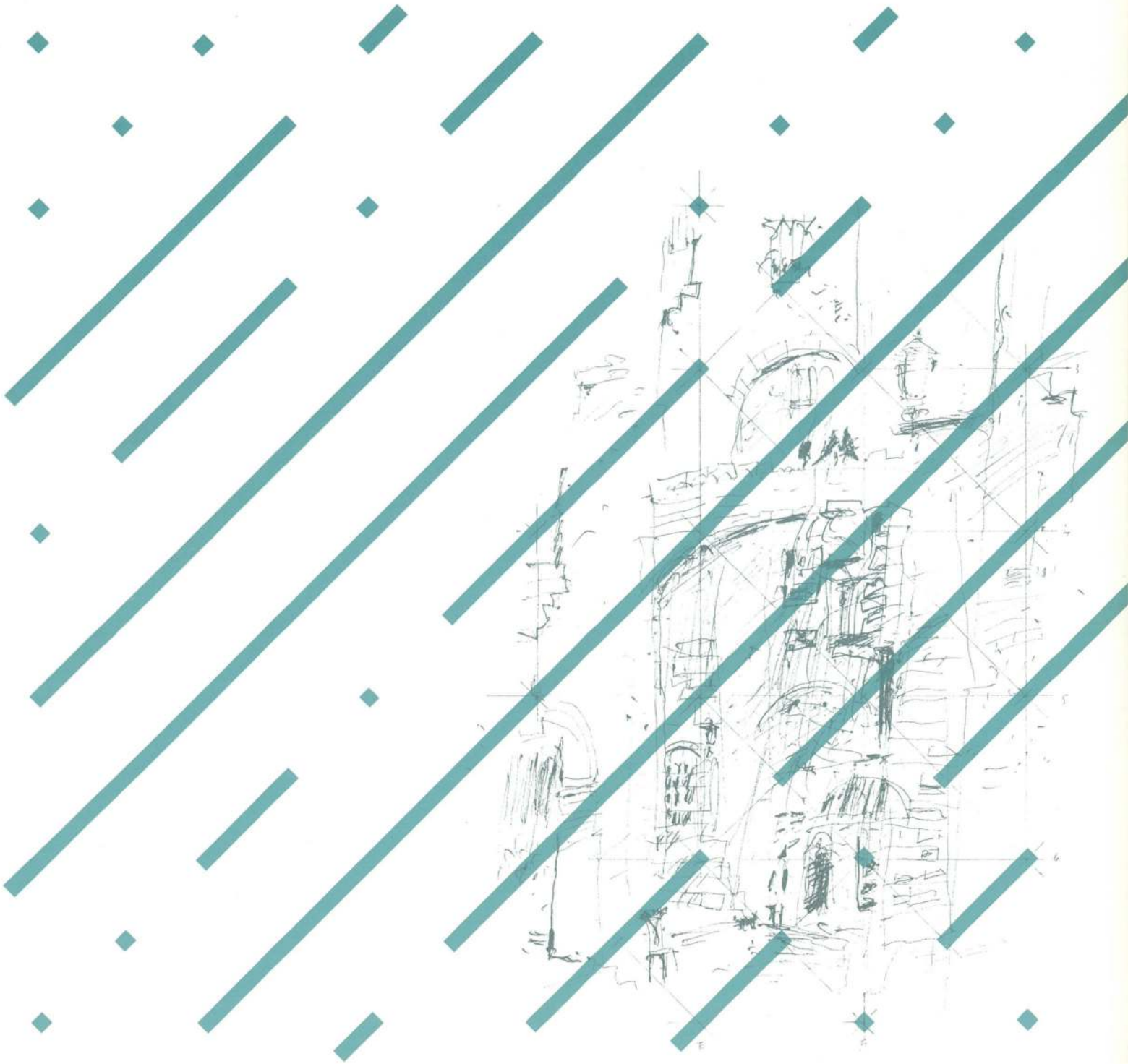
Vol. 66通巻754号

昭和60年1月25日発行　毎月1回25日発行　昭和24年3月19日第3種郵便物認可

建　築　と　社　会

ARCHITECTURE AND SOCIETY 1985 1

特集● 大阪湾物語



日本建築協会



エックスプリオール

お湯と仲よく暮らしたい—PRIOR

お湯を上手に使って生活する人々をプリオール人といいます。
ガス温水暖房＆給湯システム〝エックスプリオール〟は新しいタイプのセントラルヒーティングシステム。プリオール人になって、毎日わが家で快適漂流しませんか。

①便利だね、浴室が乾燥室に早変わり
——浴室換気乾燥機

浴室スペースを利用して、雨の日でも夜でも洗たく物をカラッと乾かせます。

②足もとからのポカポカが一番よ
——床暖房

暖房用温水を利用したふく射熱が、効率よく足もとからお部屋全体をあたためてくれます。家族があつまるリビングなどにピッタリですね。

③サウナでからだスッキリ、毎日サッパリ
——温水サウナ

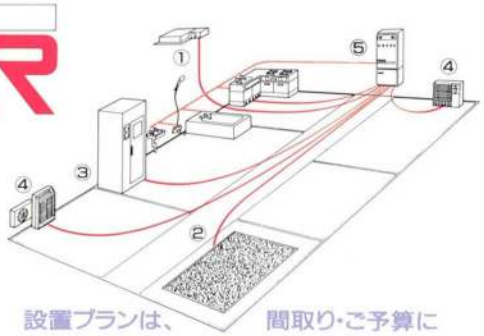
わずかなスペース・維持費で、気軽にわが家でサウナをどうぞ。いま評判の低温の遠赤外線サウナで、ヘルシーライフはいかが。

④お部屋いっぱい、やさしい風で春気分
——冷暖房

温水ならではのマイルドな温風が、下吹き出しでお部屋いっぱいに…。夏は冷房もOKの頼もしい味方です。またお台所などには、ビルトインタイプの足もと暖房も重宝ですね。

⑤たっぷり朝からお湯につつまれて
——給湯

お台所はもちろん、お風呂にシャワーに洗面所に…。いつでもお好みの温度が選べるセントラル給湯システムです。



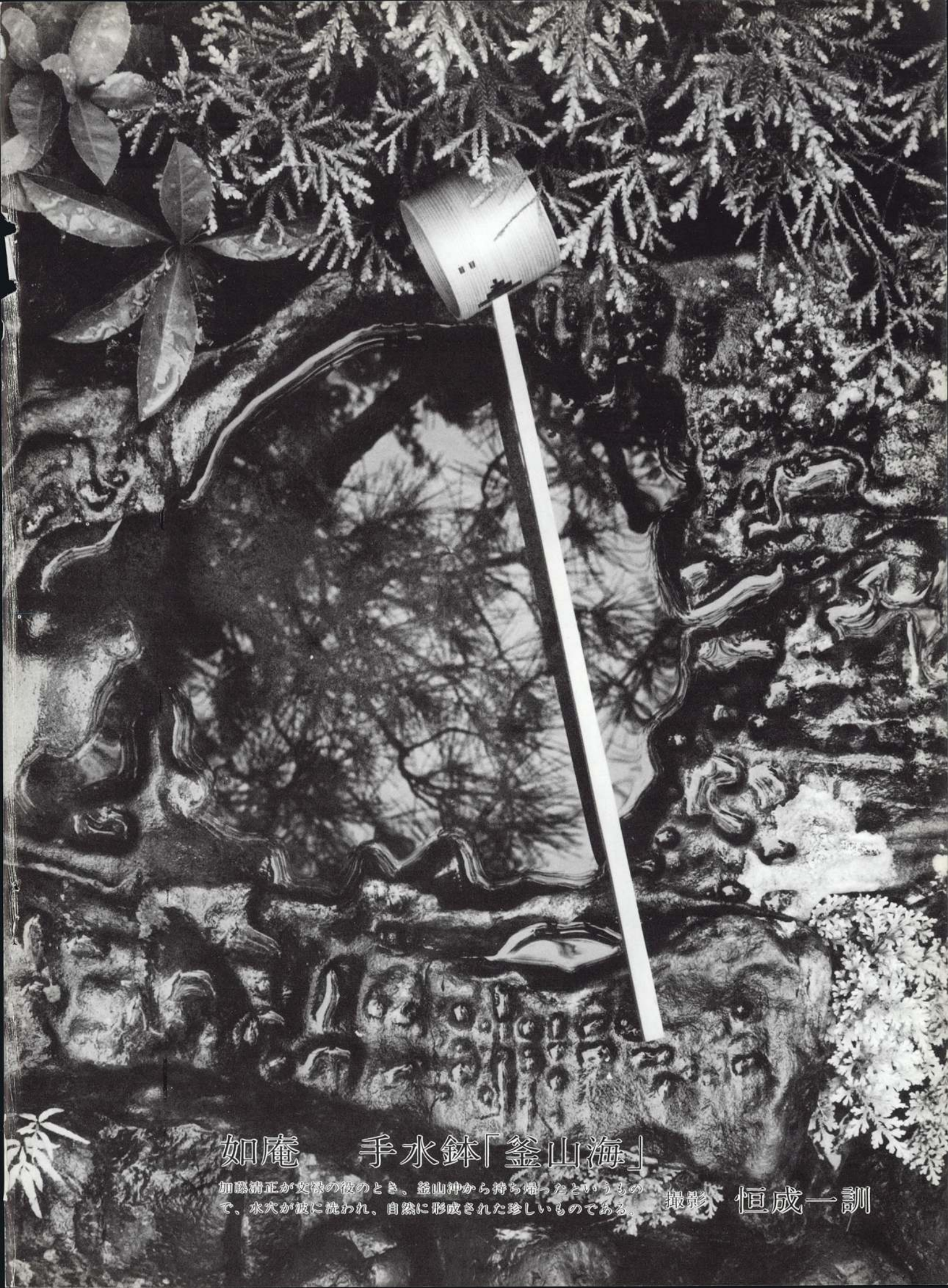
設置プランは、間取り・ご予算にあわせてご自由にどうぞ。

エックスプリオールは、組み合わせ自由。
また、プランごとにあらかじめ価格を定めたパック価格ですので、設備費用は簡単に計算できます。
たとえば上記プランでは約160万円です。

大阪ガス

資料ご希望の方は……〒541 大阪市東区平野町5-1 大阪ガス営業部〝プリオール〟係まで

資料請求券
K



如庵　手水鉢「釜山海」

加藤清正が文禄の役のとき、釜山沖から持ち帰ったというもので、水穴が波に洗われ、自然に形成された珍しいものである。

撮影　恒成一訓

謹賀新年
1985

1985年を迎えて

社団法人日本建築協会会長 佐 野 正 一

あたらしい年を迎えて会員各位のご繁栄を祈りあげます。

昨年10月福田前会長が急逝されたあと、不肖私が会長に就任し、副会長には足立孝、市川宏、松村雄二の三氏のほかに新たに薬袋公明氏のご就任を願い、新体制によって、このあたらしい年、協会の活動を一層さかんにしたく念願しております。

世界の情勢は米ソ間の緊張、中東における戦乱、食糧事情の悪化、各国相互間の経済不均衡など問題は依然として深刻ながらも、平和と繁栄をめざす調整機能が作動して改善に向かっており、わが国では数年つづいた不況も米国の景気の回復に伴って昨年から好転の兆しを見せはじめたことを歓迎したいと思います。

しかしながら、輸出の好調な自動車関連分野や技術開発めざましい電子等の分野で設備投資が突出して進んでいるほかには、建築関係で目立った動きは少なく、公共事業の発注の低調ともからんで、まだまだ建築関係に大きな需要拡大は望めないようであります。

公共施設の充足は到底十分とは言い難く、民間企業の設備増強や住環境の改善は急務と言われながら、その整備は遅れがちです。かつて土木・建築の公共工事は景気安定への波及効果が高いとして優先的に扱われたこともありましたが、最近は否定的です。理由はどうであれ、建築関係の仕事にかげりを生じていることは遺憾なことであります。

いずれにせよ、不況の問題をきっかけとして、建築関係業界にさまざまな波紋が生じていることが指摘されます。瑣末な混乱もあれば、本質的な大きな体制上の問題もあります。社会が日に日に様相を改めてゆくのに対応して、われわれとしても社会が何を求め、期待しているかを正しく見きわめて、主張すべきは主張し、改めるべき点は改めるという判断が必要となっています。そういう時代に入ってきたことを感じます。

わが建築協会は、建築関係各分野を糾合して成立している全国団体で、これまでその独自の性格を発揮して活動をしてまいりましたが、このような時代には一層広い視野で、正しい建築界の発展のために寄与することをめざして役割を果たしてゆきたいと考えております。

会員各位のご理解とご協力をお願いするものです。

1917創刊
1985
第66集
1 通巻754

建築と社会 © ARCHITECTURE AND SOCIETY
CONTENTS

JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

特集●大阪湾物語
SPECIAL FEATUREAS ON A STORY OF OSAKA BAY

1985年を迎えて／日本建築協会会長　佐野正一 …… 2
常設委員会本年の抱負／日本建築協会常設委員会委員長 …… 57

大阪YMCA会館 …… 設計施工:竹中工務店… 4
パインレークゴルフクラブハウス …… 設計施工:大成建設… 6
三好町三好公園総合体育館・設計監理:住宅・都市整備公団公園緑地部・東畑建築事務所　施工:鹿島建設… 8
大阪府立交野自立センター　設計監理:大阪府建築部営繕室・大阪府建設監理協会・出江寛建築事務所　施工:前田組… 12
社団法人クラブ関西 …… 設計監理:日建設計／大阪　施工:大林組… 16
佐世保市農協会館 …… 設計施工:竹中工務店九州支店… 18
久保田鉄工技術開発研究所 …… 設計監理:安井建築設計事務所　施工:竹中工務店・フジタ工業・三井建設… 20
大阪南港ポートタウンショッピングセンター …… 設計監理:日建設計/大阪　施工:鴻池組… 22
松下電器健康保険組合保養所・松越荘 …… 設計監理:双星設計　施工:近畿建設… 24
コスモハイツ千里桃山台 …… 設計監理:創美設計　施工:盛工務店… 26
GRAND HILL NISHINOMIYA 高座台マンション …… 設計施工:不二建設… 28
天理教教会本部神殿東西礼拝場 …… 設計施工:宗教法人天理教教会本部・竹中工務店… 30
ACCENTビル／北村恭一・志方敬育 …… 34
第30回工高生デザインコンクール入選作品(テーマ:街並みを考えた住宅) …… 36
基礎設計に関する指導基準(その2)／葛原栄一 …… 39
調理用下引き排気装置「ハイキエース」／堀内三郎 …… 40
第16回中部建築賞 …… 41
イギリスでの生活点描10・London Walks-文化的散歩のすすめ／西村一朗 …… 42
この人—川辺勝／堀畑裕一・マイ・フォトーナポリ…ゴミに気をつけろ／赤井富弘 …… 51
上田篤氏(大阪大学教授)を訪ねる／インタビュア・西川純一 …… 53
防火材料の防火性能上の分類／藤川慧 …… 55
高齢化社会を迎えて—どちらがお好き？／荒木兵一郎・根廻し／森内盛一郎 …… 56
写真／瀧光夫・時の推移／藤縄正俊

大阪湾物語

大阪湾—その過去・現在・未来—
出席者：石濱恒夫／川島哲郎／宮本又次　司会：足立孝 …… 59
大阪湾沿岸域の過去と将来—土木計画的アプローチ— …… 長尾義三 …64
大阪湾岸の歴史とその逸話 …… 荒尾親成 …66
港町・堺の民俗的伝承—二つの例— …… 尾見清市 …68
海・生活・法律—いま大阪湾は— …… 樋木　亨 …70
湾岸の環境と保全・市民運動3例 …… 72
西宮甲子園浜の保全／津田泰男　矢倉海岸(淀川河口)を自然海岸公園に／喜多幡龍次郎
子供たちの宝・天神崎保全の意義／外山八郎
大阪湾の開発と保全
● 大阪湾のウォーターフロント施策／藤崎治男 …… 74
● ウォーターフロント施策事例4例 …… 75
大阪南港野鳥園／阪田晃　神戸の海づり公園／成瀬七朗
大阪府自然海浜保全地区／片山正敏　くにうみの祭典のめざすもの／山本敏雄
ルポルタージュ大阪湾岸周航(まとめ：岡田信幸・田中直人・山根勝利・杉本章子) …… 78
大阪湾の将来展望—沿岸域のプロジェクト紹介— …… 84
神戸ハーバーランド計画／メリケンパーク／六甲アイランド／テクノポート大阪計画／旧堺港周辺
地区整備計画／関西国際空港／前島構想(南大阪湾岸事業)／大阪湾港湾計画

錦秋の出雲路に名席・名勝とニチラスの本社工場を訪ねる／
竹内さく・和田精一・中原茂・楠昭夫・松村志津男・濱田正二郎・中村信夫・上出秀雄 …… 88
「吉田保夫の世界」／松本明 …… 92
大阪国際見本市新会場—屋根のある広場の膜構造／徳田裕英 …… 95
インバーターエアコンによる省エネルギ効果／大本隆 …… 96
「ベントナイト電気付着膜」芯材引き抜き工法(その2)／今井崇賀 …… 97
日本建築協会月間の動き(昭和59年11月分) …… 98

年頭のことば
本年の抱負
作品作風・新建築
■表紙デザイン
吉引顕久(竹中工務店)
■特集予告
2月号／東海の現代と近未来
3月号／建築物の基礎を考える
4月号／情報化をめぐる建築・都市事情
Gallery—まち・建築・ひと
デザインコンクール
法令コーナー201
新建材紹介コーナー
建築と社会ニュース
読者の頁
設計者のプロフィール
日本建築総合試験所だより
建築の眼
特集
座談会
各論
ルポ
資料篇
見学会レポート
若い会員の集いレポート
構造の頁 125
設備の頁 124
施工材料の頁 123
月報

会　長　佐野正一
副会長　足立　孝・市川　宏
松村雄二・薬袋公明
編集委員会（昭和59年度）
編集委員長　秦　學
井上　滉　■施工材料分科会
編集理事
井上　滉　阿川　清二
今井潤之介　荒木　弘之
金多　潔　田中　光紀
北澤　登　西牧　恵吉
竹中　錬一　水口　譲
武田　恭一　＊横井　征夫
長谷部朝郎　■法令分科会
松村　慶三　大西　博明
山本　晃　広江　雅樹
渡辺　恵　＊松井　昭
編集委員　南出　和延
（特集小委員会）　（作品作風小委員会）
■計画分科会　浦山　哲
足立　啓　大泉　研一
岡田　信幸　◎加藤　俊明
金澤　成保　北村　恭一
榊　敏正　菊池　稔
杉本　章子　黒川　省二
＊田中　直人　黒木　省二
中山　徹　志方　敬育
藤本憲太郎　浜崎　彰
舟橋　國男　湯地　龍一
本多　友常　（投稿欄小委員会）
山根　勝利　赤井　富弘
横井　眞朗　小林　正純
■構造分科会　◎中馬　博良
足立　直行　堀畑　裕一
日下部　馨　（広告企画小委員会）
西田　理　◎伊藤　敬祐
＊真塚　達夫　池渕　俊男
俣野　博　木原　幹雄
八尾真太郎　駒田　哲男
山田　裕治　清水　修平
■設備分科会　田上　章
磯田　憲生　○田中　功
遠藤　進　高橋　裕
川戸　敏雄　原田　常介
河津　隆之　平等　一之
中曽　暁尚　本間　利雄
＊橋本　邦彦　松村　孝治
◎副委員長　○副委員長代行　＊幹事

編集人　松　井　昭　光
印　刷　昭和60年1月20日
発　行　昭和60年1月25日
発行人　吉　田　悦　二
発行所　(社)日本建築協会
大阪市北区梅田1-1-3-2100
電　06—348—0635
振替口座 大阪1-39975
印刷所　日本写植印刷株式会社
電　06—606—1111(代)
大信印刷株式会社
電　06—451—7631
株式会社研文社
電　06—314—0151
定　価　950円（送料共）



正面外観

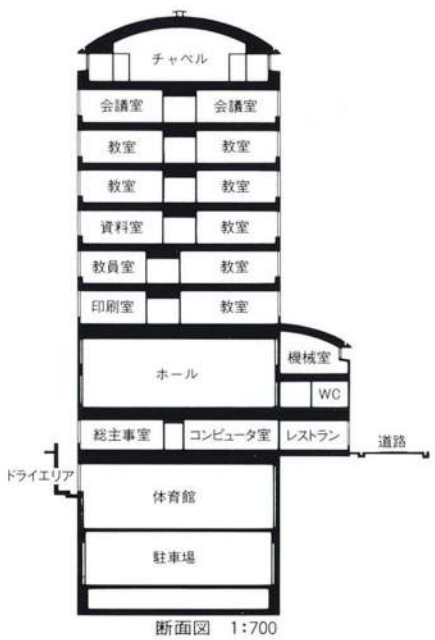
撮影　東出清彦

大阪YMCA会館

設計施工　竹中工務店

大阪市西区に完成した大阪ＹＭＣＡ会館は、体育館・学校・ホール・会議室・チャペルのまったく異なる用途を積層させた複合建物である。内外観の表現を、ＹＭＣＡの建物としてふさわしい素朴・素直・清潔のキーワードでまとめた。とくに素朴感を表現するため、構造体である柱・梁の形を素直に仕上として採用した。この建物の外観上の大きな特徴である丸屋根は、最上階に配置したチャペルの天井の形をそのまま外観に表現したものであり、ＹＭＣＡの精神性を象徴している。
プランの構成は異なる各用途が強いひとつの絆で結ばれているといった意味あいでキリスト教のメタファーである十字形を採用している。非常に移りかわりの激しい今日にあって各用途の変化に対応できるように18Mの長大スパンを採用し、間取の自由度を高めている。また最上部ではチャペルのアプローチをより顕在化させるため中庭を設けている。祭壇への到達距離を長くすると同時に、大地を踏みしめてチャペルに入るのだという実感を高める作用を期待したものである。

（本城邦彦／竹中工務店）



断面図　1:700

所 在 地　大阪市西区土佐堀1-5-6
敷地面積　1,593.55㎡
建築面積　1,309.15㎡
延床面積　13,347.99㎡
構造規模　SRC, S, B3、10F、P2
工　　期　昭和57年５月～昭和59年３月
最 寄 駅　地下鉄四ツ橋線　肥後橋駅



北西よりみる


チャペル 10F


玄関ホール

パインレークゴルフクラブ クラブハウス

設計施工　大成建設

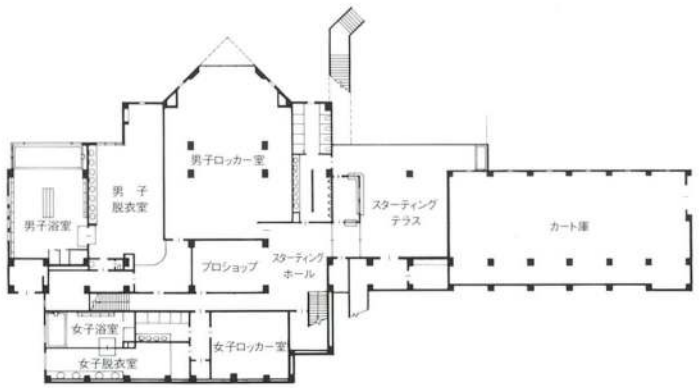




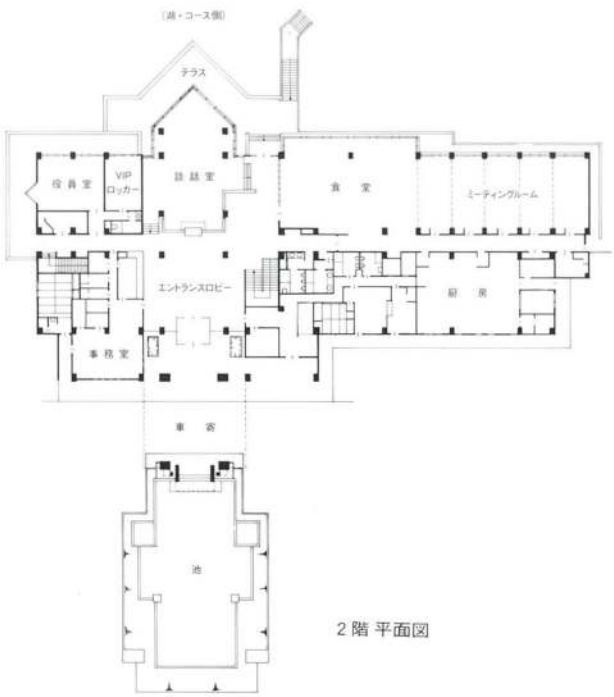
パインレークゴルフクラブは、その名称のとおり松の森林と湖を湛えた秘境ともいえる大きな谷あいに、米国の著名なコース設計者ロバート・トレント・ジョーンズ・Jr. によって18ホールズのコースが全く自然な形ではめこまれており、東洋のオーガスタともいわれるように、評判の高い戦略的なコースが、クリークが美しい佇まいを見せている。

クラブハウスは湖に向って高低差のある地形に配置され、2階部分がエントランスフロアーとなっており、1階がスターティングテラスとなる。設計にあたっての課題は、ライトの旧帝国ホテルの引用という建築家泣かせのテーマがあり、クライアントから強く望まれて取りくむ。結果としてエントランス部分に限った、同化、混在の形をとったが、旧帝国ホテルのもつ強い個性的な装飾とディテールは出来うるかぎり抽象化し、パインレークとしての新しい個性を見いだすべく努力をしたつもりである。ただ、建築を自然の一部として考える姿勢と、ナチュラルな素材感を生かしていくライトの建築の特徴は、パインレークゴルフクラブ全体のテーマにも共通している。

（美濃吉昭／大成建設）



1階 平面図　1:800



2階 平面図

写真左：北面(湖・コース側よりみる)
上：正面アプローチ(南側よりみる)
下：エントランスロビーより談話室をみる

所 在 地　兵庫県西脇市鹿野町字比延山
敷地面積　560,880㎡
建築面積　1,946.04㎡(クラブハウスのみ)
延床面積　3,082.71㎡(クラブハウスのみ)
構造規模　RC、2F
工　　期　昭和58年7月～昭和59年8月
最 寄 駅　国鉄加古川線比延駅



撮影　東出清彦

三好町三好公園総合体育館

設計監理　住宅·都市整備公団公園緑地部
　　東畑建築事務所
施　　工　鹿島建設
設　　備　千歳電気工業

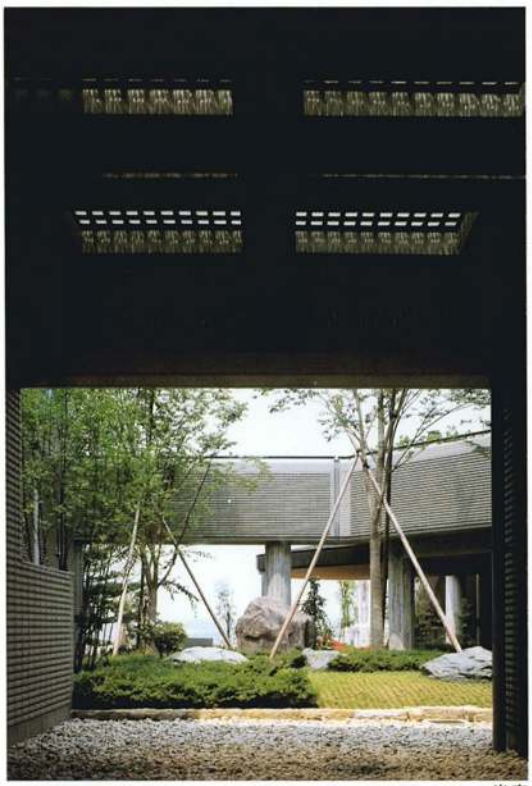
体育館の設計が具体的にスタートしたのは57年１月であった。敷地は、愛知県の三好町の中心的公園、三好総合公園のスポーツゾーンにて、町特有のなだらかな丘陵地の斜面を利用、計画された。この時期、関係者の方々と敷地を訪れたときは、冬の乾燥したすきとおるような風景と、さえぎるもののない丘、また隣接する愛知用水の青い水面、広がる野球場、グラウンドが大きく広がって見えた。このような雄大なロケーションの中で、室内スポーツの環境づくり、どんな外的条件にも阻害されない環境づくり、スケールの大きなロケーションをしっかりうけとめる白い大きな器、輝く太陽を受け入れ、周辺の緑、青空を映しだし、室内を充分に明るくするガラスの壁面、傾斜地を利用し、さまざまなアプローチ、人の動きを可能とし、人々がたまり、集い、まち、公園をみわたせる広くて大きいデッキ……。これらのイメージが計画コンセプトへつながっていった。

（東畑建築事務所）





ペデストリアンデッキより



光庭



北面外観

主な協力業者

硝　子	日本板硝子名古屋支店 名古屋市中村区名駅南2-14-19 TEL. 052-583-3537
	岸田硝子店 名古屋市東区泉1-8-7 TEL. 052-962-0221
カーテンウォール サッシ	三協アルミニウム工業名古屋支店 名古屋市東区橦1-10-37(久屋ビル) TEL. 052-961-5656
	日本金属サッシ 愛知県豊田市丸山町8-30 TEL. 0565-28-2211
タイル	国代耐火工業所 愛知県瀬戸市上本町496 TEL. 0561-48-1122
	協和建材 名古屋市中村区本陣通3-33 TEL. 052-461-5171
金　属	成田商店 名古屋市中村区名駅3-20-14 TEL. 052-561-3191
床	美津濃 大阪市東区大川町25 TEL. 06-202-1171



正面全景



南面



航空写真（北西より）

撮影　三好町役場提供（正面全景、競技中の写真）
センターフォート（後藤）

三好町三好公園総合体育館

所 在 地　愛知県西加茂郡三好町
敷地面積　531,000㎡
建築面積　4,508.73㎡
延床面積　7,748.20㎡
構造規模　RC,一部SRC,S,4F
工　　期　昭和57年7月～59年5月
最 寄 駅　名鉄豊田線黒笹駅



競技中のアリーナ



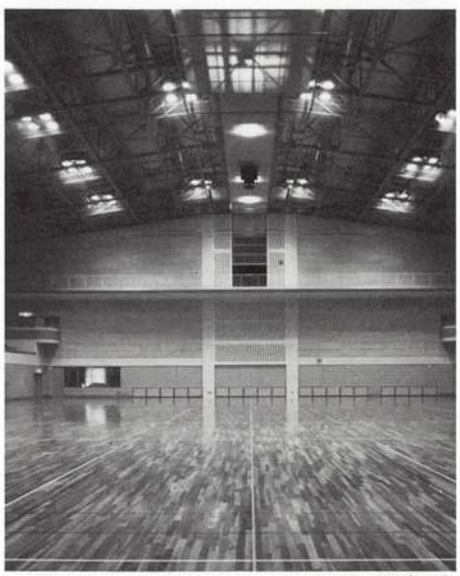
2階ホール



3階玄関



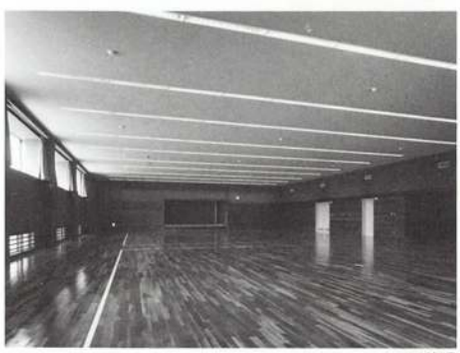
3階ホール



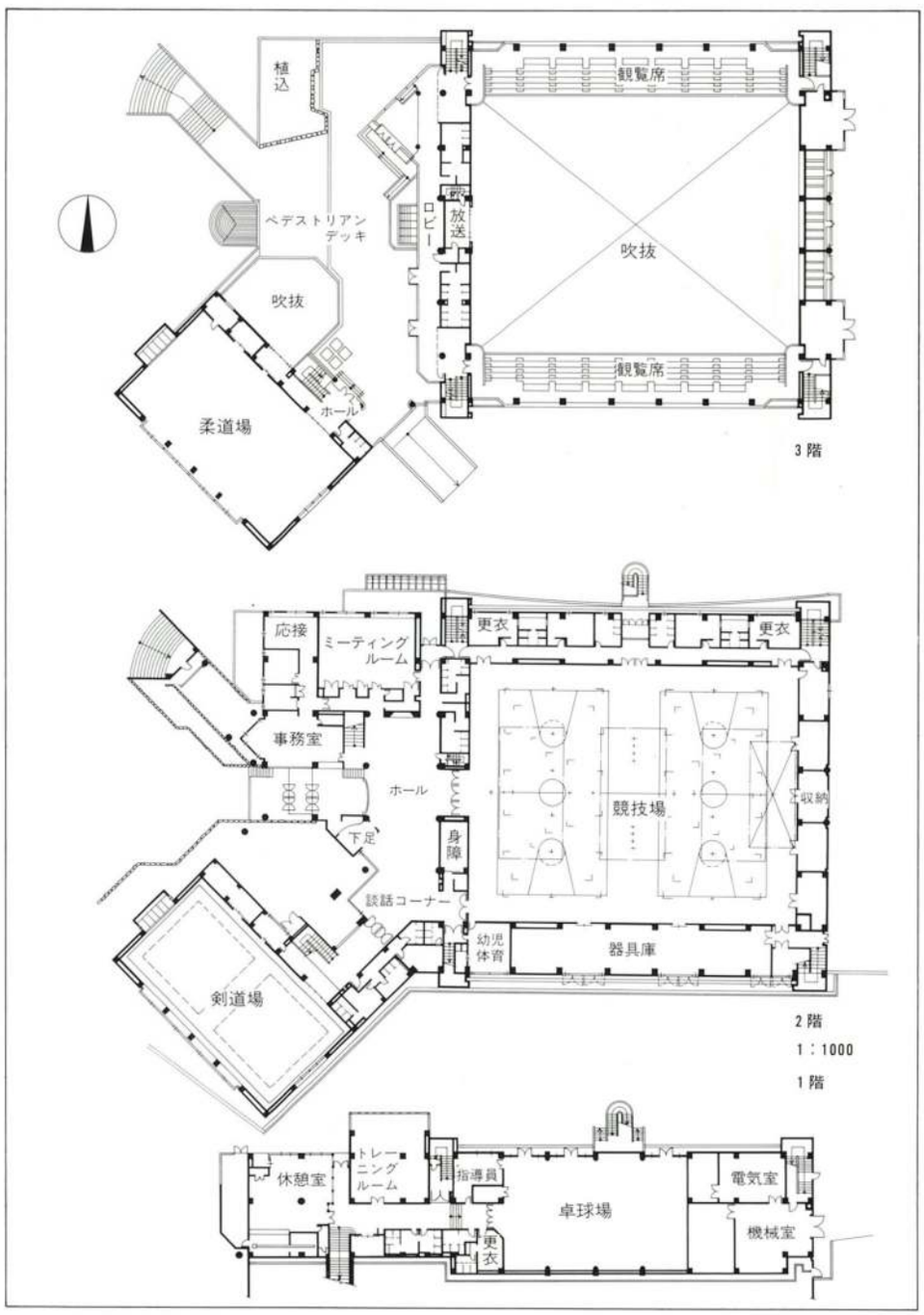
アリーナ



トレーニングルーム



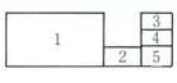
剣道場



大阪府立交野自立センター

設計監理　大阪府建築部営繕室　大阪府建設監理協会　出江寛建築事務所
施　　工　前田組
屋根工事　ヤマキ工業





1．談話コーナーより中庭をみる
2．正面外観
3．西面より塔屋をみる
4．北西よりみる
5．南面外観全景

撮影　島　修一

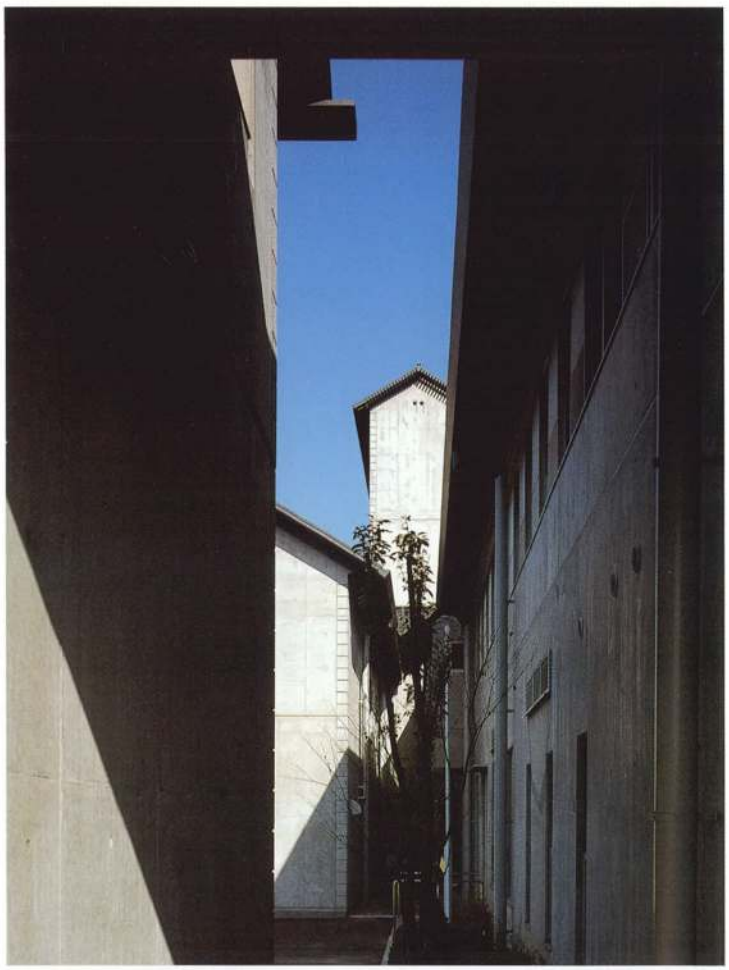


所 在 地　大阪府交野市寺4丁目590番地の1
敷地面積　17,015,73㎡
建築面積　 2,465,33㎡
延床面積　 3,422,63㎡
構造規模　RC、2F、P2
工　　期　昭和58年11月～昭和59年7月
最 寄 駅　京阪私市線河内森駅

敷地は、ぶどう畑と美しい山並に囲まれ、自然に恵まれた環境にある。屋根には耐候性鋼板をもちいた。それは、時間の経過とともに、かつての藁屋根のように情緒的で優しく深い表情をみせてくれるだろうし、環境とうまく調和すると考えた。外壁は、耐候性鋼板と質的にも色彩的にも共存しえる、マッシブなコンクリート打放しとした。
平面計画は、中庭をもった片廊下タイプとし、1階に管理・作業部門を、2階に居室部門を配置した。中庭により機能分離を明確にし、かつ各室の通風・採光をよくしている。
また、建物の軸線は山なみにそろえ、バルコニーの軒の出を深くし、そこから四季おりおり山の風情も楽しめる。バルコニーと屋上広場を一体にして、多目的利用を可能にするとともに、非常時の待避所となるよう考慮している。
外観は、公共建築物としての品位と耐久性のあるものとした。内部は建物の性質上、できるだけ楽しく明るい色彩計画とし、直線的な動線の単調さを緩和した。
また、三つの中庭は、瓦の庭・竹の庭・四季折々の花の咲く庭を配して、利用者の心をうるおすよう考えた。

（出江寛建築事務所）



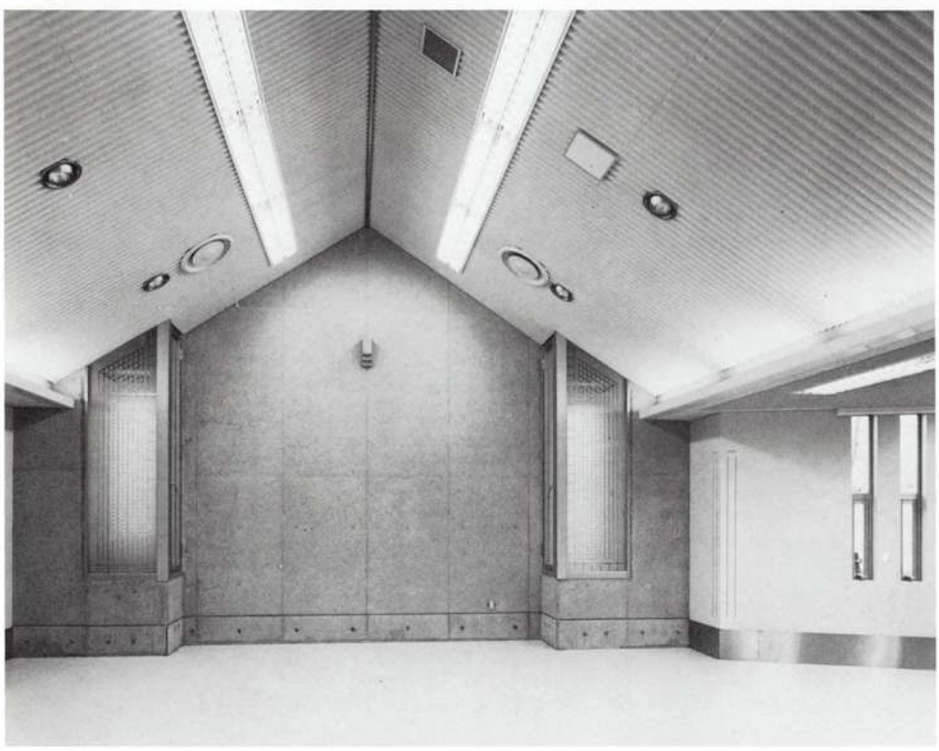


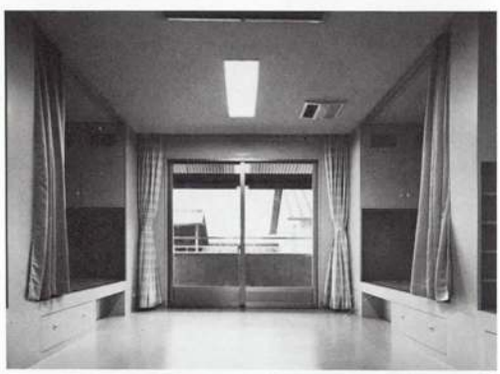




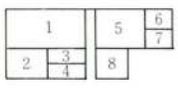
電　気　浅海電気
空　調　友定設備
ソーラー衛生　日管工業
昇降機　日本オーチス・エレベータ











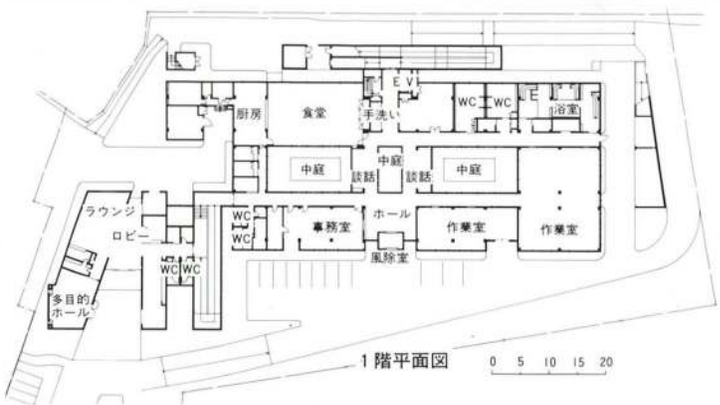
1．食堂より中庭をみる
2．多目的ホール
3．居室
4．廊下
5．ラウンジ
6．東よりみる
7．中庭(西)
8．踊り場よりスロープをみる



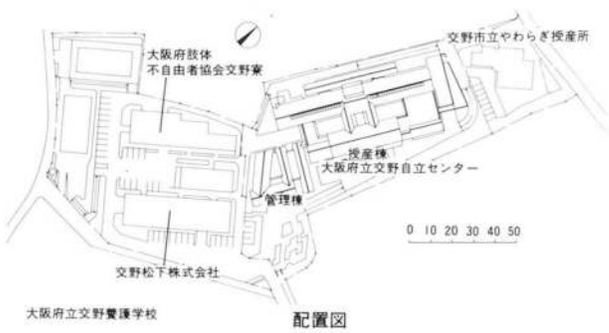







E V
厨房
食堂
手洗い
WC
WC
浴室
中庭
談話
中庭
談話
中庭
ラウンジ
ロビー
WC
WC
事務室
ホール
作業室
作業室
風除室
WC
WC
多目的
ホール
0 5 10 15 20

1階平面図


大阪府肢体
不自由者協会交野寮
交野市立やわらぎ授産所
授産棟
大阪府立交野自立センター
管理棟
0 10 20 30 40 50
交野松下株式会社
大阪府立交野養護学校

配置図

社団法人クラブ関西

設計監理　日建設計／大阪
施　　工　大林組



玄関正面



会議室



階段室

撮影　ヤマモト写真工房

所 在 地　大阪市北区堂島浜１－45－１
敷地面積　2,722㎡
建築面積　1,360㎡
延床面積　6,018㎡
構造規模　SRC，B2，２F(一部３F)
工　　期　昭和58年１月～59年９月
最 寄 駅　大阪駅より徒歩10分

互いに敷地を接する「クラブ関西」と「大阪建物」とは、前者にクラブハウスの建て替え時期が迫り、後者に新ビル建設構想が生まれたこととで、ともどもにメリットのある計画を願って土地利用・施設利用の面において、両者一体による共同事業を企画した。両者が前向きに取り組んだことが功を奏し、また、大阪市の堂島川緑化計画・緑道計画拠点づくりに積極的に参加したこともあって、ここに堂島の景観に大きくプラスする好ましい街並みの誕生を見たのである。
クラブ関西は戦後30余年来、都心の「緑のオアシス」として関西の財界人をはじめ多くの人々に親しまれてきており、その庭の木々は堂島の景観にも一種の安らぎを与えてきた。
この会館の建て替えの設計にあたって力点を置いた点として、この庭を残しつつ一層の広がりと四季折々の風趣とを心地良く提供できる配置計画と、内部の各室と庭の緑とが自然に連続展開していく窓廻り計画ほかの細部の設計とにより、内外空間の一体となった「緑のオアシス」を再びあざやかに「甦らせる」工夫をしたことがあげられる。
建物はクラブハウスにふさわしく以前のように２階建として軒端が木々の緑に沈み込むものとし、緑青銅板の屋根とアイボリーホワイト系のレンガタイルの壁とで構成される、静かで控え目で親しみ深いたたずまいとした。
各室は大ガラスを多用して明るく落ち着いた素材を用いたインテリアとしている。とくに１階の一番奥の会議室は三方をガラススクリーン窓として木々の緑で囲まれた「グラスルーム」とし、緑の中での会議・食事・談話に親しむ場とした点などに特徴がある。
２階はこれら各室のほかに、クラブハウスにおけるクラブライフの最も大切なくつろぎの場となるサロンと食堂とを配置し、落ち着いた色調の木質壁とホワイト系の高い天井とで構成される特色ある空間とし、二つの室の間仕切壁を可動機構とすること等により、パーティ・大会議ほかの多用途の運用にもフレキシブルに対応できるよう工夫されている。
地階には、隣のビル計画との検討の中で生まれた大規模駐車場があり、約100台の車を収容することができる。この地下駐車場の上に、クラブハウスにふさわしいたたずまいと緑豊かな庭とをごく自然に重ねる計画としたことは、土地の高度利用と緑の街並み形成につながるものであり、全体断面構成上大きな特徴となっている。
再び甦った「緑のオアシス」としてのクラブ関西が、栄光ある過去の伝統をここで引き継ぎ、クラブを訪れ利用する一人一人によって、さまざまな思いと文化の息吹を建物・庭ともどもに映じ込み、「倶楽部の典型」として一層繁りを増していくことを心から祈っている。

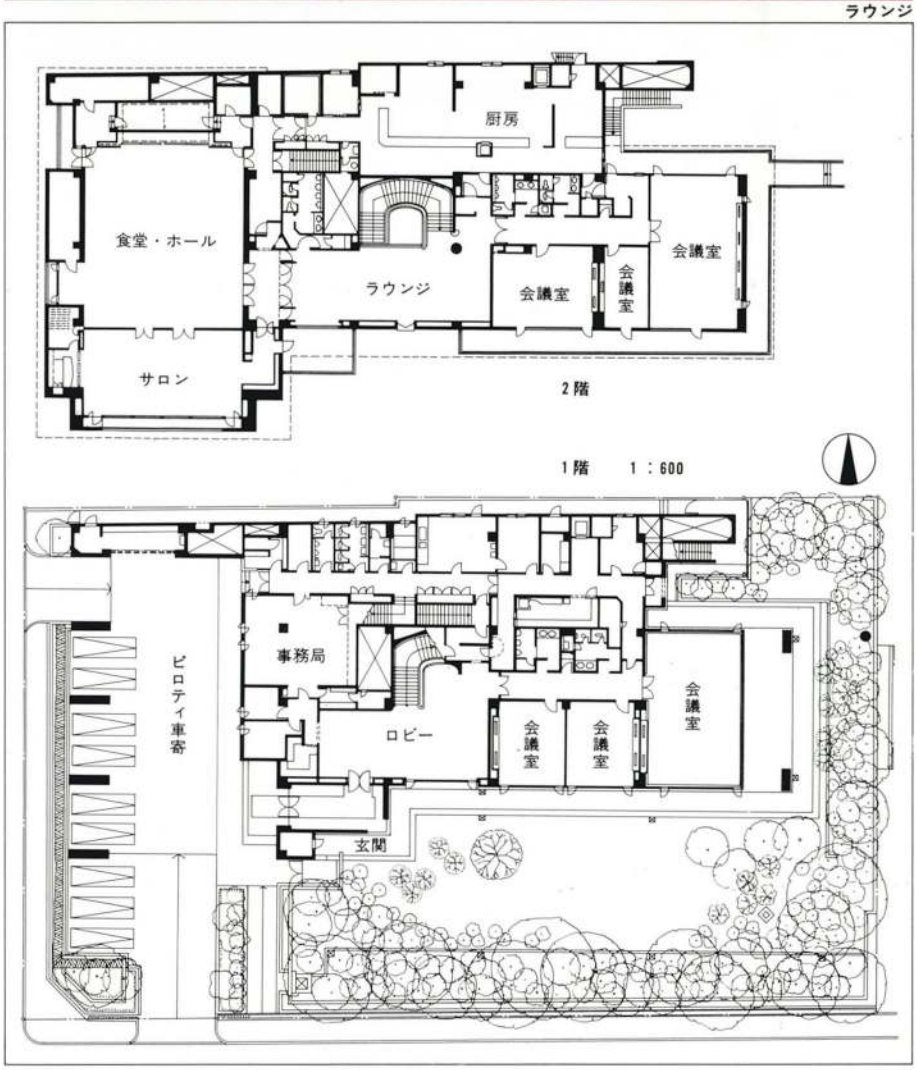
（日建設計/与謝野　久）



食堂・ホール

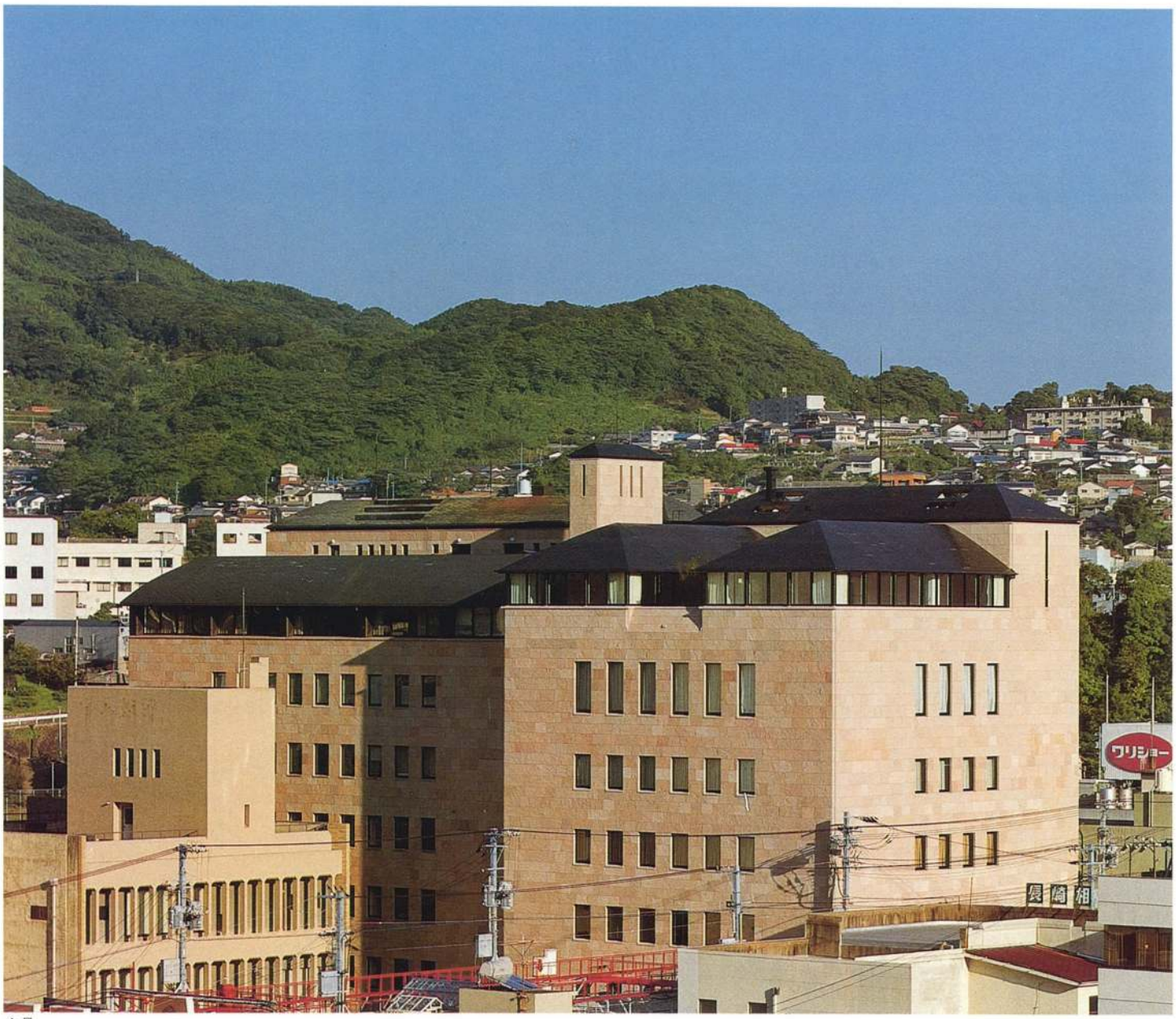


ラウンジ



佐世保市農協会館

設計施工　竹中工務店九州支店



全景



1階平面図



7階平面図

設計担当　(建)武方潔、坂本克彦、藤本正志
(構)朝長孝、渡辺守秀
(備)小南義彦、和田義昭
(意匠)和智克也
作業所長　赤崎登

佐世保は、戦前の軍港、戦後は米海軍基地があって、比較的濃厚に国際的なイメージを持っている。建築地は佐世保市街を南北に貫く国道35号線に面して、北の官庁街、南の三ヶ町商店街の接点に位置している。
当農協会館は，佐世保市農業の中枢機関として，周辺地域合併を契機に，昭和51年に竣工した本館と今回増築の新館をもって一応完成した。
"農協組合員のより豊かな心のふれあいと地域の人々の自由に利用できる場"を提供すべく、新館は、農協合併20周年を記念して建てられ、佐世保市の活性化を担うものである。
増築の設計にあたっては、農協管理諸機能を収容する本館と、結婚式場及び集会施設等コミュニティー施設をいかに機能上・デザイン上調和させ一つの建物としてまとめるかに苦慮した。
1階エントランスホールは、外部と同じ砂岩の壁を内まで入れ、天井には大きな楕円形吹抜けを設け、この建物の象徴空間として華やかさの中にも格調ある拡がりとしている。
4、5、6階には集会室、ロビー、宴会場が設けられ、それぞれそのフィーリングを大切にインテリア・デザインを行った。最上階は中庭を持つ特別室を設け、外部にも解放してスペクタクルな眺望を内に取り込んでいる。
外観は本館に合わせ屋根を設けて、佐世保の国際的な町並みに調和させた。

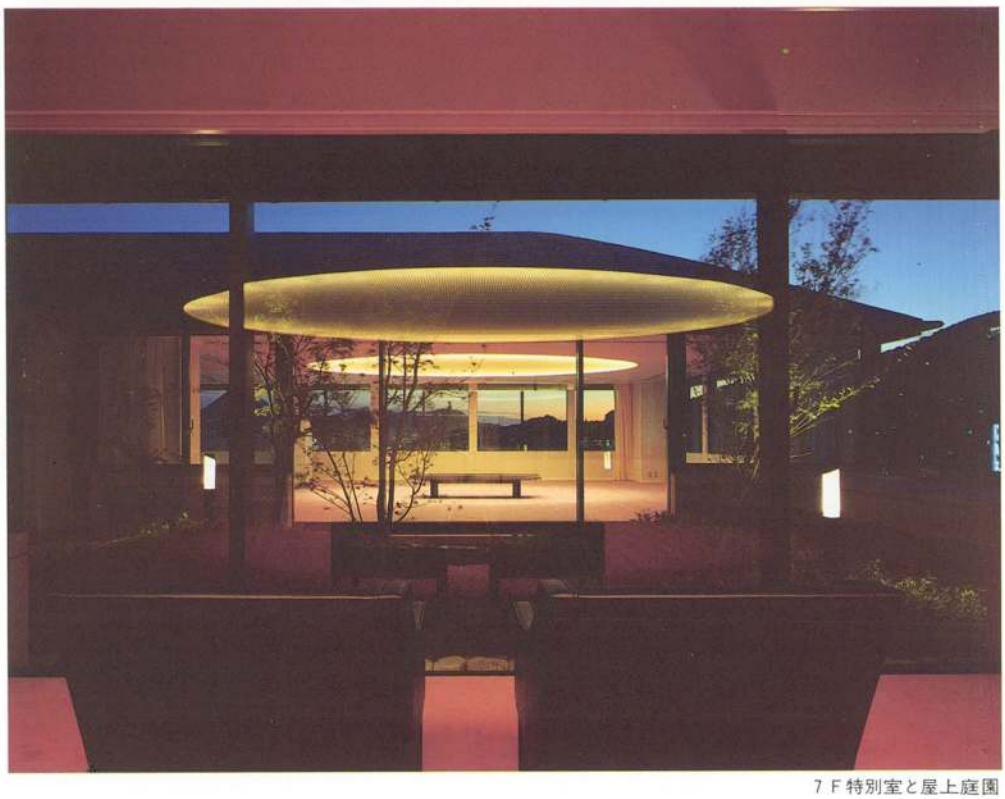
(坂本克彦／竹中工務店)

外装仕上　外壁：ホワイトインド砂岩,割肌仕上
開口部：竪軸回転窓(アルミ二次電解発色)

建 築 主　佐世保市農業協同組合
所 在 地　佐世保市松浦町2―28
敷地面積　1,302.08㎡
建築面積　1,012.77㎡
(本館525.33㎡、新館487.44㎡)
延床面積　7,849.37㎡
(本館3,748.50㎡、新館4,100.87㎡)
構造規模　SRC、B2、8F
工　　期　昭和57年3月～昭和59年8月
(本館改修＋新館)
最 寄 駅　国鉄佐世保駅



1Fエントランスホール



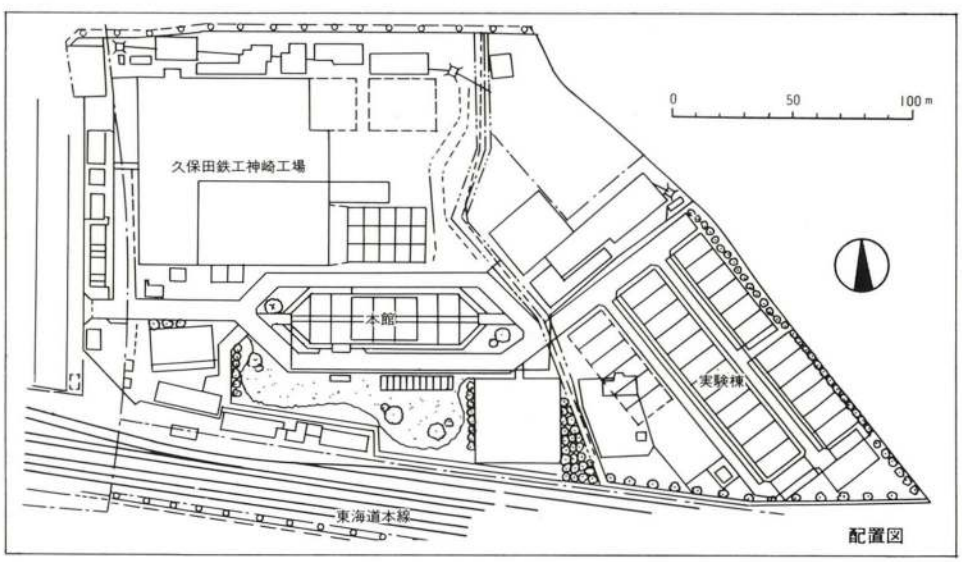
7F特別室と屋上庭園

久保田鉄工技術開発研究所

設計監理　安井建築設計事務所
施　　工　竹中工務店・フジタ工業・三井建設







配置図

久保田鉄工技術開発研究所は、国鉄尼崎駅に隣接する久保田鉄工神崎工場の敷地内にあり、およそ南半分をしめている。当地は国鉄東海道本線に接しており、景観上の重要なポイントとなる場所である。

技術開発研究所は、久保田鉄工各事業部に属する研究所とは全く独立して、各事業部の基礎的研究および各事業部に共通する開発研究を目的とする開発研究所である。したがって研究の内容は非常に広範・多岐にわたっており、研究テーマはつぎつぎと更新されていく。

当計画においては、技術立社である久保田鉄工の〝企業の顔〟となるにふさわしい、機能と設備の充実した研究所を提案した。さらに計画に際して、研究のテーマの更新に対する〝フレキシビリティー〟、研究所の研究テーマに関連して〝熱回収によるエネルギーのより効率的な利用〟の二つを課題として設計をおこなった。（安井建築設計事務所）



外観西側　全景



玄関ロビー

建 築 主　久保田鉄工株式会社
所 在 地　尼崎市浜１丁目
敷地面積　37,185㎡
建築面積　本　館　1,556㎡
　実験棟（３棟合計）　3,462㎡
延床面積　本　館　5,744㎡
　実験棟（３棟合計）　3,495㎡
構造規模　本　館　ＳＲＣ、５Ｆ、Ｐ１
　実験棟（３棟）　Ｓ、平屋（一部２Ｆ）
工　　期　昭和58年５月～昭和59年４月
最 寄 駅　国鉄尼崎駅

撮影　島 修一

大阪南港ポートタウンショッピングセンター（2期）

設計監理　日建設計／大阪
施　　工　鴻池組



正面外観と駅前広場



付属棟と駅前広場

屋根：鉄筋コンクリートアスファルト露出防水および瓦棒葺
外壁：磁器タイル貼コンクリート化粧打放し

撮影　アンコール

所 在 地　大阪市住之江区南港中２－４－１
敷地面積　6,921.83㎡
建築面積　3,747.87㎡
延床面積　8,299.68㎡
構造規模　ＳＲＣ、Ｂ２、２Ｆ、Ｐ１
工　　期　昭和58年８月～昭和59年11月
最 寄 駅　ニュートラムポートタウン東駅



このショッピングセンターは、南港ポートタウンの中心地区センターとして大阪市港湾局が建設した、銀行、郵便局、診療所、ホール等が入る管理センターとドッキングしたものである。今回の増築により、市が併行して整備したニュートラム駅前広場との新たなドッキングにより、本格的なコミュニティセンターとしての機能を満たして完成した。

ニュートラム駅からショッピングモールを通って管理センターまでストレートにつながったルートに、バス・タクシー広場、公園、周辺住区からノーカーゾーンの緑道が縦横に交叉している。このように、単なるショッピングモールとしてではなく、広く地域に開かれたコミュニティモールを形成している。

そして、アイボリーの基調で統一された周辺高層住棟に対し、〝深い木立の中のレンガ壁〟の基調を踏しゅうして、コミュニティモールの各入口には、緑のゲートができつつある。

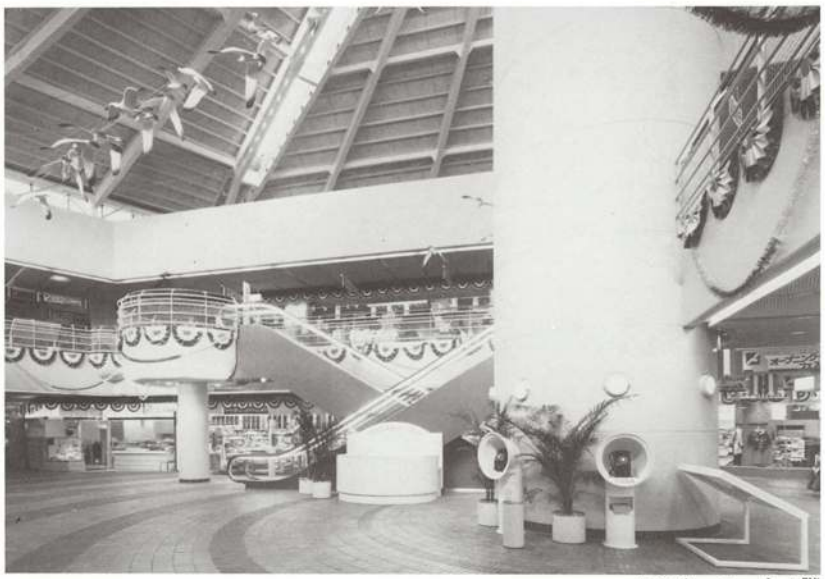
全コミュニティセンターにとって、今回の増築部は、駅前に面する正面エントランスホールをつくることでもあった。設計に際し、四周を海に囲まれ、かつては、当敷地も海であったことを記念して、白い三角帆を持つ船を思い浮かべて、フローリング貼りのデッキとし、白い三角屋根を乗せている。

最後に、残された隣接地の駐車場整備が引き続き開始され、ニュータウンの完成、熟成という過程に合わせ、このコミュニティセンターもさらに拡充され、新たに植えられた周囲の木立といっしょに熟成されることを期待している。

（日建設計）

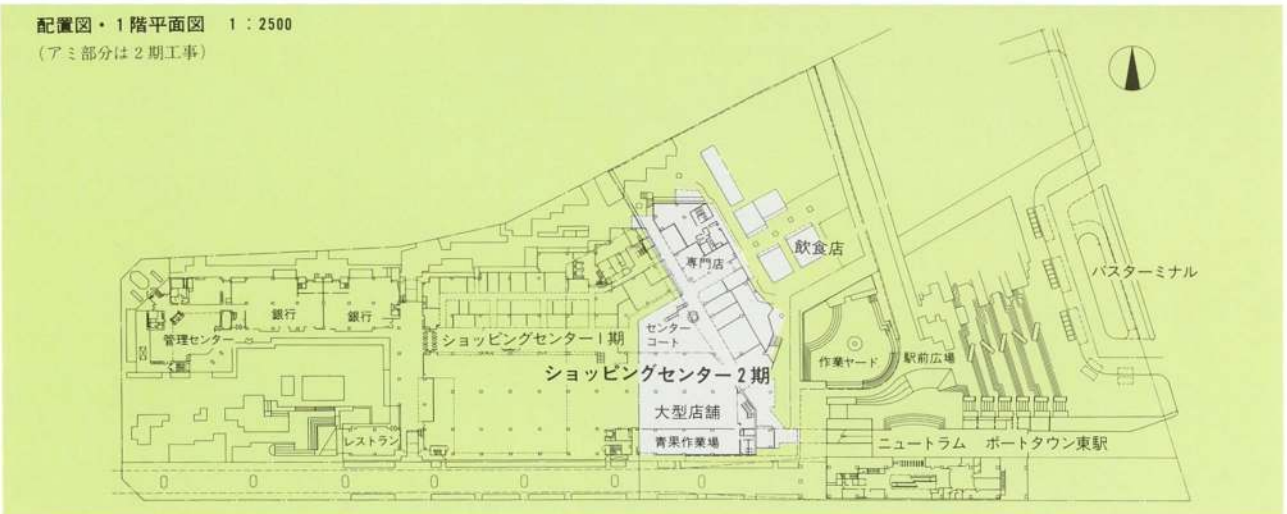


センターコート２階



センターコート１階

配置図・１階平面図　１：2500
（アミ部分は２期工事）



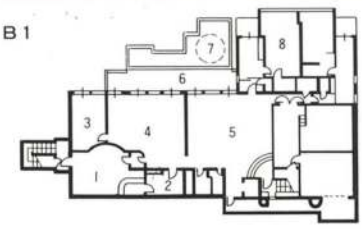
松下電器健康保険組合保養所　松越荘

設計監理　双星設計
施　　工　近畿建設



正面

B1



1　サロン
2　配膳室
3　小娯楽室
4　娯楽室
5　健康増進コーナー
6　テラス
7　池
8　浴室

1F



9　グリル
10　ロビー
11　会議室
12　テラス
13　厨房
14　事務室
15　フロント
16　WC
17　職員棟

2F



18　宿泊室
19　配膳室
20　大広間
21　職員棟

空調衛生　新東洋空調
電　　気　米沢電気工事

所 在 地　石川県加賀市別所町４丁目30
敷地面積　3,544.5㎡
建築面積　　986.9㎡
延床面積　2,770.1㎡
構造規模　RC、B1、５F
工　　期　昭和58年４月～昭和59年４月
最 寄 駅　国鉄北陸本線 加賀温泉駅



敷地は、民謡「山中節」の一節に登場する「二点の橋」と「こおろぎ橋」の中間、大聖寺川畔にあって、北陸温泉郷のほぼ中央に位置している。附近はいかにも北陸らしい、しぶい色調の落ち着いた雰囲気の中にあり、敷地内は、松、くぬぎ、杉、椿、山桜等に覆われている。
計画にあたって、敷地北側の杉の群生、中央部２本のくぬぎと建物の配置、更には積雪時の雪溜りの処理、ひいては屋根勾配、屋根のかけ方との関連等に特に留意した。建物の色彩は極力控えめに、白と緑（塩ビ銅板横葺き）とし、補植したメタセコイアとの対比を狙った。建物内部の色彩は施主側と幾度にもわたる相談の結果、つとめてカラフルに演出した。プランについては、宿泊部分、ロビー、食堂、会議室等のオープンスペースを川側に、川岸への傾斜に沿い地階に温泉浴室、プレイルーム（健康器具・娯楽器具）、バー等を配し、道路側にサービス部分を位置づけている。宿泊室は16室あり、和室12畳を基本タイプとしているが、洋室ツインルーム（バス付）と二重ドアーにて組み合わせ、コンビネーションツインを６セット設置し、利用者の多様化に備えた。
さてオープン後、半年が経過し、当初予定をはるかに上まわる7,000人の利用者があったと聞く。この保養所にとって初めての北陸の冬が訪れる。我我の目論見どおりに、この土地に馴染んでくれるであろうか。　　（双星設計）







上・大聖寺川河原から外観南側を望む　　中・宿泊室　　下・健康増進コーナー

コスモハイツ千里桃山台

設計監理　創美設計
施　　工　盛工務店



北面全景



南面



玄関廻り

撮影　名執一雄

所 在 地　吹田市桃山台４丁目109番３他
敷地面積　5,618.00㎡
建築面積　1,543.58㎡
延床面積　8,103.12㎡
構造規模　ＳＲＣ、８Ｆ、Ｐ１
工　　期　昭和58年６月～昭和59年９月
最 寄 駅　北大阪急行電鉄桃山台駅

大阪市内から地下鉄で一直線、北大阪急行のターミナル、千里中央の一つ手前の桃山台駅。この周辺は万博以来、交通の至便さも手伝って、マンションラッシュの観がある。コスモハイツ千里桃山台は駅から歩いて数分、千里特有の美しい竹林を望む丘陵地に59年９月竣工した。

当マンションは、5,618㎡のゆったりした敷地に、総戸数73戸という余裕ある設計になっている。ハイグレードマンションの基本プランにしたがって、外装はレンガ色の磁器タイル貼。ゲートからエントランスホールまでは、ゆるやかなスロープのアプローチを配し、高級イメージをもりあげた。外観は画一的なスタイルをとらず、変化を求めた。しかも、各戸のプライバシーと、通風、採光を考慮して、２戸１単位の設計とし、開放廊下でそれぞれをジョイントした。

住居専有面積は84～130㎡と、これまでに比べてひと回り大きく、また階下に生活騒音を伝えにくい二重床構造にするなど、こまかな配慮をした。その他、バスルーム、キッチン、サニタリースペースなどもグレードの高い素材を用い、このクラスのマンションを求める顧客のニーズに応えたつもりである。

エントランスの床は、御影石貼で、植樹された樹々のみどりが美しく映し出され、訪れる人の第一印象をいっそう快いものにしている。幸い分譲以来、売れ行き好調で、マスタープランが理解いただけたと気をよくしている次第である。　（創美設計）



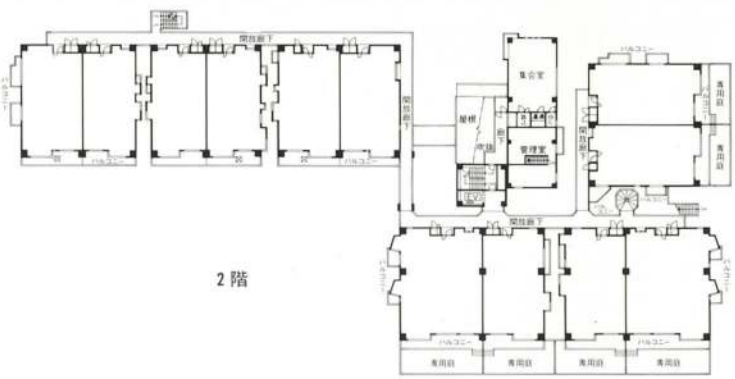
ポーチ

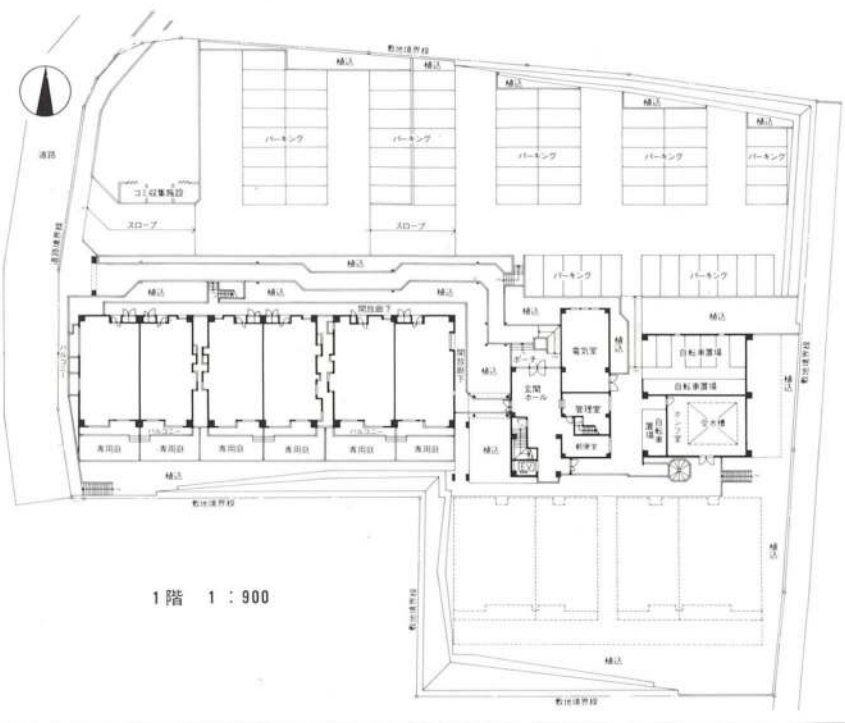
主な協力業者

電気	米沢電気
給排水衛生	本庄商会
鋼製建具	日研工業
基礎	加藤商事
厨房	ナニワナショナル厨房冷暖機器
タイル	長島タイル
昇降機	菱宝商事
建具	岸村建具
木	伸幸建設
型枠	相良組
生コンクリート納入	豊建商事

北面




2階

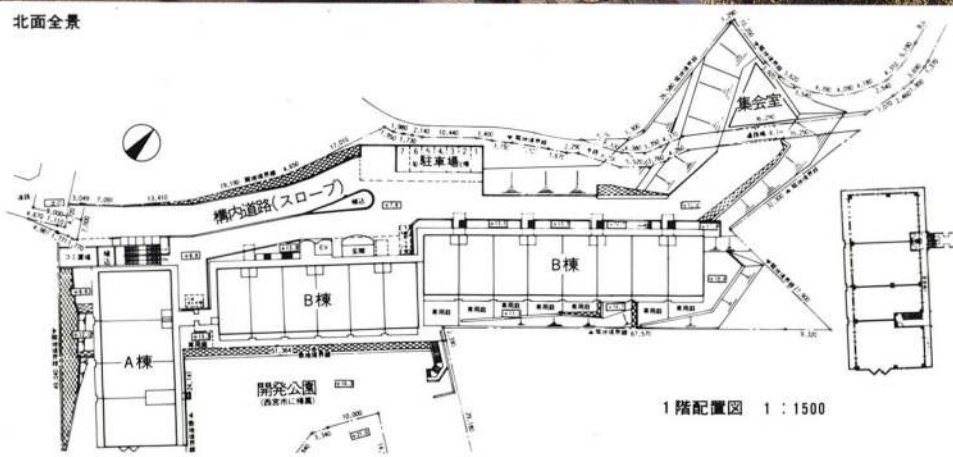


GRAND HILL NISHINOMIYA 高座台（たかくらだい）マンション

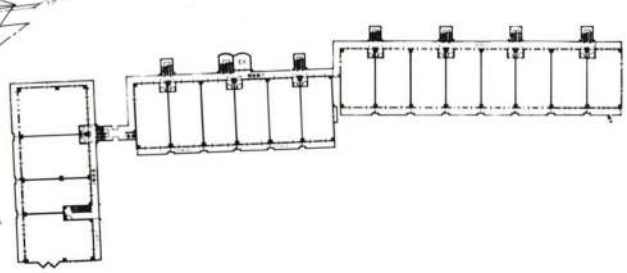
設計施工　不二建設



北面全景



1階配置図　1：1500



5階

所 在 地　西宮市高座町３番地
敷地面積　6018.71㎡
建築面積　1997.00㎡
延床面積　12184.09㎡
構造規模　RC造、７階
工　　期　昭和58年３月～昭和60年２月



当地は、大阪・阪神間を結ぶ大動脈、阪急（西宮北口）および阪神・国鉄（西宮）の３線を自在に乗り分けられる恵まれた立地条件にあり、このあたりは関西でも有数の学園街で、私学の名門神戸女学院、関西学院大学をはじめ聖和女子大などが点在する。

この建物は、文教住宅都市・西宮らしさが、さらにすぐれた景観・環境を構成しうる要素になるべく、その敷地の特性を適確にとらえ処理し、統一されたデザインでその意図を表現しようとしている。

約20ｍの高低差の敷地を北は人工地盤とし、南はひな段状の公園とし、その中間約13ｍの位置に建物のレベルを設定することで地下駐車場（40台）を確保し、住戸は高さを得て、北の甲山および、そのカントリーな眺望を一挙に獲得している。

アプローチから見上げるさまは、豪快な中にもやさしい繊細さを失わぬよう、すべて統一されたデザインで処理している。

階段をはさんだダブルアーチのバルコニーは鳥の翼を広げたおおらかさを表現している。石畳の歩廊、エントランスの２本のドーム屋根、ホールの半円筒の連続する天井、三角平面のアスレチック室、等々さまざまな工夫により、120 戸に住まう人々がより豊かな生活環境を享受できるよう演出されている。

（時藤　剛／不二建設）



エントランス内部



入口の外観見上げ

主な協力業者

附帯土木一式	内海建設関西支店	〒662 兵庫県西宮市与古道町6-2-303　TEL 0798-23-5275
室内装飾	大阪装飾	〒550 大阪市西区京町堀1丁目13番24号　TEL 06-441-0931㈹
外壁吹付	建興社	〒550 大阪市西区京町堀1丁目6番23号　TEL 06-443-9261㈹
電気	大誠電気	〒534 大阪市都島区都島本通4丁目6番10号　TEL 06-922-5415
左官	中川組	〒583 羽曳野市誉田5丁目９の８　TEL 0729-39-1303
硝子	西田板硝子店	〒551 大阪市大正区三軒家東4丁目1番15号　TEL 06-554-1023㈹
木工事	富士室内装備	〒651 神戸市中央区琴ノ緒町2丁目3番3号　TEL 078-241-1155㈹
アルミサッシ間仕切、玄関ドア	桝屋	〒569 高槻市竹の内町73番1号　TEL 0726-76-5137㈹
塗装	森塗装店	〒550 大阪市西区新町2丁目16番21号　TEL 06-541-2851㈹
給排水	渡部工業所	〒583 羽曳野市恵我之荘2丁目10番32号　TEL 0729-54-4531



エントランス

天理教教会本部
神殿東西礼拝場

設計施工　宗教法人天理教教会本部
　　竹中工務店

建 築 主　宗教法人天理教教会本部
所 在 地　天理市三島町271
敷地面積　123,484㎡
建築面積　7,817㎡
延床面積　22,725㎡
構造規模　SRC&S耐火被覆　B２、F２
高　　さ　軒高12.750ｍ　棟高23.984ｍ
内 外 装　内地産桧材
工　　期　西礼拝場　昭和53年３月～昭和56年７月
　　東礼拝場　昭和56年１月～昭和59年10月



宗教都市天理市、都市計画の核をなすものに八町四方の「おやざと　やかた」計画がある。その中心は神殿の「かんろ台」で、今回の東西礼拝場は神殿を中心に東と西に増築したものである。

教会本部では昭和61年の、教祖(おやさま)100年祭を迎えるため、多くのプロジェクトが実施されている。その中で最も代表されるのが東西礼拝場増築工事で、昭和53年３月に着工されて約6.5年の歳月を経て59年10月に完成した。既存の木造建築の木割を基本にして、耐火構造の性能を満たしながら増築した東西礼拝場は、純木造風の桧材仕上げで、既存建物ならびに自然の風光との調和を図った。今回の工事で天理教としては教祖(おやさま)のお教え通りの「四方正面の礼拝場」が完成したことになり、全信者にとって、この上ない大きな念願と喜びを満たすことになった。

東西礼拝場は共に畳数1,170畳で、それぞれ約6,000人の参拝者が収容でき、礼拝場の階下の空間は参拝者の下足ならびに便所にあてている。又車椅子に乗ったままで、登殿参拝できる様に、専用のエレベーター二基を備え、礼拝場床の一部をカーペット敷きにした。

施工に際しては、既存建物ならびに多数の参拝者の保護安全に特に配慮した。既存木造建物の軒下に入り込み密着させて鉄骨を構築しなければならないため、トラベリング工法を採用した。又建物の姿に大きく影響を与える反り屋根の曲線を現わすのに、コンピューターによる鎖垂曲線再現法を開発実施した。

この工事の技術的特徴は、現在の新しい鉄骨造の技術と、我国古来より、大工棟梁が伝承している曲線美と、継手、仕口等の技法が巧みに結合して美事に完成された事である。

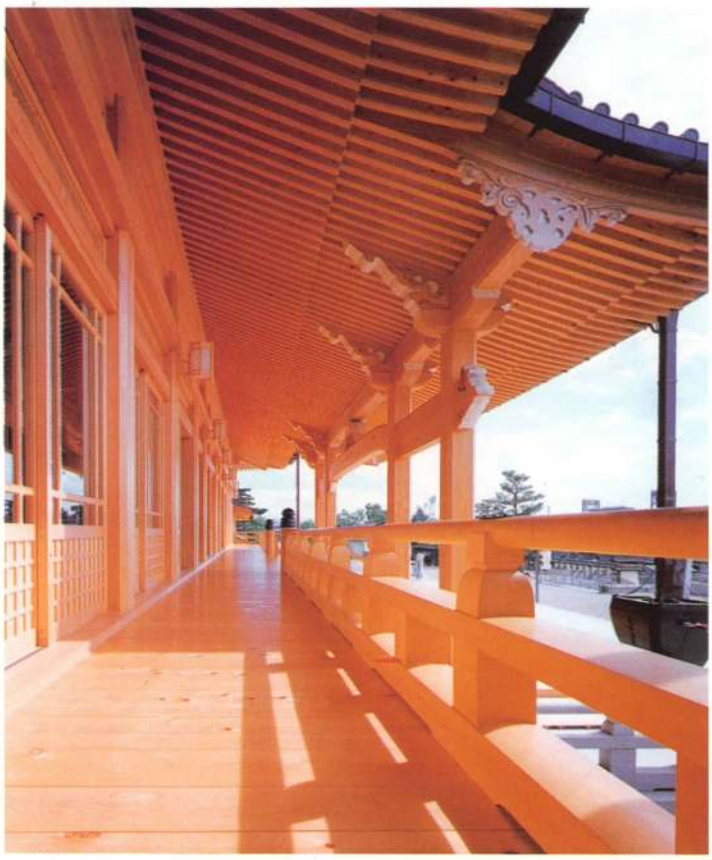




天理教教会本部神殿東西礼拝場

1
2 | 3

1．東礼拝場外観
2．西礼拝場向拝部分濡縁
3．東礼拝場内部

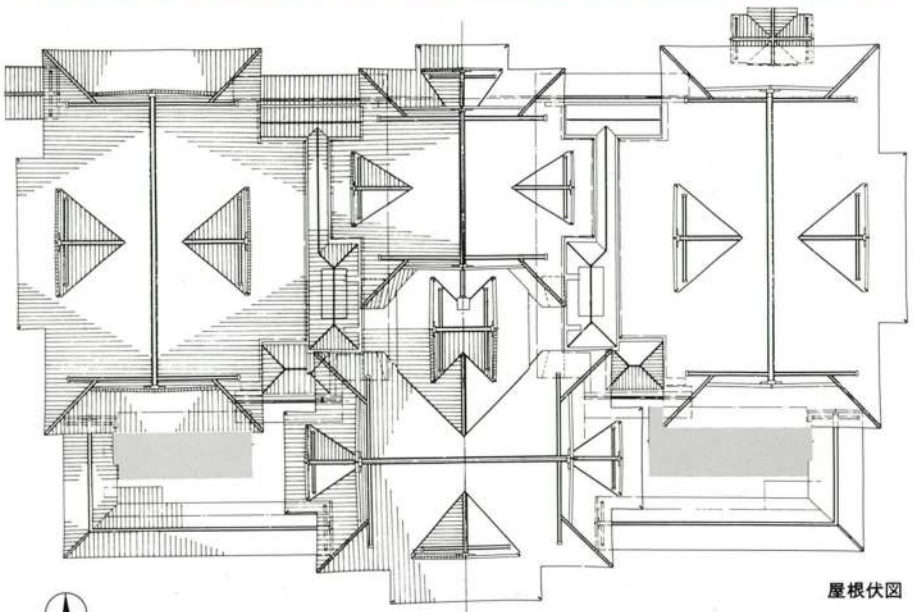




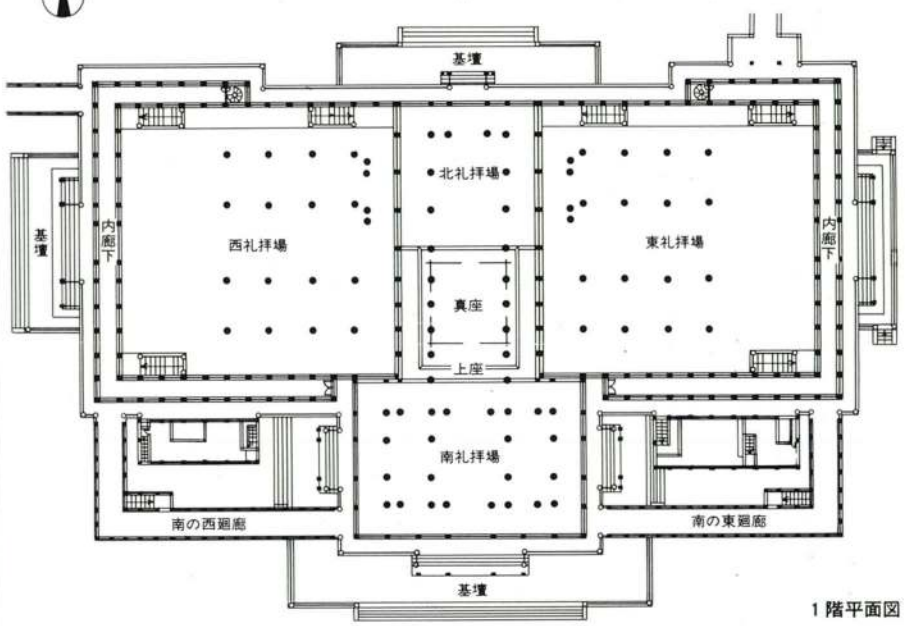
主な協力業者（順不同）

曳家(直営)	今清組	東大阪市鴻池徳庵町7-31 Tel (06)745-2221
解体・斫	竹島組	奈良県磯城郡田原本町薬王寺314-2 Tel (07443)2—4794
止水壁(ソレタンシュ注入)	ライト工業大阪支店	吹田市江坂町１—16—８ Tel (06)385—3441
重仮設資材	廣瀬鋼材産業	大阪市西区新町2—20—11 Tel (06)532—6201
クレーン	平井クレーン興業	天理市三味田町元西方85-4 Tel (07436)7—1700
生コンクリート・セメント	井戸太建材店	天理市丹波市町214 Tel (07436)3—3311
スパンクリート	ツルガスパンクリート工業	大阪市北区茶屋町18-21 Tel (06)374—1245
弋・土工	中村組	天理市田部町70-3 Tel (07436)2—4801
鉄筋・型枠・鉄骨	朝日ビルド	大阪府南河内郡三原町平尾683-8 Tel (0723)61—2361
鉄筋	ダイリン工業	堺市黒土町2339-1 Tel (0722)52—2628
鉄筋圧接	新東圧接	大阪市都島区東野町2-3-24 Tel (06)353—4081
スタッドボールト	高城工業	大阪市淀川区西中島3-22-3 Tel (06)304—0620
耐火被覆	大阪パッキング製造所	大阪市浪速区大国1-1-6 Tel (06)633—7321
アスファルト防水	木下謹三商店	大阪市西区江戸堀3-6-12 Tel (06)443—0115
モルタル防水	関城化学工業所	大阪市北区芝田1-15-7 Tel (06)372—2179
パラテックス防水	大関防水工業	神戸市東灘区本山中町1-11-6 Tel (078)452—2591
薬液注入	特殊技研	大阪市北区末広町3-21 Tel (06)315—0700
タイル	川岸窯業商店	大阪市西区西本町1-13-33 Tel (06)532—0461
屋根瓦(直営)	瓦宇工業所	奈良市西新在家町17 Tel (0742)26—2901
銅瓦(直営)	山中産業	大阪市南区南船場4-11-28 Tel (06)251—3091
金属	奥村重兵衛	大阪市北区西天満5-3-7 Tel (06)312-4131
製作金物	亀井製作所	大阪市西区新町3-9-21 Tel (06)532—0186
製作金物	湯川商店	大阪市北区茶屋町8-9 Tel 06—371—6871
金物取付	精華工業	京都府相楽郡精華町植田堂ヶ島30 Tel (07749)4—2441
建築金物(直営)	天理帝金	天理市川原城町202-1 Tel (07436)3—0076
点検口	朝日金物	吹田市江坂町2-4-3 Tel (06)385—2722
金物製作	松内商店	大阪市港区弁天5-1-11 Tel (06)573—1131
ドリルアンカー	山口商会	桜井市芝986-1 Tel (07444)3—5000
左官	浪花組	大阪市南区玉屋町12 Tel (06)211—1501
サッシ	日鐵サッシ販売天理営業所	天理市別所町16 Tel (07436)3—1371
シャッター	鈴木シャッター販売	大阪市北区茶屋町5-2 Tel (06)371—4151
ガラス(直営)	清水硝子産業	天理市富堂町202 Tel (07436)3—0123
照明器具ガラス	山田商店大阪支店	大阪市西区南堀江4-30-5 Tel (06)531—6871
塗装	三木塗装店	大阪市住吉区苅田2-9-35 Tel (06)699—6565
弾性床	カネボウ化成	大阪市北区梅田1-2-2(大阪駅前第2ビル) Tel (06)348—0381
敷物	山光装飾	大阪市大淀区本庄西2-12-23 Tel (06)373—1071
天井内装	杉原商店	京都市中京区壬生高樋町9-1 Tel (075)211—8703
化粧不燃板	内外木村工業	大阪市東区高麗橋詰町7— 1
吸音	淀見	大阪市注之江区浜口西3-13-7 Tel (06)304—0620
美装(直営)	今江洗工所	京都市左京区二条通川端東入大菊町98 Tel (075)771—1813
畳(直営)	天理三和畳	天理市櫟本町798 Tel (07436)5—0077
襖・表装(直営)	古川月得堂	天理市田部町5-1 Tel (07436)3—0056
電気設備	栗原工業	大阪北区角田町1-1(東阪急ビル) Tel (06)313—1101
電気設備	明良工業	天理市豊井町219-3 Tel (07436)3—6311
給排水衛生設備	西原衛生工業所大阪店	大阪市大淀区中津6-8-4 Tel (06)458—3531
冷暖房換気	大阪電気暖房	大阪市西区江戸堀1-9-25 Tel (06)441—8231
昇降機設備	日本オーチス大阪エレベーター支店	大阪市南区道頓堀1丁目東3—23 Tel (06)213—7591
記録映画	日本映画新社大阪支店	大阪市北区中之島3-2-4(朝日ビル) Tel (06)231—3576



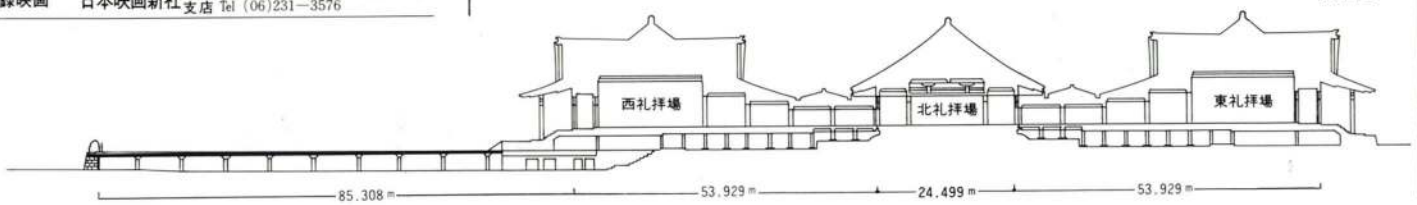


屋根伏図



1階平面図

断面図



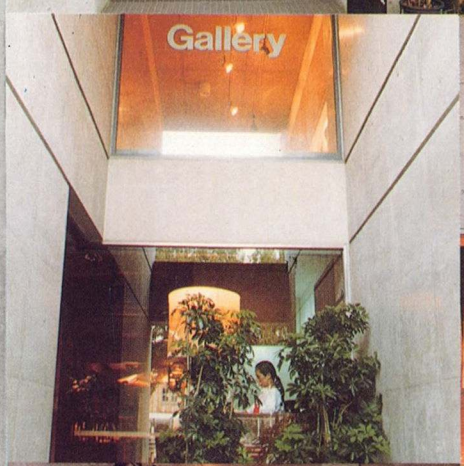
Gallery

まち・建築・ひと

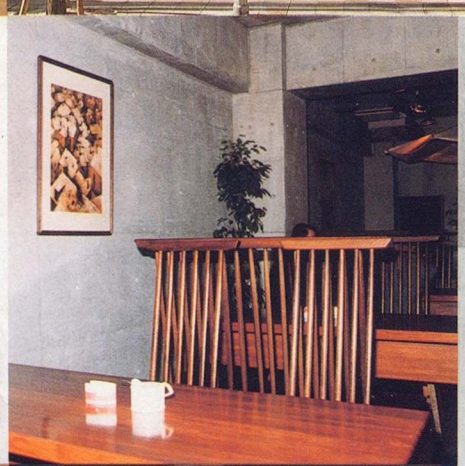
ACCENTビル











１Ｆ喫茶店
アンドレマッケ
手造りのゆったりとした家具・インテリアと落ちついたクラシック音楽が、コンクリートの冷たさと上手く調和している。ハイセンスの中に、どことなくあたたかさを感じさせる空間だ。
TEL06－445－2929







２Ｆギャラリー
Ａ・ＨＥＡＤ
（３～６Ｆ事務所）
コンクリートの打放しと天然木のフローリング仕上げ。絵画だけでなく、写真や立体、そしてイベントなど、クリエイティブする人の個性を演出する無想舞台だ。
TEL06－448－1837

ACCENT——ひとつのきっかけ

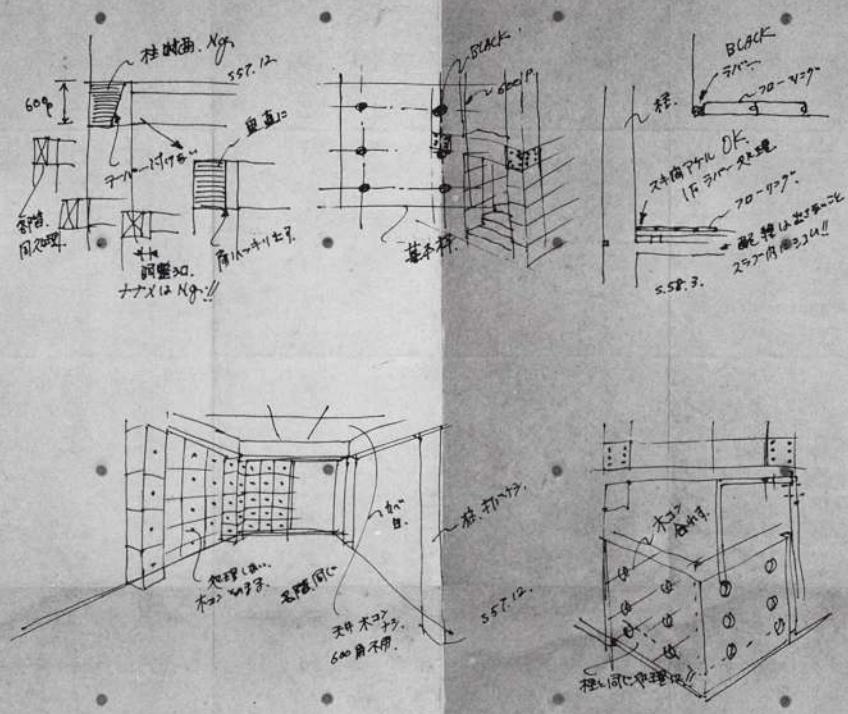
大阪・中之島は美的環境地区とも言われ、今後もさまざまな都市計画が施される。中之島が大きく変わろうとしている今、この街にひとつのきっかけを与えうるならば……。

シンプルな打放し、内装はパネル構成。建築物には、人間のもっとも基本的な感性に内在する自然との調和が欠かせない。それは、建物に対して内からと外からのふたつの立場にわけられる。つまり、まわりの環境に融け込むこと。そして建物の中の人間を優しく包み込んでくれること。こんなこだわりを持ちつづけ、それがデザイナーである自分としても、この中之島という地域にとっても、ひとつのきっかけになれば、という考えに基づいてアクサンビルの構想を生みだした。

施工に際しては、工業デザイナーとしての立場からのアイデアも反映させ、建築家の中村氏との良好なリレーションが、限りあるスペースでのコンストラクションに効果的な影響をもたらせた。各ディテールにおいてもそのリレーションシップは活かされ、デザイナーが考える建築物、私のこだわりの産物が、オブジェとして成立している。

以上が建てることへのこだわりならば、そのものが使われる次元にもこだわりつづけている。完成後、そのものをどう使うかによって、完成までの構想存立が左右されてしまうからだ。

知的な緊張感からは、何かまた新しい刺激が生まれる。アクサンビルの存在と使い方へのこだわりが、これからのすべてのきっかけであることを願っている。（青木孝章／ANN CRAFT）

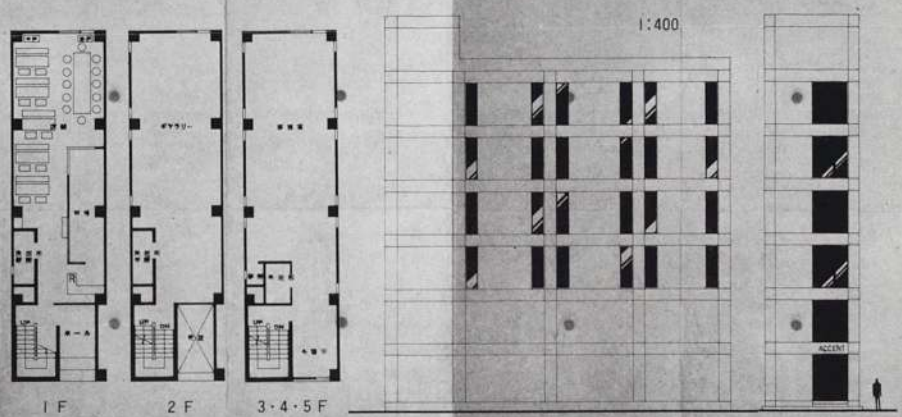


これらのスケッチは、オーナーの青木孝章氏（IDデザイナー）によるこだわり続けた施工中の指示書である。

美人と男達

「美人」という名の建築をつくろう。美人にも素肌美人と化粧美人があるように思えるし、もちろんプロポーションも彼女の外観を形づくるのに必要だろう。コンクリートというハード感覚で、荒々しく冷たいイメージの素肌をもたせる時、その肌をタッチしたくなるには、何か色気がほしくなる。それもキメ細かくなめらかで所々目を引くポイントがほしい。彼女自身がもち得るオリジナリティーを発見したい。それで心が通じ合えば、多少つき合えるのではなかろうか。

ACCENTビルでは、たまたまクライアントの青木氏がIDデザイナーなるが故か、彼の美意識でコンクリートというテクスチュアーを選んだ時、はからずも私の素肌美人との連帯意識をもち得たのだった。男同志が美人をつくりあげる。一方的につくりあげる。いい肌をつくりたい。男達を引きとめ、女達にジェラシィーを与えるため。彼女を60cmグリッドで分割メスをいれることにより恥じらいだ一遍の肌を投影し、その中央に燃えあがらんとする花弁（ホームタイ）を挿入する。その結晶の群が拡がり始め共鳴し、合唱し合ってもだえる。そんな空間の中であれば、彼女の肌に包まれてホットな時を過ごせるように思っている。（中村俊暉／エヌ建築設計事務所）



建築名称　ACCENT ビル

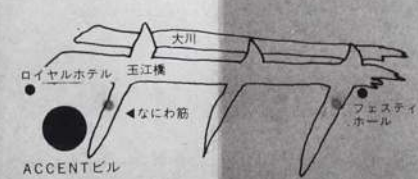
企画構想　青木孝章／ANN CRAFT
設計監理　中村俊暉／エヌ建築設計事務所
施　　工　高野建築

所 在 地　大阪市北区中之島5－3－101
敷地面積　110.00㎡
建築面積　95.20㎡
延床面積　570.30㎡
基準階面積　95.20㎡
構造規模　RC、6F
工　　期　昭和57年12月－昭和58年7月

中村俊暉氏略歴
昭和16年9月16日大阪生まれ。大阪工業大学建築学科卒業。現在、エヌ建築設計事務所代表、大阪芸術大学建築学科講師。代表作品、天王寺の家(大阪市)、4丁目の家(吹田市)、曽根の家(豊中市)など。
（エヌ建築・大阪市南区久左衛門町33Nビル TEL 211－3444）







編集
北村恭一／大建設計
志方敬育／兵庫県

第30回工高生デザインコンクール入選作品

設計課題：街並みを考えた住宅

主　　催：日本建築協会

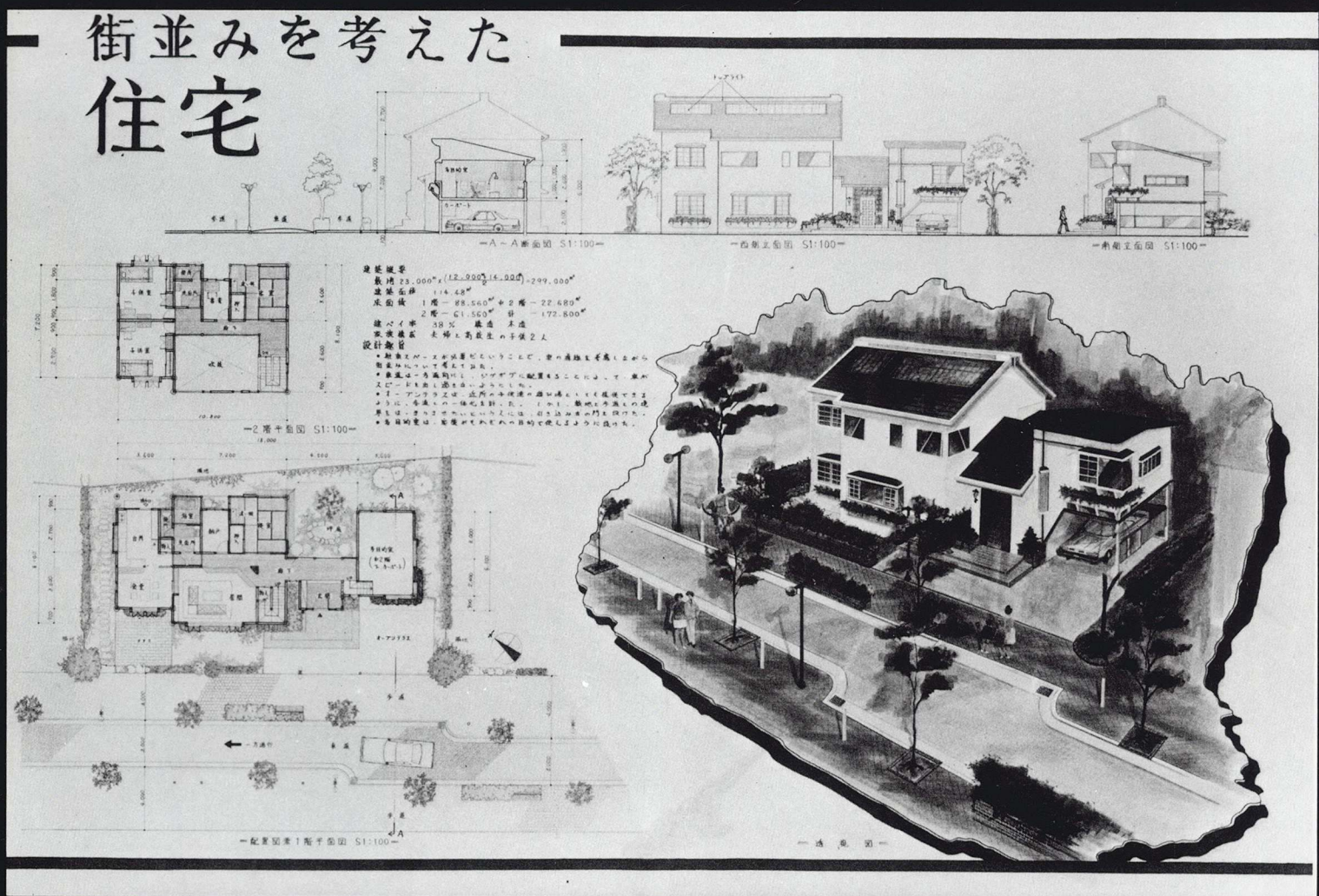
応募作品91点のうち、予備審査、第１次から第４次までの本審査を経て、入選作品10点を決定し、うち最優秀作品１点を選定した。

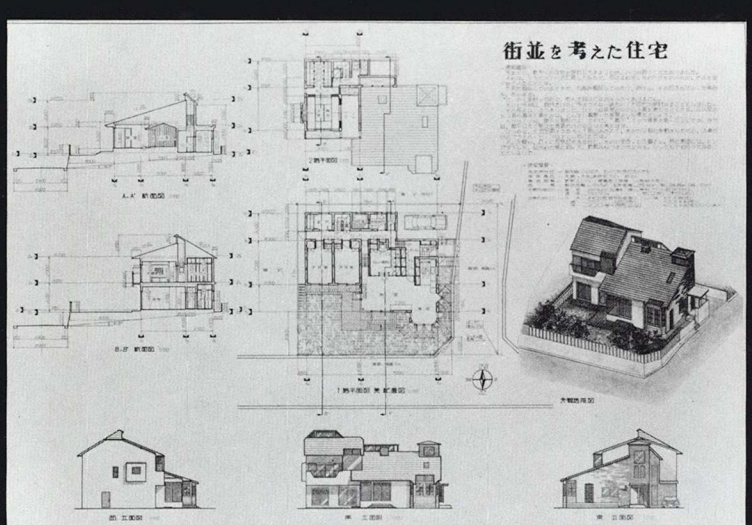
応募校数　18校　　**応募作品数**　91点
締 切 日　昭和59年９月20日
審 査 会　昭和59年10月13日
表 彰 式　昭和59年11月23日

審査委員長／小角　亨
審査委員／浅井　謙／出江　寛／太田隆信／加藤　力／狩野忠正／片倉健雄／高口恭行／徳岡昌克／平岡寿人／山崎泰孝／

（50音順・敬称略）

〔掲載順不同〕





△入選・最優秀賞　酒井隆治　（大阪市立都島工業高等学校・３年）

新しく開発される住宅地では敷地の区画方法にもっと工夫があってもよいと思い、駐車スペースやコミュニケーションの場が取りやすい敷地の形を考えた。敷地と道路の関係については歩道を広めに取り、サインポールを配して子供の遊び場として広い空間を取り、街並みに気を配った。外観は派手にならないようにし、近所の人々との交際のために玄関回りに工夫した。多目的室は、家族がそれぞれの目的でゆったりと使えるように中２階に設けた。線の力強さに欠けたので、入選はとても無理とあきらめていたのに、最優秀賞をもらえて大変うれしい。

◁入選　水野　豊　（愛知県立愛知工業高等学校・３年）

私は今回の設計課題の他に、次の５項目を満たす住宅を考えました。(1)暖炉の似合う住宅、(2)自然光を十分に取る、(3)ゆとりのある部屋割、(4)廊下について考える、(5)安定した外観。(1)は住む人に落ち着きと安らぎを与えます。廊下は吹抜けとし、キッチン上部にはトップライトを設け、２階にはサンルームを設けるなど太陽光線を十分に取り入れました。また、廊下はスキップさせることにより、移動空間から「部屋」となります。外観は２階部分を。切妻屋根、ＬＤＫ部の屋根は南北の長さを利用し片流れ屋根とし、安定感を得るための工夫をしました。

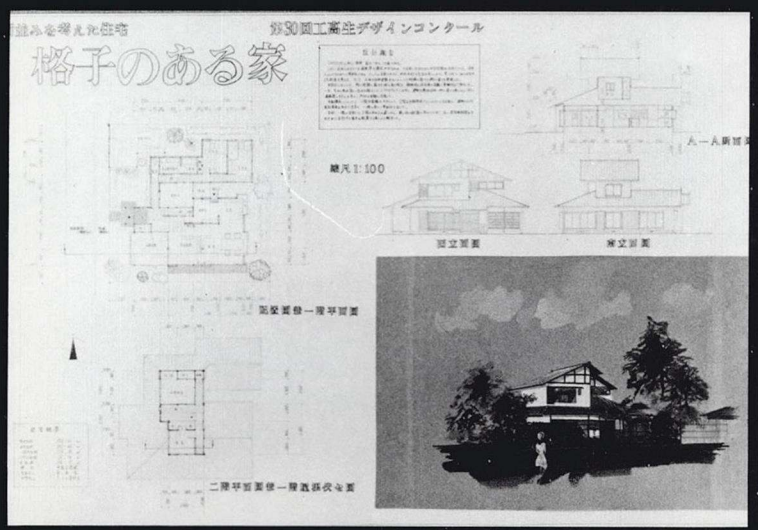
審査総評

自分さえよければ、他人の迷惑などかまわないという家が、街にも、建築雑誌にもはんらんしている。さすがに、今回は、敷地一杯にコンクリートの高い壁で囲って、中庭を設けるなどという案はなく、一安心したが、課題がむつかしかったせいか、応募案全体のレベルは、例年に比べて高いとは言えないのが残念であった。したがって、審査は街並みを考えることに余り力点を置かず、街並みも考えていて、住宅としてもまずまず及第点がとれる案を選ぶことになった。

石井案は、造型力といい、発想といい抜群の出来で、委員の中で最優秀に推す人が多数あったが、課題に対する取り組み方が弱かった。滝沢案は、グルーピングを考えた唯一の案であったが、造型力にかける。鈴木他案は、道路と庭の間に工夫がみられ、水野案は、外観に見るべきものがあった。最優秀に選ばれた酒井案は、車道や歩道に対する配慮がみられ、平面も無難にまとめられているが、造型力の研さんには、一層の精進をお願いしたい。

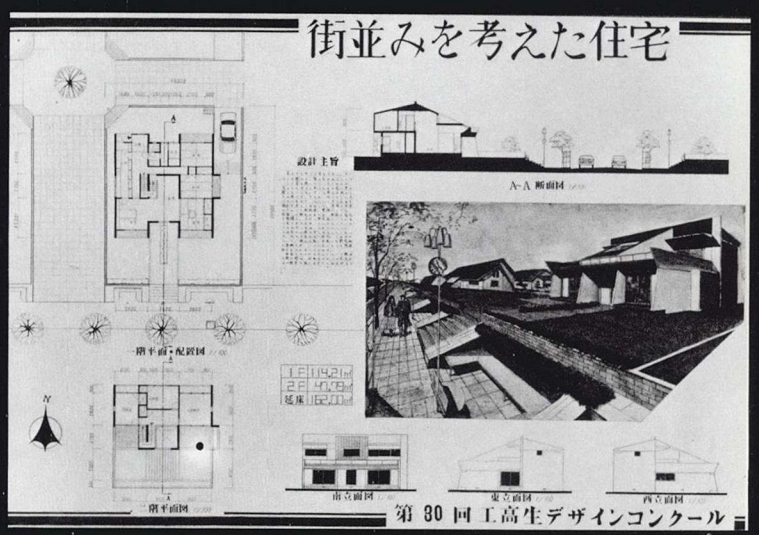
私は、15年間、毎年委員の一人として、このコンクールに参加させていただいてきたが、夏の暑いさかりにかかわらず課題に取り組まれる諸君の熱意には、かねがね敬意を払ってきた。これからも、今の初心を忘れず、ますます精進されることを心から願っている。

（審査委員長・小角　亨）



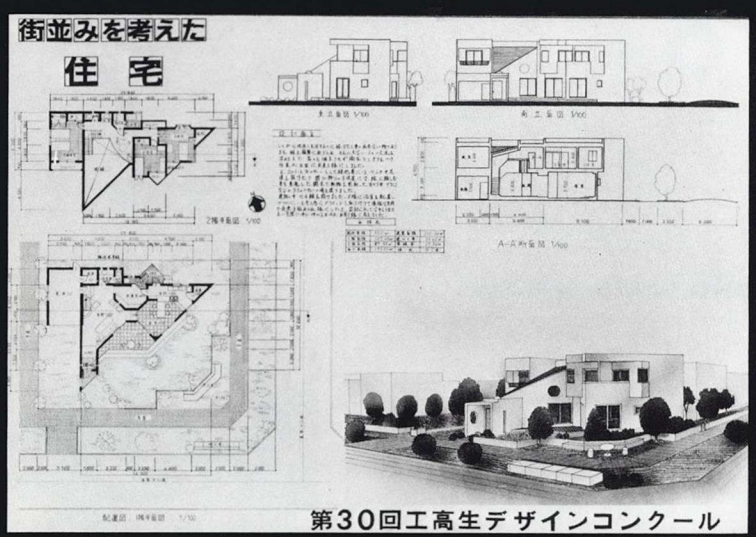
△入選　立川夏彦　（神奈川県立神奈川工業高等学校・2年）

僕は比較的古い住宅街で目にする半和風・半洋風の住宅が好きです。なぜなら、そこには洋風でも和風でもない一つの〝美〟が存在しているからです。そして、そこに当時の職人の体に染み込んでいる日本的部分を随所に感じることができます。このような家に少しでも近づければと、この作品を書きました。古来の日本建築をヒントに、街路に面する塀を取り除き、プライバシーは格子によって守り、建物を敷地一杯に建てることにより街に連続感とリズムを与え、内外の美観に注意しました。入選通知を受けた時、僕より友達が喜んでくれました。



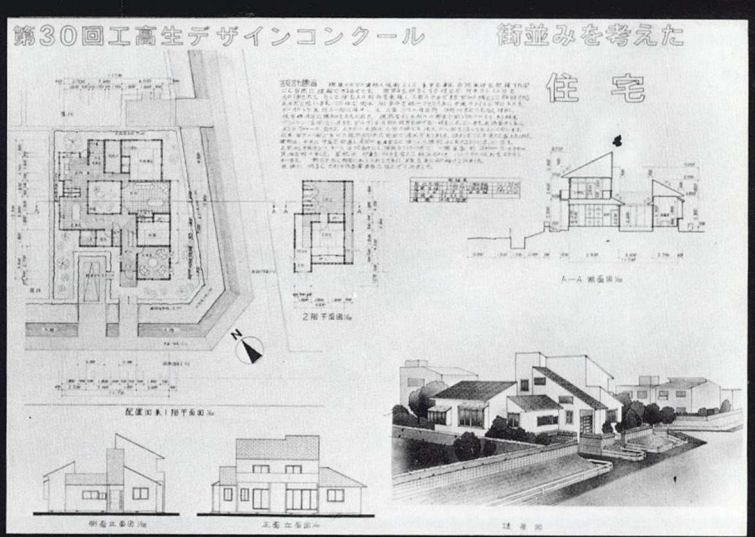
△入選　鈴木　篤史
小野里匡章　共同制作　（群馬県立高崎工業高等学校・3年）

このコンクールには、製図の授業の一端として参加しました。そのさいに住宅自体の設計はもとより、「街並み」にも重点をおき、常に「街並み」ということを考え設計しました。具体的には敷地と道路の使い方です。最近の住宅地はせまい敷地に家をたて、へいなどで空間の境界をつくり、閉鎖的に〝区画〟されています。そこでこのプランは、閉鎖的な空間をこわすことから始めました。広い敷地には遮蔽物はなく、広がる空間を感じさせ、その先の歩道は生活空間の延長としてとらえられ、〝家〟と〝外〟とのつながりを与えています。



△入選　佐藤典子　（群馬県立高崎工業高等学校・定時制・3年）

人々が心地よく生活するのに、緑は欠くことの出来ないものです。日頃から緑の中に家があるような所が理想だと思い、緑を主体として隣人などとの交流、触れ合いをも含めてこの設計にあたりました。建物全体としては緑を豊富に取り入れ、採光のために開口部を大きくし、玄関にはトップライトを付けました。1階はパブリックスペースで空間にリズムをつけるために床に高低差をつけました。2階はプライベートスペースで、居間が見えるホールに加えて浴室も設けました。周囲にはプライバシーを守る植樹を行い、往来が自由にできるようにしました。



△入選　田代和行　（群馬県立高崎工業高等学校・定時制・3年）

この住宅街は、街並みを統一させるために歩道のタイルと同じものをカーポートや生垣の一部に使用し、また、公園、バス停、休憩所などにも用い、境界線付近に暖かみをもたせました。建物は中央に中庭を設け、居間や食事室など団らんの場がよく見えます。外観は朝日を多く取り入れるために、正面を東に40度傾けて、全体に明るくさわやかな雰囲気に仕上げてみました。私は今年建築科3年に編入したばかりで、線1本引くにもまだまだ未熟です。作品を完成させることを念頭に参加しましたが、入選することができて、とてもうれしく思っています。

募集の趣旨

近年、市街地の景観も整えられてきて、街路樹や工夫を凝らした生垣、ストリート・ファニチャーなどに、生活に対する楽しみや、道行く人々への気配りといったものが感じられます。

古くは、歴史的な伝統をもつ町では、舗道の石だたみや、それに面する飾り窓、家々の格子戸や看板に至るまで、落着いた雰囲気が漂っています。

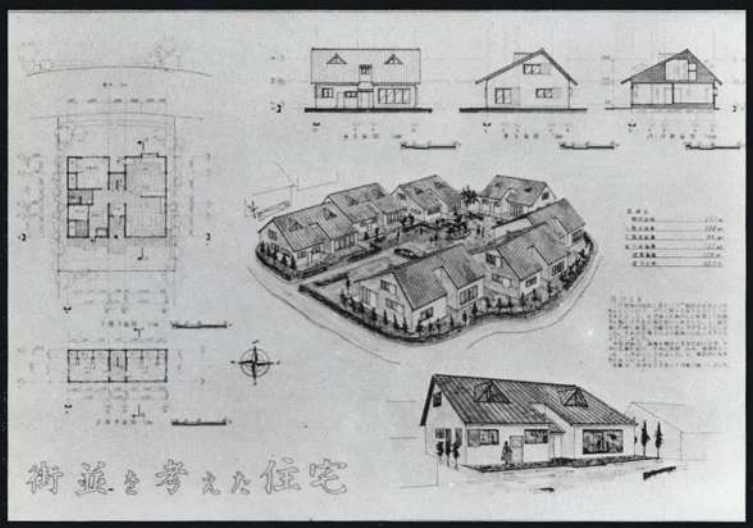
また、北の寒い地方では、厳しい気候からすこしでも身を守るための生活の知恵といった工夫がなされている家並みもあるでしょう。

これから開発される住宅地でも、人の顔や個性が違うように、住まいへの考え方もさまざまですが、街並みの景観に対して、すこしでも関心をもち、細やかな配慮がなされるよう望みたいものです。

今回の課題では、住宅の内部の設計も大切ですが、街並みのデザインにも考慮した提案を期待しています。

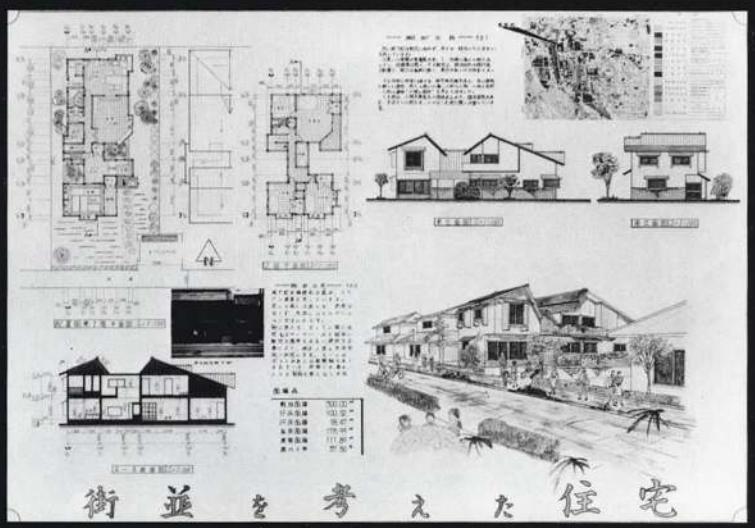
設計要項

1．敷　　地：新しく開発される住宅地の1区画を想定する。
　　面積は250～300㎡とする。
2．規　　模：独立住宅2階建。延べ面積150～180㎡。
　　そのほか、駐車スペースを設けること。
3．構　　造：自由とする。
4．家族構成：夫婦と中学、高校生の子供2～3人とする。



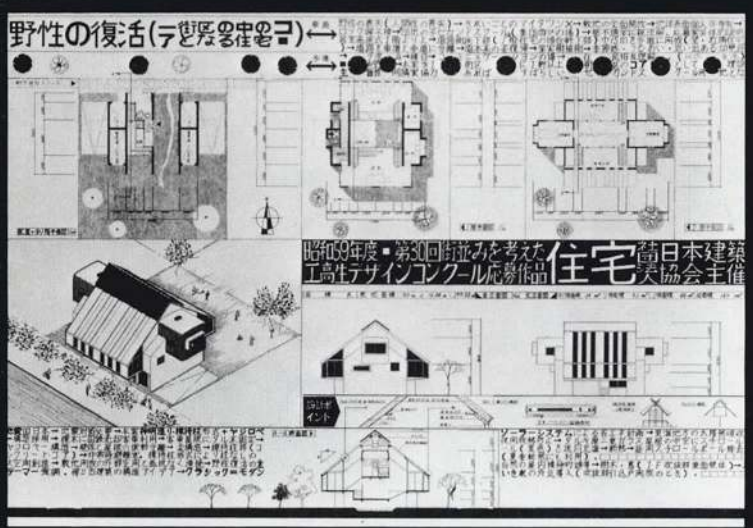
△入選　滝沢博久　（群馬県立前橋工業高等学校・3年）

「街並みを考えた住宅」という課題から、私は住宅そのものより、「街並み」を重視して考えました。そして周囲の家の人達が「いこいの広場」としての公園や、共同の駐車場を設け、各戸には必要のないようにし、庭が有効に使用できるようにしました。平面計画では、動線の短縮から、居間・食事室・台所をワンルームにしました。外観は屋根を洋風にしたり、天窓を設けて洋風にまとめてみました。今回の製図は別の課題等で取り組みが遅く、5日前に書き始め、3日で製図、2日でパースという具合でした。入選通知は信じられませんでした。



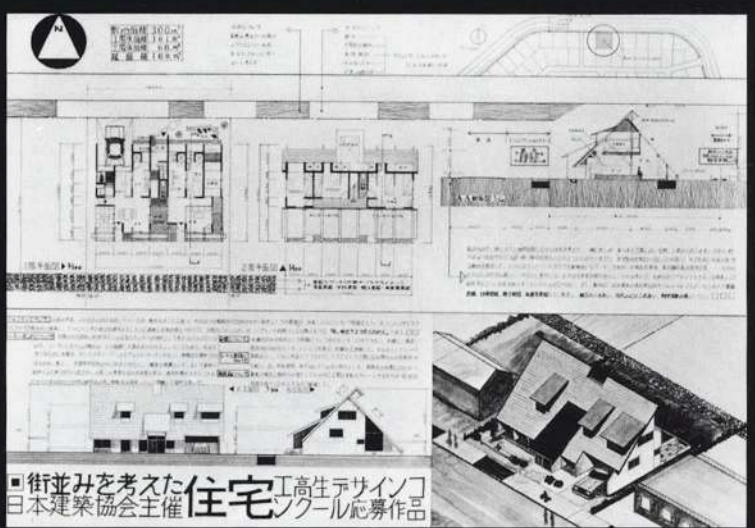
△入選　山本和清　（群馬県立前橋工業高等学校・3年）

今回のコンクールの課題から、特に「街並み」という点に着眼して設計しようと思いました。そこで考えたのが城下町です。戦災を受けていない古い城下町は、今でも明治のたたずまいを残しています。そんな街に将来につながる都市再開発を考え、古い建物と新しい建物、老人と若人、人間と人間、人間と自然、人間と建物など〝人間の都市〟を考えてみました。住宅は複合家族を対象としたもので、円みのスペースを最大限に利用し、家族や隣人とのふれあいを大切にしています。外部ではベンチやポストを設けて、憩いの場となるように計画しました。



△入選　石井光典　（静岡県立静岡工業高等学校・定時制・4年）

この設計の主テーマは、人間性復活→野性の復活→自然の復活です。自然こそ長い年月にわたり私達の体に住みついてきた心の安らぎであり、このような安らぎのある住宅が建つ街に私は住みたいと思います。そのために都会に田舎を持ち込み、だれもが気軽に立ち寄れるスペースを設けました。さらに、地球表面の個人非専有化を進めたいと思います。また地震にも強い街としたい。それには、各住宅が耐震的でなければなりません。形態としては、「棟持柱＋ヤジロベー構造」を提案します。古典建築から得たアイデアは素晴らしく、偉大さに感服しました。



△入選　石坂　智　（静岡県立静岡工業高等学校・定時制・4年）

級友の入選に刺激され、4年間の思い出に挑戦してみようと、仕事の合間や通学電車の中などをフルに利用して案をねり始めました。計画にあたり、私の住みたい街とは？と自問自答しながら、人間の心のふれあいのある街を形成する一軒一軒の住宅を考えました。そして、街並みのコミュニケーションや家族の団らん、さらには耐震・省エネ・採光・通風などによい三角形断面の空間とし、その骨組にはトラスの基礎上端じか付けが最適と思い設計に取り入れました。入選で4年間最大の思い出となりました。卒業後もさらに勉強していきたいと思います。

※上記入選者の感想文は、誌面の関係上委員会にて要約の上掲載しました。（文責・植田武／教育委員会幹事）

日本建築協会法規委員会
編集委員会法令分科会

法令コーナー

質疑などの投稿をお待ちしております。

2月号から〝法令用語解説コーナー〟スタート

編集委員会法令分科会では、法令用語の解説コーナーを、法令コーナーの一隅に設けることを企画し、2月号からスタートさせる予定です。

201

基礎設計に関する指導基準（その2）

第3章　杭基礎

(4)　周辺摩擦力

周辺摩擦力を支持力に算入する場合には、算入しようとする地盤について、次の各号が満足されていることが必要である。

a．地震時に液状化するおそれがないこと

b．当該地盤の下に軟弱な粘性土地盤がないこと

c．砂質土の場合は標準貫入試験、粘性土の場合は一軸圧縮強度試験がなされていること

d．$\overline{Ns}$及び$\overline{q_u}$の算定に用いるN値およびq_u値の上限が告示の規定を満足していること

(5)　負の摩擦力

負の摩擦力を考慮する必要がある場合は、昭和50年1月7日付け建築指導課長通達住指発第2号「負の摩擦力を考慮したくいの設計指針について」に基づいて指導するものとする。

(6)　引抜き抵抗力

杭の引抜き抵抗力については、学会基準第27条に基づいて指導するものとする。すなわち載荷試験を行わない場合、杭自重のみを引抜き抵抗力とする。

(7)　長期許容支持力の決定

載荷試験によって長期許容支持力を決定する場合には、

・載荷試験による極限支持力の1/3

・杭体の長期許容応力

のうちいずれか小さなものとするほか、支持地盤の状況、載荷試験の方法・数量等の諸条件を勘案して決定しなければならない。

載荷試験を行わない場合には、

・支持力算定式によって求めた長期許容支持力

・杭体の長期許容応力

のうちいずれか小さなものとする。

(8)　杭体の長期許容応力及びその低減

杭体の長期許容応力およびその低減については昭和59年11月1日付け建築指導課長通達住指発第392号による。（耐力表は省略）

(9)　施工法による杭の分類

埋込み杭――プレボーリングセメントミルク工法

場所打ち杭

- オールケーシング工法、アースドリル工法
- リバースサーキュレーション工法
- その他の掘削機による工法、深礎工法

特殊工法による杭

- 中掘セメントミルク工法、ジェット工法
- プレボーリング打撃工法、中掘打撃工法

2．埋込み杭（セメントミルク工法）

(1)　支持力算定式

支持力算定式は告示による。

(2)　施工法

施工法については、日本建築センター「埋込み杭施工指針・同解説―セメントミルク工法―」によるよう指導するものとする。

セメントミルク工法による最大杭先端支持力表（t/本）

		杭径（mm）					
		300	350	400	450	500	600
$\overline{N}$値	60	28	38	50	63	78	113
	50	23	32	41	52	65	94
	40	18	25	33	42	52	75
	30	14	19	25	31	39	56

$Ra=qpAp=20/3\cdot\overline{N}\cdot Ap+RF/3$によって求めたものである。

3．場所打ち杭

(1)　支持力算定式

支持力算定式は次式のとおりとする。

$Ra=\frac{1}{3}\{15\beta\cdot\overline{N}Ap+\overline{Ns}Ls/5+\overline{qu}Lc/2)\phi\}-W$

β：$d\leqq1.5$mのとき1

1.5m$<d\leqq$4.0mのとき$1-0.3(d-1.5)/2.5$

W：杭自重（排土重量を差し引いた値でよい）

ただし、Raは次表の値を超えることができない。

場所打ちコンクリート杭最大耐力表（t/本）

工法	杭径（m）						
	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3
A	96	125	159	196	237	282	331
B	86	113	143	176	213	254	298
工法	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0
A	384	441	502	567	636	708	785
B	346	397					

注1）工法Aはアースドリル、リバース、ベノトの各工法、Bはそれら以外の工法をいう。

2）支持地盤がN値50以上の砂れき層の場合で、工法Aは250t/m²に、Bは225t/m²にApを乗じて求めたものである。

3）杭の長さ径比（L/d）が60を超えるときは、上表の値から（$L/d-60$）%を減じた値とする。

(2)　BH工法の取扱い

BH工法による場合は、(1)の支持力算定式による値（225t/m²を超える場合は225t/m²とする。）と告示の第3－1－(4)式による値とのうちいずれか小さなものを許容支持力とする。

(3)　深礎工法の取扱い

深礎工法による場合は、許容支持力の上限を100t/m²とする。

(4)　構造細目

・主筋のかぶり厚さは10cm以上とし、スペーサ等により確保する。

・主筋は、6本以上とする。

・主筋の鉄筋比は、全長にわたり0.4%以上とする。

・帯筋はD10以上とする。

・帯筋の間隔は、30cm以下とする。ただし、基礎版下端から杭頭の直径の5倍以内の部分は、15cm以下とする。

・主筋の重ね継手及び基礎版への定着の長さは、主筋の径の40倍（異形鉄筋の場合は35倍）以上とする。

・杭の中心間隔は、杭頭の直径の2倍以上、かつ杭頭の直径に1.0mを加えた値とする。

・基礎版外端から杭表面までの距離は、原則として30cm以上とする。

・杭頭は基礎版内へ10cm以上入れること。

4．打込み杭

(1)　支持力算定式

支持力算定式は告示による。

(2)　開端杭の取扱い

先端が開放されている杭の先端閉そく効果を考慮した有効断面積は下記による。

a．遠心力コンクリート杭、遠心力プレストレストコンクリート杭

$2\leqq H/d_i$のとき　$Ap=0.25\pi d^2$

$1\leqq H/d_i<2$のとき　$Ap=0.20\pi d^2$

H：支持地盤への根入れ深さ（m）

d_i：杭の内径（m）

b．鋼管杭（$d\leqq0.70$のもの）

$2\leqq H/d_i\leqq5$のとき　$Ap=0.04\pi dH$

$5<H/d_i$のとき　$Ap=0.20\pi d^2$

H：N値が50以上の支持地盤への根入れ深さ（m）

5．特殊工法の取扱い

(1)　建設大臣の認定を受けた工法の取扱い

許容支持力について建築基準法第38条の規定による建設大臣の認定を受けた工法については、支持力算定式は当該認定のとおりとするほか、施工法、使用権料、支持地盤等について認定内容どおりであることを確認することが必要である。

(2)　その他の工法の取扱い

(1)以外の工法については、載荷試験を行って許容支持力を決定するのが望ましいが、やむをえず載荷試験を行わない場合は、支持力算定式は次のうち小さな値となるものを用いる。

a．$Ra=20/3\cdot\overline{N}\cdot Ap$

b．$Ra=qa\cdot Ap+RF/3$

6．異形摩擦杭

異形摩擦杭の載荷試験を行わない場合の長期許容支持力は、下表の値と杭体の長期許容応力とのうちいずれか小さなものとする。

異形摩擦杭長期許容支持力表

N	土質	長期許容支持力（t/m）	長期許容支持力の上限値（t/本）
$8\leqq N$	（すべて）	2.0	12
$3<N<8$	砂または粘土質砂	1.5	12
	上記以外	1.0	8

注1）Nは全長にわたるN値の平均値。

2）杭先端の地盤の性状は一切考慮しない。

3）継ぎ杭は認めない。

〈おわり〉

（大阪市総合計画局建築指導部審査課構造強度係　葛原栄一）

日本建築協会建材委員会

新建材紹介コーナー

《新建材紹介　№116》

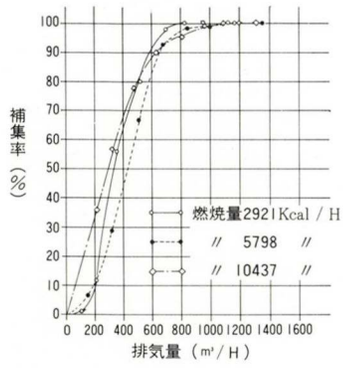
調理用下引き排気装置『ハイキエース』

日本ステンレス株式会社

本　　社　東京都新宿区本塩町８－２　Tel 03－358－2644

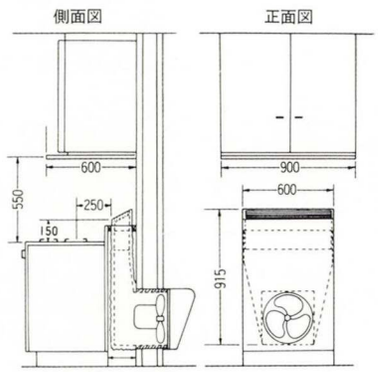
大阪支店　大阪市東区北浜５－22　Tel 06－220－8676

図－１　補集率－排気量曲線





図－２　規格品標準寸法



最近は私達の食生活も大分変わり、焼物のほか油を使った揚物やいためものが多くなり、従来の換気扇やレンジフードではその位置がレンジの上方で火源からの距離もかなりあるため、上昇した煙や気化した油や臭いなどは広範囲に拡散してしまう欠点がある。これらの欠点を解決すべく登場したのが標記の排気装置、商品名「ハイキエース」で、その特徴は下記のとおりである。

1　特徴

①**補集率が高い**：調理にともなって発生する煙や気化した油などをその発生直後に捉えて、99.8%以上（約800m³/H以上の場合）の補集率で屋外に排出するので煙や臭いが室内に残らない。

②**油汚れが少ない**：発生した煙や油の極微粒子をきれいな空気で包みこむようにして速い流速（5m／s）で排出するため、排気ダクトや換気扇などに油滴が付着しにくく、油汚れが大幅に減少し、清掃の手間が大いに軽減される。

③**防災上も有利**：上記と同様の理由でレンジ上方の熱受板はもとより、排気ダクト内の温度もあまり上がらない。又うっかり天ぷら油に火が入り炎が上がっても、その炎は上方にのびることなく後方の吸込口に向かって吸いこまれてゆくため、調理者等は安心してガスの元栓を閉じ、濡れタオル等を用いた消火方法なども容易に行うことができる。

④以上のほか、ガスレンジ上方のフードが省略できるので、熱受板上方の空間を戸棚などの収納空間として利用できる利点が考えられる。

2　公的機関による試験結果

①「（財）住宅部品開発センター」による性能試験報告書（昭58－5.第570167号及び同59－5.第580203号）、により、図－１の「補集率――排気量曲線」に示す試験結果が得られている。

②日本建築センター防災性能評定（№ＢＣＪ－防災－146）により昭和45年建設省告示第1826号第３、第５号(1)イ～ハの規定により設けられた排気フードと同等以上の換気性能を有すると認定された。(昭59年７月12日)

ただし認定の条件としては、

ⓐ同上告示に規定される換気扇等の有効換気量算定方法を次式で求められる有効換気量Ｖ（m³／ｈ）以上の値とすること。

Ｖ＝Ｋ×Ｑ、　ここにＫは燃料の単位燃焼量当たりの理論廃ガス量に30を乗じた値（m³／Kcal 又はm³／kg）

Ｑは火を使用する設備又は器具の実況に応じた燃料消費量（Kcal／h 又はkg／h）。

ただし、Ｖの値は300（m³／ｈ）以上とすること。

ⓑ排気の対象とするレンジ等の幅は吸込口の幅（600㎜）以下のものとすること。

③上記の評定結果に基き、現在建築基準法第38条に基く建設大臣の特認を申請中とのことである。

3　規格品標準寸法及び標準タイプ

規格品標準寸法は図－２に、又標準タイプは図－３に示すとおり。

図－３　標準タイプ



4　今後の検討課題

①現在のところ標準の直下引タイプで、価格が約25万円と相当に高いので、今後量産化等によりその低廉化が望ましい。

②排気による騒音は、設置室内において37～52phon（排気量約360～960m³/hの場合）で、他の換気扇の場合の平均約60phonに比し比較的低いが、排気ファンの外方における騒音及び排気ガスが隣家等に与える影響について検討し、設置に関する留意条件を明らかにすること。

③現在のタイプでは一戸建住宅を対象としているが、将来は中高層共同集合住宅にも設置できる方法についても検討すること。

④設置利用の実績については、昭和58年より一般に市販されているが、モニターとして利用されているものでは３～８年に及ぶものがあるとのことである。今後もさらに実際に使用中の実状について追跡調査する必要がある。

建材委員／堀内三郎（関西大学）

建築と社会 ニュース

ニュース原稿をお送りください。

第16回中部建築賞

昭和59年度（第16回）中部建築賞の入賞作品（一般部門10点）および入選作品（一般部門８点・住宅部門２点）が決まった。中部建築賞は、昭和59年３月31日までに中部圏で竣工した作品を対象とし、応募数は、一般部門が74作品、住宅部門が22作品であった。

表彰式は、昭和59年12月４日に、名鉄グランドホテル11階にて開催された。

入賞作品（一般部門）10点

①設計：国分設計　施工：大成建設
②設計：建築計画連合、石本建築事務所
施工：鹿島建設
③設計：日建設計　施工：竹中工務店
④設計：坂倉建築研究所　施工：飛島・兵善建設JV
⑤設計：富家建築事務所　大屋建築設計事務所　五井建築設計研究所　施工：清水建設・真柄建設
⑥設計：竹中工務店　施工：竹中工務店
⑦設計：岡設計　施工：日本国土開発
⑧設計：RIA建築綜合研究所　施工：木内建設
⑨設計：日建設計　施工：佐藤工業
⑩設計：佐藤武夫設計事務所　施工：飛島建設



①名古屋学院大学チャペル　瀬戸市上品野町



⑥辰口芳珠記念病院　石川県能美郡



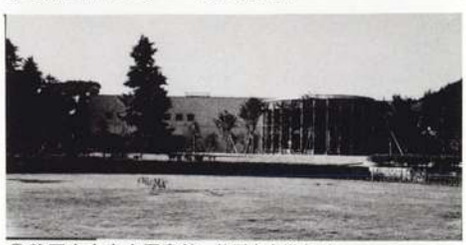
②知多市民病院　知多市新知字永井地内



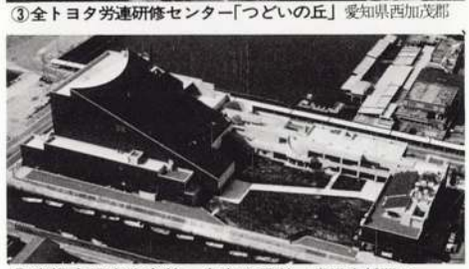
⑦恵那文化センター　恵那市長島町



③全トヨタ労連研修センター「つどいの丘」愛知県西加茂郡



⑧静岡市立中央図書館　静岡市大岩本町



④常滑市民文化会館・中央公民館　常滑市新開町



⑨富山市立富山市民病院　富山市今泉

入選作品（住宅部門）２点



⑲内坪のある家　豊田市美里



⑳永井邸　石川県石川郡



⑤石川県立美術館　金沢市出羽町



⑩福井県立博物館　福井市大宮２丁目

入選作品（一般部門）８点



⑪衣浦斎園　碧南市大坪町



⑬清水市庁舎　清水市旭町



⑮ダイハツ健康保険組合「びわ湖荘」　滋賀県滋賀郡



⑰今立町立図書館・歴史民俗資料館　福井県今立郡



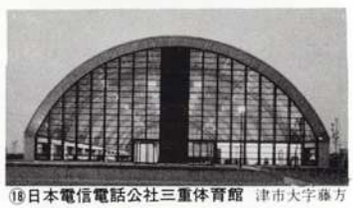
⑫鳥越村営住宅別宮宮ノ森団地　石川県石川郡



⑭静岡市南部地域複合センター　静岡市曲金



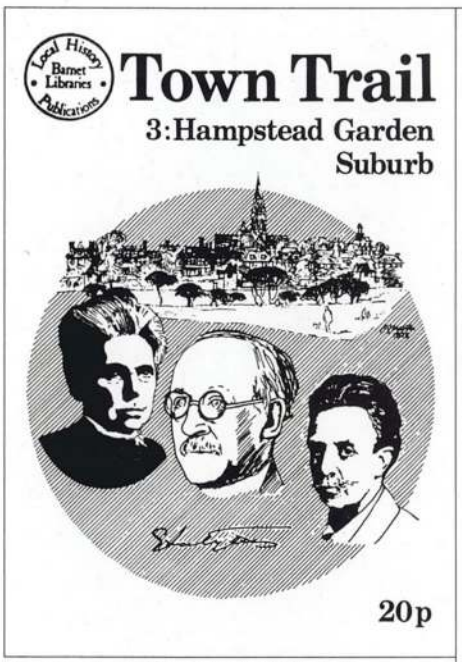
⑯松本市教育文化センター　松本市大字里山辺



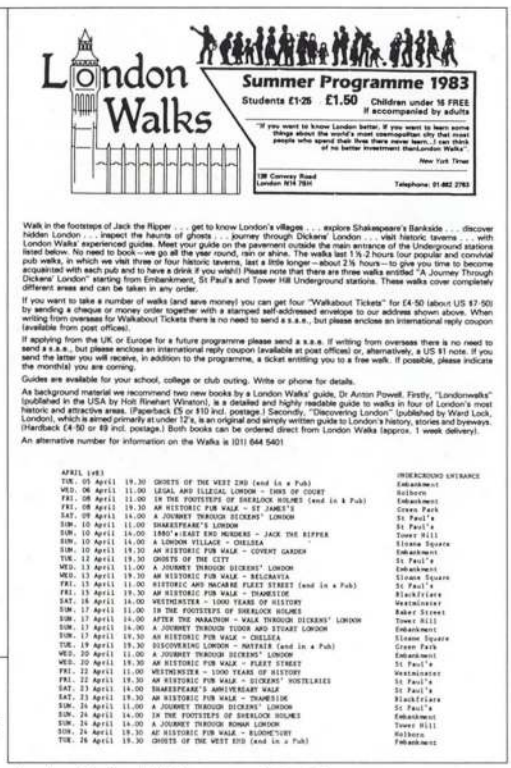
⑱日本電信電話公社三重体育館　津市大字藤方

西村 一朗

London Walks ——文化的散歩のすすめ——



「タウン・トレイル」(町歩き)の解説付地図表紙(ハムステッド田園郊外)
中央左から発起者デーム・ヘンリエッタ・バーネット、建築家サー・エドウィン・ルチャン、都市計画家サー・レイモンド・アンウィン(バーネット図書館刊、20ペンス〔70円〕)


London Walks
Summer Programme 1983
Students £1·25 £1.50 Children under 16 FREE
If accompanied by adults
"If you want to know London better. If you want to learn some things about the world's most cosmopolitan city that most people who spend their lives there never learn...I can think of no better investment than London Walks."
New York Times
139 Conway Road
London N14 7EH
Telephone: 01-882 2763
Walk in the footsteps of Jack the Ripper . . . get to know London's villages . . . explore Shakespeare's Bankside . . . discover hidden London . . . inspect the haunts of ghosts . . . journey through Dickens' London . . . visit historic taverns . . . with London Walks' experienced guides. Meet your guide on the pavement outside the main entrance of the Underground stations listed below. No need to book — we go all the year round, rain or shine. The walks last 1½-2 hours (our popular and convivial pub walks, in which we visit three or four historic taverns, last a little longer — about 2½ hours — to give you time to become acquainted with each pub and to have a drink if you wish!) Please note that there are three walks entitled "A Journey Through Dickens' London" starting from Embankment, St Paul's and Tower Hill Underground stations. These walks cover completely different areas and can be taken in any order.
If you want to take a number of walks (and save money) you can get four "Walkabout Tickets" for £4·50 (about US $7·50) by sending a cheque or money order together with a stamped self-addressed envelope to our address shown above. When writing from overseas for Walkabout Tickets there is no need to send a s.a.e., but please enclose an international reply coupon (available from post offices).
If applying from the UK or Europe for a future programme please send a s.a.e. If writing from overseas there is no need to send a s.a.e., but please enclose an international reply coupon (available at post offices) or, alternatively, a US $1 note. If you send the latter you will receive, in addition to the programme, a ticket entitling you to a free walk. If possible, please indicate the month(s) you are coming.
Guides are available for your school, college or club outing. Write or phone for details.
As background material we recommend two new books by a London Walks' guide, Dr Anton Powell. Firstly, "Londonwalks" (published in the USA by Holt Rinehart Winston), is a detailed and highly readable guide to walks in four of London's most historic and attractive areas. (Paperback £5 or $10 incl. postage.) Secondly, "Discovering London" (published by Ward Lock, London), which is aimed primarily at under 12's, is an original and simply written guide to London's history, stories and byeways. (Hardback £4·50 or $9 incl. postage.) Both books can be ordered direct from London Walks (approx. 1 week delivery).
An alternative number for information on the Walks is (01) 644 5401
APRIL 1983
TUE. 05 April 19.30 GHOSTS OF THE WEST END (end in a Pub) Embankment
WED. 06 April 11.00 LEGAL AND ILLEGAL LONDON - INNS OF COURT Holborn
FRI. 08 April 11.00 IN THE FOOTSTEPS OF SHERLOCK HOLMES (end in a Pub) Embankment
FRI. 08 April 19.30 AN HISTORIC PUB WALK - ST JAMES'S Green Park
SAT. 09 April 14.00 A JOURNEY THROUGH DICKENS' LONDON St Paul's
SUN. 10 April 11.00 SHAKESPEARE'S LONDON St Paul's
SUN. 10 April 14.00 1880's-EAST END MURDERS - JACK THE RIPPER Tower Hill
SUN. 10 April 14.00 A LONDON VILLAGE - CHELSEA Sloane Square
SUN. 10 April 19.30 AN HISTORIC PUB WALK - COVENT GARDEN Embankment
TUE. 12 April 19.30 GHOSTS OF THE CITY St Paul's
WED. 13 April 11.00 A JOURNEY THROUGH DICKENS' LONDON Embankment
WED. 13 April 19.30 AN HISTORIC PUB WALK - BELGRAVIA Sloane Square
FRI. 15 April 11.00 HISTORIC AND MACABRE FLEET STREET (end in a Pub) St Paul's
FRI. 15 April 19.30 AN HISTORIC PUB WALK - THAMESIDE Blackfriars
SAT. 16 April 14.00 WESTMINSTER - 1000 YEARS OF HISTORY Westminster
SUN. 17 April 11.00 IN THE FOOTSTEPS OF SHERLOCK HOLMES Baker Street
SUN. 17 April 14.00 AFTER THE MARATHON - WALK THROUGH DICKENS' LONDON Tower Hill
SUN. 17 April 14.00 A JOURNEY THROUGH TUDOR AND STUART LONDON Embankment
SUN. 17 April 19.30 AN HISTORIC PUB WALK - CHELSEA Sloane Square
TUE. 19 April 19.30 DISCOVERING LONDON - HAYMAIN (end in a Pub) Green Park
WED. 20 April 11.00 A JOURNEY THROUGH DICKENS' LONDON Embankment
WED. 20 April 19.30 AN HISTORIC PUB WALK - FLEET STREET St Paul's
FRI. 22 April 11.00 WESTMINSTER - 1000 YEARS OF HISTORY Westminster
FRI. 22 April 19.30 AN HISTORIC PUB WALK - DICKENS' HOSTELRIES St Paul's
SAT. 23 April 14.00 SHAKESPEARE'S ANNIVERSARY WALK St Paul's
SAT. 23 April 19.30 AN HISTORIC PUB WALK - THAMESIDE Blackfriars
SUN. 24 April 11.00 A JOURNEY THROUGH DICKENS' LONDON St Paul's
SUN. 24 April 14.00 IN THE FOOTSTEPS OF SHERLOCK HOLMES Embankment
SUN. 24 April 14.00 A JOURNEY THROUGH ROMAN LONDON Tower Hill
SUN. 24 April 19.30 AN HISTORIC PUB WALK - BLOOMSBURY Holborn
TUE. 26 April 19.30 GHOSTS OF THE WEST END (end in a Pub) Embankment

London Walks 広告リーフレットの一部

私は、ロンドン滞在中、歩きに歩いたと言って良い。おかげで靴一足はきつぶしたし、体調を崩して一時静養した程だった。これは、出発前に翻訳出版したゲデスの『進化する都市』(鹿島出版刊)に影響されなかったと言えば嘘になるだろう。そこでは、各都市を実際に目で見、確かめることの重要性が指摘されている。周知の如く、有名な都市文明史家ルイス・マンフォードも「師」ゲデスの示唆にしたがいニューヨーク等をくまなく歩いて『都市の文化』等の名著をものしている。ゲデス自身は、少年のころスコットランド峡谷を父親とともに200マイルも歩きまわっている。

もう一つ、私は『国土研』(木村春彦京都教大名誉教授=代表)の思想「住民主義、現地主義、総合主義」に共鳴していて、地域計画を勉強するには、文献、統計、アンケート調査のみだけでなく、実際に現場を「六感」(五感プラス第六感)すべてを使って体験する必要があると思っていたからでもある。おかげで、「味覚」で確かめる意味で行く先々で地域の「パブ」に入り、ビールも飲まざるをえず(?)それが重なって体調を崩したのだった。

それはさておき、ロンドンには歩き回りたい所が多すぎて、いくら時間があっても足らない位である。そのため、歩き方のガイドとなる著書も多く発行されている(例えば『London Walks』G. Williams. 1981.など)。やや専門的な本『A guide to the structure of London』でも「Town trails」として、6つばかりのモデルを提示している。

もう少し、大衆的、文化的なものとしては、そのものずばりの「London Walks」というプログラムがあり、毎日数ルートを企画し、参加者を募っている(ビラ参照)。参加費は、1.5ポンド(学生1.25ポンド、16才以下の随伴者無料)という安さである。このWalkは、指定された地下鉄駅の出口に指定時刻に集まり、お金を払って説明者から資料をもらい、説明者について回るものである。

上に紹介したビラが手に入らない場合、新聞『The Times』を見るのも一つの方法である。というのは、この新聞の最終ページに「The Times Information Service」という下半分全部を使った欄があり、円ーポンドレイトや天気予報、その日の主な行事、他紙の概要などを要領良くまとめているからである。他の記事がややサッチャーべったり(?)で鼻もちならない事があるとしても、この欄だけは大変便利で、私は、その日の「行動修正」に大いに使っていた。この中の「Today's events」の欄に、Royal engagements(王室予定)、New exhibition(新展示会)、Talks, Lectures(講演)、Music(音楽)などとともにWalksの項目も含まれているのである。

これらのWalksの内容を見ると、「シェークスピアのロンドン」、「ロンドンの幽霊」、「ディケンズのロンドン」、「歴史的パブ散歩」などが繰りかえし出てくる。これらは、ロンドン市民に最もポピュラーなWalksのテーマとなっているのである。

ある日、地下鉄Holborn駅から出てくると、丁度あるWalkが始まるところであった。私はその日、Lincoln's Inn Fieldsに面する建築家Soanの博物館に行く予定だったが、少しついて歩いてみることとした。どうも、これは「ディケンズのロンドン」のパーティーだった。つかず離れず歩いてゆくと、やがてLincoln's Inn Fieldsへ出て、ある一軒の前で止まり引率者がその建物を見上げながら説明していた(写真)。すぐ近くには、私の通っていたLSE(ロンドン大学)の裏にディケンズゆかりのアンティークの店もあった(写真)。

私は時間の都合でそこで別れてSoan博物館に行った。そして、他日ディケンズWalkをしてみようと思ったが、果たせなかった。ディケンズは、シェークスピアとともにイギリス人に最も人気のある作家で、特に19世紀のイースト・ロンドンの庶民生活を知る上では欠かせない人物である。もう一人19世紀のロンドンを知る上での巨人として、イギリス人にとっては外人であるが、ロンドンに滞在し偉大な業績を残したカール・マルクスがいる。

私がロンドンにいた1983年は歿後100周年にあたっていていろいろな行事があった。BBCも『Marx in London』(Asa Briggs著)という本を発行し、放送でも特集番組を組んでいた。私もこの本を買い、彼の眠るハイゲート墓地をはじめいくつかの所に行ってみた。

以上のような、いわば文化的Walkのほか、専門にも関連し、住宅地もいろいろと歩いた。それらを詳説する紙幅はないが、初期の「ハムステッド・ガーデン・サバーブ」には感銘し、2度ほど歩いた。これについては、地域の博物館・図書館が「郷土史研究会」と協力して立派な「歩き方案内書」を発行していた(図参照)。

今度ロンドンを訪れたら、もう1度ゆっくりWalkをしてみたいと思うとともに、わが日本でも「大阪をあんじょうする会」でやっているWalkなども参考にしつつ、建築・住居を学ぶ人々のためにさまざまなWalkを発掘、企画してゆきたいものだ、と考えつつある。 (続く)

(にしむら いちろう/奈良女子大学助教授・住居学)



Lincoln's Inn Fieldsでのディケンズ・ウォークの人々(左端は、58番地のディケンズゆかりの建物) その右(中央)は、Inigo Jones作とみられる1640年建設のLindsey House



ディケンズゆかりの木造の「古道具屋」(Lincoln's Inn Fields, LSE〔ロンドン大学〕の近く)

謹賀新年

昭和60年元旦

(50音順)

青山幸夫

株式会社 青山建築積算事務所 代表取締役
〒550 大阪市西区京町堀1-10-19江南ビル 電話06(443)0430
〒610-11 自宅・京都市西京区大原野上里勝山町14-6
電話075(331)8682

浅井泰

株式会社 笠谷工務店 専務取締役
〒659 芦屋市業平町4－1 電話0797(22)0703
〒659 自宅・芦屋市翠ヶ丘町13－5 電話0797(22)5291

浅野真澄

株式会社 浅野建築設計事務所 代表取締役
〒543 大阪市天王寺区城南寺町5－35 電話06(768)0201代
〒572 自宅・寝屋川市成田西町4－21 電話0720(31)1750

淺沼茂夫

株式会社 淺沼組 取締役社長
〒543 大阪市天王寺区東高津町12番6号 電話06(768)5222
〒168 自宅・東京都杉並区下高井戸3丁目17番1号
電話03(302)1922

淺沼誠夫

株式会社 淺沼組 取締役副社長
〒543 大阪市天王寺区東高津町12番6号 電話06(768)5222
〒630-02 自宅・奈良県生駒市東松ヶ丘7番30号
電話07437(4)5556

代表取締役会長 浅海正雄
代表取締役社長 森川禮次郎

浅海電気株式会社
〒530 大阪市北区西天満3丁目7番4号 電話06(362)8701
〒665 自宅・宝塚市御殿山2丁目31番50—109号
電話0797(85)0745
〒565 自宅・豊中市新千里北町2丁目32番3号
電話06(831)2732

姉川正男

東光電気工事株式会社大阪支社 監査役 (大阪駐在)
〒541 大阪市東区高麗橋5丁目28番地 電話06(202)0325
〒565 自宅・吹田市藤白台4の30の12 電話06(872)3214

安部恒夫

安部建設株式会社 取締役社長
〒559 大阪市住之江区西住之江2丁目7番5号 電話06(678)3212～4
〒559 自宅・大阪市住之江区西住之江2丁目7番5号
電話06(671)7774

井上秋次

井上窯業株式会社 代表取締役
〒543 大阪市天王寺区生玉町11番28号 電話06(771)2825代
〒659 自宅・芦屋市川西町4番23号 電話0798(22)5930

飯田精次郎

共同設計株式会社 代表取締役
〒530 大阪市北区西天満5丁目10番14号 電話06(364)5836
〒560 自宅・豊中市本町2丁目2番24号 電話06(852)5775



落穂ひろい 1855 エッチング

ミレー作品7点

生島道春

社団法人 日本建築積算協会関西支部 支部長
〒542 大阪市南区鰻谷中之町62番地 市川ビル2F
電話06(245)6645

諫早信夫

フドウ建研株式会社 相談役
〒110 東京都台東区台東1－2－1 日本地所第二ビル
電話03(835)2661
〒541 大阪市東区平野町5－30 不動ビル 電話06(201)3737
〒157 東京都世田谷区南烏山2－18－4 電話03(300)3705

泉沢哲史

株式会社 泉沢建築設計事務所 代表取締役
〒530 大阪市北区神山町14番3号 木津信ビル
電話06(364)9071代

礒岩武

大機建材工業株式会社 代表取締役
〒666 兵庫県川西市久代6丁目1番16号 電話0727(70)8563
〒665 自宅・宝塚市中山台2丁目18番9号
電話0797(88)3698

市川繁雄

日本管工業株式会社 取締役社長
〒601 京都市南区西九条豊田町20 電話075(681)5101～6
〒606 自宅・京都市左京区下鴨芝本町37 電話075(781)0289

市川宏

株式会社 東畑建築事務所 取締役社長
〒541 大阪市東区伏見町5－19 電話06(202)0391
〒658 自宅・神戸市東灘区住吉山手4丁目4－32
電話078(811)0216

指宿真智雄

株式会社 建築デザイン1級建築士事務所 代表者
〒564 吹田市江坂町1丁目23番101号 大同生命ビル
電話06(386)1311代
〒606 京都市左京区下鴨北野々神町8－5 電話075(781)6573

今井忠臣

イマヰ建設工業株式会社 代表取締役
〒547 大阪市平野区加美北5丁目11番12号 電話06(792)4425
〒547 大阪市平野区平野北2－9－15 電話06(792)4404

今西茂雄

株式会社 今西建築デザインルーム 代表取締役
〒550 大阪市西区南堀江1丁目22番17号電話06(541)3051～3

謹賀新年

昭和60年元旦　(50音順)

取締役会長 今村　騰
取締役社長 平木　寛
中央電気工業株式会社
〒530 大阪市北区太融寺町3番24号
電話06(312)8881代表

大井弘治郎
株式会社 大井建築設計事務所 代表取締役
〒550 大阪市西区京町堀1丁目10－8 福岡ビル
電話06(444)4521～2
〒562 自宅・箕面市百楽荘4丁目4－11 電話0727(21)4113

岡山竹雄
株式会社 岡山設計 代表取締役
〒604 京都市中京区烏丸通錦角 京都フクトクビル7F
電話075(255)0537－8
〒612 自宅・京都市伏見区深草平田町18 電話075(641)0536

今村祐三郎
社団法人 大阪建設業協会 専務理事 事務局長
〒540 大阪市東区京橋3丁目70 電話06(941)3651

大槻國秋
日本電設工業株式会社 大阪支店 常務取締役支店長
〒531 大阪市大淀区豊崎3丁目17－15 電話06(372)3531
〒658 神戸市東灘区西岡本6－5－23 電話078(411)1673

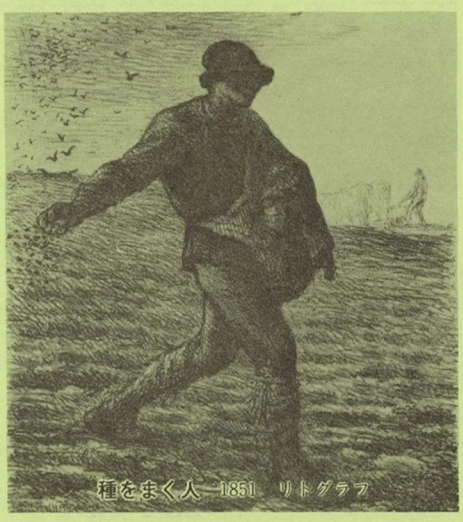
奥村紘行
奥村重兵衛株式会社 取締役社長
〒530 大阪市北区西天満5丁目3番7号 電話06(312)4131代
〒620 自宅・西宮市南郷町14番34号 電話0798(71)0011

専務取締役 岩崎　弘
常務取締役所長 寺西禮一
株式会社 教育施設研究所 大阪事務所
〒550 大阪市西区立売堀1丁目13番1号 電話 06(531)0913
大信ビル 電話 06(541)7301
〒630 自宅・奈良市法蓮立花町1046-2 電話0742(22)2217
〒661 自宅・尼崎市常吉字赤田9の5 電話 06(431)2101

大西孝夫
株式会社 日建設計 常務取締役 大阪本社代表
〒541 大阪市東区横堀2丁目38番地 電話06(203)2361

加藤忠三郎
株式会社 平田タイル 代表取締役会長
〒550 大阪市西区阿波座1丁目1番10号
電話06(532)1231代
〒601 自宅・京都市南区東九条北烏丸町24 電話075(691)1334

上西圭治
株式会社 大気社 取締役社長
〒530 大阪市北区中之島3－2－18 住友中之島ビル7階
電話06(448)5851
〒659 自宅・兵庫県芦屋市浜町12－14 電話0797(22)5949


種をまく人 1851 リトグラフ

数井利美
株式会社 西村建築事務所 取締役社長
〒652 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-8 楠六パレスビル
電話078(521)0205～0207
〒654 自宅・神戸市須磨区白川台2丁目39－13
電話078(792)5862

植野寿雄
株式会社 寿建築積算事務所 所長
〒542 大阪市南区東清水町48つるのすビル 電話06(244)1561
〒588 自宅・堺市大美野5－9 電話0722(37)1162

兼高勇
有限会社 兼高設計事務所 代表取締役
〒590 堺市北花田口町3丁1番15号 東洋ビル
電話0722(22)1643
1648
〒590-01 自宅・堺市御池台3丁14－1 電話0722(99)2677

小川正
株式会社 竹中工務店
〒541 大阪市東区本町4－27 電話06(252)1201
〒560 自宅・豊中市上野西2－12－47 電話06(852)3478

岡橋作太郎
〒659 自宅・芦屋市春日町3－3 電話0797(22)4500

亀井晃治
一級建築士事務所 株式会社 A.R.I.(あり)建築事務所 代表取締役
〒542 本社事務所・大阪市南区谷町7丁目3番4-203
新谷町第3ビル2F
電話06(768)1771代
〒631 自宅・奈良市中町1番地の479 電話0742(43)1226

尾亀清四郎
株式会社 三晃空調 取締役会長
〒530 大阪市北区西天満3丁目13番20号 電話 06(363)1371
〒573 自宅・枚方市岡山手町15－4 電話0720(41)3427

岡本行善
株式会社 昭和設計 代表取締役社長
〒550 大阪市西区新町1丁目5番7号 四ツ橋ビル
電話06(532)3421代
〒659 自宅・芦屋市岩園町35－7 電話0797(31)3201

亀田六夫
株式会社 増島製作所 大阪営業所 所長
〒530 大阪市北区西天満3丁目13番18号 島根ビル
電話06(364)1951
〒560 自宅・豊中市刀根山元町8－12 電話06(855)5356

謹賀新年

昭和60年元旦　(50音順)

鎌谷秀男

修正建設専門学校　理事長 校長

〒555 大阪市西淀川区大和田5丁目19-30 電話06 (474)1644
〒665 自宅・宝塚市千種3丁目8番23号 電話0797(72)1380

柄谷順一郎

株式会社 柄谷工務店 取締役社長

〒660 尼崎市玄番南之町4 電話 06(411)1451
〒663 自宅・西宮市甲子園浦風町9－14 電話0798(41)0700

川岸繁夫

株式会社 川岸窯業商店 代表取締役会長

〒550 大阪市西区西本町1丁目13－33 電話06(532)0461代
〒563 自宅・池田市天神1丁目10－10 電話 0727(61)8598

川﨑敬三

株式会社 近畿建設 取締役社長

〒550 大阪市西区江之子島1丁目2番2号 電話06(448)5601代
〒556 自宅・大阪市浪速区難波中3丁目9番3-407 電話06(632)7369

川瀬甲子雄

扶桑管工業株式会社 代表取締役

〒616 京都市右京区太秦和泉式部町12番地 電話075(861)1157
大阪支店 電話06(353)0222 東京支店 電話03(263)0501
〒565 自宅・吹田市津雲台6－7－2 電話06(834)1734

川出盛也

高砂熱学工業株式会社大阪支店　常務取締役 大阪支店長

〒530 大阪市北区芝田1丁目4番8号北阪急ビル
電話06(372)8411

河井覚弘

株式会社 河井建築事務所 取締役所長

〒631 奈良市登美ヶ丘4丁目8－10
電話0742(45)4378・(43)7507
〒631 奈良市登美ヶ丘4丁目8－11 電話0742(44)8100

河裾和夫

蛍光産業株式会社 代表取締役

〒531 大阪市大淀区本庄西3丁目9番20号
電話06(371)5146代

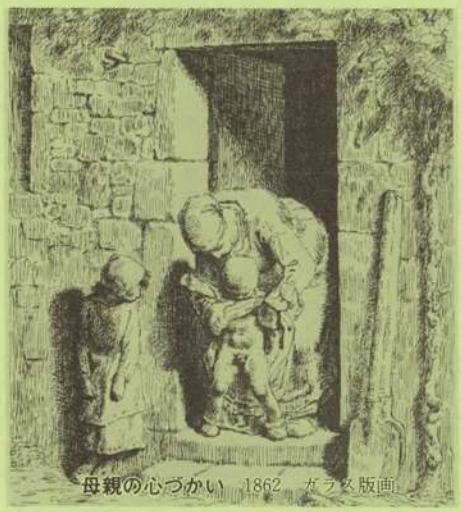
木下國男

内外パーキング施設株式会社 取締役社長

〒550 大阪市西区京町堀1丁目8番5号 明星ビル
電話06(441)0477代
〒665 自宅・宝塚市逆瀬台6丁目15番11号 電話0797(73)3228

汲川圭司

社団法人 全国鐵構工業連合会顧問
大阪鉄構建設業協同組合理事長
大阪鉄構建設業協同組合
〒543 大阪市天王寺区生玉前町1番21号 小山ビル 電話06(772)0182
連合会事務所
〒103 東京都中央区京橋2丁目10番2号 第2ぬり彦ビル9F
電話03(564)3711代



母親の心づかい 1862 カラー版画

小北博一

株式会社 ジャス 代表取締役

〒565 大阪府吹田市古江台6丁目3番1号 健康の森
電話06(833)6611代
〒565 自宅・豊中市新千里北町1－1 C5－209
電話06(872)6461

小阪永一

大信印刷株式会社 代表取締役

〒531 大阪市大淀区大淀中4丁目13－11 電話06(451)7631
〒553 大阪市福島区福島6丁目20－10 電話06(451)5346

小島勝巳

有限会社 小島勝巳建築事務所 代表取締役

〒541 大阪事務所・大阪市東区南本町4丁目41番地
イヨビル8階 電話06(252)8088代
〒103 東京事務所・東京都中央区日本橋本町4丁目14番地
山本ビル7階 電話03(661)0768代
〒166 自宅・東京都杉並区成田西1丁目16－17
電話03(315)5435

取締役会長 小西岬
取締役社長 橋本正章

株式会社 小西設計

〒550 大阪市西区立売堀1丁目12－16 電話06(532)4051

小林清

株式会社 新住宅社 代表取締役

〒530 大阪市北区中之島4丁目3番25号 電話06(443)6641代
〒545 自宅・大阪市阿倍野区北畠3丁目1番7号 電話06(654)0584

取締役会長 小林四郎
取締役社長 代谷正元

太陽工藤工事株式会社

〒553 大阪市福島区福島7丁目22番8号 電話06(452)1151大代
〒662 自宅・西宮市西平町19－11 電話0798(74)6621
〒665 自宅・宝塚市仁川北3－13－20 電話0798(52)5971

小林得志

株式会社 小林得志建築事務所 代表取締役所長

〒530 大阪市北区堂島2-4-17 藤田ビル 電話06(341)5658代
〒662 自宅・西宮市丸橋町6－16 電話0798(66)2394

河内義就

有限会社 河内義就設計事務所 代表取締役

〒730 広島市中区上幟町2番43号 栗原広島ビル
電話082(228)2271代
〒739-17 自宅・広島市安佐北区高陽町大字翠光台1-237
電話082(842)5330(呼)

鴻池藤一

株式会社 鴻池組 代表取締役社長

〒541 大阪市東区北久宝寺町4丁目27番地
ダイヤルイン電話06(244)3500(受付台)
〒603 自宅・京都市北区平野鳥居前町86 電話075(461)1526

謹賀新年

昭和60年元旦

(50音順)

近藤 徹

不二熱学工業株式会社 代表取締役
〒542 大阪市南区南船場2丁目1番1号 電話06(261)4321
〒658 自宅・神戸市東灘区森北町4丁目11番10号
電話078(451)3367

志賀修一

フジタ工業株式会社 大阪支店 専務取締役 支店長
〒530 大阪市北区西天満2丁目9番8号 電話06(361)1133
〒567 自宅・大阪府茨木市下穂積4-11-39電話0726(26)5640

須賀好富

近畿大学理工学部建築学科 助教授
〒577 東大阪市小若江3－4－1 電話06(721)2332 内線271
〒577 自宅・東大阪市小阪3－4－B911
電話06(789)8114

佐々木森一

株式会社 佐々木建築事務所 代表取締役
〒550 大阪市西区京町堀1－3－22 電話06(443)0675
〒617 京都府向日市上植野浄徳11－19 電話075(921)0728

四方靖郎

四方設計工務株式会社
一級建築士事務所 代表取締役社長
〒612 京都市伏見区深草関屋敷町32－2 電話075(642)9516
〒612 自宅・京都市伏見区深草関屋敷町32－2

菅谷健児

大阪電気暖房株式会社 代表取締役社長
〒550 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号 電話06(441)8231
〒158 自宅・東京都世田谷区等々力6丁目24番6号
電話03(701)3535

佐藤康

大鉄工業株式会社 取締役社長
〒532 大阪市淀川区宮原4丁目4番44号
電話06(394)1281大代表
〒562 箕面市箕面6丁目9番36号 電話0727(22)3608

渋谷幸雄

渋谷金属産業株式会社 取締役社長
〒542 大阪市南区島之内2－12－21 電話06(211)7333代
〒581 自宅・八尾市二俣2 5 2－7 電話0729(22)8644

杉浦敏郎

三機工業株式会社大阪支店 取締役 支店長
〒541 大阪市東区北浜2－22 電話06(202)3051代3071代
〒560 豊中市岡町南1－7－7 電話06(855)5995

会長
佐野正一

株式会社 安井建築設計事務所 代表取締役社長
〒540 大阪市東区島町2丁目7番地 電話06(943)1371代
〒662 自宅・西宮市雲井町4の9 電話0798(72)1569


仕事に出かける人 1863 エッチング

鈴木仙吉郎

東海興業株式会社 大阪支店 常務取締役 支店長
〒530 大阪市北区堂島浜2－2－8 東洋紡ビル
電話06(348)5611代

斉藤國義

株式会社 斉藤工業所 代表取締役
〒557 大阪市西成区岸里2丁目6番5号電話06(661)3325代
〒557 自宅・大阪市西成区岸里東1丁目21番3号
電話06(652)0208

鈴木隆二

株式会社 鈴木隆二設計事務所 代表取締役
〒460 名古屋市中区松原1丁目17－6
電話052(321)1763・6720
〒463 自宅・名古屋市守山区小幡池下73 電話052(792)3505

名誉正会員
白石登喜男

株式会社 藤木工務店 常務理事
〒540 大阪市東区両替町1丁目13番地 電話06(944)1468
〒558 自宅・大阪市住吉区墨江1－7－39 電話06(671)3792

雑賀幸夫

株式会社 大阪雑賀建築事務所 代表取締役
〒543 大阪市天王寺区上本町8丁目3番23号
電話06(772)4426・4436
〒573 自宅・枚方市香里ケ丘7丁目11-16 電話0720(54)0004

田中優

株式会社 ユソニアン一級建築設計事務所 代表取締役
〒530 大阪市北区東天満2丁目1番26号 福山ビル
電話06(354)2781～4
〒536 大阪市城東区成育4丁目20番2号 電話06(931)8857

堺徳吾

西日本建設業保証株式会社 取締役社長
〒550 大阪市西区立売堀2丁目1番2号 電話06(543)2553

城口庸平

株式会社 大阪城口研究所 取締役社長
〒530 大阪市北区角田町2番15号 電話06(372)7151代

田村真二

株式会社 竹中工務店 常務取締役
〒541 大阪市東区本町4－27 電話06(252)1201
〒663 西宮市浜甲子園2丁目5－19 電話0798(41)4300

謹賀新年

昭和60年元旦

(50音順)

多井幸男

多井建築研究所　所長

〒541 大阪市東区今橋1丁目1番地　1番館ビル
電話06(226)0008
〒657 自宅・神戸市灘区曽和町3丁目1－11
電話078(821)6133

辻本豊

株式会社 ツジモトユタカ設計事務所　代表取締役

〒640 和歌山市東長町中の丁12－3 電話0734(26)2030代
〒640 自宅・和歌山市東長町中の丁12-3電話0734(26)2030代

富家宏泰

株式会社　富家建築事務所　代表取締役

〒604 京都市中京区押小路通東洞院西入ル
電話075(231)6357代
〒603 自宅・京都市北区平野八丁柳町68－1－704号
電話075(463)0050

取締役社長 高橋慶夫
専務取締役 上田宏二

株式会社　高橋上田設計事務所

〒550 本社・大阪市西区新町1－4－21 大幸ビル
電話06(533)0971～3
〒110 東京支所・東京都台東区上野5－3－7
宮代ビル3F　電話03(831)6108

津村芳仁

オリエンタルメタル製造株式会社　代表取締役社長

〒660 尼崎市昭和南通3丁目26番地　電話06(412)5131代
〒330 自宅・埼玉県大宮市高鼻町3丁目58番地
電話0486(41)0204

冨岡久男

株式会社　吉田建築事務所　代表取締役

〒550 大阪市西区北堀江2丁目3番3号　電話06(538)2991
〒577 自宅・東大阪市荒本北30　電話06(744)2976

橘泰治

東邦パーライト株式会社　取締役社長

〒540 大阪市東区森ノ宮中央2丁目7番15号 電話06(941)9445～9
〒590-01 自宅・堺市若松台3丁26番3号　電話0722(91)2267

傳馬正明

ムツミ産業株式会社　代表取締役

〒550 大阪市西区靭本町1丁目17番15号
電話06(441)0378大代
〒558 自宅・大阪市住吉区長居東3丁目14番22－515
電話06(699)5326

内藤正克

株式会社 内藤建築設計事務所　代表取締役所長

〒675-13 兵庫県小野市上本町240 小野ビル　電話07946(2)4757代
〒675-13 自宅・兵庫県小野市久保木町1063　電話07946(2)4668

立田清

有限会社　柳々堂（建築専門書店）

〒550 大阪市西区京町堀1－12－3　電話06(443)0167～8
営業所：鴻池ビル　電話06(251)8233



ミルク粥　1861　エッチング

中原英雄

株式会社　創美設計　代表取締役

〒530 大阪市北区末広町3番21号 星和地所扇町ビル
電話06(312)3587代
〒565 吹田市桃山台4丁目3番1－808

立野一郎

株式会社　ユニオン　代表取締役社長

〒550 大阪市西区南堀江2丁目13番22号
電話06(532)3731～8

永井賢城

株式会社　久米建築事務所　取締役社長

〒106 東京都港区西麻布1丁目13番11号 電話03(403)0251大代
〒251 自宅・藤沢市鵠沼海岸2丁目8の26　電話0466(36)7706

名誉会長・名誉正会員

知見義夫

春日設備工業株式会社　取締役会長

〒601 京都市南区西九条春日町48番地 電話075(671)5377代
〒601 自宅・京都市南区西九条春日町48　電話075(691)3860

東畑謙三

株式会社　東畑建築事務所　取締役会長

〒541 大阪市東区伏見町5－19　電話06(202)0391
〒658 自宅・神戸市東灘区住吉山手4-4-35　電話078(851)5043

長澤孝行

日本住宅パネル工業協同組合大阪支所　支所長

〒530 大阪市北区西天満5丁目6番10号　富田町パークビル
電話06(313)3321
〒598 自宅・大阪府泉佐野市佐野台20-52 電話0724(63)1260

名誉会長

塚本猛次

株式会社　日建設計　最高顧問

〒541 大阪市東区横堀2丁目38番地　電話06(203)2361
〒665 自宅・宝塚市清荒神2－6－27　電話0797(87)1940

得田益男

得田電気株式会社　取締役社長

〒601 京都市南区東九条河辺町21番地　電話075(661)2727
〒606 自宅・京都市左京区北白川東伊織町10番地の3
電話075(722)3231

野村文英

野村建設工業株式会社　取締役社長

〒541 大阪市東区高麗橋2丁目9番地　電話06(202)4791代

謹賀新年

昭和60年元旦

(50音順)

橋詰一雄

社団法人　日本建築協会京都支部　支部長
株式会社　橋詰工務店　取締役会長

〒604 京都市中京区押小路通柳馬場東入 建設会館分室
電話075(211)2857・2877
〒604 京都市中京区猪熊通三条上ル姉猪熊町326
電話075(801)2356代
〒604 自宅・京都市中京区猪熊通三条上ル姉猪熊町326
電話075(841)2803

橋本晃芳

株式会社　鴻池組　専務取締役

〒541 大阪市東区北久宝寺町4丁目27番地　電話06(244)3545
〒659 自宅・芦屋市精道町4－1　電話0797(31)6766

名誉正会員

浜口幹三郎

株式会社　淺沼組　監査役

〒543 大阪市天王寺区東高津町12番6号　電話06(768)5222
〒631 自宅・奈良市二名町南登美ヶ丘3336－7
電話0742(43)1091

林唯夫

株式会社　昭和設計　代表取締役副社長

〒550 大阪市西区新町1丁目5番7号　四ツ橋ビル
電話06(532)3421
〒565 自宅・吹田市青山台3丁目41－11　電話06(872)3608

原精一

甲南建設工業株式会社　代表取締役

〒532 大阪市淀川区十三本町2丁目4番28号 電話06(308)1551
〒662 自宅・西宮市名次町12番9号　電話0798(72)1504

代表取締役会長 原田重信
代表取締役社長 原田孝太郎

原田セメント化工株式会社
大統商事KK・泉州生コン工業KK

〒554 大阪市此花区西九条4丁目3－34 電話06(465)1212代
〒661 自宅・尼崎市塚口町3丁目41－8　電話06(421)4518

伴一郎

株式会社　西原衛生工業所大阪店　代表取締役社長

〒531 大阪市大淀区中津六丁目8番4号電話06(458)3531代
〒563 自宅・池田市石橋3－11－14　電話0727(61)8652

平城勧

株式会社 朝日工業社 大阪支社　常務取締役
大阪支社長

〒532 大阪市淀川区加島1丁目58番59号 電話06(302)2271～9
〒665 自宅・宝塚市中山桜台4－15－4　電話0797(89)3884

福永薫

株式会社　建設技術センター　取締役社長

〒532 大阪市淀川区西中島5丁目7番17－602号
電話06(304)1148代
〒542 自宅・大阪市南区南船場4丁目7－3
電話06(251)3102

藤井稔

阪神不動産株式会社　専務取締役

〒530 大阪市北区梅田2丁目2番25号　電話06(346)1173


羊飼いの女 1862 エッチング

藤木鐵三

株式会社　藤木工務店　取締役社長

〒540 大阪市東区両替町1丁目13番地 電話06(944)1468代

堀元也

神戸材料株式会社　代表取締役社長

〒651 神戸市中央区熊内町2丁目1番37号
電話078(222)2251
〒657 自宅・神戸市灘区篠原北町2丁目1番9号
電話078(882)0755

堀内史郎

第一工業株式会社大阪支店　取締役支店長

〒530 大阪市北区西天満3丁目6番14号　電話06(364)6661代
〒573 自宅・大阪府枚方市朝日丘町12-18電話0720(41)5396

前田敏男

財団法人　日本建築総合試験所　理事長

〒565 本所・大阪府吹田市藤白台5丁目8番1号
電話06(872) 0391
〒531 大淀分室・大阪市大淀区長柄西2丁目1番18号
電話06(351) 7217
〒592 堺分室・大阪府堺市浜寺石津町西2丁1番34号
電話0722(44)3912
〒612 京都分室・京都市伏見区中島前山町24番地の2
電話075(622)0713
〒675-01 加古川分室・加古川市別府町新野辺字畑下1311-3
電話0794(35)5811

前田平一郎

ゼネラル事務機株式会社　社長

〒550 大阪市西区靱本町3丁目2番7号 第1横井ビル
電話06(441)1462代
〒560 自宅・豊中市上野東1丁目16－21　電話06(849)5764

松尾一郎

菱和調温工業株式会社大阪支店　支店長

〒530 大阪市北区天満2丁目7番3号　電話06(352)4881
〒655 自宅・神戸市垂水区舞子台4－7－16
電話078(782)3039

松田恒彦

株式会社 ART建築設計事務所　代表取締役所長

〒530 大阪市北区東天満2丁目3－10 田中ビル
電話06(357)5351代
〒546 大阪市東住吉区西今川2丁8－7　電話06(702)6738

松村雄二

株式会社　松村組　取締役会長

〒530 大阪市北区天満2丁目1番3号　電話06(353)1131

松本重太郎

松本金物株式会社 取締役社長
大阪建築金物卸商協同組合 理事長

〒543 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
電話06(774)2200
受付案内台
〒542 組合事務所・大阪市南区島之内1丁目22番20号
大和ビル本館5階602号室　電話06(245)3187

謹賀新年

昭和60年元旦　(50音順)

名誉正会員
松本与作
第一生命保険相互会社　顧問技師
〒100 東京都千代田区有楽町1－13－1　電話03(216)1211
〒145 自宅・東京都大田区田園調布3-17-3　電話03(721)4723

三谷忠義
株式会社　三谷設計　代表取締役
〒694 島根県大田市久手町波根西777の1
電話08548(2)8121代
〒694 自宅・島根県大田市久手町波根西225の2
電話08548(5)8320

三輪泰司
株式会社　地域計画・建築研究所　代表取締役所長
〒600 京都市下京区四条通高倉西入ル立売西町82番地
大和銀行京都ビル　電話075(221)5132代
〒540 大阪市東区石町1丁目1番地 天満橋千代田ビル2号館
電話06(942)5732
〒460 名古屋市中区丸の内3丁目18番30号 ツボウチビル
電話052(962)1224
〒612 自宅・京都市伏見区桃山南大島町95－45
電話075(601)3962

薬袋公明
株式会社　日建設計　取締役社長
〒541 大阪市東区横堀2丁目38番地　電話06(203)2361

水間義雄
株式会社　水間組　代表取締役社長
〒534 大阪市都島区東野田町1丁目1番4号
電話06(352)3121代
〒538 自宅・大阪市鶴見区今津南4-10-15　電話06(961)0785

名誉正会員
取締役会長 **道田泰治郎**
取締役社長 **道田泰平**
株式会社　道田工務店
〒660-01 川西市向陽台3丁目6番地の216
電話0727(93)3456代
〒660-01 自宅・川西市向陽台3丁目6番地の216
電話0727(93)3456代

宮脇和正
財団法人　大阪住宅センター　理事長
〒530 大阪市北区中之島3－2－18 住友中之島ビル12F
電話06(447)0615
〒658 自宅・神戸市東灘区深江本町3－9－1－907
電話078(452)2738

村石全
浪速合板株式会社　代表取締役社長
〒556 大阪市浪速区幸町2丁目5番3号　電話06(568)3671
〒659 自宅・芦屋市岩園町25番15号　電話0797(34)0835

村上二郎
サンエス石膏株式会社　代表取締役社長
〒530 大阪市北区堂島2丁目4番17号 藤田ビル本館
電話06(344)6526～9
〒565 自宅・吹田市千里山西3丁目7番5号　電話06(384)1002

村上秀夫
新日本製鐵株式会社　大阪営業所　担当部長
〒530 大阪市北区中之島3丁目2番4号 朝日新聞ビル12F
電話06(202)2201
〒666-01 自宅・兵庫県川西市清和台西1丁目6番23号
電話0727(99)0438

室谷山水
室谷商事株式会社　取締役会長
〒650 神戸市中央区北長狭通4丁目2－4 ツインズ元町ビル
電話078(331)0881
〒650 自宅・神戸市中央区山本通4丁目17－17
電話078(221)5050

両角保
浦安工業株式会社　専務取締役 大阪支店長
〒130 本社・東京都墨田区錦糸2丁目8－7　電話03(624)2441
〒530 大阪支店・大阪市北区天満2丁目3－5
電話06(351)7502代

森淳
三和電気土木工事株式会社　取締役社長
〒530 大阪市北区南森町1丁目4番19号　電話06(361)6451代
〒596 自宅・大阪府岸和田市別所町2丁目3番5号
電話0724(22)7710

八木喜美蔵
八木惣株式会社　代表取締役社長
〒593 堺市津久野町3丁28番10号　電話0722(62)1175
〒593 自宅・堺市津久野町3丁28番10号　電話0722(62)0722

八十島健二
株式会社　竹中工務店　取締役副社長
〒541 大阪市東区本町4－27　電話06(252)1201
〒663 自宅・西宮市甲子園二番町5－30　電話0798(41)0598

安井忠生
株式会社　安井建築設計室　代表取締役
〒550 大阪市西区鞘本町1丁目9－18　電話06(448)2765～6
〒662 自宅・西宮市城山町6－17－305
電話0798(72)0865

簗本弦三
株式会社　笹川組　取締役社長
〒520 大津市打出浜13－15　電話0775(23)2314
〒520-21 自宅・大津市一里山5－9－11　電話0775(45)3966

山内恒男
株式会社 石本建築事務所　大阪支所長
〒541 大阪支所・大阪市東区南久太郎町4-34 池銀ビル
電話06(251)7507
〒102 本社・東京都千代田区九段南4-6-12　電話03(262)7161

山田保
株式会社 山田保建築設計事務所 代表取締役
〒733 広島市中区本川町2丁目6番11号第7ウエノヤビル2階
電話082(292)8211代
〒733 自宅・広島市西区己斐東2丁目12番27号
電話082(271)0690

山田恒治
株式会社　山田工務店　取締役社長
〒651 神戸市中央区雲井通4丁目1番3号
電話078(232)1800代
〒651-11 自宅・神戸市北区泉台4丁目9番12号
電話078(592)5902

名誉正会員
山田文次
山田工業株式会社相談役
〒550 大阪市西区京町堀1丁目6番8号　電話06(443)8161大代
〒665 自宅・宝塚市南口1丁目2番2号　電話0797(72)2511

謹賀新年

昭和60年元旦

(50音順)

山田義行

株式会社 竹中工務店

〒541 大阪市東区本町4－27 電話06(252)1201
〒665 自宅・宝塚市寿楽荘14－11 電話0797(72)5858

山本永造

ヤマト電気エンジニアリング株式会社 取締役社長

〒530 大阪市北区西天満5丁目1番3号 電話06(364)3056代
〒562 自宅・箕面市桜ケ丘3丁目13—6 電話 0727(23)5176

山本一彦

株式会社 和光建築設計事務所 代表取締役

〒550 大阪市西区北堀江2丁目9番15号 電話06(531)4488
〒536 大阪市城東区森之宮1丁目4番204号 電話06(969)0788

山本貴士

朝陽電気株式会社 代表取締役

〒530 大阪市北区中之島3丁目2番4号 電話06(385)1361代
朝日ビルディング内
〒565 自宅・豊中市新千里東町2丁目5番 A1-404 電話06(871)0851

米倉豊夫

日本住宅パネル工業協同組合 理事長

〒113 東京都文京区本駒込6丁目15番7号 電話03(945)2311大代

和田眞一

株式会社 東和組 代表取締役

〒530 大阪市北区西天満4丁目5番14号 電話06(363)4051
〒659 自宅・芦屋市公光町3番8号 電話0797(22)3282

和中勝

株式会社 和中商店 取締役会長

〒531 大阪市大淀区豊崎5丁目8番11号 電話06(371)0731
〒150 東京都渋谷区桜丘町11－5 電話03(464)9723
〒453 名古屋市中村区黄金通3丁目34番地 電話052(481)7338
〒662 自宅・西宮市大畑町10－22 電話0798(67)7544

渡辺健一

株式会社 曽根組 代表取締役

〒676 本社・兵庫県高砂市曽根町2257の1 電話07944(7)1551代
〒541 大阪支店・大阪市東区伏見町2丁目15 ホンダビル 電話06(203)4415代
〒650 神戸支店・神戸市中央区北長狭通4丁目 高橋ビル 電話078(321)3471代

渡辺忠

東洋シヤッター株式会社 取締役会長

〒540 大阪市東区両替町1—12日生ビル 電話06(943)6571代
〒560 自宅・豊中市緑丘3丁目21番8号 電話 06(856)0983

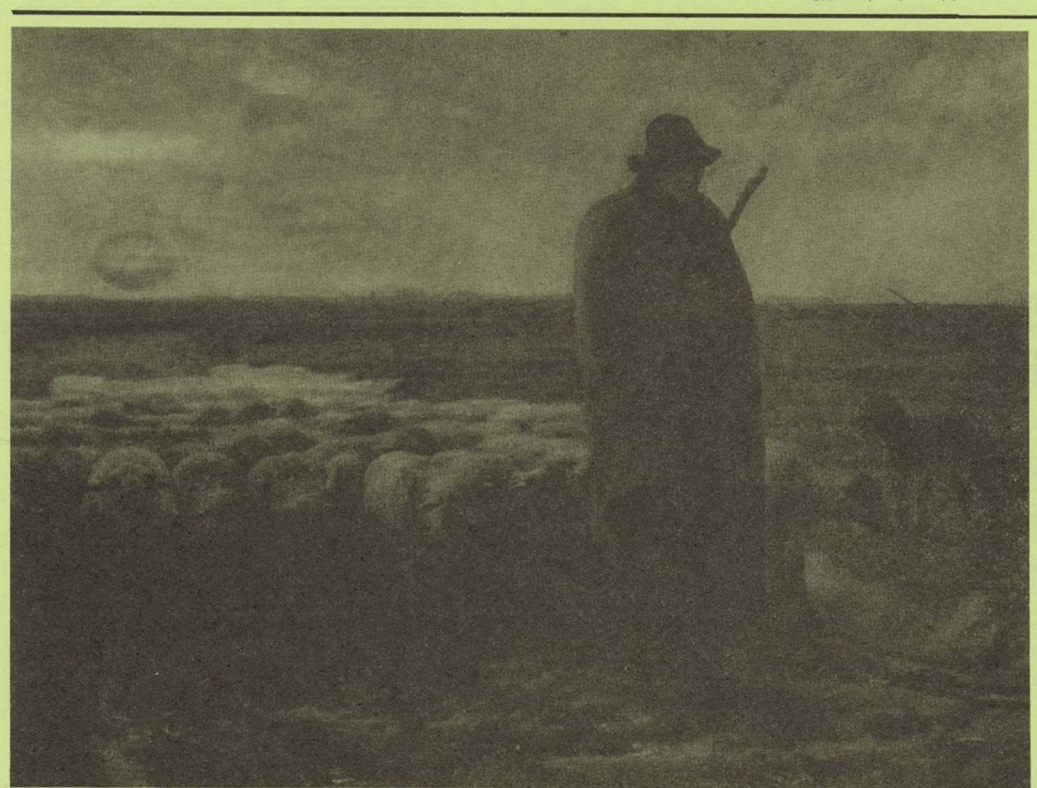
渡部慶一

株式会社 松田平田坂本設計事務所 大阪事務所所長

〒530 大阪市北区堂島2－2－25 電話06(344)7821
〒530 自宅・大阪市北区中之島5－3－92 ルイシャトレ中之島622号 電話06(448)5645

事務局一同

社団法人 日本建築協会



夕暮れに羊を連れ帰る羊飼い
1857～60 油彩・板

読者の頁

あなたの「声」をお寄せください

○内容は、建築・しごとのこと、近況、「建築と社会」へのご意見・要望など何でも結構です。
○原稿は500～2000字程度でお願いします（ハガキ使用可）。原則として原稿は返却いたしません。掲載分には謝礼をさしあげます。
○氏名、住所、職業・会社、年齢を明記して、（社）日本建築協会編集部宛（〒530 大阪市北区梅田1－1－3－2100大阪駅前第3ビル21階）お送りください。

この人 1　川辺 勝　数寄屋大工

ちょっとおじゃまします

聞き手・堀畑裕一　近畿日本鉄道

「この人」シリーズのはじめにあたって
建築を支える各分野の人々を訪問し、その技と心を語っていただきたいと考えています。そのような方々を紹介していただければ「ちょっとおじゃまします」のでよろしく。



生年月日　昭和6年11月23日
出身地　京都府向日市
職場　安井杢工務店
京都府向日市上植野町御塔道42
主な仕事　修学院離宮正門
大宮御所（仙洞御所）
桂離宮、京都御所等の修復他

桂離宮修復工事の副棟梁をはじめ、数寄屋大工として神社、茶室、町屋等を手掛けて四十年余り。若い修業時代は師匠である親父に厳しく鍛えられたという。道具研ぎにはじまり、御飯食べるのも修業であり、「手で叩いては俺が痛い」とその時手に持っている物で殴られ、仕事は爪の先も教えないため、他人のやり口を盗み、身体で仕事を覚えたと語る。ただ「一所懸命やった失敗には、文句言いませんでした」と昔を顧みる。棟梁となった現在、手こそ出さないが、「仕事は画面を頭に入れてから、一を掛かれ。墨付け終わった時点でその家、頭に入れてしまえ。釘一本おろそかにせず、とことん納得ゆくまでしてから帰れ」と若い弟子に仕事の姿勢を教える。

「大工仕事は現場によって、一つずつ違う。図面をちょっと見て、よっしゃ、やったろ」という気概でここまできたという。機械化・工業化が進み、木造の補強金物が発達し、工場での機械加工が多くなってきた現在でも「必ずどんな物でも手で仕上げます。手鉋で仕上げると自然の感じが違います。網代も自分達で編みます。仕入れの網代なんか見られしません。うちの店に限って言えば職人の質は落ちてしません」と語る。

「自分ら棟梁と言われるのも恥ずかしいくらい未熟で、まだまだ修業せないかん」といい、自らを大工ではなく、大八であり、苦しむから大苦だと称する。今でも旅行先で古い木造の建物を見付けると、飛んで行く。

「一つずつできてゆく楽しみと言うか、引渡す時お施主さんが喜んでくれはったら、やれやれという気持ちになります。お施主さんが無ければ仕事が無いんです」と施主あっての自分だと考え、座布団持って朝から晩まで横に座られたら脂汗かくが、やりがいがあるという。しかし、昔と比べ工期が短くなり、「何時でける」と施主からせかされるのが一番いやだという。自ら吟味した材料を充分乾燥させ、得心のゆく仕事をしたいと考える。施主の人間性と好みにより建築の良し悪しが決まる。同様に、設計者も昔は「最後まで検討した図面です。変更はしません」と図面に誇りを持っていたという。今は現場で鉛筆一本で簡単に変えるため「せっかくやったけどまた潰されるのとちがうかという頭でおったら、まともな仕事できるはずあらしません」という。施主と設計者と施工者が互いに信頼と尊敬がなければ良い建築ができない。

コンクリートと鉄の建築が過去を置き去りにしてきた中で、神社仏閣の多い古い京の町が数寄屋大工の心意気と伝統の技術を守り続けている。

松尾大社御旅所新築現場で見た起りをつけるための曲打ち（曲がった墨付け）の鮮かな手つきと手鉋の肌触りが印象に残った。

マイ・フォト　ゴミに気をつけろ

ナポリ

赤井 富弘
近畿地方建設局



ナポリを訪れる観光客の合言葉は、「ドロボーに気をつけろ！」らしいが、私のナポリについての気持は、「ナポリに行ったら、ゴミに気をつけろ！」である。道を歩いていると、風に舞うゴミをよけるのがたいへんである。これでは、ローマの様にすばらしい町並も、だいなしである。そのせいで、美しいナポリ湾をながめてもサンタ・ルチアの民謡は聞こえもせず、とにかくきたない町ナポリの印象しか残らなかった。なにはともあれ、ドロボーにカメラをとられることもなく、なんとか写した写真である。

インターホンと電気錠がドッキング!

防犯と便利さを兼ねたコンパクト設計のロックホンです。
いちいち玄関や門まで行かなくてもインターホンで来訪者を確認、居ながらにして門扉や玄関錠をあけ、しめ、できます。さらに鍵のカケ忘れ、又、扉が完全に閉っているかなどのウッカリは表示ランプが点灯しますので安全です。
取付も簡単で制卸盤、変圧器などの複雑な機器はいりません。
奥様もラクラク操作のベストロックホンです。

ロックホン

BEST

太田興業株式会社

本　　社・東京都千代田区神田紺屋町41
☎03(256)1261
青梅工場・東京都青梅市新町2220
☎0428(31)7201
大 阪 店・大阪市天王寺区上本町9-3-7
☎06(779)7004
東京店・神田店・西東京店・関東店



上田　篤

大阪大学

聞き手・編集幹事　西川純一(昭　和　設　計)
プロフィール撮影　島　修一(STUDIO A・T)

略　歴

生年月日	昭和5年8月12日生（54歳）
出身地	大阪市
最終学歴	京都大学大学院工学研究科（建築学専攻）昭和31年卒業
教職	大阪大学工学部教授
大学所在地	〒565 大阪府吹田市山田丘2－1
公職名	大阪21世紀協会企画委員他
おもな受賞	日本建築学会特別賞（お祭広場の床、観覧席の設計・1970・共同）　神奈川県建築コンクール優秀賞（藤沢市太陽の家の設計・1975）　日本建築学会環境賞（鎮守の森に関する一連の研究他・1984・共同）他
代表作品	若者宿（広島県吉田町）　アレイハウス（泉北ニュータウン三原台）
趣味	読書、囲碁、水泳、スキー
好きな空間	参道
好きな建築物	ダッカ計画（ルイス・カーン）
好きな地域	奈良



若者宿



アレイハウス



空間がつくる精神世界

戦中・戦後の激動の中、政治・文学そして建築と、それぞれ一見溶け合わないかにみえる3つの世界の魅力にひきつけられ積み重ねた経験が現在を築いた。大学教授・文筆家そして、建築家とその多面的活動はそれぞれの分野で人々の注目を集める。まさに、その活動は時代を先取りし、時代を着実に動かし導いているという感じ。しかし、本人は「先取りではなく、むしろ、時代に落ちこぼれたものを拾っているという気持ち」という。「世の中を見渡して、誰も関心をもたなくとも、私の感じで大切だと思うことをやっている。それが結果的に先取りのように受けとられるのでは」と謙虚に受けとめる。

ところで町家研究は、当時、その落ちこぼれのテーマであった。「農家・民家は異なる地方性ゆえに興味をひくテーマだが、町家は全国どこでも画一的だから、つまらない」とある民家研究者からいわれた一言にやる気を起こした。そして今、「全国どこでも共通であるというその都会的発想が〝タウンハウス〟へとつながる現代の都市の〝すまい〟への応用の可能性をもつ」と語らせる。また、文部省の科研費からさえ見放された研究費の不足は、手弁当での研究・調査を強いた。そうした経験が「良い研究というものは基本的にお金がなくて、人もいなくて、時間だけがある、という場合に生れるもの」という持論をつくり上げた。つまり「お金があると組織が大きくなる。人が多いと調整に手間取る。少ない人数でコツコツ情熱を傾けてやる方が本来良いものを生む」とその拠って立つところを論す。さらに「こうした手弁当での研究・調査に加わってくれた若い人たちから教わることはじつに多い」とも語り、協力者の存在を忘れない。

自分の著書と建築作品との関連については「やはり、建築を造る場合は本を書く場合とは異なり、いろいろな状況に出くわすわけで、それに紛れてしまって自分を見失いがち」と儘ならぬ様子を説明する。そして「自分としては協調性がある方だが、それは妥協の多さにもつながっている」と自己分析した上で「つねに拠って立つ原点をはっきりさせ、原点へ立ち帰り、その状況の中で考えようと努めている」「原点とは形に限らず、思想の原点でもあり〝何のためにやり出したのか。それを実現したいがためではないか〟といい聞かせている」と明かす。

自分の興味は、たとえて「広場」のような〝何もない空間〟――そこに集まって来た人々が自分のやりたいこと・好きなことをパフォーマンス・演じれる空間――をつくることにあるといい、その実現をつねづね目指していると語る。そして、普段は何もなく、ハレの日にのみ、その時々の必要性に応じて雰囲気を変え使用される町家のザシキに、その共通性を見い出す。「そこには一つの生活のやり方――文化がある」。

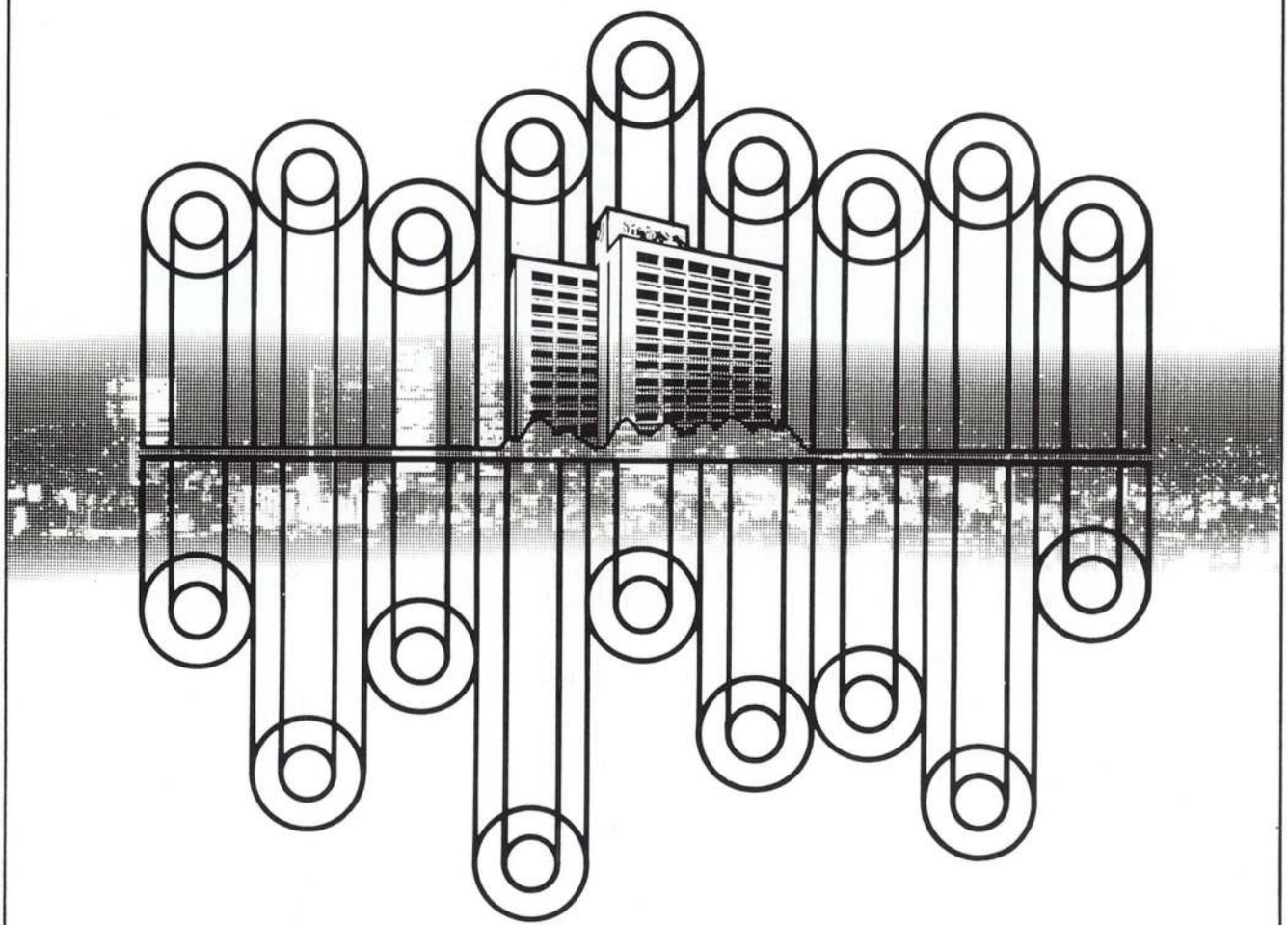
鎮守の森の研究にも、また通じるものをみる。鎮守の森には〝参道〟がある。その「〝参道〟こそ好きな空間」という。「そこには見事な空間の演出があり、絶えざる〝道行〟の思想がある」「何があるのかとやってきた人が自分を救済してくれる確かな絶対的なものに至ることなく、最後でポーンと意識だけを飛ばさなければならないところにたどり着く」「じつは、そこにある飛ぶ構造こそが日本文化の本質である。その構造ゆえに人は命の限りあることを悟り、また同時に肉体から意識を開放することで自分自身の精神世界を取り戻すきっかけをえる」つまり「その飛ぶ構造には、人それぞれのいろんな夢・意味をみつける可能性が秘められている」と熱っぽく語る。その言葉には、伝統的空間へのたんなる懐かしさでなく、現代社会の中で荒廃しつつあるわれわれの精神世界を救う空間・環境の本来的なあり方を見直そうとする積極的姿勢が感じられる。

「現代はあらゆるコスモスの思想が破産した時代。これからは渾沌としたカオスの中で精一杯生きていくことが望まれる時代」「盛り場には、悪の華が咲いているかもしれないが、そこには活き活きした生態系がある」という言葉が印象に残った。

〔次号の登場者は本城邦彦氏（竹中工務店）〕

情報世紀を照準する…
近電工の全国ネットワーク。

いつでも、どこでも、どんな工事でも、情報とエネルギーと環境の全機能を築く、近電工の総合施工体制——。



電気・計装・空調・管・防災・土木

システムの信頼を高める

近電工

近畿電氣工事株式會社

大阪市大淀区本庄東2丁目3番41号 〒531 ☎06・375・6000

防火材料の防火性能上の分類

防火材料というのは、建築基準法上の分類であるが、不燃材料は通常の火災温度で燃焼現象を示さないもの、準不燃材料は燃焼現象は燃焼現象を示すが、それがわずかであり大きく拡大しないもの、難燃材料は一般の可燃性材料に比較して燃焼の拡大が遅いものである。これらの材料は、法に規定された試験方法によって決定される。屋根不燃材料は屋根用の材料に限って法に規定された発煙量の規制を除いたものであり、準難燃材も同様に発煙量及び燃焼時の溶融等を除いたものである。基材同等材料は、基材に化粧した時に基材の防火性能を変えないものをいうが化粧材料は壁紙のように基材の防火性能を変えるものもある。一般に無機質材料及び無機質と有機質の混合材料で有機質の混合量で有機質の量がきわめて少ないものは不燃材料となり、有機質の混合量が多くなるに従って準不燃材料または難燃材料となる。このように防火材料は組成、成分、構成等によって分類していくことが最も妥当と思われる。

防火材料は、建設省の指定する試験機関において、建設省告示に基づく試験を行ない、要求性能に対応する評価項目によって不燃材料・準不燃材料および難燃材料に分類されている。

このほか、使用部位等を限定して、屋根材については法に規定された発煙量の規制を除いた屋根用不燃材料、アーケード、冷却塔のケーシングなどに用いるプラスチック材については準難燃材料である。

1)不燃材料　（法第２条の９、令108条の２、建設省告示第1828号：コンクリート・れんが瓦・石綿スレート・ガラス・モルタル・しっくいその他これらに類する建築材料で政令で定める不燃性を有するもの）

これらの材料は、通常の火災温度では燃焼現象を示さず、材質的にも無材質材料がほとんどで、結合材・充填材として有機質材料をごく少量含む場合がある。また、石綿スレート、石綿けい酸カルシウム板の表面を化粧したもの、ロックウール吸音板などがある。

2)準不燃材料　（令第１条の５、建設省告示第1231号：木毛セメント板、石こうボードその他の建築材料で不燃材料に準ずる防火性能を有するものとして建設大臣が指定するもの）

火災時には燃焼現象を示すが、それがごくわずかであり火災拡大に大きく寄与しない材料で、木毛セメント板、石こうボードのほか木片セメント板、パルプセメント板などで無機質と有機質の混合であるが主体は無機質材料である。

3)難燃材料　（令第１条の６建設省告示第1231号：難燃合板・難燃繊維板・難燃プラスチック板その他の建設材料で難燃性を有するものとして建設大臣が指定するもの）

木質材料およびプラスチック材料を難燃処理を施すことにより、一般の可燃材料に比較して燃焼拡大が遅いもので、初期火災拡大を遅延させる材料で主体は有機質材料である。

4)準難燃材料　（建設省告示第101号：防火性能を有する強化ポリエステル板等）

アーケード及び屋上に設置する冷却塔のケーシング材料等がこれに該当する。

これらの防火材料は、建設省が指定する試験機関において、上記告示に基づく試験を行ない、要求性能に対応する評価項目によって不燃材料、準不燃材料、難燃材料及び準難燃材料に分類されている。また防火材料は、建設省がその材料の適正化、普及の促進、生産及び流通の合理化等を図り、使用者の利便の増進、建築物の維持管理の適正化、建築防災の推進、建築行政の簡素化等に資する目的で防火材料認定要領（昭和44年建設省住宅指導課発令第325号）（省略）が発令されている。これらの防火材料も認定の方法は、通則的な取扱いを受ける材料と個別的な取り扱いを受ける材料がある。通則的な取り扱いを受ける材料は、石綿スレート、石こうボード及び難燃合板等の標準的な材料と塗料、壁紙、塗壁材及び吹付材等で単独で建築材料として成立しなく、下地等に施工して初めて建築材料としていえるものである。これらの材料は、製造方法も確立し製造会社も多いうえ、製造者間の品質に比較的差がないこと等によって、その性能に格差が少ないことから安定供給ができること、及びその施工方法も確立していること等から製造業者の団体単位で認定を受けているものである。これらの材料は、所定の防火性能を保持するための材料組織、原料、製造方法等はＪＩＳ等で決められているものもあるが工業会及び協会等の団体の責任で各製造者への指導がなされている。これに対し、個別的な取扱いを受けている材料は、単品的なもので、生産及び使用実績も少なく、製造者が個別に申請して認定を受ける材料で、製造に関する品質管理から施工管理まで個々の会社が責任をもって行なわなければならない。

参考に、防火材料試験方法を建設省告示と日本工業規格のJIS　A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」との比較対比してみると表－１のようになる。

詳細については、当試験所機関誌「GBRC」37号をご覧いただきたい。

耐火・防火試験室長代理　藤川　慧

表－１　防火材料試験法における建設省告示とＪＩＳの対比

建設省告示			JIS　A 1321		対比
告示番号	試験項目	判定	試験項目	判定	
昭和45年建設省告示第1828号	基材試験	不燃材料	基材試験	難燃１級	試験方法及び判定方法が若干相異。
	表面試験		表面試験		同じ
昭和51年建設省告示第1231号（箱型試験は昭和59年に追加）	表面試験	準不燃材料	表面試験	難燃２級（付加試験を実施すると難燃２Ａとなる）	同じ
	穿孔試験		付加試験		試験項目の名称が相異しているが原則的に同じ。
	ガス有害性試験		———		相異
	箱型試験		———		相異
	表面試験	難燃材料	表面試験	難燃３級	同じ
	ガス有害性試験		———		相異
昭和45年建設省告示第101号	表面試験	準難燃材料	———	———	※

表中 1)——は試験項目及び判定がないことを示す。
2) ※ はJIS　A1321にはないが、他のプラスチック材料のＪＩＳで準難燃材料と同様の試験及び判定を行っていることを示す。

本試験所●所　在　地……〒565 吹田市藤白台５－８－１（阪急北千里駅より北西約１km、国立循環器病センター西隣）
●電　　話……(06) 872－0391(代)
●営業時間……平日：午前９時～午後５時、土曜日：午前９時～正午



けんちくの眼

荒木兵一郎
関西大学工学部教授
森内盛一郎
住宅・都市整備公団関西支社
都市再開発部長
瀧　光夫
瀧光夫都市・建築設計事務所主宰
藤縄正俊
大林組本店建築設計第二部次長
正月号から6月号まで上記の4氏が担当

高齢化社会を迎えて——どちらがお好き？

すでに、いくつかの老人ホームでは、老人をベルトコンベアに乗せて入浴させる設備がある。なんともあさましい光景だことか。そしてついに、入浴介助のすべてをやってくれるロボットができたという。たしかに寝たきり老人の入浴介助は大変だ。たとえ、やせ細っていたとしても、老人は子どもたちよりも重たい。ベッドから移動させたり、浴槽への上下移動は3人がかりでもやっと。とくに湯気の立ちこめる中での作業はつらい。それに介助してもらう本人自身も羞恥心から嫌がる。これが機械で代用されるなら、万々歳の朗報といえよう。できれば、トイレの世話をしてくれる排泄介助ロボットができ、ポックリ寺に参る必要がなくなれば、と願う。

だが、このような機械化がますます進展するのは、如何なものだろう。今でさえ老人たちは家庭から追われ、高年マンション・老人ホーム・老人病院などへと送り込まれ、あたかも死に至るベルトコンベアに乗せられているようなものだ。できることなら、一般社会の中で、みんなと一緒に生活し、お互いに助けあい、励ましあえる機会をもちたい。そして、のんびり湯につかり、カラオケの一つも、うなれたらと思う。　（H.A）

根廻し

〝根廻し〟と言う言葉には、なんとなく、暗い、謀略的な、などのイメージがつきまとっている。あまり感じの良い言葉でないように思われているようだ。しかし、根廻しという言葉を広辞苑でみると〝①大木を移植する1、2年前にその周囲を堀りつつ、側根の大きなものと主根を残して他の根を切り、髭根を発生させ、移植を容易にすること。②比喩的にあることを行なうに当り、あらかじめ周囲の各方面に話をつけておくこと〟となっている。根廻しの是非にはいろいろの見方があるようだが、仕事を効率よく進めるために、予想される問題に対して個々の話し合いをもち、あらかじめ関係者のコンセンサスを得ることは必要であろう。

よく他の部門の人から〝建築家は個人として優秀である〟といわれる。しかしその一方〝視野が狭い〟一匹狼という評価も多い。建築物を創造するという職業的な訓練がそのような気質を生み出すのかもしれないが、今後、建築家がリーダーシップをとって仕事をしていくためには、〝根廻し〟に気を配る必要があるように思える。　（S.M）

写真

お仕事は？「……建築の設計をやっております」で、どんなものを？ときかれて、こたえに窮する。「エーこのところなぜか温室などを……」と口ごもれば「エ、オンシツ？」と相手はヘンな顔をする。御案内して「ホラ、これです。コレ僕の設計」といえばすぐにわかってもらえるのだろうが、わが仕事アチコチ遠方にあればそうもゆかない。近くにあったにせよ、いちいち案内していてはたまらない。このあたりのヤリトリ、いかにもモドかしい。

絵や彫刻もそうだが、私たちは「作品」の所在をまず写真で知る。写真は「真を写す」かというと、まったくそうではなくて、たまに専門誌に紹介されるわが建物は、美しすぎたり、醜くすぎたり「これがオレの作品かあ」と割り切れない気持になる部分が多い。とにかく「被写体」でありえただけで良しとせねばなるまい、それにしてもこの樹は今ごろ美しく紅葉しているだろうに……などと専門写真家に撮られることによって「作品」となったわが仕事と対面する。これまた、モドかしいことではある。かといって今のところ他の伝達手段はない。　（M.T）

時の推移

ほとんど忘れかけていた大阪市電に広島市内で対面した。勢いよく走って行く雄姿にしばし見惚れ、あたかもなつかしい旧友に出会った感慨であった。高度経済成長時代に高速道路や地下鉄に置き換えられて、街の中から消え去った風物の一つであり、時の推移に目を向けさせてくれた。

第二次大戦末期の大空襲でほとんどの建物が焼失倒壊した大阪市内の写真を思いだす。自明だが、現在のほとんどの建造物は成長・繁栄・利便を旨として戦後に建てられたものであり、ひたすら加算によって街を形造ってきた。いわば急造の近代都市である。そこには、消え失せるものへの視線はなかったといえよう。しかし、加算の結果として、もとの風景や価値の損なわれていったケースは多く、市民の心象への悪影響は測りしれない。加算を糧としてきた建設産業にも、時の推移を注意深く予見して、加減算のバランスをとっていく思考の必要な時代がおとずれているといえよう。　（M.F）

編集委員会—「建築と社会」で会員の輪をひろげたい

編集委員長　井上　滉

万国博覧会の当時には会員数が6000人を超えていました協会は、現在では、個人会員数のみが相当に減少し、大正以来続いています歴史的に最も古い日本建築協会も、苦境に立たされているのが現状です。その原因は何かが改めて強く問い直される時です。理由はいろいろありましょうが、会と会員とを結ぶ唯一の手段は会誌の「建築と社会」であり、その内容の検討が当面の問題となっています。

昨年秋、不治の病で逝かれました故福田前会長に代わって、新しく会長に就任されました佐野先生の許で、委員一同は魅力のある雑誌づくりを目標に、内容を充実させ、見やすく楽しいものとして「建築と社会」が建築をとりまくすべての分野の情報雑誌として皆様の実務のお役に立つように努力してゆきたいと思っています。

何とぞ企業の皆々様におかれましては、今まで同様に変わらぬご支援を賜りたく存じ、雑誌がご縁となって再び会員の輪が広がってゆけば、委員一同にとっては望外の悦びであります。諸兄の絶大なご協力をお願い致す次第です。

建材委員会—より広く、より専門的に

建材委員長　牧田　顯治

昨年１年間に11回の建材委員会を開催し、11件のメインテーマについて審議し、９件の新建材を本誌「新建材紹介コーナー」にとりあげました。当委員会では、新建材、新製品に関する情報を、正確・迅速に皆様に提供するための運営を行っていますが、51年以来、紹介コーナーへの掲載は、累計116件に達しました。

本年も新しい建築材料はもちろんのこと、施工方法で新しい方法や、維持保全に都合のよい材料も、広く取り上げ、建設業界のために役立ちたいと思っております。

本年からは、紹介コーナーへの掲載の方法を、もっとより多く読んでいただくように考えております。また、より専門的に深くつっ込んで、良い材料、あまりよくない材料と、ふるい分けをして参りたいと思っております。

事業委員会—事業の見直しと新たな発想

事業委員長　三品　哲夫

昨年は、福田前会長のご熱意を受けて、協会の魅力の呼び戻しと会員増強に資するためにはどのような事業が効果があるか、あれこれ考えながらの一年でありました。

見学・広報および若い会員の集いの各小委員会では、それぞれの事業実施のかたわら、協会の活性化と運営健全化の観点からの事業の見直しと新たな発想について検討し討議も重ねて参りました。

その効果が必ずしも直ちに現れたとはいえませんが、新しい事務所が会員交流の場となるようないくつかの試みがなされたり、建築周辺との交わりや学生層への呼びかけあるいは他団体との連けいの必要性が確認されたことなどは、大きな収穫であると申せましょう。

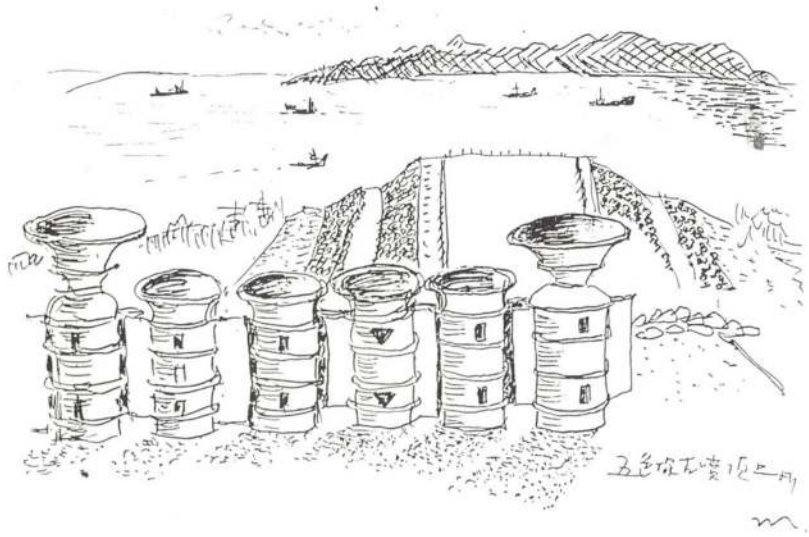
本年は、これらの貴重な経験を糧にして、他の委員会活動との連けいを図りながら、今日にふさわしい魅力にあふれた事業に取り組みたいと存じますので、会員諸氏のご支援をお願い申し上げます。

出版委員会—「プロのノウハウ」シリーズ誕生を契機に、出版の充実を

出版委員長　須賀　好富

出版委員会では従来から「建築技術選書」を刊行してきましたが、59年度からこれと併行して〝How to〟ものとして「プロのノウハウ」シリーズを出版しています。この新シリーズは「選書」より親しみ深く読者に好評を博するものと期待されています。印刷も２色刷りで、59年中には、早くも４冊が発売されました。委員会は月１回のペースで開催されており、本年は「プロのノウハウ」を重点に出版していく方針であります。

しかしながら、会員の皆様もご承知の通り、出版業界は低迷を続けており、書籍の販売も芳しくありません。新シリーズ誕生を契機に、充実した企画を続け、「建築技術選書」の姉妹版として注目されるものにしていきたいと思っています。そのためには出版委員会の委員ならびに会員の皆様のご協力を期待したいと思います。「こういう本を出版して下さい」「こういう本が建築協会から出ましたよ」とご希望・宣伝の方、よろしくお願い申し上げます。



Sketch by *A.Matsui*

特集
大阪湾物語

人類の歴史は海に始まるという。
日本文化の歴史を語る時、その周囲の海にまつわる話は欠かすことができないだろう。
これまで、年頭の号として、私たちは関西の建築文化、21世紀への関西等について特集してきた。
その関西には、日本一大きい湖と島がある。琵琶湖と淡路島である。その間にあるのが、大阪湾と大阪平野である。もちろん、西と東そして南東部には、六甲、生駒、大和、紀伊の山々が連なり、大阪湾に注ぐ淀川、武庫川、大和川等とともに、関西の地勢を形づくっている。
この関西における建築と社会の歴史をかえりみる時、大阪湾というウォーターフロントの存在に注目せざるをえない。
ウォーターフロントに関する問題については、今までにも、水辺のまちづくり、親水空間のデザイン等として、さまざまなテーマで紹介されてきた。
最近、都市の再生、成長といった都市構造や都市政策のあり方から、単に個々の施設構成や造形デザインの面からでなく、多角的にその機能や空間の構成を論じ、事業主体や計画手法等を従来の個々の領域を超えて、模索していこうとする動きが目立つ。
そこで今回は、関西の建築や都市の生きざまや今後のあり方について、愛すべき〝大阪湾〟というウォーターフロントに焦点をあてて特集を企画した。
その大阪湾を〝大阪湾物語〟にしたのは、大阪湾における今後の保存と開発のあり方だけを論じるのではなく、古来より私たちの先輩たちの生活の舞台であった大阪湾を、よりスパンの長い時間ベクトルより、さらに広い空間ベクトルより語りたいという意図による。
保存と開発は絶えず、裏表の関係にありながらも、その時代、さらに次の時代と新しい価値観の中で、社会的コンセンサスをベースに計画は展開されていくべきであろう。
〝大阪湾物語〟はこれで終わるのではなく、いつかまた登場することを期待したい。その時、関西の建築や都市の生きざまは、どのように語られるのであろうか。

（編集幹事　田中直人）

- 座談会：大阪湾—その過去・現在・未来
- 大阪湾沿岸域の過去と将来—土木計画的アプローチ
- 大阪湾岸の歴史とその逸話
- 港町・堺の民俗的伝承—二つの例
- 海・生活・法律—いま大阪湾は
- 湾岸の環境と保全・市民運動3例
  1．西宮甲子園浜　2．矢倉海岸　3．天神崎
- 大阪湾のウォーターフロント施策
- ウォーターフロント施策事例4例
  1．大阪南港野鳥園　2．神戸の海づり公園
  3．大阪府自然海浜保全地区　4．くにうみの祭典
- ルポルタージュ大阪湾岸周航
- 資料篇：大阪湾の将来展望・沿岸域のプロジェクト紹介

本号特集編集幹事
足立啓／岡田信幸／金澤成保／榊敏正／杉本章子／田中直人／中山徹／舟橋國男／山根勝利

座談会

大阪湾―その過去・現在・未来―

出席者(50音順)
石濱恒夫(作家)
川島哲郎(大阪市立大学名誉教授・経済地理学)
宮本又次(大阪大学名誉教授・経済学)
足立　孝(大阪大学名誉教授・建築学)司会

足立(司会)　瀬戸内海の東端に位置し、淡路島で区切られた大阪湾は、大和川や淀川を内地への水路にして、仏教をはじめアジアさらに南蛮との交流など、窓口としての役割を演じてまいりました。最近は空港問題でクローズアップされ、世界の窓口になることが期待されています。

別に、テーマごとに、各専門家の文章をいただくことになっておりますので、ここでは、新年号でもありますし、お気楽に、大阪湾と海岸部の今後の方向について、お話をいただきたいと存じます。

まず、近世からの推移について、宮本先生からお願いいたします。

舟運と新田

宮本　昔、難波津とか難波潟とか言うてました大阪は、奥地まで入ってましたから…。 大体尻無川、木津川、大川、安治川の川尻まで船は来るけれども、上れない。そこで通船に乗り換えて大阪のまちへ入ります。京都へは、三十石船や過書船で八軒屋のあたりで乗り換えて行く。だから湾といっても、大体川口でした。明治以後になって築港ができたのです。北前船なんか木津川の船溜においといて、冬の間は国へ歩いて帰りよった。そうすれば船に虫がつかんからね。

日本書紀に、神武天皇さんは、波が速すぎて、しようがないから南へ回ったとある。浪速（なにわ）というわけ。だが、天坊先生の説で難波というのは、魚が多いということだ。〝な〟は魚で、魚が多いところ、魚の庭やと。浪も速いし、魚もよくとれるところだったかと思います。

川をさかのぼるのに、浅瀬へ入ったらいかんというのでみおつくしをたて航路標識にしたが、いまはなくなって、大阪の市標になってます。いまの人は知りませんから、みおつくしというたら、市役所の上にある成人の日につかしてもらう鐘ですかと言ってる。

それから天神祭のときに笹が立ってますが、あれも航路標識。

築港の計画は明治初年から五代友厚も後藤象二郎もやった。住友・鴻池も金を出してやったが成功せず、結局、西村捨三が知事をやめてから大阪港をやった。天保山のところに西村さんの銅像が建ってますわ。天保山は大川をしゅんせつしてそれを積み上げたものです。明治になって皆遊びに行ったところですわ。その近くに松島の遊廓や西九条、花園町の盛り場がありました。戦後はなくなったり、さびれたりしています。

足立　そのころ、和田岬に、船が泊まってましたか？

宮本　和田岬の方が正当な航路です。下関、上関から太宰府へ行くのが正当な航路だったが、戦国時代から瀬戸内海に海賊が出没して物騒になり、南廻りの土佐沖を通って南へ行く船がふえて、堺の発展の端緒になった。

足立　それ以外は大体みな漁村でしたか。

宮本　いや、そんなことはないですよ。昔の船は、追手に帆かけてシュラシュシュシュで。風が吹かんときは、とまってなあかん。それであっちこっちに船溜ができて、風待ち、潮待ちがありました。瀬戸内海には尾道をはじめたくさんありますよ。神戸では兵庫の西出、東出町が昔の港でした。だからあっちこっちに単なる漁村じゃなしに、小さい港も多かった。

大阪は大体沖で船を着けて、あとははしけで持ってきます。兵庫辺りからでも運んできたんじゃないですかね。酒は伊丹、鴻池、池田でつくってたけれど、水のよいところというけれども、結局トランスポーテーションですわ。水運の便利なところで、灘もそういうことです。

川島　樽廻船というのは、酒専門の船でございますか。

宮本　もとは菱垣廻船というのがありましてね、何でも積むわけです。樽廻船は鴻池が自分用につくった船です。菱垣廻船と樽廻船は違うといいますけれども、格好は同じ、ただ酒を積むということは、同型の樽で、早く積めるわけです。菱垣廻船は、二十四組とかいろいろな商品の積み合わせに時間がかかりますので、結局樽廻船のほうが早いんですわ。早いので樽廻船に頼むという人が出てきましてね。

足立　だんだん〝みおつくし〟の立ってたようなところを埋め立てて、改めてまた水路をつけて、そして船場などをつくっていったわけでしょう。

宮本　埋め立てが、町人の請負新田です。大阪の奥地に鴻池新田がありますね、大和川の埋立地のあとがあいたところに新田をつくった。鴻池、住友がやったのは八尾の山本新田。海岸部では市岡、泉


石濱恒夫氏


川島哲郎氏


宮本又次氏

尾新田とか。そこをみんな町人がつくる。よそは武士がつくるのが多いげれども。土地をつくるのはやはりトクやからね。初めの何年かは無税ですしね。大阪のいまの工場地帯のもとになってる恩賀島新田とか、いまの中央市場の辺りもあれは皆昔の新田です。東京は明治以後になって造成した土地だけれども、徳川時代に町人がつくった新田が大阪の重工業の基盤になっている。第一次大戦後の大阪の繁栄は海岸部の鉄工所、造船所、紡績業によるわけです。

足立　鉄道ができてもやはり水運が便利だったんですね。

宮本　当初、河内、大和の綿をと考えたのでしょうが、紡績にはむかんのです。結局、中国、アメリカの綿を上手に安く買うのです。そのために東棉、日綿、江商など会社がいっぱいできた。鉄鋼業はクズ鉄や石炭を舟で運んだのです。それが戦後変わってしまいました

足立　そういうことで、海岸線が大体工場と倉庫ばっかりになって、石濱さんが「〝勝手口〟になってしまった」と書いておられます。斜陽化した海岸部をどう活性化するかが新しい問題になっています。現在大阪市から出るゴミ、とくにビルをつぶして出る廃棄物など典型ですが、再生処理が十分できないものですから、南港や北港ができ、東京は夢の島ができてますし、神戸は山をくずしてポートアイランドをつくる。とめどがない感じです。お話のありましたような昔の町人に、現在は自治体がなり代わったというわけですね。その上、船の輸送もコンテナーに変わってきたので、いままでの埠頭がさびれてきます。アメリカはそれに商業施設や水族館を持ちこんで、その活性化に努力しているのですが、埋立地だけでなく、取り残されたところも、産業の交代ともあわせて問題になっています。

ヨットに夢を乗せて

足立　つぎに、近代の大阪にお詳しいし、ヨットマンとしても有名な石濱先生に、何かお気づきの点をお話しいただきたいのですが。

石濱　〝勝手口や〟言うたんね、ぼく。南太平洋を含めて外国の港へよく入っていくでしょう、ぼくの行った限り、みんなきれいなんですよ(笑)。とくにサンフランシスコは、いかにもゴールデン・ゲートは門ですわね、白い住宅街が見えていたりして。とくにヨーロッパになるとね。まあ大阪もそうだったんでしょうけれど、港からできていって発展していった。イベリヤ半島は山地が迫ってるでしょう、海岸を一日走れば港があるんですよ。そして堂々とヨットを入れてくれます。というのは、港町で発展したから、ヨットクラブがそのまちの社交クラブなんですよ。舟を持ってる人が、市長、警察署長はじめ町の名士ばかり。だから日本では考えられんような港の一番いいど真ん中にヨットハーバーやクラブがあるところが多い。建物はみんな港を正面にして建ててますわね。この頃は汽車とか飛行機を使うから、海から見えることが少ない。大阪も前はそうだったわけでしょう、ものを運んでくるばかりで、港の風景が汚のうなってしもうたのね。

この頃は外国へ行くのも飛行機ばかりやから、表玄関から入った人はないんちゃうかいな。たとえば神戸でもそうでしょう、海上から見た神戸と三宮で降りた神戸と、感じが一変しますね。だからある意味で、大阪ももう一ぺんそれを取り返したらどうやと。

足立　海を見ながらコーヒーを飲むようなところがほしいとおっしゃっていましたね。

石濱　南港の食肉流通センターの横に、そこの食肉を安く食わしてくれるステーキハウスができ、喫茶店ができた。まだ周囲に何にもないところですから、ああ、ここはいいなと思ってたんです。港の


司会
足立　孝氏

風景が見えるから。

足立　南港も、野鳥園、魚釣りとか海水浴場などがあるんですが、先端の点々で、もひとつつながりがないのが残念ですね。

石濱　南港は機能的によく考えてあるんですが、もう少し遊びがあっていいんじゃないかと思うのです。

宮本　明治から、神戸が繁栄したのは大阪の荷役がうまいこといかないし、神戸のほうが具合がいいから行ったんでしょうな。

足立　船員さんはやっぱり神戸へ行きたがるのです。というのは、ちょっと上がったら繁華街があって酒場もあります。その点、南港は不便なんです。

宮本　築港でも、南港でも、都心から遠いからね。ニューヨークでは、ハーバーが会社ごと別々でしょう、空港も同様ですね。どういうことで違うんですかな。

足立　日本の港湾施設は役所主導型です。アメリカは、役所よりも民間が動いている面が多いようです。その違いでしょうかね。いずれ北港には、時節柄、民間活力導入が考えられるべきでしょうね。

宮本　泳げるようになってるんですか？

足立　北港の計画はこれからですから判りませんが、阪神間の海岸や神戸のポートアイランドへ行っても、一番先へ出たら、防潮堤がデンと壁になっています。必要なものだけに、それを壁にしないやり方を考えるべきだと思いますが…。

湾岸線のハイウエーと防潮堤でコンクリートの城壁ができるのを少しでも救う方法を考える必要がありますね。前に出てくる埋立地はなお一層の配慮が要請されます。

石濱　最近、二、三度ヨットで淡路を往復しましたが、きれいになりましたよ。防潮堤のところに浜をつくったり、そんなことはもう仕方がないですよ。だけど、外国を考えてみると、防潮堤のところに小さなバーがあったりするんですよ。

足立　大阪はいま中之島周辺の防潮堤の上に遊歩道をこしらえてますわね、海岸の場合は少し事情が違うにしても、壁にしない方法はいろいろあります。

石濱　東横堀のところも、堀のはたにきれいな遊歩道ができてるんですけれどね、つくったときはきれいだったが、いまはほったらかしです。あんなことになってもうたら、しょうもない。

足立　海岸でなくて川ですが、そのよい例がアメリカのサンアントニオです。その川畔に遊歩道をこしらえてます。ダムで、その水の高さを一応一定に抑えてるわけです。その縁に、ホテルだとかステーキハウスとか屋外劇場だとか配置しています。橋とたもとから上がったら都心です。観光客が散歩したり、カフェテリヤで腰かけていたり、観光船も通っています。旧埠頭の再生に有名なのはボルチモアですが、いまでもボチボチですが、整備を続けています。

話が変わりますが、専門家に聞くと、海流が須磨辺りの砂を削って大阪湾へ持ってくるそうです。川からだけでなく、大阪湾は一生しゅんせつせないかんらしい。

石濱　大阪で掘ったのは護岸工事のためですか。

宮本　初めから岸がほしかったからね。

足立　むしろこっちへ上げてきたわけでしょう。

宮本　上げてきてね。船場のほうは少ないねんけど、西大阪の京町堀、土佐堀、江戸堀とか……、よーけ掘らんことには土が盛れなかったから。それが期せずして交通路になったということですね。それと水はけ、下水のためにね、だから交通路のためだけに掘ったんやなしに、いろんな必要からできたこともあるんじゃないですかな。

石濱　ぼくら子供のとき、築港の桟橋いうのによう遊びに連れていかれたけれど、あんな遊びに連れていかれる埠頭はなくなったでしょう。

もうひとつ大きく機能というものを考えたときに、フィッシュマン・ワーフみたいなものがあってもいいんじゃないですか。

宮本　大浜の水族館のようなものも。

足立　魚の夜市もありましたね。

石濱　去年の夏ごろ、港をヨットに使ってほしいとの申し入れがありました。いままでは、港は漁業組合のもので、私たちは遠慮せざるをえなかったのです。ヨットを置くんなら、うちのほうで保管してやるし、施設も使ってくれと、それに漁師の若者たちも乗りたくなったらしいんです。いままで、淡輪、浜寺、西宮、洲本など点的にあったのですが、この機会に関西オーシャン・レジャークラブというのができ始めているはずですよ。そうしますと、これまでバラバラだったのが、横のつながりができ、大阪湾全体が海洋スポーツレジャー地帯にしたいということを言い出してますよ。

足立　結構ですね。外国へ行くと、どこでもボートが多いですね。かねがね日本には少ないなあと思っていたのですが、港が輸送と漁業のために制約をうけているためか、ヨットよりも他のレジャーに金を使うせいなのか、海洋国民でないのか、判らなかったのですが、港が使いにくいというのがキメ手ですか。

石濱　そうなんです。それに北港・南港になりますと港湾規則がありますからね。そういうところをウロウロしたら困るわけです。

宮本　防潮堤、砂浜みたいなの、ないわけですか？

石濱　ありますよ。大ていヨットハーバーの隣、ずーと砂浜になっていて、そこで海水浴もやってます。それで南港の場合は、こういう申し出も聞いてるんです。住之江の貯木場ですが、この頃は陸積みが多いんですね。あそこへひとつヨットハーバーをつくろうかということを地元のヨットマンが言ってましたよ。

足立　北港に200隻、ヨットの碇泊を計画してますが。

石濱　それは港から外へ出たらいかんヨットでしょう。練習場みたいなものですね。ハーバーじゃないんですね。だけど、ある意味でそういうのんから発展してね。そうするとサンフランシスコみたいになるんじゃないかという希望を持ってるんです。しかもいままでガンだった漁民が協力しようと言い出したわけですから。若い人が乗り始めてから、ヨットの暴走族ができ始めているんですよ。だから、それを押さえる意味でも、つくらないかん。だから手始めはまあ大阪湾、やがて淡路島をだきこんで播磨灘まで含めた、オーシャン・スポーツの構想というのをみんな考え始めてますよ。

足立　大阪湾はいまでも船が多いのに、空港ができると、神戸との間に快速艇が走るようになる。交通事故対策がいりますね。

川島　大阪はヨット人口にしてもボート人口にしても、まだ少ないんだと思うのです、これから増えていくだろうと思いますね。

石濱　あの帆船祭りのときに、小型艇が700隻ぐらい来たらしいですね、それが大変に画期的なことだとぼくは思ってるんです。だって、いままでヨットがウロウロしたら怒られてばっかりしていましたからね(笑)。すぐ巡視艇が走ってきて、やられてたんです。そういうことから変えていくと、ずいぶん大阪湾の感じ、変わってくるのと違うかなと思うのです。それにヨットマンという言葉を使うとおかしくなってくるんだ(笑)。市民がもっと海に親しむためにね。

これからの方向

足立　川島さん、大阪湾周辺のいまの産業構造その他の問題点と、それから、これからこうありたいという、そういう夢物語を話していただけませんか。

川島　先ほどからお話が出てますように、大阪は、最初は港としてスタートした。で、だんだん埋め立てて、そしてそれが工業に変わってきますね、そしてその工業も、最初は繊維工業からスタートするんですが、見てる間に重工業になって、鉄鋼業だとか造船、金属といったように変わっていくわけですがね。そうなっていきますとだんだん港へ人が寄りつけなくなってくるんです。しかも工場そのものがだんだん人手を要しない、装置系の工業ですから、極端に言えば無人に近い状態で操業されるような工場になっている。そうしますと、海岸が全体として無人地帯になっていくわけですね。

ところが最近になりまして、鉄鋼業だとか造船だとかといったのがだんだん斜陽化してきますね、そして工業そのものが変わってきているわけです。たとえば、ケーブルをつくってた工場がございますが、それが光ケーブルをやる先端産業に変わる。性格が非常に変わってくるわけです。それに対して、いまの臨海部の状況というのは、そういう工業にとっても非常にまずい。つまり近くにレストランもホテルもない。先端的な産業開発をやろうとしますと、非常にきれいなまちで、喫茶店だとかいろんな施設がありましてね、人間の生きているまちじゃないと具合が悪い。そうすると先端産業に転換しようという動きを、いまの臨海部の状態がブレーキをかけるようになってくるわけですね。だから、このごろ臨海部で働いている連中でも、もっと人の住む、レクリエーションのあるきれいなまちにしてほしいということをだんだん言うようになってきているわけですね。

現在大阪はご承知のように北港、北港の北島と南島とそれからいまの南港とあわせまして非常に大きな新しい土地ができてくるわけですが、それをどうするかというのでテクノポート懇談会ができまして、いま一生懸命大阪市が考えておられるわけですが、まあぼくもその懇談会の一員なんですけれども、わたしはやはり先端産業だとかそういう工業ないしは情報通信の基地にするだけではやっぱりだめで、人間の住むまちにしなければいかんと思うのです。そのことをいつも機会あるごとに言ってるんですけれどね、どうしてもいままでの臨海部の使い方が頭にありましてね、さっきのヨットじゃありませんけれども、人がウロウロすると一方で邪魔になるかといった考えが一部に残ってるわけですね。いまちょうどその切りかえの時期だと思うのです。

しかし、今度埋め立てられている北港と南港の一部をあわせまして700ヘクタールぐらいあるんですけれども、この部分だけでも相当な面積でしてね、これをうまくつくれば、昔の大阪のように海岸線がかなり変わってくるんじゃないかという感じがいたします。ことに南に空港ができましてね、空港というのは一つの玄関口ですから、そこへおり立つ連中がこの湾岸線に沿って大阪の都心に近づいていくときに、やはり都市的なセンスを臨海部が持たないと、結局いつまでたっても勝手口のままです。

宮本　マンションみたいなの、よーけ建ってるのと違いますか。

川島　ええ、かなり南港には建っておりますね。

宮本　人口第三のまちになりましたから。だから人口をふやすために、その対策もしてるんと違いますか。

川島　ええ、少し変わってはきてるんですけれども、それでもまだ西淀から港、此花、大正、住之江というところは、大阪でも夜間人口はどんどん減ってるんです。そうして人口密度はみなヘクタール当たり100人を割っている。

足立　いまのお話は、北港もさることながら、みな色めき立っている南大阪の各都市に考えてもらわないけませんね。

川島　そうですね。だから、いまは堺や岸和田の旧港なんかは、保存しながら、しかも新しく活性化していくことを計画してますね。そうすると石濱さんのおっしゃるようなヨットハーバーなどもできていくようになるんじゃないか。またそうしないと、水の都というものは復元できないような感じがいたしますね。

石濱　堺から南のほうの海岸へぼくら海水浴に行くということがあったでしょう、そのことによる親しみが非常に強いんですね。築港かって、潮干狩りしたんでしょう、それがだんだんなくなった感じでね。

足立　いままでは、大阪も、神戸も、みな北へ、奥地へ目を向けてたわけですよ。これから南の時代がくるわけです。そういう意味でこの大阪湾のありかたが今後に影響するところ大というわけですね。

石濱　淡路島が兵庫県であるために、大阪の人たちは、なんか違うところみたいに考えてるんじゃないかと思うのです。ところが歴史的に見ましても、淡路と大阪との結びつきのほうがはるかに大きいんですよ。

宮本　大体四国・徳島ですわ、淡路いうたら。それが明治維新のときに兵庫県に属したけれども、兵隊さんはみな大阪へ入ったんだ。そやから淡路と大阪人は親しみがあったんですね。

石濱　だから淡路島はぼくはある意味で大阪圏と考えたほうがいいんじゃないかと思いますよ。行政が違うから、なんか他国みたいな気がするがね。

実は、ぼくとこも淡路の出身なんで、とくにそう思うのかもしれないけれど、このごろ船場でも、南船場を歩いてごらんなさい。あそこら辺の大きな繊維屋さん、淡路出身いうのがよーけいまっせ。淡路町もあるし(笑)。

宮本　淡路は多いですよ。

足立　いまのお話からいくと、お金という問題はあるけれど、橋かけて、ぐるっと回れるようにしなければいけませんな。

川島　そうですね。そうなると東京湾と非常によく似るんですよ。房総に相当するわけですからね淡路島が。ただ、まちづくりというのは、非常に時間のかかるものですね。だから南港が割合と評判悪いんです。南港はまだなっとらんやないか、家建てとるけれどもまだまだ近代都市になってない、と。ただしかし、ちょっとせっかちな意見でしてね。千里ニュータウンでも、できて15年ぐらいですかね、最初からやと20年ですね、やっと少しまちらしくなってきたでしょう。ぼくは南港だって、まだこれから10年か15年たたないとほんとのまちにならんと思うのです。

石濱　ちょっとまちになりかけてますよ。北島のところへ行ったら、飲み屋や料理屋や……。(笑)

川島　人工のまちというのはやっぱり時間がかかりますね。

石濱　洲本なんてまち、いまカラオケだらけですね。洲本がカラオケで日本一なんですって。だからそういうのんが大阪湾の構想からいくと、ちょっと面白いんと違うかな。

川島　これからは、国際空港をどういうように取り込んで、とくに一般に遅れたと言われているミナミのほうを国際色あふれた海岸地帯にどうつくり替えていくかというのが非常に大事な問題だと思いますね。

足立　アメリカの海岸にはフィッシュマン・ビレッジがいくつもあって、そこへ行って遊んでるでしょう。そういうようなものを工夫したら、大阪の人が結構、車で出かけるようになると思うのですが。

川島　そのためにはやっぱりきれいにせんとだめですね(笑)。

石濱　二、三十人乗れるボートで1時間で対岸の淡路まで行って、おいしい魚が食べられる。

足立　もうちょっと進んだら、船もいいけど、そこからヘリコプターでサッと行ったらよろしい(笑)。

石濱　昔の大浜の塩湯もそれだけじゃなかったでしょう、少女歌劇があったりね。

足立　結局、複合的な施設でないとね。日常でも奥さんは単に市場へ行くだけでなしに、複合した目的を持って行きますんでね、そういう複合的なシステムを計画しないとあきませんな。

川島　そうですね、以前のように非常に広い地域を工業地域だとか商業地域とかでパッと色分けしてしまうようなのでは、いいまちはできないですね。空港がミナミにできますが、まだ大阪のキタの方だとかとくに神戸あたりは、えらい遠いところへ空港ができる、という感じですけれども、地図で見ますと、神戸からはすごく近いんですよね。新しい高速艇がございますね、ああいうものを使いますと、ジェットホイールみたいなのを使えば、20分か30分で……。だから、大阪湾が内海のような感じですね。

足立　むしろ交通信号のブイを浮かして整理せないかんような……。(笑)

宮本　今度、和泉に大学がひとつできるようだが、いままでは、大阪・堺・和歌山へ電車にのったらすぐ行けるので、その必要性を考えなかった。

川島　しかしこのごろ少し考えが変わってきましたね。

石濱　淡路島でも言ってましたな、淡路島にええ学校ないねん、と。やっぱりつくったらいいですよ。

宮本　譜代の人は泉州やと思うてないんです、大阪やと思うてる(笑)。大阪意識を持ってますわ。堺は泉州やないねんな、いまは(笑)。

川島　とくに堺の山手のほうは、代々大阪から移り住んだ人が多いですからね、海岸のほうに向かってものを考えないですね。

石濱　空港ができる近くの繊維屋のおっさんに言われましたが、先生ひとつ文化を持ってきとくなはれ、って(笑)。文化いうもん、持っていかれへん(笑)、あんたんとこにおまんがな、言うて……(笑)。

足立　まだまだ話はつきませんが、時間がきましたので、この程度で……。有難うございました。





昭和59年10月19日　於日本建築協会会議室

オブザーバー編集委員：田中直人、岡田信幸、渡辺克

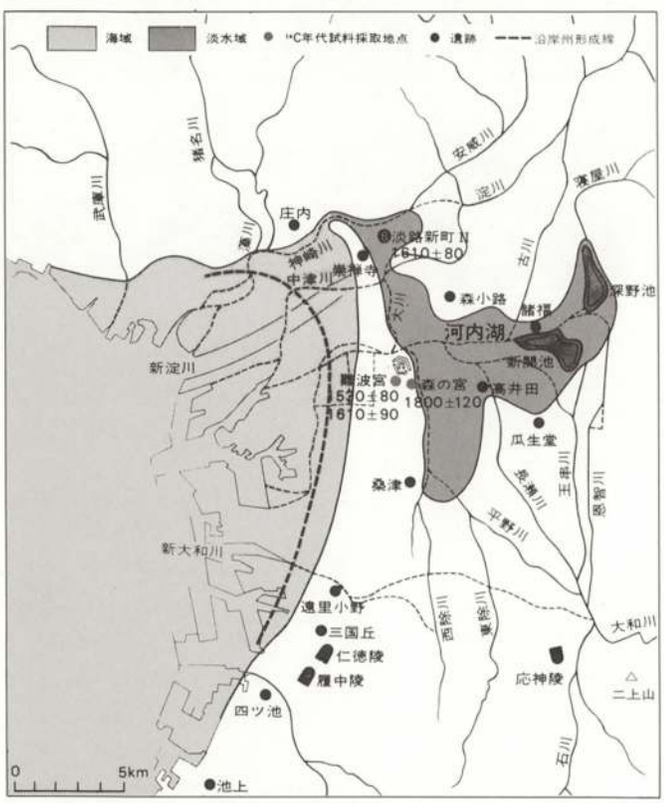
大阪湾沿岸域の過去と将来—土木計画的アプローチ—

長尾義三

古代の人々は日本の国土がどのようにしてつくられたと思ったであろうか。大和と河内の境にある二上山から大阪湾を俯瞰したとき、眼前に拡がる大きな湖と天の橋立のような上町台地。そして満潮時や、洪水のとき浮き沈みする数々の島々。やがて、牧野となり、肥沃な耕地となって陸地となっていく湖の中の大和川・淀川の河口デルタを見て、国土の形成もかくやと思ったのかも知れない。

日本で最も古いとされる史書、古事記、日本書紀に国生みの話がでている。最初に「おのころ島」が生まれ、次いで淡路島、四国、九州が生まれたとある。大阪湾から瀬戸内海に続く水面を一つの大河とみれば、大阪湾を中心に水面と陸域が逐次つくられたと思ったのかも知れない。

今に残る謎の大古墳を作ったという応神・仁徳等の天皇の世を山根徳太郎は難波王朝（一説に河内王朝という人もいる）と名付けている[1]。やがて大和王朝の統治する世となり、次に平城、平安と宮都を移すが、大和川、淀川を通じて大阪湾と密接に関係して、国内の統一が行われていく。中世、近世と時代が変わっても大阪湾が日本の歴史的活動の一大中心地であったことに変わりない。大阪湾を中心に瀬戸内海、また淀川、琵琶湖を通じて、西に、東に、北に大幹線交通網が伸び、半島・大陸とも密接な関連をもって、今日の近畿そして日本国がある。



—河内湖Ⅰの時代〈約1800—1600年前・弥生時代後期—古墳時代前期〉

大阪平野の古地理図（URBAN KUBOTA No16より梶山・市原作成）

大阪湾沿岸域の成立と変遷

市原実らが作成した古地理図がある[2]。2万年前ごろのウルム最盛期には、海面は百メートルぐらい下がっていた。ということは、大阪湾の中央部から東北部一帯は古大阪平野といわれる陸地だったといえる。その後、海面上昇が進み、約7千年前ごろには、今の大阪平野の大部分が海となってしまい、わずかに上町台地が半島状に突出していた。こうした河内湾の時代からさらに古墳時代になると、上町台地の砂嘴は北に伸び、河内湖と称せられる時代となる。その後、大和川、淀川の流下土砂が湾を埋め、いくつかのデルタを形成しつつ、さらに、大阪湾に流出した土砂が、潮流や波の作用で漂砂となり、上町台地を北進し、図の点線のような海岸線を形成していったものといわれる。北端の狭さく部の水路が狭くなるにつれ、海水、河川水の出入りが激しく、浪速（なみはや）と古代人に言わせ、それが難波（なにわ）の語源ともなったと伝える。

当時の重要な交通手段は舟である。大阪湾から大和川、淀川を通って内陸部に通ずるにこの水路が大きな難所であったに違いない。淀川と大和川の分離、さらに、河口を別に設けることは、当時の人々の悲願でもあった。

「記紀」は、仁徳天皇の業績として当時の宮の北方に堀を穿ったと伝える。これが今の大川に比定されている。元来、茨田堤（まんだのつつみ）で瀬割り、大和川を分流させる目的であったが、淀川も新たにこの堀を通ずるようになってしまった。

その後、延暦7年（788）和気清麻呂によって新たに荒陵（あらはか）の地（今の天王寺公園付近）に分流しようと工事がなされるが、これは失敗、大和川が今のように直接西進し大阪湾に流れるのは、元禄16年(1703)、徳川時代に入ってからである[3]。

旧大和川の多くの派川の河川敷は、良質の耕地となり、米のほか、棉、菜種等の栽培も行われ、食糧、エネルギー、綿織物の中心となり、大阪経済の素地ができあがる。

かつての河内湾はこうして、肥沃な大阪平野となる一方、莫大な土砂は、直接大阪湾に出て、広大なデルタを形成し、牧野さらに、干拓地が図の細い実線のように形成されていったのである。

江戸時代までの大阪湾

河内湖を埋めつくした莫大な土砂は淀川河口に拡がることにより、往年のなにわの繁栄は衰え、西行をして「津の国の　難波の春は夢なれや　葦の枯葉に風渡るなり」と嘆かしめた。ここに、大輪田から名を変えた兵庫津と、中世終わりになって堺湊の胎頭がある。一方、大川によって切り拓かれた上町台地の北端難波は、要塞堅固の地となり、石山本願寺の拠点となり、一大寺内町の発生をみる。

織豊時代を迎え、堺の商人の力を借りて、信長の天下統一をみ

るのであるが、やがて石山が陥落し、さらに、秀吉によって、大阪の町づくりが始まる。それは、浅くなった河口を掘り、無数の堀をつくり、その土砂で地盤を嵩上げ、築城を行って、大船の出入りできる一大港湾都市をつくりあげるのである。

これは、徳川時代に入って、河村瑞軒らがさらに、淀川河口の改修を行い、一方、日本沿岸に、西廻り、東廻り航路を拓いて、大阪湾を日本の商業貿易の一大中心となさしめるのである。堺港は秀吉の町人の大阪への強制移動、また新大和川の流下土砂で埋もれ、わずかに水路を切り開いて、港の機能を残すといっても、かつての面影はない。兵庫の港は、西風に弱い大阪湊の代替港として、港勢は持続して明治を迎える。

近代工業と埋立地

明治に入り、外国技術が導入されたとき、蒸気機関による水中浚渫機械も輸入されるようになった。明治3年安治川の浚渫工事がわが国で初めて機械によって行われている。大型船は水深の深い水路を要するが、水路を深くすればするほど大量の土砂が採取できる。これによって低地なり海面を埋立すれば、良質の利用しやすい土地を任意に形成できる。この一石二鳥の方法は、河口に土砂の堆積しやすいわが国ではまことに都合のよい話である。

とくにポンプ船という土砂と水をかき混ぜて吸い込む方式の浚渫船が明治後期から大正期に導入されて、一層埋立地造成が容易となった。原材料を大型船で運び、臨海部に造成した広大な土地に工場をつくる臨海工業地帯は大規模な築港とともに、富国強兵、殖産振興の基盤となって、日本の各所に造成されていった。大阪湾も阪神臨海工業地帯として、鉄鋼業、化学工業、造船工業等の日本の近代的一大重化学工業地帯として変貌していった。

貿易、商業、繊維工業等の既往産業に加え、これら重化学工業地帯は背後地に関連産業を集中せしめ、一大人口集中地域となった。一方、大量の地下水の汲み上げによる埋立地は、堆積地（沖積層）埋立地の地盤沈下を起こし、高潮等による被害も大きくなり、その対策に巨大な投資を必要とするようになった。

戦時中、この日本の心臓部に対する空爆もはなはだしいものであった。天災と、戦災によってほとんど潰滅した大阪湾沿岸域であったが、戦後の復興もまた目覚ましかった。

荒地と化した沿岸部は、秀吉の故智にならって、巨大船の出入りできる水路が掘られ、その土砂で嵩上げが行われ、近代都市計画が実施された。尼崎港は、外かく堤防で囲まれ、高潮の災害から永遠に保護されることとなった。また、神戸では山が削られ、住宅地となり、巨大な人工島が築かれ、山地に宅地が、海に、新時代を先取りする築港や、新都市がつくられた。

大阪港の西では、さらに大きな人工島が築かれ、3万人の人口を擁する都市とコンテナふ頭等、近代港湾が整備された。さらに埋没した堺泉北港では、大和川の流下土砂によって築かれた埋立が行われ、鉄鋼・石油精製等、大規模な装置産業が立地し、港も近代的工業港として、日本の高度成長の支えとなったのである。資源のないわが国にあって、また、東西文化の融合による独自の文化を創出するという日本にあって、大阪湾は、内外各地域からの交通の便を十二分に利用でき、その恩恵で、沿岸域を中心に、近畿独特の、文化・産業そして都市圏を築きあげることができたといえる。

大阪湾沿岸域の今後の課題

時代は常に移り変わっていく。

高齢化時代、成熟社会、そして減速経済社会へと移行するなかで、技術は先端産業を中心に目覚ましく変わり、さらに、新たな情報化・国際化の社会へと変貌している。これまで大阪湾沿岸域の人々は、国の歩みの先導的役割を果たし、常に時代を先取りして、沿岸域の改造を進めてきた[4]。

あらゆる機能が、首都圏に集中したという今日でも、この役割を捨ててしまってはならないと思う。哲学でも、弁証法といって、正反合の思考の論理があるように、一つの中心が行動するとき、それを冷静に評価し、方向を誤たないようにするもう一つの中心があってもよいと思う。大和と大宰府、京都と鎌倉、江戸と大阪といった具合に、日本の歴史もそれを教える。中国でも、よくみると、北京と南京もしくは上海と二つの中心を絶えず動きながら一国の生命力を培っている。

このような目で、大阪湾沿岸域の将来を展望するとき、いくつかの課題を見出すことができる。

1)新しい日本の中心として、また文化・学術・産業の蓄積された近畿地域を活性化するため、大阪湾沿岸域の任務は極めて大きい。

2)大阪湾沿岸域は日本の急激な高度成長を支える基盤として役割を果たしてきたが、老朽化し、再生が求められている。

3)湾内の汚染を中心に環境も悪化し、水産業の停滞や、海上交通の渋滞なども生じている。

4)湾内の行政区域が不明確で、濫開発的な傾向すら見られる。

5)海・陸・空の日本の、さらにはアジアの門戸としての役割を負わされているが、湾上に求めるほかに方法がない。

むすび

国土全体が生き生きと生命力を保つため、国の中心機能をもう一つつくる必要がある。広大なこの21世紀に向けての機能は、大阪湾沿岸域に求めざるを得ない。いろいろな方面から各種の大阪湾構想が提言されている[5)6)]。それらは、大阪湾沿岸域の環境悪化を甦らせ、都市・産業の活性化に大きく寄与することを目標においている。

どのような構想が選択されるかは、沿岸域の人々の選択によろう。ともかく大阪湾沿岸域は、長い時代を経過してきたが、常に東西文化の交流、新しい日本文化技術を生み出してきた地域でもある。この歴史的現実は、確実に将来にも続くであろう。24時間開かれた関西国際空港もいよいよ着工となった。これを契機に、大阪湾沿岸域活性化の方向をしっかりと見極め、着実に一歩前進することが望まれる。

参考文献

1）山根徳太郎『難波王朝』学生社　昭和44年
2）市原　実『大阪層群と大阪平野』URBAN KUBOTA　No.11、1975年3月
3）長尾義三『物語日本の土木史』鹿島出版会　1985年1月
4）長尾義三『わが国沿岸域の特性と役割』土木学会誌　1981年6月
5）運輸省第3港湾建設局『大阪湾港湾計画の基本構想』　昭和59年9月
6）関西経済同友会『21世紀の地域開発構想－大阪湾コスモアイルズの提唱－』　昭和59年10月

（ながお　よしみ　京都大学工学部教授）

大阪湾岸の歴史とその逸話

荒尾親成

いまから百十八年昔の明治までは、大阪湾を控えた神戸―大阪地帯は摂津の国と名づけられていたが、チョンマゲを乗せていたその時代の人は、単に「つのくに」と呼んでいたようである。

津というのは船つき場、良港を意味し、琵琶湖の大津、日本海側の丹後国宮津（山の上に天照皇太神を祀る宮の下の良港）、兵庫県の室津、中国の天与の良港・天津みなこの例である。津の国の西の境界線は、須磨一ノ谷西の境川（津の国と播磨の国の境）で、元禄元年三月、ここに来た俳聖松尾芭蕉は、この境川の上の木に止まっていた「かたつむり」の角の動きを見て、

かたつむり　つのふりわけよ　須磨　明石

（須磨は津の国、明石は播磨の国）

と皮肉な俳句を残している。

そして東の境界線は奈良から流れてくる大和川で、今東光サンで有名な河内の国、和泉の国と界し、その流れ込む流域の都市が、堺市!!その間が摂津国、もともとは浪速国、浪速津とも呼ばれ、浪速津を略し津の国（良港の呼称）。西暦678年、津の国の行政府として摂津職が置かれた。日本書紀に「内大錦下丹比公麻を摂津職大夫となす」と記されており、難波宮（現大阪）にいた朝廷の官吏が、津の国のことを摂ていたので、このように言っていたと伝えられる。大夫は長官の意で、正五位上相当官を指し、非常に地位も高く、朝廷から重要視され働いていたようで、港都の内外の船舶、外国の使臣らの接待等の任務も司っていた。

西暦893年桓武天皇は、難波宮を廃するとともに摂津職をやめ、地方の国と同様に、国司を置き、摂津職という職名を官制によってそのまま摂津国としたものの、爾後の庶民大衆は、この湾岸附近を、良港の意で単に津の国と呼びたたえてきたようである。

ところで陸運があまり発達していない時代、海運は人々に重宝がられ、泊り泊りの港湾は自然に繁昌をきわめていった。西から津の国に入る船泊りには、「室津の泊」「韓泊」（姫路南）、「魚住の泊」（明石）、「大和田の泊」（兵庫）、「川尻の泊」（神崎川）、いずれも海路一日の行程であったようである。

神戸港の前身をなす「大和田の泊」（兵庫）の、さらに前身をなす泊り（良港）に、「敏馬の泊」がある。千余年も昔にひらかれた良港で、柿本人磨も、

玉藻刈る　敏馬を過ぎて　夏草の
　野崎が崎に舟近づきぬ

また万葉集にも、

ますかがみ　敏馬の浦は　百船の
　すぎてゆくべき　浜ならなくに

がある。

左の木版画は、江戸時代に描かれた敏馬神社（現存東灘区）と、その海岸（敏馬浦）の絵で、海運の商取引所が兵庫港に移ってからも、ここの海岸はやはり昔からの敏馬浦の名残がある。大阪、尼崎、



西宮からの船着き場として賑わい、有名な俳人蕪村も、しばしばここにきて海上にのぼる月を賞でて、

広沢は　いかに敏馬の　月清し

の句を残している。

ところで、長かった江戸時代の鎖国の夢が破られて、兵庫開港、大阪開市が実現したのが慶応三年十二月七日（太陽暦1868年１月１日）で、安政の仮条約で開港を予定された、いわゆる五港（函館、新潟、横浜、長崎、兵庫）のうちでは、いちばん遅く、兵庫は実に十年もおくれての開港であった。嘉永六年六月、アメリカ水師提督ペリーの浦賀来航に端を発する黒船騒ぎで、攘夷と開港両派が、国論を二分し、国内騒然たる中に、兵庫開港、大阪開市は実行されたのである。

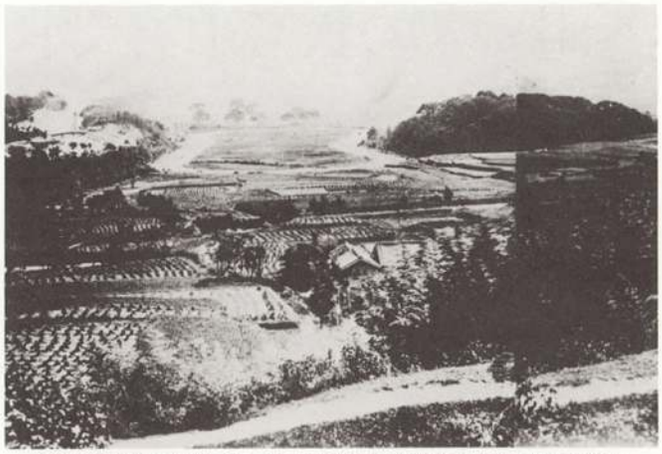
幕末当時この問題の論議が中心で、幕府と井伊大老の命を一段と縮めたといっても過言でないようだ。

国史の上からみても、兵庫県の須磨一ノ谷附近の土地は、山城国と言われた王城の地京都の大切な西の防衛線（外堀と言われていた）上の要害であった。源平の戦や湊川合戦も、この故をもって、この地に戦われた実蹟に徴し、開港問題がこじれ、ことに井伊大老が勅許を待たず、兵庫を開港に加えたことは、当時の憂国の人々のヒンシュクを買ったことは想像に難くない。こんな大切な地点兵庫を、当時の国民感情として切支丹バテレンの泥靴で蹂躙させるなと、志士たちも酷しく気慨を示し、先覚者たちも十数年前に起こったアヘン戦争による英国の清国（中国）の侵略の例を引いて警鐘を乱打して反対した。そしてこれらの志士を捕縛、断罪した、いわゆる安政の大獄を起こした。この大獄の主役井伊大老が万延元年三月三日暗殺されると、一時長州藩を主軸とした攘夷派が力を得、文久三年五月十日を攘夷決行日との孝明天皇の勅命まで降下する騒ぎがあって、兵庫開港、大阪開市問題は一頓挫をきたして、まず五年延期、さらに十年延期することになった。

諸外国（米英独仏露伊）との開港条約批准等のこともあり、国家の体面と時局収拾の立場から、徳川慶喜は京都御所に参内、老中二人とともに、条件として長州再征問題を寛大に処分する旨を奏上、徹夜でねばって遂に慶応三年五月廿四日、兵庫開港、大阪開市の勅許を得た。同年十二月七日開港式挙行を予定し、外国人居留地を神戸港海岸に設定、その区域を旧生田川（東）、宇治川（西）、西国街道（北）と定め、必要に応じて、北部山麓にまで拡張、内外人雑居条例を定め、十二月七日の開港までに、鋭意開港準備をととのえることを約した。

この時の神戸市人口は兵庫地区で約二万人、戸数約五千、いまの中央区地区で人口約三千七百人、戸数約九百戸、全国人口三千万の時代であった。

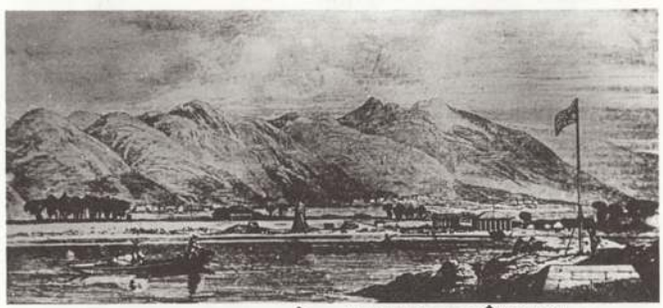
そしていよいよ1868年１月１日（慶応三年十二月七日）、開港式には、その数日前から、英米仏蘭独伊等の軍艦が約20隻入港し、



明治２年撮影の生田ノ森ー異人館で有名な北野町の高台より南を望む

神戸の地名の由来

神戸（かんべ）は、大昔に朝廷から神社に付属されていた租・庸・調を納める民家をいい、1100余年前には長田神社と西宮の広田神社に各41戸、生田神社に44戸が付随されていた。この「神戸」が存在している村落ということで神戸村の名称がつけられその後、神戸町、神戸市へと発展してきたものである。



生田神社の木造高燈篭

英国領事館ーガラス張りが珍しく、ビードロの家と親しまれた。

神戸開港当時に英艦乗組士官の描いたスケッチー慶応３年12月７日の神戸港ー

式当日にはマストに各自国旗と日章旗を掲げ、正午を期して一斉に21発の祝砲を轟かせて市民をアッと驚かせた。陸上では、各国領事館（海岸にあった）が、各国旗を風になびかせ、勝海舟、坂本龍馬らがかつていた旧海軍操練所あとに建てられた運上所（のちの税関）を祝賀会場として、兵庫奉行柴田日向守剛中以下、礼装に威儀をただし、各国公使と祝盃を揚げて開港の前途を祝し合った。

このあと二日経った十二月九日に、徳川幕府は大政を奉還して瓦解し、明治新政を迎えて、翌年の五月廿三日、兵庫県庁が置かれた。

同日付で伊藤博文（俊介）が27歳の若さで、兵庫知事を拝命、赴任してきて、開港草々の神戸で敏腕を揮い、外人居留地内に今も伊藤町（いとうまち）という佳名を残している。

（あらお　ちかしげ　元・市立神戸美術館長、郷土史研究家）

港町・堺の民俗的伝承
二つの例

尼見清市



大漁夜市

毎年7月31日の夕方から未明にかけて、堺の大浜で大漁夜市がひらかれ、多くの人々で賑わう。その発生は鎌倉時代にまで遡ると伝えられているが、その確証はない。当日は、大阪の住吉神社の堺渡御祭の前日で、住吉神社の信仰との関係が深いものと考えられる。住吉神社の大祓の祭りは、6月30日の夜から7月1日にわたって行われていたが、新暦に変わってからは7月31日から8月1日になった。それで大漁夜市も7月31日に行うようになったようである。

住吉神社はいうまでもなく、航海の神・海の神として、とくに漁業にたずさわる人々に信仰されている。この大祭が行われる日には、全国津々浦々の漁師たちは神に供える鮮魚を積んで堺の港へ集まり、すぐ住吉神社に参詣して、神前に数々の鮮魚を献じて、その年の大漁や航海の安全などを祈ったのである。ただ参詣だけではなく、少なくとも船に積んできた多くの魚を、物資の集散地であった堺で売り捌くことにした。堺でも漁業が盛んであったので、なかば自然発生的に大漁夜市がはじまったものと思われる。

奈良の春日神社に、

「春日社供菜備進市座神人等申堺浦漁具売買輩事依有吉野通達之疑近日被停止之間神供令闕如云々所申無相違者可被免供菜売買若又有子細可被注申之状依仰執達如件　建武四年六月十一日　武蔵権守（高師直）（花押）　細川兵部少輔殿」（春日神社文書）

という文書が残されている。すなわち、堺の魚貝売買の人が南朝のスパイの疑いがあるので、その売買を停止したが、そのため神供が闕如すると幕府へ訴え出たので、停止させないようにと、北朝側の和泉国守護細川顕氏に命じたものである。堺魚商人の営業停止は、春日神社の神供が欠くことだけでなく、奈良・京都などの人々にも多大の影響を与えたものと考えられる。

すでに平安時代中期ごろの俊頼口伝集下に、

「なしといひつるたひ(鯛)は　君ありけるはさかひ(堺)より　昨日もつきたるなり　つねひら　是はつねひらが泉の国にしるところのさかひ(堺)といふ所ありけるなり　よきたひ(鯛)につねにみえけるに　この此程はみえずなんと　申てほどへずとり出てはべりければ　したりけるとぞ　たはふれて云々」(続々群書類従第15)

あるいは、鎌倉時代の夫木集には、

「行く春の　さかひの浦の　さくら鯛　あかぬかたみに　けふやひくらん」

と歌われている。文書としては前にあげた南北朝のものしかないが、堺の名産といわれた桜鯛は平安時代よりすでに名高く、春日神社などに供えられ、また京・奈良の人々にも珍重されていた。

南北朝ごろの堺の港には、漁船だけではなく、一般の商船も出入りしていたので、相当の目銭（入港税）があったらしく、これに目をつけたのが東大寺であった。

「東大寺八幡宮修理料所事和泉国堺浦泊船目銭限三ヶ年所被付其足也急速可被終成功者新院御気色如此仍執達如件　応安六年五月九日　参議　嗣房　性通上人御房」

「摂津国堺浦泊船目銭限参箇年被付東大寺八幡宮修理料足事任御下知之旨可被沙汰居大勧進於当浦之状如件　永和弐年六月十一日　沙弥　宗徹　（花押）　渡辺四郎兵衛尉殿」(東大寺文書)

和泉は堺南庄、摂津は堺北庄であって、ともに堺港の目銭を6か年にわたって東大寺八幡宮の修理費として納め、この目銭だけでまかなえたのである。このことからも、当時相当多くの漁船や商船が出入りしていたことがわかる。

さて、現在では、大浜で大漁夜市が行われているが、これは天保以後のことらしく、それまでは紺屋浜（現寺地町浜）と海船浜（柳之町浜）の2か所で行われていた。

海外貿易

昭和53年に放映されたＮＨＫの「黄金の日日」で、納屋助左衛門と堺の名が多くの人々に知れわたった。しかし、納屋助左衛門については、小瀬甫庵の「大閤記巻第十六」に、

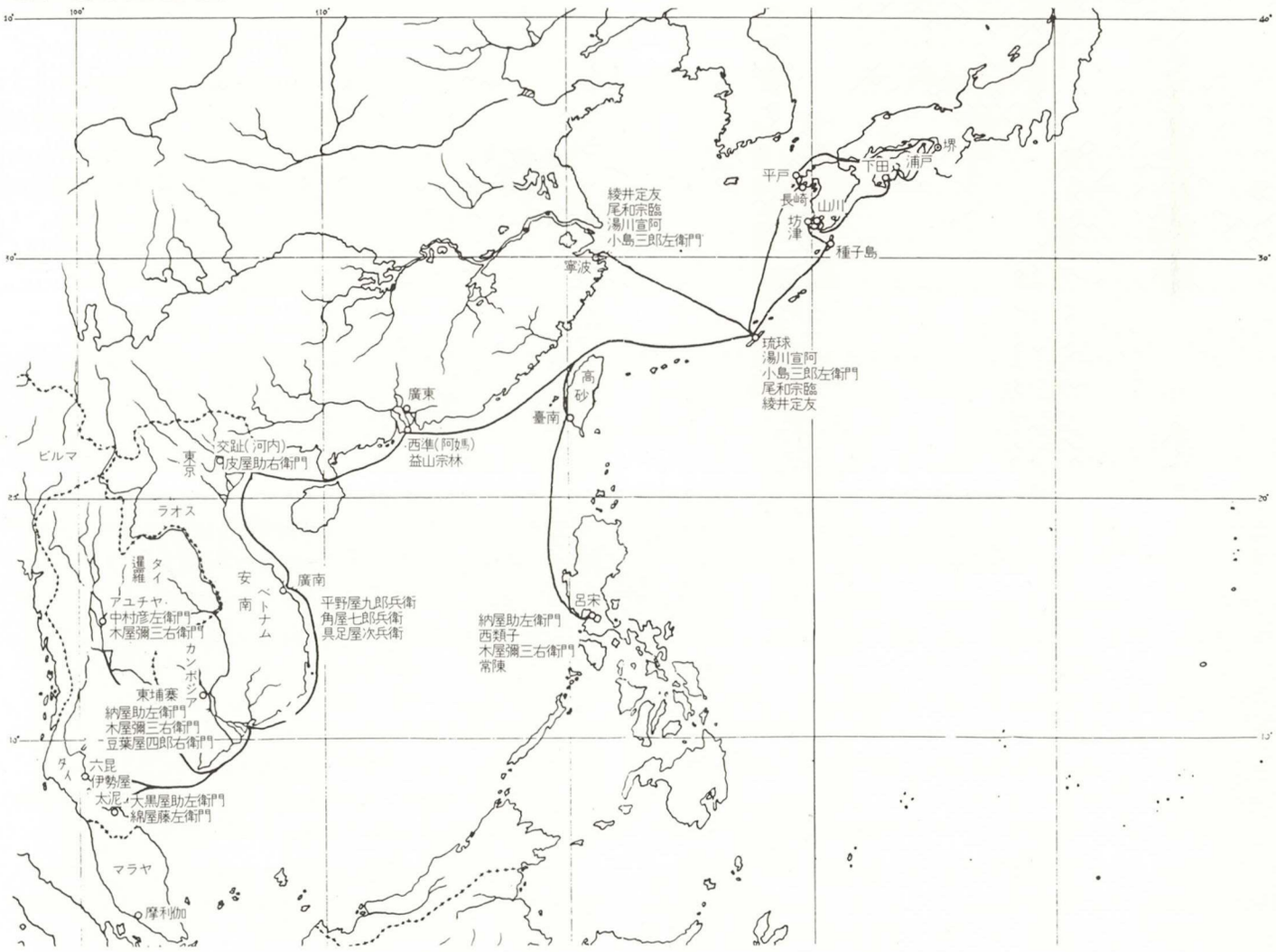
「呂尊より渡る壺之事　泉州堺の津菜屋助右衛門と云し町人、小琉球呂尊へ、去年の夏相渡り、文禄甲年（同３年）７月20日帰朝せしが、其比堺之代官は、石田杢助にてありし故、奏者として、唐の傘、蠟燭1000挺、生たる麝香２疋上奉り、御礼申上、則真壺50、懸御目しかば、事の外御機嫌にて、西之丸の広間に並べつつ、千宗易などにも御相談有て、上中下段段に代を付させられ、札をおし、所望之面々誰々によらず執候へと被仰出なり。依之望の人々、西丸に祇候いたし、代付にまかせ、5・6日之内に悉く取候て、３つ残りしを取て帰り侍らんと、代官の杢助に菜屋申ければ、吉公其旨聞召、其代をつかはし取て置候へと被仰しかば、金子請取奉りぬ。助右衛門５・６日之内に、徳人と成にけり」

と記されているだけで、「当代記」や「重修続王代一覧」「慶長以後年代記」などにも触れられているが、「大閤記」を参照して記されたものである。

しかし、海外貿易を行ったのは、納屋助左衛門ひとりだけではない。湯川宣阿(備中屋)、池永新兵衛、小島三郎右衛門、尾和宗臨、日向屋修理、皮屋助右衛門、大黒屋助右衛門、綿屋藤左衛門、木屋弥左衛門、豆葉屋四郎右衛門、西類子(宗真)、益山宗林、中村彦左衛門、具足屋次兵衛、角屋七郎兵衛、平野屋九郎兵衛（いわしや）などは、中国の寧波・琉球・呂宋（フィリピン）から東京・広南・占城など、現在のベトナム・カンボジア・タイまでもたびたび出かけている。生糸・絹織物・ビロード・砂糖・朱・獣皮・象牙・陶磁器・玻璃・伽羅・丁字・沈・白檀・黒檀・柴檀・麝香などの交易品が船載されて堺港をにぎわさせた。

（あまみ　せいいち　堺市博物館主任研究員）

堺商人南進足跡推定図



海・生活・法律—いま大阪湾は—

椹木　亨

大阪湾に限らず、海の近くに住む人にとって、海を生活の糧として利用する場合もあれば、海の猛威の前に自分自身あるいは財産を失う危機にさらされることもある。そこで海を生活活動の場にしている人にとって、海がいかなる法律で守られ、いかなる法律で運営されているかは大きな関心事ではあるが、同時に日常海とはあまり関心のない人々にとっても、それを知っておくことは無駄ではあるまい。ここでは、まず海に関する一般的な法律の概略を説明した後、これらの法律が大阪湾にいまいかにかかわっているかについて話を進めていこう。

I　海にはどのような法律があるのか

一般に海も陸上と同様の法律によって、海上交通が確保され、国土が保全され、資源の活用がはかられている。

それらは大きく分けて、つぎの４つの目的をもつ法律に分類することができる。

(1)　海洋の財産管理を目的とするもの：これらについては**国有財産法**および**公有水面埋立法**等があげられる。この中でわれわれ土木技術者にとって最も身近な法律としては、大正10年に設定された公有水面埋立法があげられる。大阪港の大規模埋立事業であるポートアイランド、大阪南港埋立、さらには新関西国際空港建設もこの法律に基づいて行われていかねばならない。また神戸港、大阪港などの港湾整備事業もこの法律によっている。

(2)　海上交通の確保を目的とするもの：海上交通、すなわち船舶の運行については、基地となる港湾の開発、管理運営および航路の保全を目的とした**港湾法**が昭和25年に設定されている。また港内の整とん、秩序に関するものとしては**港則法**（昭和23年設定）が、海上交通の安全に関しては昭和47年に**海上交通安全法**が設定されている。

(3)　国土の保全および環境の保全を目的としたもの：わが国は台風の常襲国であり、台風の来襲に伴う高潮による災害は極めて大きい。このような海岸災害から国土を守る法律は第２次世界大戦以前にはなく、また後述するように、従来より種々の省庁の管理区域があったため、統一された法律が設定されにくかったわけであるが、昭和31年に**海岸法**が設定され海岸保全のための統一化がはかられた。一方昭和40年代になると臨海部の開発ならびに内陸部の生活基盤の変化等による海の汚染が問題となり、海の環境保全が叫ばれるようになってきた。これに対応して昭和45年に**水質汚濁防止法**ならびに**海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律**が設定されている。

(4)　水産資源の活用を目的としたもの：漁業水産に関する基本的な法律といえるものに**漁業法**があげられる。海上工事の補償問題でよく問題となる漁業権は、この漁業法によって守られた漁民の権利であって、権利者が一定内容の水産動食物の採捕、または養殖をするという利益を一般人に対して保護するものである。わが国の漁業法は、明治34年に設定されたものであるが、第２次大戦後の農地改革と同時に漁業改革も行われ、「漁業権を自ら働く漁民に与える」という趣旨で新しく昭和24年に設定された。ここでいう漁業権には「定置漁業権」「区画漁業権」「共同漁業権」の３種類がある。定置漁業権は定置網漁業を営む漁業権であり、区画漁業権とは水産動植物の養殖業を営む漁業権で、例えばのり養殖、魚の養殖、かきなどの貝類の養殖を行う場合がそれに相当する。共同漁業権とは一定地区の漁民が一定の水面を共同で利用して営む漁業権で、例えば貝藻類の採集、地びき網漁業や人工魚礁等によって集まる魚をとる漁業があげられる。これらの漁業権の法的特色を簡単に要約するとつぎのような性質をもつ。

①絶対権で排他性を有すること。②私権たる財産権である。③漁業権は物権とみなされる。④漁業権には土地に関する規定が準用される。したがって抵当権や土地収用法が適用される。

海を公有の海としか考えておられない読者には、海に私権があり、物権があるということは驚きかもしれないが、この法律によって漁民の生活が守られていることは十分認識して欲しい。

この漁業法によって守られている漁業に対して、事業法的な法律として、漁港の開発、整備運営に関する**漁港法**が昭和25年に設定され、さらに**水産資源保護法**が昭和26年に、また**海洋水産資源開発促進法**が昭和46年に、さらに近年の公害および埋立等による漁場の喪失にともなう漁場の整備開発のための**沿岸漁場整備開発法**が昭和49年に制定され、同法に基づく事業が発足している。

以上数多くの海に関する法律を述べてきたが、この中で海を利用し、国土を守っていく立場から最も密接な関係のある海岸法、港湾法、漁業法、漁港法とのかかわりにおいて大阪湾はいまどのようになっているかについて述べていくこととしよう。

II　海の管理者は誰か

上述の法律の種類からわかるように海は種々の関係省庁が関係している。例えば港湾法によって管理運営される港湾は当然ながら運輸省の所管であるし、漁港法によって整備される漁港は農林水産省の水産庁の所管となっている。また国土保全を目的とした海岸事業も、一般には建設省の所管と考えられがちであるが、背後に干拓地がある場所では、農水省の構造改善局の所管となる。このように海岸は四省庁にまたがった非常に複雑な所管となるが、海の災害は、省庁の区別などおかまいなく発生する。海岸法はこのような背景で発議され、昭和25年建設省を中心として立案された。しかしながら、立案時点では各関係省庁においては、上述の経過からみて、自治省庁の大臣が主務大臣であると主張し、所管の問題で一致をみることができず、審議未了のまま昭和31年まで海岸法は設定されなかった。したがって昭和31年設定の海岸法は当初の案が大幅に変更され、建設、運輸、農水の三省別の所管として海岸行政が行われるようになった。このため、同一の海岸線においても行政サイドでは建設省所管の海岸、運輸省所管の海岸、農水省所管の海岸が入り混じり、一般の人々には奇異な感じを与

えている。例えば大阪府の海岸線138km（大阪港を含まず）の内訳は、建設省所管分約20km、運輸省所管分約97km、農水省所管分18km、各省庁重複分約3kmという構成となっている。

しかし、海岸法、港湾法ともに、冒頭にうたわれているように、それぞれの管理者は地方公共団体の長である。これらの長は現在その府県の住民の手で選ばれていることを考えると海岸の主権者は、それぞれの区域を所管している三省の大臣ではなく、住民であることは疑いのないことである。

III　大阪湾の海岸の特徴

大阪湾に面した海岸線で、自然海岸の形状を保っている海岸はほとんどないといって過言ではなかろう。大阪府の海岸線における自然海岸の延長距離と海岸線総延長距離の比は全国で最も小さい比率であり、兵庫県の大阪湾に面した海岸においても自然海岸は淡路島の東海岸にみられるにすぎない。これは昭和25年のジェーン台風および昭和36年の第2室戸台風による高潮災害をうけた結果、高潮対策事業、海岸侵食対策事業として多くの海岸保全施設が構築された結果であり、また一方、神戸ポートアイランドより大阪府泉佐野市に至るまでの数多くの埋立造成の結果である。

このように大阪湾に面した海岸線は極めて保全度の重要な海岸であり、したがって海岸線の多くは海岸法による海岸保全区域に指定されている。とくに神戸市からはじまり赤穂市に至る兵庫県の海岸線は「特定海岸」に指定されている。この特定海岸とは、国土保全上とくに重要な海岸を選定し、事業の国庫負担率も2／3（一般は1／2）に引きあげられている海岸をいう。

海岸保全事業は上記のような海岸法に基づく事業のみでなく、地方財政法による海岸の環境整備を目的とした事業が昭和48年から始まっている。この事業は海岸環境整備事業と呼ばれるもので、大阪府の淡輪・箱作海岸はその事業の指定をうけ、養浜工事を中心とした海浜公園の整備が行われつつある。これによって、埋立等によって失われた住民と海とのふれあう場を与えようとしている。

近年海岸環境の整備を行う時、よく養浜工事が行われるが、これに関して著者はとくに大阪府の二色の浜の養浜工事を紹介しておきたい。

二色の浜は大阪府貝塚市の延長1kmたらずの砂浜であり、北大阪湾における数少ない砂浜であった。しかし年々侵食をうけ、砂浜の消失が激しい海岸であったが、昭和41年まだ海の砂浜保持に対しては補助事業の対象にならなかった当時、時の大阪府の左藤知事は府の単独事業として海浜の再生のため養浜事業に踏みきった。この二色の浜の養浜工事の成功は、その後のわが国における養浜工事のひきがねとなったばかりでなく、先に述べた海岸環境整備事業の基礎を築いたものとして特筆される事業といえよう。

IV　大阪湾の港湾と漁港

わが国の港湾および漁港は港湾法および漁港法によって運営されることはすでに述べた。港湾法により、港は特定重要港湾、重要港湾、地方港湾、避難港に分類される。重要港湾は国の利害に重要な関係を有する港湾として政令で指定された港であり、重要港湾のうち外国貿易の増進上とくに重要な港を特定重要港湾といい、わが国全体で17港のみが指定されている。大阪湾にはこの特定重要港湾が、神戸港、大阪港、堺泉北港と3つも存在し、さらに隣接して姫路港、和歌山下津港も存在している。大阪湾を全体として一つの港に考えた場合には、年間3億1500万トン（1978年調べ）にもおよんでいる。この値は世界で第1位のロッテルダム港の年間取扱貨物量約3億トンを超えるもので、大阪湾の世界貿易に占める位置が了解いただけるものと思う。大阪湾には上記の特定重要港湾以外に重要港湾（尼崎・西宮・芦屋港）があり、また大阪府に9つの地方港湾、兵庫県に7つの地方港湾が大阪湾に面した港として、内国貿易あるいはフェリー基地として活動している。

一方漁港も漁港法によって、その規模および性格から、第1種から第4種までの漁港に分類されている。第1種漁港はその利用範囲が地元の漁業を主とするものであり、第3種漁港はその利用範囲が全国的なもので、このうち水産業の振興上とくに重要な漁港を特定第3種漁港と称している。第4種漁港は離島その他辺地にあって、漁場の開発または漁船の避難上とくに必要な港を指す。大阪湾には特定第3種漁港はなく、第3種漁港としては佐野漁港があるにすぎない。

V　大阪湾沿岸の防災対策

先にも述べたように大阪湾沿岸は過去において多くの高潮に見舞われ、また大阪の泉南海岸および須磨・舞子から東播海岸へ延びる海岸線は全国的にも有数の侵食海岸で知られている。このような海岸の特性に加えて、大阪・神戸等の大都市を控えているため、上述の高潮対策および侵食対策も従来より積極的に進められている。ここではそのうち大きな特色をもつ大阪府の高潮対策を紹介しておこう。その一つは、大阪市内の安治川、尻無川、木津川の河口近くに建設された大高潮水門である。これは海岸法に規定されている高潮対策事業にのっとって、大阪市内への高潮の侵入を入口で防止しようとして築かれたもので、昭和41年から45年に建設された安治川水門は、支間長66mの円弧型のスウィングゲートであり、このような大規模な高潮水門は世界でも珍しい。また尼崎の新丸島水門も同様の発想で建設されたものである。また現在施工中の岸和田港の防潮水門は、高潮時には港口に設置される水門を締め切って、港全体を高潮から守ろうとする方式で、従来港口は常に開いているという常識を破る新しい方式といえよう。

VI　海岸に関する今後の法律的課題

新聞などで、時々入浜権という言葉を目にした読者も多いと思うが、この入浜権というのは住民が浜に自由に出入りし、砂浜を利用しようとする権利であるが、まだ公式に認められた権利ではない。この入浜権運動は兵庫県の高砂市で最初に提唱されたが、近年は海岸管理者である地方自治体の長が、この精神を導入し、埋立許可に際して水際線を市民のために開放することを条件としているケースが増えてきている。しかしながら海岸法、港湾法、漁港法などの適用外の沖の方の一般海域での利用も計画される場合が多くなろう。このような場での法律としては国有財産法が適用されるわけであるが、今後予想される多様な海岸利用には、新しい法律が必要となろう。

（さわらぎ　とおる　大阪大学工学部土木工学科教授・工博）

湾岸の環境と保全・市民運動３例

西宮甲子園浜の保全

兵庫　津田　泰男

昭和59年の夏、サーフィン公害に悩まされた甲子園浜も、秋風とともに平穏な自然の浜辺にもどった。

大阪湾岸でわずかに残った自然海岸「甲子園浜」。浜辺の長さは約1.8㎞、浜辺の東部分は干潟で、シギ、チドリなど百種以上の鳥が飛来する。まん中部分は磯と砂浜。磯では子供たちがカニを追いかけ、アサリを掘る。それに、砂浜に座り込んで語り合う若者、釣り糸をたれる老人が調和する。西部分は幅80ｍの白砂の浜は安全な子供の遊び場である。干潟、磯、砂浜と、海岸の三要素がコンパクトにまとまっている。まさに阪神間の稀少地である。

昭和46年、高度経済成長の波にのって、兵庫県は砂浜ごと200haをすっぽり埋立、港湾と都市再開発用地を造ると発表した。埋立による通過交通公害、大気の汚染、騒音と住環境悪化は明白であるとして、住民は立ちあがった。私たちをはぐくみ育てた甲子園浜を守り、良好な生活環境、自然環境、そして教育環境を守ろうと！

関係機関への陳情・要望、議会への請願、市庁舎への100日におよぶ座り込み、行政不服請求とあらゆる手だてを尽くして埋立公害反対の運動を展開した。このような住民の必死な願いにも背を向け、兵庫県は計画の強行実施を図ろうとしたため、52年11月ついに私たちに残された最後の手段として訴訟を提起した。地域住民による原告、2004名。この訴訟が地域住民の総意を反映するものであり、その目的が正当であったことを実証した。訴訟は被告の却下申立てという困難な情況の中で証人尋問等による実質審理にはいり、原告側に有利に展開した。そのため西宮市が積極的に和解交渉に乗り出さざるをえなくなったのである。

住民と市、市を通じ県と１年半にわたる交渉の結果、56年12月28日、和解により終結させることとなった。和解の内容は当初住民が求めたものと比べると不十分なものといわざるをえないが、①埋立面積を½に縮小（当初計画では⅓）。②港湾関連用地を都市機能用地に変更し、取扱貨物量を制限させ港湾機能を縮小。③西宮市防波堤以北の西宮地先水面について、新たな埋立をしないこと。④海浜、干潟の保全を図ること。⑤湾岸道路甲子園ランプは設置されないよう市が県と鋭意協議する。⑥下水処理場の計画および実施にあたっては、これによる生活環境への悪影響をできるだけ少なくし、その計画内容等を地元住民に説明する。⑦埋立工事等の実施に伴う公害を防止し良好な環境を確保するために、市は地域住民が作る協議会と、以上の各事項を十分協議しその意思を極力尊重する。――以上のような確約をとりつけた。

このことは長年にわたる住民運動ならびに裁判闘争による大きな成果として評価することができる。しかし甲子園の海と海浜を守り、地域の自然環境、生活環境を保全するためには、兵庫県、西宮市がこの和解を誠実に履行することが不可欠であるということはいうまでもない。

いま、甲子園の浜に立ち、13年におよぶ運動を通じて思うことは、傲慢な人間のなした自然破壊が、あちこちでいろいろな形で付けを払わされつつある現在、改めて自然の尊さと、偉大さを咬みしめなければならないということである。そして、そのためには「自然環境への影響は軽微である」ときめつけた甲子園浜のように、開発主体が、開発のためにする一方的なアセスメントではなく、科学的でしかも血の通った説明とデーターをもとに話し合い、結論を出す謙虚な行政姿勢と、自然を犠牲にして、いかなる施設を作っても、それは単なる自然破壊にすぎないということを、国民すべてが、いま一度、確認すべきことであろう。

（つだ　やすお　甲子園地区埋立事業対策協議会会長
甲子園浜連絡会会長
電0798－47－5295）

矢倉海岸（淀川河口）を自然海岸公園に

大阪　喜多幡　龍次郎

矢倉海岸、矢倉遊休地として知れ渡ったこの土地の名称は、私たちが歴史をふまえて勝手に呼んでいる地名であって、地図では西淀川区西島二丁目となっている。数回の台風と地盤沈下で完全に海没していたものを、昭和45年から７年がかりで大阪市が土砂、瓦礫の投棄場所として埋め立てたもので、約20万㎡、海抜平均約８ｍの高い平地となっている。ところがこの土地は、登記簿上では、明治時代から続く不動産業者の相続人たちの共同所有地となっており、大阪市のものではないわけである。

淀川右岸は久保田鉄工㈱所有地の近くまで国の頑丈な岸壁ができており、また淀川と神崎川を結ぶ防潮堤で結ばれているが、その先、海に面するこの矢倉地区は護岸がない。したがって私たちは、この土地を河川敷と同じ種類のものと解釈しているわけである。

私たちは５年前、「海から見る大阪の海岸ツアー」を実行し、参加者に呼びかけた。「大阪市の海岸はすべて大工場、港湾施設等の切り立った高い岸壁で囲まれ、住民は、完全に海との接触を拒



否されている。その中でたまたま淀川と神崎川の河口で挟まれた海岸、矢倉地区では、岸壁のない、自然の海岸として復活させることのできる唯一の渚といえる。この場所は昔から魚類の宝庫といわれ、潮干狩も盛んな遠浅の海岸であった。みんなの力で貴重なこの海岸に自然の渚を復活させよう」「古来海岸は万民共有の財産だった。それがいつの間にか切り立ったコンクリート壁で固められ、住民は海との接触を断たれている」「今こそ各地の海岸の自然を守る運動と連繋し、入浜権確立のために頑張りましょう」と。

15年前、私たちが、西淀川を縦貫する大野川という大きなドブ川を埋め立て、その上に高速道路を造るという大阪市のマスタープランの計画に反対し、大野川緑地化推進委員会を結成。「埋立跡は全面的に緑地帯にさせよう」という運動を展開し、ついに元の計画を変更させ、現在の「大野川筋緑蔭道路」を実現させたのであるが、東海道本線より下、4粁に及ぶこの歩行者・自転車専用道路が淀川河口、淀川製鋼所正門前で終わる地点で淀川の堤防に上り、河口へ向かって大阪湾を眺めながら、さらに約1粁余を下った地点、護岸の切れる所からこの矢倉地区となる。

私たちが西淀川区民の海岸造り推進会議を結成したのが、5年前。「緑蔭道路の延長線上には海がある。大阪湾です」「住民の憩いの場として自然海岸を復活させよう」と訴えた。そして59年2月には、広範な民主団体の支援もあって、約4万名の陳情署名を集め、大阪市長に提出した。そして10月22日には市当局から「矢倉地区を原則的に自然海岸公園にすることに決断した」という確答を得るに至ったのである。

目下の大阪市の説明では、建設省の淀川河川敷公園、第四次五カ年計画の第一年度、61年度予算に組み入れさせることで実現を目指すということである。なお埋立地所有権者との折衝、自然海岸公園と管理責任の関係等々、研究・検討課題は多々あるが、行政と住民の基本的な意志の一致をふまえて、衆知を集めて協力すれば、夢は必ず実現させることができる。淀川北岸に新しい名所を造るのだという確信をもつに至ったわけである。

（きたはた　りゅうじろう　西淀川区民の海岸造り推進会議代表
電06－474－1166）

子供たちの宝・天神崎保全の意義

和歌山　**外山　八郎**

大自然こそ偉大な教師です。人類は大自然のふところに抱かれて育てられ、鍛えられ、文化を築いてきました。大自然に親しみ学ぶことを忘れたために、今日の教育は混乱を招いています。同様に、文化のあとに砂漠が残るようでは、本物の文化とはいえません。緑の地球上に、人間が他の生物とともに調和を保ちながら生き続ける道をさぐり求め、一人ひとりが身のまわりから改まるべき危機に、今や立ち至っています。教育運動として、十年前から展開されている、天神崎自然観察地域の買い上げ保全運動が、全国的な注目を浴びているのは、このような視点からであります。

天神崎は紀伊半島の中ほどにある、田辺湾の北側入口の、40ha余の小さな岬で、南側の、京都大学臨海実験所が設置されている番所岬と相対しています。一見、平凡な海岸ですが、学術的にも、漁業の上からも、将来を担う子供たちの教育のためにも、貴重な自然です。それは、熱帯の海で発生した多種類の生命の芽が浮かぶ暖流黒潮と、季節風が黒潮を湾奥まで送り込むのに適した向きに大きく口を開いている田辺湾と、そして緑の森が注ぐ栄養で遠来の幼生を育てるのに適した枝湾や暗礁の多い複雑な海中環境と、いくつもの自然条件が、ハーモニーする、造化の妙にほかなりません。このようにして海洋生物の日本一の宝庫となっている田辺湾に、黒潮を迎え入れる位置に、天神崎は21haもの広い磯をつき出しているのです。



その上に、波で平らに削られた安全な磯のレベルが、潮の干満の中ほどであるため、潮がひくにつれて、無数の潮だまりや岩礁の割れ目のある磯が現れて、絶好の観察場となります。南洋のサンゴ礁に匹敵するほど多種類の生物が生きているといわれ、四季を通じて、いろいろの生物に出会うことができます。

背後には、天然の見晴台の日和山を中心に、変化に富んだ地形の緑の丘や湿地帯が続き、カスミサンショウウオの姿も見られ、昆虫や野鳥の楽園をなしています。

文化が進むほど、自然との調和が重要な課題となりますが、その自然とは細切れの自然ではなくて、人間の支配を超えた大自然のことであります。天神崎の自然を保全する運動の目指すところは、珍しい動植物の保護ではありません。いつでも行ける市街地のすぐ近くに、海・磯・森が一帯をなす生きた自然環境を、保全し、大自然の営みに親しみ学ぶ場として、後々の人々の引き継ぐことであります。

県立自然公園の第三種地であるために、土地所有業者の別荘用地造成を法的に抑制できず、全国募金で買い戻そうとする、無謀ともいえるボランティア活動が続けられているのです。誰かが残してくれた自然は平気で汚したり壊したりしがちです。自分も参加して犠牲を払い、苦労して宝を後々の人に引き継ぐ心を育ててこそ、ナショナルトラストが日本にも根づくことができるでしょう。

天神崎保全運動は、60年3月の期限を目指して、造成予定地の最後の買い戻しに全力を傾けているところです。子供たちの未来のために、労苦をともにする同志の参加を求めております。

（とやま　はちろう　天神崎保全市民協議会事務局長
電0739－22－3452）

大阪湾物語特集　大阪湾の開発と保全

大阪湾のウォーターフロント施策

藤崎治男

大阪湾と近畿圏

大阪湾の背後圏である近畿圏は首都圏、中部圏と並んで、わが国の三大都市圏の一つに位置づけられており、また、西日本の経済、交通の重要拠点とみなされている。しかしながら、近年近畿圏の「地盤沈下」がしばしば言われる。それは工業生産機能や業務管理機能の全国にしめるシェアが他の大都市圏と異なり、近畿圏では減少傾向にあるためである。

三大都市圏がいずれも前面に広大な湾を有していることは、都市の発展が湾の利用と密接なかかわりをもっていたことを示す。すなわち、江戸時代以前においては海上交通が物流と人流の重要な手段であったため、海上交通の拠点である港町は交通の要衝であり、したがって経済的、政治的な重要拠点として発展が可能であった。大阪湾に則していえば、「難波津」「兵庫の津」「堺港」等が古代から利用され、近畿圏の発展を支えた。

戦後の大阪湾開発

戦後のわが国の課題は、経済を復興し、国民の生活レベルを高めることであった。国土が狭く、資源に乏しいわが国がとった施策は、静穏で浅い湾岸域を埋めて工業用地を造成し、原材料を輸入して、製品を輸出するというものであった。さまざまな要因に支えられてこの政策は順調に進み、わが国は高い経済成長を享受した。

しかしながら、昭和40年前後から経済の高度成長のひずみが現れ、人口や産業の大都市への過度の集中等に起因して公害の発生、生活環境の悪化、交通混雑、地価の高騰、自然の喪失等が強く指摘された。

このため全国総合開発計画(S37年)、近畿圏基本整備計画(S40年)等では、大都市への産業、人口の集中を抑制して、地方への分散を図ることとし、大阪湾等での工業用地の造成を抑制することとなった。このためその後の大阪湾の開発利用の方向は、増大する物流を処理するための港湾施設の建設、背後都市では確保することが不可能な公共用地や住工混在地区の公害型企業の移転のための都市再開発用地の造成等であった。さらには、大阪南港や神戸のポートアイランドでは住宅、業務施設、文化施設等の建設がなされ、あわせて臨海公園や野鳥公園等も設置され、臨海部がより総合的な町づくりの場となった。

戦後におけるこのような大阪湾の開発・利用の変化は、経済成長のための臨海部の利用から、大都市問題の解決のため、さらには大都市の活力の維持と発展のための臨海部の利用への転換と考えることもできる。

現在の大阪湾に対する施策

現在の大阪湾沿岸域に対する施策については、第三次全国総合開発計画(S52年)、近畿圏基本整備計画(S53年)、大阪湾港湾計画の基本構想(S42年、S52年)等に示されているので、その主要なものを以下に示す。

●大阪湾臨海部の大都市地域は、人口、産業が著しく集積している地域であるため、これ以上の過密の進行を抑止して、安全で豊かな居住環境の整備を図る。このため「既成都市区域」における工場等の新増設を抑制するとともに、公園緑地等のオープンスペースの確保を進める。

●近畿圏およびその周辺地域の国内的、国際的海上交通の門戸であり、また産業その他の諸活動の場を提供してきた大阪湾については、その役割を将来とも発揮させていくため、港湾をはじめとする交通施設等の整備を進める一方、大阪湾が限られた公共的空間であることにかんがみ、新たな空間需要に対しては、できる限り既利用空間の再編成、再開発によって対処し、海域の調和ある利用を図る。

●大阪湾の埋立については、新たな埋立を必要最小限に抑制するものとし、背後大都市地域の計画的整備等、必要な埋立を行う場合においても環境保全上容認し得る範囲で行うものとする。

●大阪湾内の港湾については、神戸港、大阪港を中心にこの地域の港湾が一体的かつ効率的に機能を発揮しうるよう、それぞれの地域の特性に応じ機能を分担し、かつ、相互に補完しうる一つの広域的港湾として整備を進める。また、海上交通の安全性を向上させるため、航路および泊地の整備を進める。

●今後とも増加すると予想される航空輸送需要に対処し、西日本の国際交流の門戸としての機能を果たすとともに、大阪国際空港の騒音問題の解決を図るため、泉州沖に関西国際空港を整備する。

●大阪湾の水質を保全するため下水道の整備および産業排水の規制等を推進し、河川および臨海部からの汚濁負荷の軽減を図るほか、汚泥のしゅんせつ、海面の清掃、なぎさの回復等の環境改善策を推進する。(S55年に大阪湾のCODの総量規制が実施された)

●周辺諸都市の臨海部において、養浜による砂浜の創出等によるレクリエーションのための水際線の確保を図るほか、臨海公園、文化施設、業務施設、住宅等の整備を進め、新しい市街地の形成を図る。また、海岸防災等の整備を推進する。(養浜、レク施設、臨海公園等については各港湾で積極的に整備が進められており、神戸港、大阪港等において、人工海浜、マリーナ、緑地、野鳥公園、魚つり公園等が整備されつつある)

●ますます増大し、処理場の確保が困難になりつつある廃棄物の処理のため、大阪湾周辺の地方公共団体が共同で利用できる広域廃棄物処理場を大阪湾に整備する。(フェニックス計画。S57年広域臨海環境整備センターが設立され、調査が進められている)

●大阪湾の漁業については、海上交通、レクリエーション利用等との調整を図りつつ、悪化した漁場環境の復旧保全に努め、資源の維持培養を図る。

(ふじさき はるお　国土庁大都市圏整備局計画課専門調査官)



大阪南港野鳥園
交通；ニュートラム中ふ頭駅下車、徒歩約20分
入園・入館；無料
（入館は午前9時～午後5時、毎週水曜日と年末年始は休館）
連絡先；06－613－5556（野鳥園）または06－612－5587（大阪南港整備公社）

事例・1

大阪南港野鳥園

阪田　晃

大阪南港野鳥園は、大阪港の西側水際線のグリーンベルト構想の一環として、昭和58年９月17日、南港北ふ頭西端に誕生した。

南港一帯は古来より住吉浦と呼ばれ、白砂青松の景勝地であり、加えてシギ・チドリ類をはじめ、ガン・カモ類が渡来するわが国の代表的な渡り鳥生息地であった。このため水鳥を中心とする野鳥園の構想が企てられ、野鳥保護団体や市民有志の強い要望もあり、昭和53年度より港湾整備事業として着手され、昭和58年度までに約20億円をかけて造成された。

この野鳥園の最も大きな特色は、水鳥（渡り鳥）の採餌や休息などの重要な条件である「干潟」が人工のものであり、それをとりまく緑地の樹林等も全く新たに創出されたものであるという点である。このため本野鳥園の計画にあたっては、さまざまな専門家のご意見やご協力をいただき、野鳥や樹木の生態を調査し、諸所に創意工夫をこらした。

この野鳥園は、全体面積19.3haのうち、12.8haの干潟部分と、6.5haの緑地とに分かれている。干潟部分はさらに、北側では外海の干満差を利用して自然の海浜と同じような干潟をつくり、南側は雨水の溜まった淡水池とし、多様な水辺環境とした。

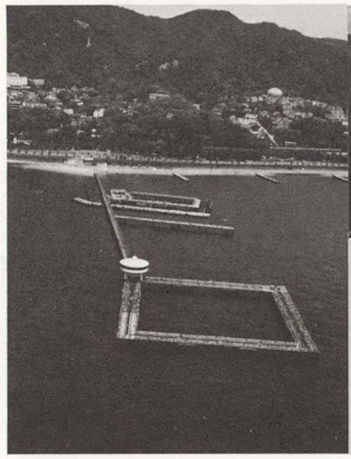
本野鳥園では春と秋のシギ・チドリ類の渡り、夏のチドリ類・コアジサシの繁殖、カモメ類の集結と渡り、冬のカモ類の越冬と、ほぼ年間を通じて野鳥を観察することができる。日本野鳥の会大阪支部の調査によると、昭和59年５月には１日では最高の33種、この１年間で計80種の飛来が確認されている。

これらの野鳥を観察する場として、園の中央に延床350㎡の展望塔があり、鳥たちの姿や動きなどがゆっくり観察できるようになっており、フロアーにはパネルにより鳥の種類や生活を紹介している。また園の北側と南側にも、より近くで詳しく観察できるように観察所を設けている。これらはすべて景観を考慮し、外壁を丸太張りとした。なお展望塔内では望遠鏡や双眼鏡（一部無料）も用意している。

開園以来、この１年間の来園者は約16万人であった。

本市としては、今後とも豊かな水辺空間を活用し、国際都市大阪の顔として、快適で美しい港づくりを進めていく方針である。

（さかた　あきら　大阪市港湾局企画振興部計画課長）



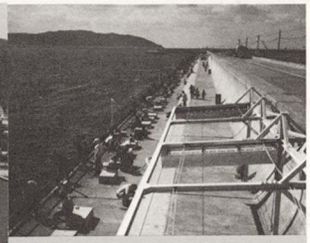


写真１（左）
須磨海づり公園
交通；山陽電鉄須磨浦公園駅
写真２（上）
平磯海づり公園
交通；国鉄および山陽電鉄垂水駅

事例・2

神戸の海づり公園

成瀬七朗

大阪湾に面した神戸市の海岸線は、そのほとんどが港湾区域であるが、須磨以西の海岸線は須磨海水浴場をはじめ、自然の海岸が残されており、沖合ではノリ養殖を中心に建網・船曳等の活発な漁業が営まれている。

しかし、近年の釣り人口の急激な増加により、港湾・漁港等の海に面した施設や海岸は、恰好の釣り場となり、ゴミの散乱や悪臭による環境阻害がおこっている。また海上でも生業としての漁業が、モーターボート・ゴムボート等による釣りで阻害されるなどトラブルが絶えず、漁業と遊漁との調整が切望されている。

このような情勢のなかで、漁業と遊漁の調整を図り漁業と遊漁の健全な発展を図るため、秩序正しく安全で快適な釣り場をめざして、風光明媚な須磨浦公園の沖合に釣り専用施設を造り（写真１）、昭和51年４月に須磨海づり公園としてオープンし、利用者から好評を得ている。

この海づり公園は、海岸から沖合400m・水深13～14mまでの間に鋼管杭を打ち、この上に釣り台・渡橋・管理棟等を乗せた構造となっているため、鋼管杭に着生した貝類が魚の餌料となり、魚礁の役割を果たしている。また、公園の周辺にヒューム管・石・コンクリートブロック等を投入して大魚礁群を形成して、魚の増殖を図っている。

さらに、昭和54年に増設した海洋放牧場（網で囲った3000㎡の海上釣り堀）は、タイ・ハマチ・ヒラメ・チヌ等を放養し、女性や子供でも安全に釣りが楽しめる施設として喜ばれている。また、この海洋放牧場では、タイ・チヌ・ヒラメ等の稚魚を育成して大きくし海に放流するなど、水産資源の培養にも努めている。

以上は須磨海づり公園の概要であるが、ウォーターフロントの施設を釣り場として利用できるようにという考えのもとに59年９月には、新垂水処理場の防潮護岸を利用した釣り場「平磯海づり公園」がオープンした。この平磯海づり公園は、埋立護岸をスリットケーソンとし、その護岸上に安全柵・日除けテント・監視員室のほか救命具・救命ボート等の安全対策施設を配置した釣り場であり（写真２）、駐車場も完備しているため、開園以来多くの利用者で賑わっている。

（なるせ　しちろう　神戸市農政局生産振興課長）

ウォーターフロント施策事例

事例・3

大阪府自然海浜保全地区

片山　正敏



長松自然海浜保全地区

大阪府下の海岸は、神崎川の河口を北端として和歌山県境まで緩やかな弓状を描いて南西に走る約190kmの海岸である。

大阪の海岸の歴史を遡ると、古くは神話の舞台として数々の伝説を生み、また、山上憶良や山部赤人など多くの万葉歌人に歌われるなど、かつては白砂青松の美しい風景を展開していたことがうかがわれる。そして昭和35年頃までは、大浜、浜寺、二色の浜など松の緑が映えた海水浴場が連なり、夏には、大勢の人が海水浴や潮干狩を楽しんだものである。

しかし、今では昔の面影を伝える風景が消え、代わって埋立地の工場群と長い防波堤が続き、浜辺に白波が打ち寄せる風景を楽しむこともむずかしくなっている。

このように何千年もの間、その美しい姿をとどめてきた大阪の海岸は、わずかここ何十年かの産業社会の発展の中で、その姿を一変させてしまった。

その結果、府下の海岸総延長187.8kmのうち、自然海岸は3.6kmで、全体の1.9%にすぎない状況となっている。その他としては、人工海岸が166.4km、88.6%と圧倒的に多く、次いで半自然海岸11.9km、6.3%、河口部5.9km、3.2%となっている(昭和53年度環境庁自然環境保全基礎調査より)。

さらに視点を瀬戸内海の海岸全域に広げてみると、海岸線延長の約25%が瀬戸内海国立公園に指定されるなど自然景観に富んでいるが、大阪の海岸と同様に昭和30年代後半から埋立による工業用地の造成が急ピッチで行われたこと等により自然海岸が急減し、全国と比較しても少なくなっている（瀬戸内海40.2%、全国59.0%、前出基礎調査より)。

こうした状況に対応するため、昭和53年、瀬戸内海環境保全臨時措置法（昭和48年制定）が改正され、恒久法たる特別措置法になった際、瀬戸内海に残された自然海岸を保全し、将来にわたって海水浴、潮干狩等住民の利用に供する目的で自然海浜保全地区制度が創設され、沿岸11府県で制度の具体化に向けての取り組みがなされることとなった。

一方、府域における急激な都市化の進行や生活水準の向上は、住民の価値観の多様化を促し、環境に対する府民ニーズも快適な環境への指向、すなわち物的な豊かさから質的な豊かさ、あるいは自然的なものとふれあうことのできる人間性豊かな環境へと向けられている。

このような認識に立って、昭和57年に決定した「大阪府総合計画」では、地域別整備構想の目標として「泉州地域の海岸は、府民の海とのふれあいの場となっており、今後、その特性を活かし、公園・レクリエーション施設の配置など総合的な保全と活用をはかり、海浜レクリエーションゾーンの形成につとめる」とうたわれている。

こうした自然海浜保全地区制度や大阪府総合計画の考えの下に保全地区の候補地を選考したところ、泉州海岸の南端に位置する岬町の長松海岸と小島海岸は、海水も澄み、岩礁が連続し、後背の自然公園や山林と一体となった自然景観の美しい海岸であり、

自然海浜保全地区位置図





小島自然海浜保全地区

魚釣りや磯遊びなど府民に親しまれているところから、保全地区としてふさわしく、昭和58年、大阪府自然海浜保全地区条例に基づき指定を行った。

保全地区条例の規定の主なものをあげると、第一として、次の行為を保全地区内で行おうとする場合、知事に届け出ることを義務づけている。

(ア) 建築物その他の工作物を新築し、改築し、または増築すること
(イ) 土石を採取し、または鉱物を採取すること
(ウ) 土地（海底を含む）の形質を変更すること

第二として、届出者は、原則として届出の日から30日を経過した後でなければ行為に着手できないとしている。

第三として、知事は地区の保全または適正な利用のために必要があると認めるときは、届出者に対し、届出行為の中止、施行方法の変更、その他必要な措置をとるよう勧告・助言ができるとしている。

最後に、届出違反者に対して罰金を科すとしている。

大阪府では、こうした条例の運用のほか、地元岬町と協力して、海岸の清掃やゴミ箱の設置など清潔につとめるとともに、トイレや昇降階段の設置など利用者の便宜を図る等諸施策を講じている。

なお、長松海岸は、南海本線「みさき公園駅」下車、徒歩10分（約600ｍ）のところにあり、また、小島海岸は、南海多奈川線「多奈川駅」下車、南海バス多奈川線「谷川バス停」か「小池バス停」下車すぐのところにある。

（かたやま　まさとし　大阪府生活環境部 瀬戸内海本部水質課係長）

事例・4

くにうみの祭典のめざすもの

山本　敏雄

外周160km、周囲を三つの海にかこまれ三つの海峡に隔てられ、伊弉諾(いざなぎ)、伊弉冉(いざなみ)の二神が、日本列島最初の島として生み出したと伝えられる、淡路島。

壮大な「国生み神話」に彩られた〝歴史とロマンの島〟に来春、東洋一のかけ橋「大鳴門橋」が完成し、四国と結ばれる。淡路島は今、〝第二の国生み〟に向けて胎動を始めた。

「くにうみの祭典」――それは、昭和60年４月21日から８月31日まで淡路島で開かれるが、単なる一過性の催しではなく、祭典から生じるエネルギーを結集し、21世紀にむけて〝魅力ある淡路島〟を創造しようとする、いわば新しい地域開発である。

それは、淡路縦貫道の北伸に伴い、次なる大橋「明石海峡大橋」や「アジアポート構想」など大規模プロジェクトの推進である。

海に育まれた温暖な気候、恵まれた自然がつくり出す、好漁業や三毛作栽培は、阪神都市圏への供給基地として重要な役割を果たし、島外からの観光客も、天与の自然をそのまま享受しただけで満足を持ち帰る。しかし、豊かさゆえの意識の立ち遅れが、巷間をにぎわす。〝淡路島――橋ゲタ、通過道路論〟などの論議が、それである。

前述の大規模プロジェクトのなかでも、誘致を進めている「アジアポート構想」は、淡路島を「環瀬戸内」の文化・経済圏から「環太平洋」の一員まで飛躍的に高める可能性を秘める。県と友好関係にあるブラジルから鉄鉱石や、農産物を大型船舶で日本の備蓄中継基地へ運航させ、さらにアジア諸国などへ輸送することにより、コストを低減し、輸出の促進を図ろうとするものだ。予定地は、祭典のメーン会場の一つ、津名町志筑地区の「おのころアイランド」に隣接する、生穂、佐野地区129.7haの埋立地であり、幸い大型船接岸のための港湾の整備が容易であること、阪神

くにうみの祭典のテーマ会場　おのころアイランド



地域など背後に大消費地があり、短時間で結ばれることなど、好条件を備えており、実現をめざして65年を目途に埋立を急いでいる。

さらに本格的な文化施設として、祭典のテーマ会場である「おのころアイランド」(津名町）はもとより、他のメーン会場「淡路ファームパーク」(三原町)、「大鳴門橋記念館」(西淡・南淡町）も恒久施設として建設され、祭典終了後も島の生活文化を高める中核施設となる。

去年６月運輸省は、関西新空港の空港島埋立用土砂の３分の１（５千万㎥）を淡路島から採取することにしたという。

こうした内外の熱い視線のなかで、祭典を契機にさまざまな基盤整備を進める先駆的な試みは、新しい地域開発の兵庫方式として、今後他の地域でも実践されることとなろう。

（やまもと　としお　くにうみの祭典実行委員会事務総長）

〈ルポルタージュ大阪湾沿岸周航〉

西は明石海峡、南は紀淡海峡によってそれぞれ播磨灘、紀伊水道に通じる、阪神地方と、淡路島に囲まれた大阪湾であるが、10月28日、西宮マリーナを朝8時に出発し、西宮港から出て、まず、西へコースをとる。

神戸港の灯台をみて（時間の関係で明石、須磨沖まで行けず）、Uターンして西宮・武庫川団地沖をめざし、尼崎沖から大阪北港、南港、堺・泉北臨海、岸和田、泉佐野沖を周航して、岬町・淡輪ヨットハーバーまで一路南下したわけである。主として機走で、風があれば帆走して、一日クルザーヨットの旅をしながら、大阪湾＝海からみた阪神沿岸のルポルタージュを行ってみた。

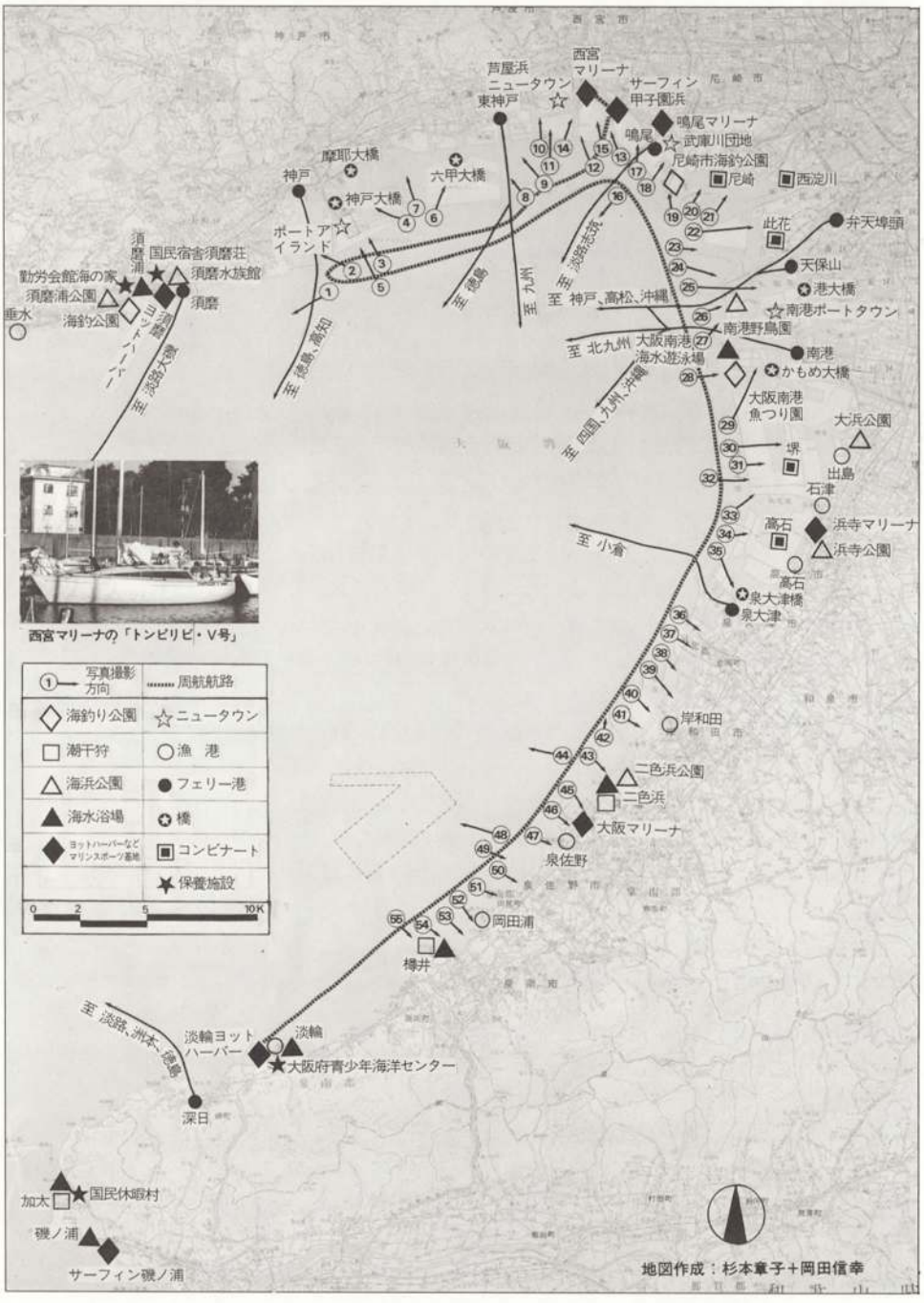
今回、大阪湾岸、とくに阪神沿岸から堺・泉北、阪南等を海からみたことは、都市計画や、開発計画にかかわる者として、貴重な経験であった。現在、大阪都市圏の各都市で、都市計画や、土木、建築、港湾に関係する仕事をされている方は、一度は試みてほしいと思った。都市を外からみる意味で、参考になると思われるから——。

岡田信幸／田中直人／山根勝利

大阪湾周航の記—海上から都市をみる

大阪湾をとりまくまちの姿。
僕たちはこのまちの中からまちを見ている。
まちの中では、まちの姿はよくわからない。
そこで高い所へ登ってみようということになる。
何とかタワーや高層ビル、そして自然の山々。
昼のまちもよいけれど、夜のまちもまた一味違うとか…
百万弗がまたたく間に値上がりして、一千万弗の夜景になって…。
静かに輝く夜空の星を圧倒する下界。光る海。
そこに繰りひろげられる果てしない営みのエネルギーはどうだろう…。
そうだ、今度は海からまちの姿をみてみよう。
朝の海。太陽。まぶしい。
ヨットハーバー。白い帆。こだまする若人の声。
風はやや冷たい。波は少しある。
西宮を出て、まもなく、芦屋浜の高層住宅群だ。
そして神戸のまち。
建設中の六甲アイランドに続くポートアイランド。
新しい海上都市が六甲山の緑を背に眼前にひろがる。
オフホワイトの垂直線の高層ビルに、
カラフルなレジャーランドの大観覧車。
かもめがすーっと飛んで来て、絵をつくる。
遠くに浮かぶ淡路島。
六甲の山なみは鉢伏山のシルエットに連なり、
明石海峡に沈む。
潮の流れが早い。
僕たちは、これから大阪へ向かってUターンだ。
水平線が傾く。波しぶきがあたる。
どんより曇った空。その空の色を映したような海の色。
そのたいくつな空と海の間に突然虹があらわれる。
武庫川レインボータウンだ。カラフルな高層住宅群。
やがて、その華やかな輝きも、遠のいて…
元の空と海の中にかすんで消える。
工場群とその煙突が、灰色の水平線をつくる。
もう尼崎をすぎたのかな。
小さく小さく、梅田の高層ビル群がみえた。
ここからはずい分と遠い所にあるのだなあ。
長い長い防波堤。土のままの埋立地。
ポツンと置かれたダンプカーがさびしそう。
あっ、南港の大橋だ。
南港ニュータウンがみえる。その左手に、工事中の新見本市会場。
大屋根のある広場の白いフォルムが目につく。
だけど、長い長い岩壁。土のままの埋立地。
人の住むまちは遠くのところにある。
突然人の群がる岩壁。海釣り公園だ。
何が釣れるのだろう。食べられるのかな…。
それでも楽しそう。
それから、それからまた長い長い水平線。
工場があったり、ビルがあったり、
だけど水平線の単調さは打ち破れない。
山はどこへいったのだろう…。
少し眠くなってきた。
見上げた空にマストがのびる。
本当の虹が申し訳なさそうにうすく輝いていた。
〝ここが新空港の予定地や〟という声に目覚める。
静かな所だな。だけど遠い所だな。
それから、それからまた長い長い水平線。
少しだけ、山が海の方へ帰ってきた。
まちの家々が身近に見えてきた。
突然、山をすっぱり切ったような急斜面に大住宅群。
何と、人はたくましい。ここから大阪まで通ってるのだろうか。
もう、どこまで来たのだろう。
紀伊水道方向に夕陽が輝く。
大きな煙突が1本、岬のシルエットを突きぬけて
夕焼け空に浮かぶ。
いよいよ、淡輪入港だな。
ヨットハーバーのたそがれは、静かに明日に備える。
夜空。びっくりするほどの星。
みなさん、ごくろうさん。
冷たいビールが、潮風にほてる体にしみる。
さあ、明日から僕たちは、自分のまちから
まちをみよう。
それにしても、海からみて、まちはもう少し、
何とかならないだろうか…。

（田中直人）



西宮マリーナの「トンビリピ・V号」

地図作成：杉本章子＋岡田信幸

〈大阪湾周航ルポ・海から都市をみる〉

〈明石海峡〉



①須磨浦の鉢伏山と淡路島に挟まれた明石海峡

〈山並みと海岸線〉 大阪湾岸の地形は、もうわかりきっているが、西の明石海峡は、淡路島と高取山が海に落ち込んで狭くなって出口というか一種の「地形によるゲート」をつくっている。鉢伏山、横尾山から北東方向に六甲連山につらなって、神戸の市街地をふところに抱き込むように西宮の甲山まで、都市の背景として、貴重な緑と街に変化をあたえて、海からみるとすばらしい景観となっている。尼崎から大阪、堺泉北にかけては、スモッグのためか、山かげはみえない。晴れていれば、どうか。みえても遠くかすんで、あまり背景の効果は期待できないだろう。泉州から南に下れば、葛城山を中心とする和泉山地が、友ガ島のうかぶ、紀淡海峡に落ち込んでいる。背景の山が、都市の大きさや、街の発展に大きく影響していると思われるが、山並みの緑が街の背景にあると、なんとなくすくわれるような気になる。



②ポーアイ沖から神戸港を望む(全景)。中央は、兵庫駅前の高層住宅、左側は和田岬と三菱ドックヤード

〈神戸ポートアイランド〉

〈神戸ポートアイランド〉 海からみるといろいろな表情を持っている。とくにポートピアホテルとワールドビルの超高層建築が正面を海に向けて建っている業務ゾーンを中心に、バックに高層の住宅棟を配し、両翼の石油タンクやコンテナ埠頭の部分も背景にするように、一つのまとまりと都市性を形成しているように思う。
沖からみても、六甲山をバックに、ポーアイが前面に出てシンボリックに映えている。
海に対峙するエリアの構造として、護岸がウォーターフロントを形成しているが、将来の島の発展計画の中で、より新鮮な、魅力ある表情が出現することが期待される。

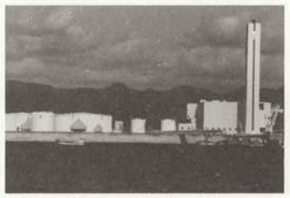
〈ポーアイのもう一つの顔〉



③ホテルとファッションタウン、神戸一高い超高層のワールドビル、手前に遊園地



④ポーアイ東側のもう一つの顔であるコンテナ埠頭のクレーンタワー



⑤ポーアイ石油タンクと処理センター

〈埋立造成中の六甲アイランド〉



⑥六甲山麓の住宅地、臨海部の流通工業、その沖に六甲アイランドを計画造成中



⑦臨海部の流通倉庫と工場地帯



⑧芦屋沖から西をみると六甲アイランドに架かる六甲大橋が、斜張ケーブルを見せている



⑨六甲アイランドの奥にあたる深江浜町の臨海部のサイロ群

山並みの緑の斜面の豊かさに比べ、工場、倉庫の表情にいま一つのコンビネーションが感じられる。しかし何となく落ちついているのは、背景のよさであろうか。

〈芦屋浜シーサイドタウンとその周辺〉



⑩シーサイドタウン西側の住宅地



⑪朝日をうけるシーサイドタウン



⑫シーサイドタウンの東側、何か？

〈芦屋浜シーサイドタウンとその周辺〉 芦屋浜シーサイドタウンの超高層住宅は、六甲山をバックに朝日に映えて、水面の向こうの直立する階数のちがう20数棟の住宅棟が、やはりシンボリックなマッス形づくっている。沖あいを東から西へ移動しながらみる。いろいろな方向からみても飽きさせない。
その東側には低層の住宅地があり、一番端に、高い煙突と長い斜面の屋根の形を持った、特徴ある妻側面をみせる建物が目立つ、何か？バックの甲山ともつりあっている。
シーサイドタウンの西側は、7階建ぐらいの屋根を持ったマンション棟が低層住宅の向こうにみえる。芦屋浜は住宅地として海からみても、東六甲の山並みをバックに、芦屋という都市を表現していると思う。

〈西宮沖の埋立地〉



⑬西宮港の外側の埋立地——今後の土地利用は？



⑭西宮港、西宮マリーナを出てふりかえる

〈西宮港から西宮沖の埋立地〉 西宮マリーナには、大小のヨットが舫われており、朝早くから小型ヨットが、沖へ出て行く。楽しい風景である。埋立地に架かる橋は港内のゲートになっている。そこから埋立沿いに港外に出て行くわけだが、水路のようで、海の水はこげ茶色であり、楽しさは半減する。西宮港も、西側の香櫨園浜も、東側の浜甲子園の海岸線も、埋立に閉ざされてしまっている。

〈西宮武庫川団地レインボータウン〉



⑮西宮沖のヨットの練習風景——海のロマンを市民に近づける



⑯西宮沖の一文字防波堤の釣人達と渡船



⑰西宮今津港に隣接するマンション



⑱武庫川団地(手前は工業団地)——西宮の臨海部は住宅の立地が多い



⑲西宮の武庫川団地と対岸の武庫川河口にある尼崎市の魚つり公園に渡る斜張橋

〈尼崎の臨海工業地帯〉



⑳尼崎の魚つり公園と工業地帯



㉑尼崎市の臨海工業地帯——閘電の火発をはじめ、阪神有数の重工業地域である

工場群は工場群としての表情として活気があってもよいが、その景観を構成する煙突についてもう少し配慮があってもよいのではなかろうか。赤白だけがめでたいのではない。

〈大阪北港〉

〈尼崎沖から大阪港の沖へ〉 尼崎の工業地帯をみると、今までの風景ががらっと変わって、隣接する大阪市西淀川区が全国一の公害病患者を出しているというのも頷ける。尼崎の沖はもう大阪市の沖でもあるわけで、東をみれば、此花区の沖に北港埋立地を造成中である。その奥にかすかに、スモッグにかすんだ、大阪の都心部の高層建築がみえる。街なみとしては、海岸線からは少し離れすぎている。またみえる位置もかぎられている(北港北地区の沖からだけである)。北港にどんな街なみが出来るのか、景観的には海からみたランドスケープデザインのセンスが問われると思われる。とくに建物の高さやマッスについては、気にかけてほしいものである。できることなら、神戸ポートアイランドの人のみではなく、大阪の顔を新しく思わせるような新鮮で個性のあるものを期待したい。



㉒大阪北港の沖からはるかかすんでいる大阪都心部梅田方面をみる



㉓埋立造成中の大阪北港(南)の護岸

〈港のゲート〉 大阪港の防波堤は港から突き出すように北と南にある。(北は室戸台風のあと着工し、昭和16年に、南は33年に完成したということである)その先端に赤と白の灯台がある。今ではその外側に北港計画や南港が出来て当初の港は奥まってしまって、灯台もそのゲートの役割がかすんできている。それに変わるように港大橋が、少し奥まってはいるが、港の正面にあり、新たなゲートの役割をはたしている。できることなら、ゲートに至る序曲としての景観形成の、ポイントとなるゾーンについて、今後の整備がなされることを期待したい。

〈大阪南港〉



㉔埋立造成中の大阪北港から南港ポートタウン方向をみる



㉕大阪港(白灯台)の入口から港大橋をみる——少し奥まったゲートとなっている

〈大阪湾周航ルポ・海から都市をみる〉

〈大阪南港〉


㉖南港の西端にある野鳥公園——やはり鳥が多い


㉗大阪南港の入口にあたる赤灯台


㉘南港魚つり公園——バックは水泳場

〈南港〉 南港はいろいろな機能を持っており、海からみるとその全体像はよくみえてこない——景観的にはポイントがバラバラで散漫になっている。南港ポートタウンも、海からみると、奥になりすぎて、芦屋浜ニュータウンのようにあまり目立たないし、高さも、それほど感じられない。
南港を堺沖からみると、倉庫群が一番目立つ。ポイントとしての水泳場や、野鳥公園の緑がどれぐらい大きくなるであろうか。
また計画されている火力発電所はどんなものになるのであろうか？


㉙大阪南港ポートタウンを大和川河口方向からみる

〈堺泉北港〉

〈堺泉北港〉 南港から大和川を隔てて、堺市＝堺泉北港に入ると風景は一変する。鉄鋼業や重化学工業、発電所、石油コンビナート等を中心とする臨海工業地域である。堺の街はみえない。これから泉州の阪南港にかけては、埋立地はほとんど工業団地である。
そびえる煙突群が景観の中心となっている。


㉚堺市、堺泉北港沖から築港新町関西電力の大煙突群をみる

〈泉大津沖〉


㉛同じく堺市沖から堺泉北港築港新町の工場群(宇部興産)をみる


㉜同じく堺泉北港の工場群


㉝同じく堺泉北港の工場群


㉞堺泉北港、石油コンビナート(堺市、高石市沖)


㉟泉大津沖から泉大津橋——造成中の助松埠頭に架かる


㊱泉大津港流通センター(汐見埠頭)


㊲南大阪湾岸流域下水道——泉北郡忠岡町新浜(木材コンビナート沖)

〈岸和田沿岸〉


㊳岸和田市木材コンビナート

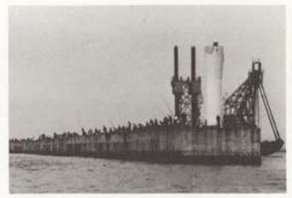

㊴岸和田臨海の鉄工団地と市街地の工場跡地に建つマンション団地

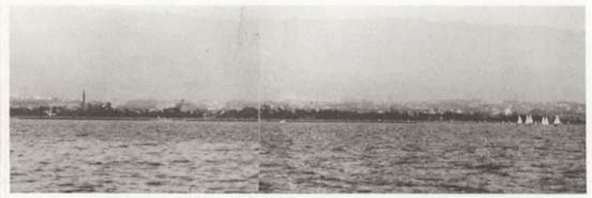
〈貝塚市沿岸〉


㊵岸和田市沖からみた岸和田城

〈岸和田〉 ここまでくると少し市街地がみえてくる。岸和田市の埋立地はまだ一部分しか造成されていない。この外側に阪南港として大規模な埋立計画を持っている。どんな土地利用にするのであろうか？1～2km沖に防波堤があるが、そこまで埋立地になるのだろうか？——その防波堤は、いま、魚つりのメッカとなっている。


㊶岸和田市の臨海部


㊷岸和田市沖の防波堤とつり人たち


㊸海浜と松林が残る——貝塚市、二色の浜附近

〈貝塚〉 貝塚市もまだ埋立地を造成していない——したがって海浜と松林が残っており、「二色の浜」海水浴場もまださやかにではあるが、府民のレクリエーションの場として健在である。今日も、ヨットやウィンドサーフィンの白い帆が、風をいっぱいに受けて沖あいにすべって行く。


㊹二色の浜の沖

〈泉佐野沿岸〉


㊺泉佐野・住吉町阪南港水産コンビナート

〈泉佐野の沖から〉 泉佐野の海岸線は堺市に次いで長いように思われる。一部、水産・食品関係の工業団地として埋立られているが、まだ市街地が直接、テトラポットの海岸線に接してみえる。沖あい5kmには新国際空港の埋立が予定されており、また沿岸部には前島としての埋立計画もある。今後この風景も一変するのであろうか？


㊻泉佐野・住吉町、阪南港、食品加工センター(不二醤油)


㊼泉佐野市・南海泉佐野駅前附近の市街地風景


㊽好漁場といわれている泉佐野、泉南郡田尻町沖。新空港予定地(観測塔)附近


㊾泉佐野の市街地、臨海部の工場


㊿泉佐野市の松林が残っている羽倉崎町附近(佐野中学)


(51)泉佐野と田尻町の境界(サニータウン羽倉崎)

〈泉南市沿岸〉


(52)泉南郡田尻町沖から公団泉南一丘団地をみる

〈田尻町・泉南市〉 泉南市に入ると、和泉山地の山並みが海岸線にせまってくる。泉南市から南、阪南町、岬町にかけての丘陵地は相当規模の大きい住宅団地として開発されているのが目に入ってくる。手前の旧市街地とのアンバランスな景観が目立つが、都市の構造として融合・調和していない部分がないような配置が必要であろう。


(53)泉南市沖から、砂川駅前マンション


(54)泉南市樽井男里附近


(55)泉南市男里、泉南清掃組合ごみ焼却場

〈淡輪へ〉

これから南に行くと阪南町、岬町、和歌山県加太へと、だんだん自然が残って、緑豊かになっていくが、阪南町での丘陵地帯には住宅開発が多くみられる。
舟は一路、夕陽の淡輪ヨットハーバーに向かう。



協力：住宅・都市整備公団"トンピリビ・グループ"　写真・文　田中直人＋岡田信幸

〈海からみた沿岸の土地利用・都市構造の概観〉

●**神戸から芦屋・西宮にかけて**は、背景にある六甲山地の麓野の斜面を利用した市街化であるが、湾岸沿いに海岸線に沿って鉄道・道路等の交通網が国土軸として発展し、都市を横断し、縦方向には、梯子状に道路が通り、その交通の接点には商業・業務が立地し、山麓にかけては、住居がはりつき、また臨海部には工業系の機能が立地し、わりと明解にその都市構造を形成している。また、その湾岸沿いには埋立地の造成がなされ、新市街地として初期の工業流通系から近年は港湾の外港化と住居・業務・レクリエーションを含めた新都市を形成しようとしている。したがって、その景観も、段状の既成市街地と、計画的な埋立地の新市街地の特色ある景観を前面に打ちだし、それは、（現段階では）ある程度成功していると思われる。

●**尼崎から大阪にかけて**の湾岸における都市構造はわかりにくいが、原則的には、湾岸沿いに淀川をはじめとする河口部の三角州の沖積地帯が、湾岸道路等の交通網の整備により、近代以降臨海工業地帯として発展・整備されてきた。また、その中心にある大阪港は、明治元年開港の河口港から、本格的な近代築港事業として明治・大正・昭和と営々と築き上げられてきた。大阪の都市構造は、御堂筋を中心とする都心部中枢機能の集積する南北軸が北にのびて国土軸に繋がっており、その南北軸に直交する形で、近世からの都市軸であった大阪城・大川・中之島・築港が東西軸として大阪港に繋がって、大都市として発展してきた。この東西軸も、将来にむけて再整備されようとしている。

東は、ＯＢＰから京阪奈学研都市へ、西は、北港・南港を中心とするテクノポートと新文化ゾーン構想の計画によって21世紀をめざそうとしている。だが現在は景観的にも、港湾的にも、内港のウォーターフロント再開発の問題など種々の問題があるように思われる

●**堺地域**は、中世から港湾・商業を中心に町人の自治都市として形成され発展してきたが、大和川の付け替えにより一時、港湾機能が衰退してしまう。近世にはまた改修され、今も堺泉北港の奥に木造の灯台とともに旧堺港として残っているが、近代になって政治体制の変化と都市構造の整備がなされないままに、近代港湾機能としても整備されず、戦後に至る（堺臨海工業用地としては、昭和10年から造成開始）。

戦後の高度成長期にかけて、大阪都市圏の鉄鋼業をはじめとする基幹産業の遅れを取りもどすべく昭和35年、堺泉北臨海工業地帯として大規模な埋立造成が始められ、工業港として整備されて発展してきたが、既成市街地の整備については、道路だけが湾岸線と内陸部の中央環状線の産業幹線として整備されただけで、後背地としての市街地整備は遅れている。また、その奥にあたる丘陵地の大規模なＮＴ開発が行われたが、それは臨海部との接続の理由からではなく、大阪市のベッドタウンとしての住宅開発であった。

堺泉北工業地帯は大規模な装置系の工業であるから、今後、安定成長期の省エネ時代に対応して、その去就動向が注目されているところである。

●**泉南地域**になると、もともとは農業地帯であり、工業としては、紡績業を中心に明治以降機業地として発展してきたが、現在は、大阪のベッドタウンとして住宅地のスプロールが進んでいる。臨海部の埋立造成は、大正初期に住吉木材基地造成、戦後は岸和田木材港、泉佐野水産コンビナート、阪南港公共埠頭の建設が進められており、今後、新空港建設とその関連前島の建設と、海岸線は一変するだろう。それにともなって、内陸部のアクセスだけではなく、市街地の都市基盤や都市構造の再編整備がどう進んでいくか今後見守っていく必要があると思われる。また、その埋立造成地にはさまれるように、多くの漁港があり、沿岸漁業が盛んである。主な漁港だけで15～6ヵ所、大阪府下の漁業組合は24を数える。今後、新空港と漁場の関係も問題となろう。

〈感想①〉

●現在この大阪湾岸地域に住んでいる人のうち、大阪湾（海）から沿岸各都市をみた人が単純に何人くらいいるだろうか？湾岸にはフェリーなどの旅客港や工業港、漁港など数多くの港があり、多く船が出入りしているが、何％くらいの人がその船に乗ったことがあるのだろうか？われわれも旅行でもしないかぎりあまり海から港に入ることもないし、都市をみる機会はない。たとえ旅行などで船に乗ったとしても、景観がどうだとか、そのあり方がどうだというような眼ではみないだろう。各都市を比較してはみていない。もっと、旅情などにつつまれたロマンティックな眼になっているだろう。気にしなければしないですむ。不幸と言えば不幸である。

海から陸をみる機会も少ないが、陸から海をみる場所も少なくなっているように思われる。

海からの目と、陸からの目はまったく反対の目であると思われるが…。女はみられることによって美しくなると言われる。都市もまた…。

●いま埋立をやっているところがまだけっこうあるが、その埋立をやっている行政（？）は、土地の必要にせまられて造成しているのだろうか？また、埋立地の形状にしても、景観や地形のデザイン等を考えて計画しているのであろうか。何か、地図の上で線を引き、バックグラウンドである都市のことなど考えずに、埋立地の区画線を引き造成し、そのあとで——あとから土地利用を考えているのではないか。その時々、時代々々に要請される（売れる）産業用地としてのみ考えているように思われる。——埋立地計画に、計画論はありや？大疑問である。（先日も経済界が大阪湾に大阪市の半分近い面積の埋立海上都市構想を打ち上げていたが、何を考えているのであろうか？目的がないように思われる。廃棄物処理は目的ではない。フェニックス計画も本末転倒である）

〈感想②〉

●大阪湾からみた湾岸の利用状況で一番多いのは、臨海部、埋立地ともに、工業・流通施設である。阪神間でも、旧臨海部は芦屋、西宮を除いては工業と流通倉庫であり、大阪は此花・大正の臨海部、堺・泉北港から阪南港の埋立地はほとんどが工業コンビナートである。とくに堺は、鉄鋼と石油コンビナートの重化学工業である。阪南港一帯にかけては金属、木材、食品加工、水産コンビナートなどの工業団地である。工業地帯とともに多いのが、港湾機能である埠頭と流通倉庫であろうが、これは、埋立の内側にかくれて、あまりみえない。漁港も堤防にかくれたり埋立地の奥まったところにあり、目につかない。

住宅団地としての利用は、芦屋、西宮、南港とポーアイの一部、一般市街地としては神戸の西側と、泉南から南にかけてである。業務地としては、神戸ポーアイくらいであろうか、このほかにあんがい目立つのが、ゴミ焼却場や処理センターである。また、人間があふれていることで目立つのが魚つり公園や波止場での魚つり風景である。（いかに人々は海を求めているか……）——そのほかに、未だ、埋立造成、工事中のところが、まだまだ多いのである。（——もちろん、何らかの目的があってのことであるのであろうが……）

このことで言えることは、都市と海は、人々と海は、切り離されているということ。下水処理場とか、ゴミ焼却場、火力発電所、60年代の石油コンビナートetc.,……都市に住む人達のそばではいろいろむつかしいものを仕方なくか、都市（行政区）の一番はしっこ（末端）に、一番外側につくっている。それが結局、人々を海から遠ざけるとともに、見る見られるという関係をたち切り、美しさとは反対の方向へ進めているように思われた。

「大阪湾のいま、——湾岸の都市・生活・遊びを大阪湾からみる」と、いま海岸線にみえる都市は、都市の裏側であり、断片にすぎず、境界部分である。いま、海岸線から生活などみえてこない。なんとなく互いに、隔てられ、裂けられているように感じられる。（例外的に都市の顔を幾分みせているのが、港町＝神戸であろうか）また〈遊び＝レクリの世界〉も、（二色の浜など）息もたえだえという感じである。この空間は、大阪都市圏からいうと30km圏より外へ、都市圏の周縁部に追いやられようとしている。

●埋立は、大きな意味では、都市が生きるため、自然と闘って、新田として、港として、工業地として、時代の要請に応じて、つくられてきたところもあるが…。

これからはもっと、海と人を近づける、ウォーターフロントに都市を、自然も含めた、都市づくり、都市デザインとして考えられないだろうかと思った。

●夕陽の淡輪ヨットハーバーは美しかった。

大阪湾の将来展望　沿岸域のプロジェクト紹介

古くから、沿岸域は都市活動や食料生産の要請に応じ開発がおこなわれてきた。

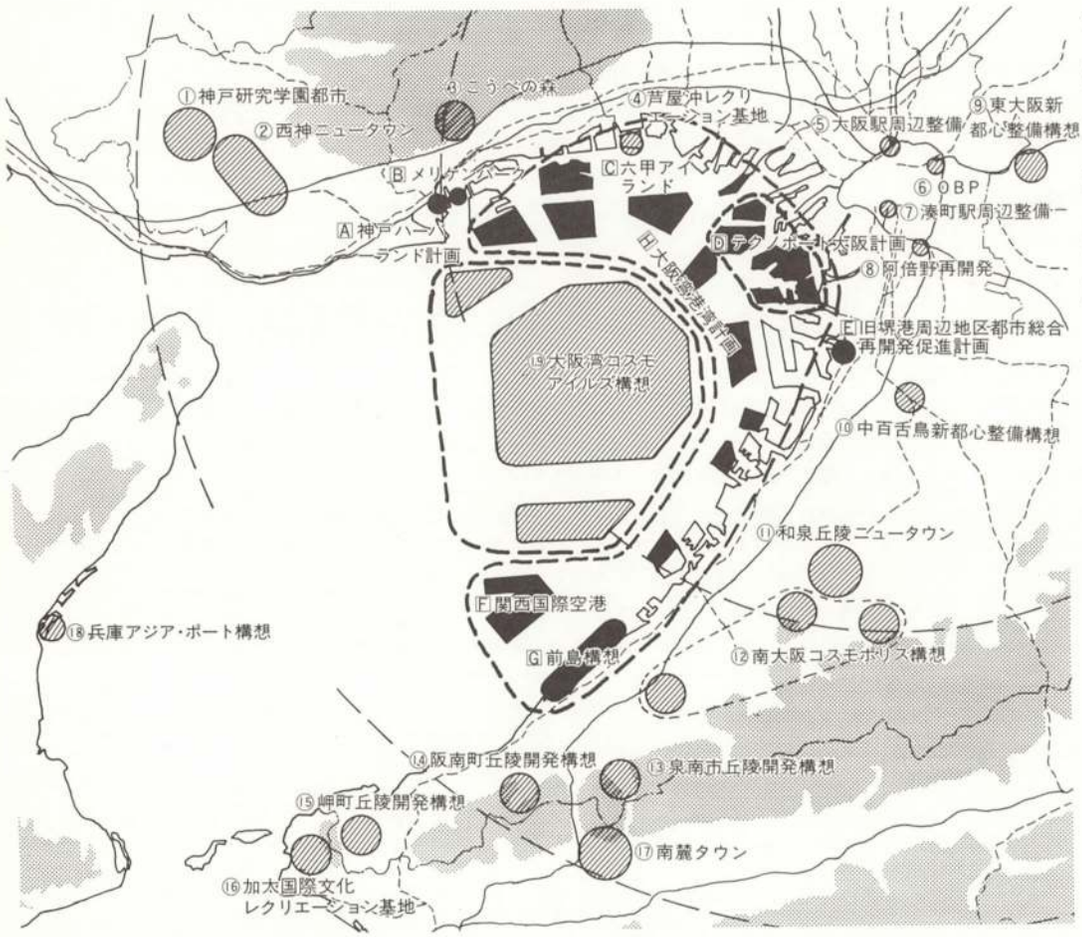
今日、運輸・流通機能の新規展開に加え、都市的機能の立地や再開発の受け皿、あるいは膨大な廃棄物の処理等の必要性と技術力、経済力の増大の中で、沿岸域の開発は新たな局面をむかえている。大阪湾岸域においても、ここに示すように、多くの埋立、開発計画が打ちだされている。

「21世紀は海上都市建設の時代」ともいえるが、一方で海域および土取りにともなう陸域の自然環境の大々的な改変、あるいは既存都市機能の低下、衰退化の恐れなど、多くの問題をかかえていることも忘れてはならないだろう。

大阪湾、ひいては近畿圏の今後のあり方を検討する上で、この資料が何らかの参考になれば幸いである。

最後に、原稿資料をお寄せいただいた方々に厚くお礼を申し上げる。

（編集部）



〈主要プロジェクト〉

- Ⓐ神戸ハーバーランド計画
- Ⓑメリケンパーク
- Ⓒ六甲アイランド
- Ⓓテクノポート大阪計画
- Ⓔ旧堺港周辺地区都市総合再開発促進計画
- Ⓕ関西国際空港
- Ⓖ前島構想
- Ⓗ大阪湾港湾計画

〈その他の計画、構想〉

番号	プロジェクト名（主な計画主体）	番号	プロジェクト名（主な計画主体）
①	神戸研究学園都市（神戸市）	⑪	和泉丘陵ニュータウン（住宅・都市整備公団）
②	西神ニュータウン（神戸市）	⑫	南大阪コスモポリス構想（大阪府）
③	こうべの森（神戸市）	⑬	泉南市丘陵開発構想（泉南市）
④	芦屋沖レクリエーション基地（兵庫県）	⑭	阪南町丘陵開発構想（阪南町）
⑤	大阪駅周辺整備（大阪市）	⑮	岬町丘陵開発構想（岬町）
⑥	ＯＢＰ（民間）	⑯	加太国際文化レクリエーション基地（和歌山市）
⑦	湊町駅周辺整備（大阪市）	⑰	南麓タウン（和歌山県）
⑧	阿倍野再開発（大阪市）	⑱	兵庫アジア・ポート構想（兵庫県）
⑨	東大阪新都心整備構想（大阪府）	⑲	大阪湾コスモアイルズ構想（関西経済同友会）
⑩	中百舌鳥新都心整備構想（大阪府）	●フェニックス計画（大阪湾広域臨海環境整備センター） ●すばるプラン（国土庁）	

A

神戸ハーバーランド計画 国鉄湊川貨物駅跡地整備計画

所　在　地　神戸市中央区東川崎１丁目（国鉄湊川貨物駅跡）
計画・事業主体　神戸市　住宅・都市整備公団（予定）
計画・事業年度　昭和60年度事業着手～64年度完成予定
用　途・規　模　用途は未定、規模は国鉄神戸駅南広場を含む約23 ha

□都心の活性化をめざした大規模再開発

当地域を含む神戸駅周辺地域は、マスタープランにおいて都心の西の核として位置づけられており、魅力的な神戸の都心形成の一翼を担うことが期待されている。

しかし、現状は人口減少、商業活動の停滞などいわゆるインナシティー問題が起こり、地域の活性化が強く求められている。このような時に、国鉄湊川貨物駅が昭和57年に廃止されることになり、神戸市は、隣接する資材センターを含めて約10.7haの土地を昭和60年度までに順次全面買収して、都心にふさわしい新しい都市空間と新しい都市機能を整備し、神戸駅周辺の活性化を図ることとなった。

□神戸の新しい文化、商業、業務機能の立地と都心にふさわしい魅力づくり

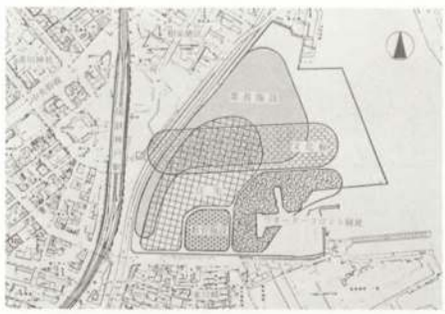
計画の基本方針として、次のようなことを考えている。

①神戸文化軸の延伸：神戸駅から港に向けての軸線上に、文化施設および文化に関わる商業・業務施設を立地させ、神戸文化軸の延伸を図る。

②業務機能の拡充：地区の北部には、情報、文化関連の未来型の新しい業務、商業施設の立地を図る。

③良好な都心型住宅の建設、教育施設の建設：地区の南部に未来型都心生活を先取りした良好な都心型住宅を建設し、同時に隣接して整備される教育施設と、有機的な関係を持った快適な生活環境を形成する。

④公園緑地の整備：臨海部に、地区のアメニティシンボルとして、緑と親水性あふれるウォーターフロント緑地を整備する。現在、この方針に沿った整備を推進すべく検討中であり、昭和60年度から事業に着手する。





（**垂水英司**／神戸市都市計画局計画部）

B

メリケンパーク

所　在　地　神戸市中央区波止場町地先
計画・事業主体　神戸市港湾局
計画・事業年度　昭和58年度～昭和62年度
用　途・規　模　ウォーターフロント緑地（15.6ｈａ）

メリケンパーク計画は、近代神戸港の発祥の地である中突堤・メリケン波止場地区間を埋めたて、既存の観光施設との調和をはかりながら、市民に親しまれる公園として「みなと神戸の再発見をめざして」を基本テーマに、昭和58年度から本格的な整備を進めている。

本計画については、昨年も正月号で紹介され、主に計画の必要性・方針について述べたので、今年はパーク建設の進捗状況と、中心施設である「神戸海洋博物館」を重点に、その特徴等を紹介することとする。

メリケンパークの面積は15.6haであるが、このうち10.6haは埋立により土地造成を行うものである。

埋立工事は昭和58年度から着手し、底開バージによる埋立とリクレーマ船による揚土方式により、昭和59年８月末に土地造成を完了している。この土地造成部分のほぼ中央に位置する「神戸海洋博物館」を現在建設中である。

海洋博物館は国際港湾都市神戸を象徴するものであり、「みなとこうべのインフォメーションセンター…海と船へのいざない」を基本テーマに、海に関する各種技術の変遷と市民生活や国際交流との関わり等、海洋海事に関する総合博物館を目指している。部門構成としては①海運・港湾、②造船・航海、③海洋開発、④屋外展示を有機的に関連づけながら多様的な構成を行う。また展示については自ら操作できる施設や映像・音響の利用など新しい展示技術を駆使し、分りやすく楽しいものを検討中である。

海洋博物館の施設概要は、鉄筋コンクリート造、地上２階建、建築面積6,300㎡、延床面積7,255㎡で、展示ゾーン、教養ゾーン、休憩ゾーン、共用ゾーン、管理ゾーン、レストランを利用しやすく配置している。

メリケンパークは、昭和62年春の開港120周年記念行事の一環として博物館の開館とパークの部分供用を考えているが、これに照準をあわせて、博物館およびその周辺の緑地・広場等の整備を現在急ピッチで進めているところである。

（**江口政秋**／神戸市港湾局技術部計画課長）



C

六甲アイランド

所　在　地　神戸市東灘区向洋町
計画・事業主体　神戸市、第三港湾建設局、神戸港埠頭公社
計画・事業年度　昭和46年度～昭和65年度
用　途・規　模　都市機能用地、港湾関連用地、産業用地、580ha

国際化、高度情報化、さらには高齢化へと進展しつつある社会環境の中で、六甲アイランド都市機能ゾーンが担うべき機能を、以下のように考えている。

①高度で多様なニーズ対応の都市型住宅
②西神・北神等のプロジェクトとの連帯を図る、ハイテク産業のソフトウェア開発、情報処理機能
③高度情報社会の流通変革に対応する情報業務機能
④ポートアイランド等既存のコンベンション機能と連携しつつ、特殊なニーズに特化したコンベンション機能
⑤教育・文化・レクリエーション・スポーツ機能

さらには、高度な都市システムを装備した複合都市―インテリジェントシティ・ROKKO―をキャッチフレーズとして街づくりを行い、21世紀に向けた新しい産業基盤を強化するとともに、国際都市神戸としてのアイデンティティを都市の快適性、エキゾチックな文化性においても創出していく拠点とする。コンセプトとしては、つぎのように考えている。

- 情報化社会の未来都市
- ニュービジネスを創る街
- 都市における水辺の復権
- 国際性の強い街
- 若さと活力のある街
- 自然と健康、福祉の街

この六甲アイランドの造成はほぼ70%に達し、整備の進んだ区域には、38社の企業進出が決まり、すでに18社の企業が、新しい街で都市活動をはじめている。

（明渡柔輔／神戸市開発局計画課）



D

テクノポート大阪計画

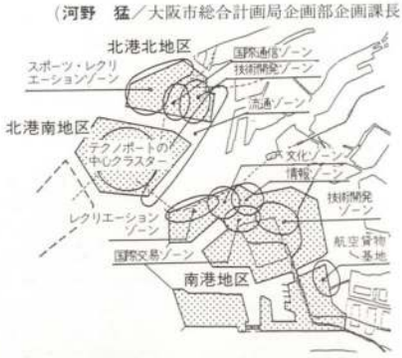
所　在　地　大阪南港・北港地区
計画・事業主体　大阪市
計画・事業年度　59年度から21世紀初頭にかけて
用　途・規　模　計画面積：約700 ha
先端技術開発機能、国際交易機能、情報通信機能など

情報化、国際化、成熟化という歴史的な社会経済環境の転換期にあって、大阪は、国際文化情報都市としての都市機能の強化、都市構造の再構築を求められている。「テクノポート大阪」計画は、このような背景のもとに大阪市制100周年記念事業の一つとして構想された大規模プロジェクトであり、大阪港の南港地区および北港北地区・南地区に、先端技術開発、国際交易、情報通信の三つの機能を集積させ、文化・レクリエーション機能、アメニティの高い居住機能、24時間サービス機能なども備えた新しい都市核を形成しようとするものである。

整備の基本方向は、各地区がそれぞれの地域特性や利用可能時期に合わせて段階的なクラスター開発を進めながら、全体として一つのアイデンティティを創出しようとするものである。

①南港地区は、60年4月開場予定の国際見本市新会場を中心とした国際文化ゾーンや、緊急に整備を要する技術開発ゾーン、情報ゾーン等
②北港北地区は65年ごろから利用可能であり、スポーツ・レクリエーションゾーンや国際通信ゾーン、技術開発ゾーン等
③北港南地区は、21世紀初期の開発となるので、新しい時代の要請や知見を加味したテクノポートの中心クラスター

（河野　猛／大阪市総合計画局企画部企画課長）





E

旧堺港周辺地区

都市総合再開発促進計画

所　在　地　堺市・旧堺港周辺地区
計画・事業主体　官民共同事業（第三セクター等
計画・事業年度　現在作成中の基本計画による
用　途・規　模　同上（約65ha）

堺市では、新堺市総合計画を昭和58年2月に定め、南海高野線堺東駅から南海本線堺駅に至る周辺地区を「都心」として位置づけ、旧堺港の水辺空間等を保全・活用しつつ、旧港周辺地区を一体的・総合的に整備し、都心の西の玄関にふさわしい発展をめざす。このため商業業務施設の整備、魅力あるターミナルの形成、居住環境の整備につとめるとともに、文化・スポーツ・レクリエーション施設等のゾーン整備を図ることを目的としている。

また、大阪府（湾湾管理者）は、段状護岸および回遊できるプロムナード等、水際線の整備計画を樹立して、港湾再開発と都市再開発を一体的に整備推進することとなっている。

堺市では、土地利用の設定、整備主体の手法等、旧堺港周辺地区の整備方向について、基本計画を設定することになっており、現在、各種調査を実施中である。

今後の課題

(1)街づくりに効果的な拠点整備、都市基盤整備の具体的整備条件の明確化および機能整備の検討
(2)特徴的な街づくり、都心形成に関する計画、とくにソフト面の充実をはかる。

また、旧堺港、大浜公園を充実し、一体的利用の方向をより明確にしていくことが課題となっている。

（河井聖憲／堺市都市整備部都心整備室）

①シティホテル（コミュニティホテル）
②産業関連業務施設
③海洋科学館
④未来科学館
⑤多目的ホール
⑥美術館
⑦フィッシャーマンズハーク
A1：商業・住宅
A2：商業・業務・住宅混在
A3：レジャー・飲食・業務
A4：ホテル・業務
B　：レクリエーション



F

関西国際空港

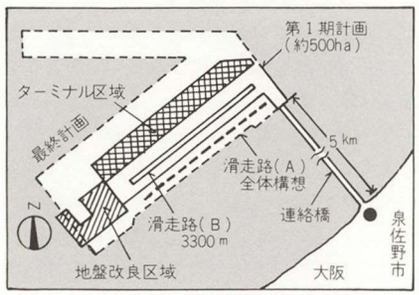
関西国際空港の建設・運営の事業主体として、特殊法人「関西国際空港株式会社」が官民共同出資で設立された（昭和59年10月）。

関連省庁、地元自治体に、民間の人材を加えた会社組織の運用により、効率的な事業の展開をはかり、昭和67年末には、世界に開かれた24時間空港の開港を行いたいとしている。

同社は、空港の実施計画作成について、従来の運輸省案にとらわれずに、修正案も含め、将来の拡張の可能性、建設コスト、環境への影響など、総合的に検討した上で、なるべく早く最終計画案をまとめたいとしている。

同社の修正案の中では、1兆円の事業費の枠内で第1期工事を完成することを基本にしながら、滑走路およびターミナル区域の位置の変更や、開港時からジャンボ機の就航を可能にするための滑走路の延長が検討されている。（計画分科会）

関西国際空港第1期計画運輸省案



（日経新聞59.10.20.より作成）

G

前島構想 南大阪湾岸事業

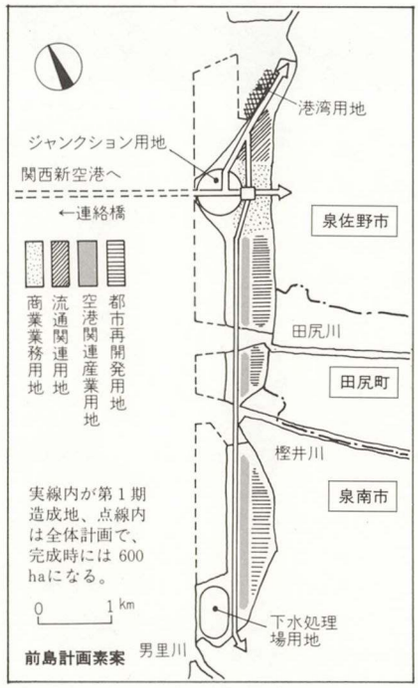
大阪府は、関西新空港関連地域整備の核として前島構想を打ち出していたが、従来の島タイプから、工費が安く、土地利用の面でも有利な陸続きの沖出タイプに改め、計画原案として公表した（昭和59年12月）。

空港の一体不可分論に立って、昭和61年度には空港と同時着工したいとしている。

第1期は350ヘクタールで、新空港の開港時（目標67年度末）には使用を始め、将来は600ヘクタールに拡張したいとし、造成費は第1期で約1000億円、全体で1750億円を見積もっている。

1期の土地利用は、北地区に空港連絡道路と湾岸道路とのジャンクション、連絡鉄道の駅、貨物基地、港湾、駐車場など空港機能を支援する施設を配置。駅周辺部には商業活動・情報の中枢となる商業業務用地を置く。一方、南地区の沖側南端部は下水処理場用地にあて、残りは空港関連産業（機内食工場、航空機部品工場など）用地や内陸部の工場移転や住宅団地などの都市再開発用地、公園・緑地とする。

事業費の大半は起債でまかない、造成地を国、空港会社、民間企業に売って資金を回収する計画であるが、その採算性の詰めや、環境保全、漁業補償、環境庁との調整等、なお多くの課題を残している。（計画分科会）



（読売新聞59.12.4.より作成）

H

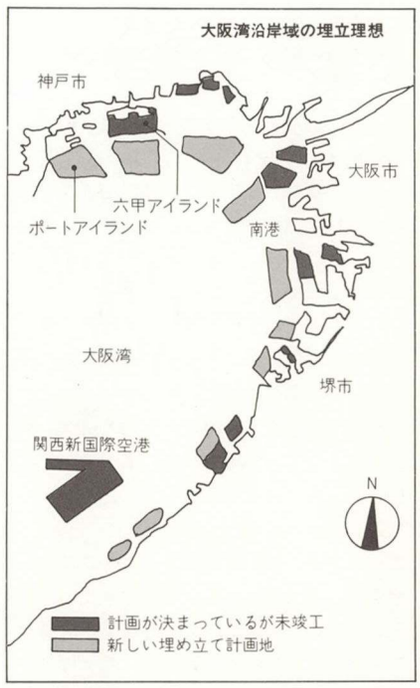
大阪湾港湾計画

運輸省第三港湾建設局は、21世紀に向けての大阪湾の長期展望と昭和70年までの埋立事業等のガイドラインづくりを骨子とした「大阪湾港湾計画の基本構想」を発表した（昭和59年9月）。

昭和59年度末を目標に関連自治体の意見をまとめて運輸省の中央港湾審議会に報告したいとしている。

同構想は、昭和42年に策定した計画を、関西国際空港やフェニックス計画等が、具体化してきたことなどの新しい状況にあわせて見直したもので、21世紀初頭までに約7,000ヘクタールの埋立地を造成するのが適当としている。

このうち70年までに新規分を含め3,600ヘクタールを埋め立てる必要があるとしている。70年までに、埋立で創出する土地利用計画は、都市機能用地600ヘクタール、産業関連用地1,000ヘクタール、緑地レクリエーション用地550ヘクタール、港湾用地1,250ヘクタール、幹線交通機能用地200ヘクタールとしている。なお廃棄物埋立用地は都市機能用地などに含まれている。（計画分科会）



（建設通信59.9.14.より作成）

昭和59年度 第2回 茶室見学会

錦秋の出雲路に名席・名勝とニチラスの本社工場を訪ねるに参加して

出雲路旅行に参加の喜び

竹内　さく

10月19日、建築協会の出雲路見学バス旅行に参加して行って参りました。

バスは国鉄大阪駅西口、8：00出発との事。私の住まいは神戸住吉ですから、大奮発、6時に起きて、国鉄で行こうとしているところへ、同行予定の芦屋の娘から、電話がかかってきて、国鉄は明石で事故があって不通になっているとの事。どうなる事やら、と思ったが、兎に角、彼女がタクシーで来てくれたので、その車で阪急に出て、どうにか定刻迄に指定の場に行く事ができました。ヤレヤレ。

バスに乗ってからは、もう楽々でした。大きな車に、20人ほどでしたから、ゆったり。協会からは見学先や地図など、充分で行届いた資料を貰いましたので、それ等を見たり、居眠ったりでした。また程よい処で停車して、用を足したり、食事があったり。宿も宍道湖に面した景色よく落着いたところで、充分に休むことができ、全く快適でした。

こうして、米子では、新らしいラスのニチラス工場を、松江では不昧公縁りの数々の茶室、旧小泉八雲邸、日本初期の神社等々、とどこおりなく見せて頂きました。

ニチラス工場では、社長御自身が説明に当られましたので、大変よく解ったばかりでなく、よりよいものへの開発に誠心誠意、全身投球のお人柄に接し、感激しました。

松江では、茶室研究の泰斗、岡田孝男先生御自らの御案内、御説明です。これ以上の事があろう筈がありません。しかも先生は、中学校を松江で勉強せられたとか。何もかも知りつくしておられる上に、どこへ行っても、松江の人々が先生を大切にされるので、そのお蔭で、普通なら見せて貰えない処も、凡てフリーパスの有難さです。

小泉八雲の屋敷では、八雲の人柄に直(ジカ)に接した思いに、心を満たされました。

数々の茶室、古代の神社の建物や佇(タタズ)まい。岡田先生、ニチラス社長氏、小泉八雲の人物。それ等が凡て、本物である事を知って、喜しくなりました。

数々の本物に接した喜び、これがこの旅行の私の感想第一であり、凡てでございます。

それにつけても、この企画を立て、実行せられた建築協会の素晴しさ、御用意万端の周到さ。ここにも本物を見て、深く喜び、有難がって居ります。厚く御礼申し上げます。

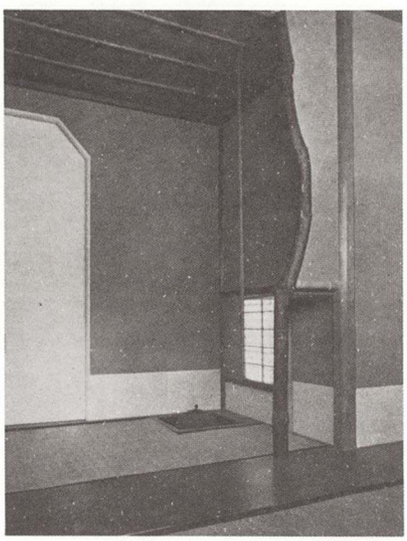
菅田庵にて

和田　精一

菅田庵茶席の客畳に坐して、岡田先生から説明をうけた。私は今日までに三回この席を連子窓を通して外から拝観してはいましたが、先生のお話で、その異和をこの年まで、気づかなかったとは、うかつなことだったと、はなはだ恥ずかしい思いをしました。

それは釣棚と風炉先窓鴨居、それに袖壁の壁止め竹との関係、中柱の中板の上に建てられていること、また中柱の出の少くない理由、中柱と右の柱が二本並んでいて目障りな点、出隅柱は塗り回しにせず柱をみせ、入隅を塗り回し壁にして柱をみせていない点、いわれてみればまさにその通りで、プロの作品とは思えません。

先生は「不昧公が、この席を作ったのは、茶道も達人の域に達していない四十歳そこそこのころ、大工に細々と指示して作らしたと思う。今もしこの建物を何らかの理由で復元するような場合に、この目障りな個所を改めるよりも、不昧公の作として、そのまま残すのがよい」と話された。私もその通りだと思った。白でも黒で通される大名らしく、「これこれの寸法にいたせ」棟梁「ハアー、かしこまって候」……よいとも、悪いともいえず、仕事をした大工を思い浮べ、まことに楽しいひとときでした。


菅田庵内部

私たちは茶室を作るに当り、何々写しといって、よき席をそのまま写すのを無難としています。しかし、今日の先生のお話しで、簡単に写しはやれぬ、よくよく慎重にせねばならぬ。例えば四帖半席といえば、常に裏千家の又隠写しとなるが、この際、柱花釘を床柱に打つか、向柱に打つのか、心細くなってきました。

この度の出雲行見学は、菅田庵、明々庵いずれも、よき勉強をさせていただきました。

岡田先生のご健勝を祈ってやみません。

（藤木工務店）


有沢山荘内にある菅田庵の石碑の前で
（この横には風雅な柿葺の門がある）

松江紀行

中原　茂

中秋の山陰、米子から松江にかけて、ユニークなニチラス本社工場を始め、名茶席と庭園、そして松江市内の名勝を訪ねる1泊2日の見学旅行は、協会として素晴らしい企画であった。にも拘らず参加者は意外に少くて僅か二十名程であったことは企画者にとっては甚だ残念であろうが、参加者は立派な観光バスにゆったり席を占めて、終始安楽に旅行ができたことは何よりも有難かった。また講師として、ご案内して頂いた岡田孝男先生には、当地方のご出身であり、「松江の茶室」の著者で、写真も豊富に幾多の名席その他を紹介しておられ、私にとって、初めて茶室建築について専門的な知識を得る機会が得られて、誠に幸いであった。

第1日目夕刻に訪れた安来市の清水寺蓮乗院の離れの茶室古門堂は短い秋の日も暮れてしまい折角の名席も懐中電灯の光を頼りに内部を拝見せざるを得なかったのは惜しいことであった。

その夜は宍道湖畔の温泉旅館松平閣で宿泊したが、翌朝早く庭に出て見ると霞がかった湖には有名な嫁ヶ島が浮かび、蜆取りの舟であろうか、チラホラと見える景色は松江ならではの風情に満ちていた。

開門と同時に松江城を見物する。澄みきった秋空に五層の天守閣は壮麗にそびえ立っていた。城内の展示品を見ながら急な階段を昇り、最上階の望楼よりの展望は素晴らしかった。それからお城の北東部にある有沢山荘に向う。ひなびた山の細い坂道を上って行くと、風雅な荒れ果てた柿葺の門があり、横道にそれて更に上ると山荘に着く。ここは見晴しのよい台地になっていて、寛政2年松平不昧公によって建てられた菅田庵と御風呂屋、更にその後作られた向月亭と周囲の庭を合せて一連の茶屋山荘の構えを見る。誠に品格ある名席を岡田先生のご説明によって、充分に鑑賞することができて楽しい思いだった。

菅田庵から再びお城へ向い、堀端の松並木に沿って立ち並ぶ武家屋敷の町並みの中に有名な小泉八雲の旧居がある。八雲については最近ＮＨＫのテレビドラマの名作「日本の面影」の中で松江における生活の様子が劇的に紹介されていたので、その居宅も一層興味深く見られた。特に書斎の南庭にある、愛好したと言われる百日紅とその傍らの小さい石灯籠の姿は印象深かった。八雲旧居から武家屋敷前の道を歩いて約20分程で名席明々庵に着く。

明々庵も不味公好みで入母屋の厚い茅葺の屋根が印象に残るものであった。二帖台目の本席は色々と特色があり、これに接して四帖半の席や、水屋台所等も完備し、少し離れて、寄り付きと腰掛け待合いも設けられた本格的な茶室建築の粋に深い感銘を覚えた。又見学を終えて百草亭の座敷で頂いた抹茶の味も忘れ難いものであった。

かくて、松江の見物の終盤は八雲ゆかりの縁結びの八重垣神社や日本最古の大社造りの神魂神社にも参拝して久し振りの古建築を眺め、ゆったりした出雲路の旅の日程を無事に終えることができた。

出雲の茶室より

松村志津男

安来市	清水寺　蓮乗院	古門堂	2帖隅丸炉
	〃	巌松軒	2帖向板隅切り
松江市	有沢山荘向月亭		4帖半台目向切炉
	〃	菅田庵	1帖台目中板中柱隅炉
松江市	赤山町　百草亭		7帖出炉
	〃	明々庵	2帖台目向切り
	〃	〃	4帖半切り

向月亭は4帖半台目であるが入側を入れると3帖が増える広さであり、次の間が6帖と入側1帖があるから相当広い部屋である。大勢の人の茶席として書院を使ったのが元であった武家から、次第に茶人によって数寄を加えて、茶席の限界を求めて1帖台目中板中柱隅炉まで切り詰めていったと考えるべきか。天球院、蓬庵・残月亭、不審庵・無着軒、長生庵・桂春院、既白軒・等、同じ敷地内に亭と庵があり、又名称も院と軒とも大小2席を持つ形式は客に応じて室を使い分けたものと思われる。

8帖で花月なれば5人～12人の種類ができる。

名称も瑞宝院余慶庵の称に院と庵の組合わせは宗教との関係を知ることができる。又、庵と称さなくとも席と称するものは沢山ある。高台寺鬼瓦席等、庵、軒、席は天井や出入口は狭く、柱も小さく、下地窓、竹、雑木、丸太等を使用することによって自然の中に住まうことを特に意識しようとした。

茶室と庭との組合せは絶対に必要となってくる。露地を通る時に茶室に入る心構えができる。庭は石と植木の組み合せであり、水を加えることもある。これらの材料の組み合せは数多くの名苑を生み、名匠の手によって造り出された。その手法は憎いまでであり、そのいずれにも独創があり、単なる真似をしただけで追いつけるものでない。一石の配置が庭を生かすことになる。又茶の作法も辨えていなければならない。

松江からの帰阪の観光バスの中で、6時間半の道のりを頭の中は何かをまとめようと、考えが駈け回り、時間はそんなに長く感じなかった。

（松村志津男建築事務所）

出雲路の名席を訪ねて

濱田正二郎

秋たけなわの出雲路を訪ね第一の見学先ニチラス本社工場へ行きました。社長様の熱意溢るるご説明及び現物見本等を見学し経営者の非常な努力に感服しました。次に米子市役所建築についての説明を塩川建築課長様より拝聞し清水寺に着いた時は予定時刻を大幅に過ぎ夕暮時となりましたが、亦、それなりの良さもあり。ご住職よりの御話しや岡田先生のご説明等を聞き、古門堂台所の燈籠の工夫のあとや、巌松軒2帖の間からの三重の塔の遠望等、先人のたくみな思いつきに感銘し連子窓より三重の塔を写しました。庭の池の小さい滝の懸っているところなど、きめこまかい良さがありました。お抹茶をご馳走になり、すっかり暗くなった蓮乗院を辞し、宿舎の松平閣へと急ぎました。

宍道湖畔の静かなお宿で、翌朝はシジミ取りの多くの舟を見ながら松江城へと向いました。ここで特に感じたのは、内部の柱を古材で補強してある様に見うけられたが、創建当時よりのものか、どうか説明文が無く残念でした。続いて有沢山荘菅田庵へと行きました。ここの向月亭よりのながめは見事でした。山荘を下山し、八雲旧居へと足を進めました。もと武家屋敷であったものを、その儘使った様で、特に感銘するものはありませんでした。明々庵は立派でした。

八重垣神社では御祈念のお札を池に浮す等の珍らしい事等あり、最後の神魂神社には出雲大社より古い日本最古の大社造りの本殿があり、小泉八雲も詣でた、という伝説のある古風なお社でした。

城主松平不昧公は泰平の世に各流派の茶を学び修得していたので、手がけられた茶室庭園等の手法も多岐多様を極めています。

茶室は丸太の組合せ等日本建築固有のもので、その技術は特に、茶の湯の場で練磨されて来ました。丸太普請を特色とする茶室の建築が日本建築であるので茶室を大切にしなければならない。岡田先生はじめ協会の方々の御尽力により楽しい見学が出来ました。有難度う存じました。



神魂神社



松江城



松江城内



小泉八雲旧居（玄関）



八雲旧居を出ると武家屋敷が続く



和紙の上に硬貨をのせ、水に浮べると透し文字がでて占う。八重垣神社・鏡の池にて

松江、その文化の懐の深さ

楠　昭夫

「出雲路に名席・名勝を訪ねる」と銘うった今回の茶室見学会は、薄曇りの秋の二日間の旅でありました。

毎回の様に参加させて頂いているこの見学会シリーズ、特に此度は、講師であられる岡田先生のご郷里に当り、一段とお力が入っているとき、指折り数えて当日を待ちました。早朝よりの出発、中国自動車道を経由した快適なバスの乗心地、蒜山での昼食のあと、ついウトウトする中、米子市に入り、第一の見学地であるニチラス本社工場に到着。社長さんの熱っぽいお話にかなり時間超過となり、一日目のメインエベントである安来市、清水寺蓮乗院についたのは、秋の日もまさに暮れなんとする頃でありました。しかし御住職から、「皆さん方、古門堂茶室を御覧になるには、最高の時刻においでになりました』との御言葉を頂き感激。早速に裏山の岩石を削りとった露地から茶室を拝見。手燭ならぬ懐中電灯で隅々を照らしながら、岡田先生のお話をきき、特に丸炉や、茶室と水屋、台所の三室を照らすあんどん式の燈籠（照明器具）など珍しい意匠に感心しました。

今回の最大の目的である菅田庵の見学は、二日目の午前中、松江城に引きつづいて、清々しい空気の中でありました。藩祖松平公から、時の家老有沢氏に賜った地で、有沢山荘と呼ばれる一帯は、紅葉には未しの感であったのが残念でしたが、印象的な茅葺入母屋の大屋根や、一帖台目中板の茶室の意匠を目のあたりにして感激。しかしながら、何といってもハイライトは、山道を登って来て、やや狭い目の待合を経て、庭に出た途端、宏大な展望が開ける、その演出効果のにくいこと、思わず一同の口から感嘆の声が洩れた事でした。しかも生垣で一旦目線を区切り、木の間がくれに遠くの山脈を借景した手法は、他例がない訳ではないが、第一に指を折られるのは此処のものであり、実際に向月亭の竹縁に腰かけて眺めれば、手前の平庭の砂利敷や、飛石・短冊型の延段等との取合いを含めて先人の大胆にして繊細なセンスの見事さに、今更ながら感じ入った事でした。

引続き、近くの明々庵も拝見、不昧公の徳をしのびながら、岡田先生お心づくしの、出雲そばの昼食を頂戴し出発する頃、一陣の風とともに烈しい通り雨に見舞われたのも一興でした。

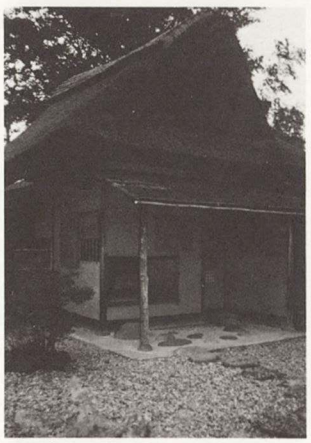
その他、松江城外に残る武家屋敷、ヘルン旧居を見学し、この地の文化の懐の深さを垣間見て、更に八重垣神社、神魂(かもす)神社をも拝観、盛り沢山な今回の行程をつつがなく終了。有意義に過した二日間を振返りつつ帰阪したのでした。

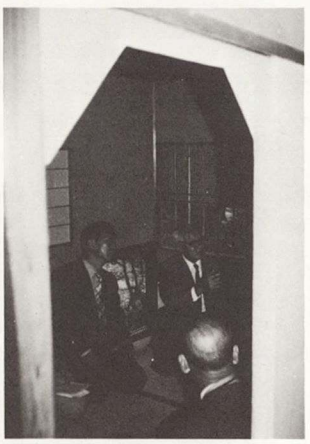
御高齢にも不拘、終始お元気で御教示頂いた岡田先生に、心からの御礼を申上げると共に、企画、実行に当られた事務局の皆様に、感謝の意を表しまして、拙ない同行記を終える事と致します。

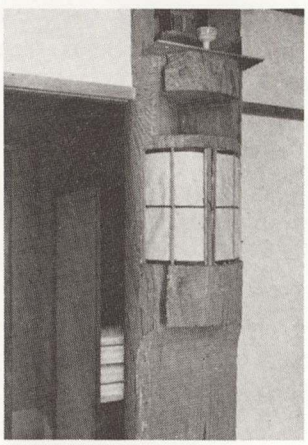
（大阪建物）

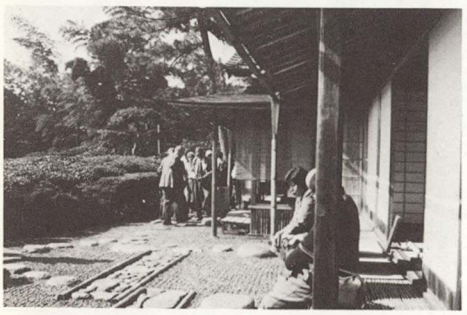


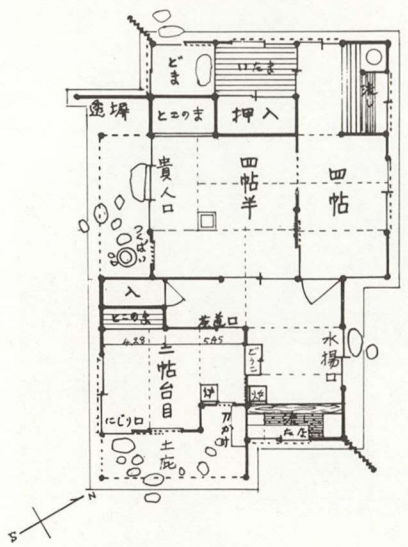
明々庵・四帖半の席にて岡田先生から説明をきく


明々庵・正面

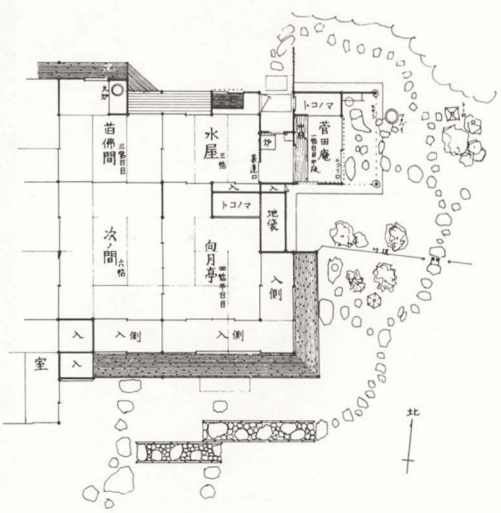

明々庵・二帖台目の本席にて


古門堂台所の燈籠


向月亭の庭を見る



明々庵の平面図



菅田庵と向月亭の平面図

茶室と風情

中村　信夫

10月19日、紅葉に映える出雲路の名席を、永年にわたってご講義いただいている岡田孝男先生のご案内により１泊２日の日程で参加した。

安来市にある清水寺蓮乗院に到着したのは、夕映えの美しいときで、露地と茶庭の一角にある茶室「古門堂」は一段とその風情があった。
特に中央丸柱にある「あんどん」は、茶室、台所、水屋の三室の照明を巧みに取入れてあり、古材をうまく生かした工夫が印象的であった。

翌20日晴天で美しい松江城の北にある武家屋敷に近い茶室「明々庵」を訪れた。登り道の少し手前の所で、岡田先生が学生時代下宿しておられた旧家が当時のまま残っており、なつかしそうに見ておられた。明々庵は萩の台地北側の広い茶庭の一角に建てられ、腰掛待合、回遊式の石だたみ等明るい感じの環境であった。茶室床の間は奥行の少し浅い床であり不昧公自筆の軸が掛けてあった。次いで、有沢山荘を訪れ、菅田庵、向月亭、御風呂屋と見学。向月亭から御風呂屋の、のぼりの露路と石段は、とくにすばらしい。向月亭のぬれ縁は細竹を敷並べてあり、柿板葺の庇と共に風情があった。

今回の松江地方の見学で、不昧公好みの特色の一端を知ることができ、うれしく思っている。

お茶室見学のほかに松江城、小泉八雲旧居、八重垣神社、神魂神社、日本フェラス工業、米子市役所等ハードな日程であったが有意義な見学会であった。　（住宅性能保証制度検査員）

ニチラスの工場を訪ねて

上出　秀雄

中国自動車道を落合で降りて、国道313号線および181号線を通って最初の見学目的「日本フェラス工業」へと向った。日本フェラス工業は、米子市から北方に突出した半島の波しぶきをまともにかぶる弓ヶ浜に面した松林の中にあった。

同社の工場見学が今回の企画に加えられたことは、春秋恒例の茶室見学とは多少異質な対象ではあった。しかし、同社工場が松江路への通り道にあり、何かと話題が多い同社製品について、折角の機会を見過して通る法はなかった。

社屋は、二つの円筒型の棟を結んだ赤レンガ色タイル貼り建物であり、建物の随所に同社製品の使用を試み、その効能を実証せしめるため展示も兼ね備えた建物であった。

同社の主製品であるニチラスは、そもそもモルタル塗壁の亀裂防止を主目的に開発され、それを土台として全く多彩なまでの各種工法が派生的に考え出されている。それら工法は、平生、在来工法の延長線上でしかものごとを把えようとしない我々に、発想の奔放さを教えてくれている。

中でもフォームレス・フォームシステムは、ニチラスの多本的使目のひとつとして、その面白さを遺憾なく発揮し、コンクリート工事における在来型枠工法に対する考え方の殻を完全に打破ったものであった。

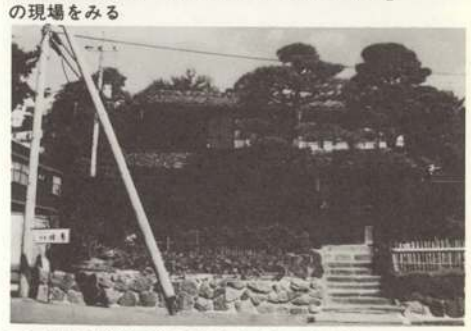
とどまるところを知らない日本フェラス工業社長の熱弁に予定時間も相当に超過して、なお多くの見残しに後髪を引かれる思いで次の目的地へ向った。　（藤木工務店）



日本フェラス工業会議室にて出原社長より説明をきく



同社開発の「フォームレス・フォームシステム」の現場をみる



岡田先生が学生の頃下宿されたという民家（明々庵へ行く途中）

※本誌掲載の明々庵・菅田庵と向月亭・古門堂と厳松軒の各平面図及び菅田庵内部・古門堂台所の燈籠の写真は「松江の茶室」（岡田孝男著・茶室研究会発行）より転載しました。　（事務局）



古門堂と厳松軒の平面図

日　時　昭和59年10月19日(金)・20日(土)１泊２日
（全行程貸切バス利用）
集合　19日・８：00(出発８：20)→
解散　20日・20：50
講　師　岡田孝男氏（工学博士・帝塚山学院大学教授）
参加者　19名
主な見学先
19日　・日本フェラス工業㈱本社工場（米子市）
・清水寺、蓮乗院・古門堂（安来市）
〈宿泊〉松江温泉「松平閣」〈宍道湖畔〉
20日　・松江城・有沢山荘・菅田庵（松江市）
・小泉八雲旧居・明々庵（松江市）
・八重垣神社・神魂神社（松江市外）
ご賛助会社（敬称略）
・日本フェラス工業株式会社
・森崎建材有限会社
・イゲタ建材株式会社

この度の「出雲路」の見学に際しまして、岡田孝男先生をはじめ下記の各位に多大のご厚意、ご賛助をいただきました。
誌上より厚くお礼申しあげます。　（敬称略・順不同）

・米子市建設部、企画部
・日本フェラス工業株式会社
・森崎建材有限会社
・菅田庵　・明々庵
・島根県大阪事務所
・鳥取県大阪事務所
・イゲタ建材株式会社
・清水寺

石州一を誇る・森崎窯業所（石州森崎瓦）
雨よし
風よし
また雪もよし
１年365日、日本の屋根を守り続ける石州ゆのつ瓦
施工・販売　森崎建材有限会社
倉吉市広栄町卸団地内
TEL.　0858-22-6251

昭和59年度・第4回若い会員の集い

吉田保夫の世界・大阪展

——講演会——

「住いにおける空気…」

レポート

昨年（59年）10月27日(土)から11月2日(金)までの7日間、本会・ラウンジにおいて「吉田保夫の世界・大阪展」が開催されました。会場には、建築家・吉田保夫氏の作品の模型およびドローイング、氏のオリジナルとして評価の高い真鍮の文房具や時計などが展示され、延べ200名近い参会者をあつめ、好評裡に終了しました。
なお、初日の夜、「住いにおける空気…」と題し、スライド2台を併用した講演会を開催、吉田保夫氏の世界について自由に語っていただきました。



違法建築にしてもっとも本領を発揮するところのものであると熱っぽく語るのが吉田サンである。安藤忠雄氏のところから独立してほぼ10年、住宅を中心に自身の好みの空気をその建築の中に吹き込み続けてきた。

一見、この人の建築は理解しにくい。路傍で拾った木片をそのまま釘で打ちつけたようなものが、突然室内に現れたりする。日常生活に不用などころか支障をきたしそうなものが平然と据えられている。下世話な言い方をすれば、解せぬ建物といっていいだろう。（誤解を招かぬようつけ加えると、吉田サンの建築は施工の良いことで定評がある。信じられないようなことだが、設計が上がると所員共々現場に出向き、職人と一緒になって工事をするそうである。それゆえのトラブルも必至らしい）スライドで切り取られた映像で見ただけでは、なおさら不可解なだけである。幸い、ぼくの仕事場の近くに「加奈泥庵」があった。ここは関西では知る人ぞ知る奇妙な喫茶店として勇名を馳せている。一歩足を踏み入れるや、その場が読み切れぬままに宙ぶらりんの状態に陥ってしまった。薄暗い中、香の臭いとインドの音が心地良い刺激となって、形容する言葉も見つけられずにその空気の中に浸ってしまう。(店のマスターは、土間の土埃りがたたぬように飲み残されたコップの水を注意深く撤いていた）アジア的ロウテックさを纏ってはいるが、その図式だけでは割り切れない。部屋の隅々には吉田サン自身の気分によって集積されたモノたちが、半ば倒壊しながらも蠢いていた。

これは吉田サンの他の建築についてもいえることだが、混乱と交錯が手放しに置き去られたままになっているようなところがある。そこには引用された様式や客観的に外在する統一された論理は見つからない。あるのは吉田サンの内部に閃いた観念の投影物そのものであるといっていいだろう。現代建築に流れるいくつかの分岐したコンテクストにはほとんど所属感を持たない地点に吉田サンの建築は建っている。冒頭に述べた言葉にも端的に現れていると思うが、何か異質で見慣れない空間が造り上げられている。それが吉田サンの日常生活に対する姿勢の延長上に再構築されたものに違いないのだが。

換言すれば、ぼくたちがふつうそう思い込んでしまっているもの、または考え慣らされていること、たとえば、ひとつの空間や現象に出会ったとき、それを包み込んでいるより大きな体系、つまり、それに対してメタの位置にある秩序のようなものを手がかりにしようとする行為から視点をズラせてしまうようなところがある。この特有の建築的属性は、システムに乗ることによって建築すること、また、そうせざるを得ない大多数の建築の設計に従事している人たちのアポリアとなっている部分だといえよう。異質なもの無関係なものを寄せ集めることから生じる偶発性や危険性、過激性、それらは近代建築が排除してきた（そして現代に至っても無意識のうちに遠ざけられてしまっているものだが）、建築の存在自体に関わっているもっとも重要な部分に作用するところのものである。大多数の建築はシステムに乗ることによって、それを随時消滅してしまうリスクよりも、システム自体が建築を支配する安定性を選び続けてきた。吉田サンの建築はその対極にあるといえよう。はみ出してしまうものに敢えて目を向ければ、想像以上の摩擦や軋轢を背負い込むことは容易に予測しうる。そんなジレンマに対して、「そんなん気にしてへん」とばかりに自らの信念に従って敢然と建築を造り続けている。そのことは、これまでの実作が如実に物語っているだろう。

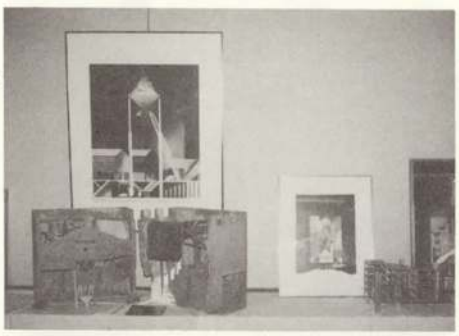
吉田サンの立っている背景に現代建築のマジョリティがあるといえるが、こうした吉田サンの方法が特権視されるがゆえに対話不可能なものとなってしまえば、マジョリティは何も気づくことなく進行していくだけである。しかし吉田サンの引き起こしている波の振幅に反応できなくなったとき、緊張と凡庸さは紙一重で反転してしまうだろう。そこには日常の中で突き詰め切れない生半可さを批評しうる根拠が含まれているのだといえないだろうか。

吉田サンはアジアを歩き、ヨーロッパで生活をした経験を持っている。それゆえか否か、かいま見えるこの人自身のとまどいのようなものは、その建築を体験する者に敢えて確信を与えてこない。飼い慣らされた感性が現代社会の断片化し浮遊する情報と均一的に混淆してしまうとき、ひとつのレールとそれが必然的なものであるように思い込んで身を委ねてしまう安易さや、緊張を解消してしまい、持続し続けることが幸福なのだという誤解、ぼくたちを取り囲むこんな気分を、そんなものは初めからあるはずがないんだとばかりに切り裂かれた断面を見せつけてくれるのが吉田サンではないだろうか。

旅慣れた吉田サンの眼は、すべての価値が関係と距離の問題でしかないんだということを見抜いているのかもしれない。過激さととまどいの中に自身を没入させることで果敢にぼくたちに問いかけてくれる貴重な人である。

（松本　明／小河建築設計事務所）









日　時　昭和59年10月27日(土)　開会18:30→閉会21:20
会　場　本会・ラウンジ（大阪駅前第3ビル・21階）
講　師　吉田保夫氏（吉田保夫建築研究所々長）
参加者　54名
スケジュール
18：30　開会のあいさつ及び講師の紹介　天野幹事
18：35　講演「住いにおける空気……」　吉田講師
——スライド2台併用——
20：40　質疑応答
21：20　閉会

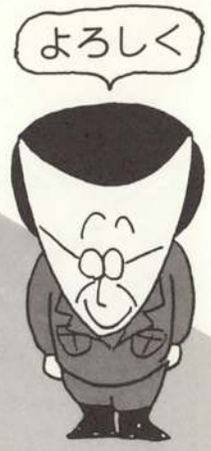
企画・日本建築協会

新シリーズスタート

実務に役立つノウハウを，わかりやすく見やすくまとめたニュータイプ

プロのノウハウ

- ２色刷…
- コンパクト編集
- 軽快なハンドブック

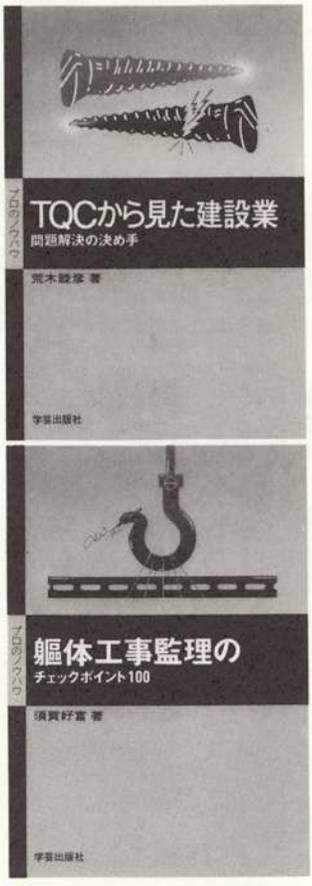


生半可な技術では用をなさない．営業的なセンスもなければプロではない．プロしか生き残れない時代．最先端のノウハウをまっ先に手に入れるための新シリーズ登場．各分野の大ベテランが本当のところを教える．よりわかりやすく，よく手早く楽しく読める！が本シリーズのモットー．協会ならではの，実務のポイントを押えた，すぐ役立つノウハウ集である．

●刊行にあたって（社団法人　日本建築協会）●

創立60周年を記念して刊行いたしました「建築技術選書」は，幸いにも，実務に役立つ技術書としてご好評を得ることができました．当シリーズは「建築技術選書」の姉妹版として，ここが決め手というところを，わかりやすく親しみやすくまとめたものです．プロを目ざす技術者，とりわけその第一歩を踏み出そうとしている方の良き友となれば幸いです．

まず２冊同時発行



TQCから見た建設業

問題解決の決め手

荒木睦彦著／四六・192頁・定価1600円



ＴＱＣはお灸のようなもの．成功例ばかり読んで，ともかく導入したのはよいが“つぼ”をはずして会社が大やけど，といったことにならないための必読書．建設業のＴＱＣの表も裏も知りつくした著者による，実践のための手引き．

〔目次〕　はじめに　１建設業のＴＱＣ　２ＴＱＣとは何か？　３問題のとらえ方―現状把握　４ＱＣサークル―問題を見つける訓練の場　５方針管理と社長診断―トップが問題を見つけ解決する場　６管理とそのポイント―ＣＡＰＤの輪をまわせ！　７ＱＣ七つ道具―考え方と使い方　８おわりに

軀体工事監理のチェックポイント100

須賀好富著／四六・224頁・定価1800円

現場経験が少ないと，とんでもない失敗，恥かしいミスをすることがよくある．失敗してから知ったのでは遅すぎる監理の盲点など，軀体工事監理のノウハウを，最新の知見と豊富な経験から100のチェックポイントに凝縮した．１項目を２ページ見開きにまとめ，簡潔な説明と詳細な図で，深くも浅くも活用できるよう構成した．



軀体工事を「基礎工事」「コンクリート工事」「鉄筋工事」「鉄骨工事」にわけ，たとえば，「鉄筋メーカーと規格」「鉄筋の継手と定着」「鉄筋の圧接と溶接」「機械的継手」「かぶり厚さと鉄筋間隔」など，各工程の監理のポイントを明快に示した．図，表，イラストなど，全400点以上収録．

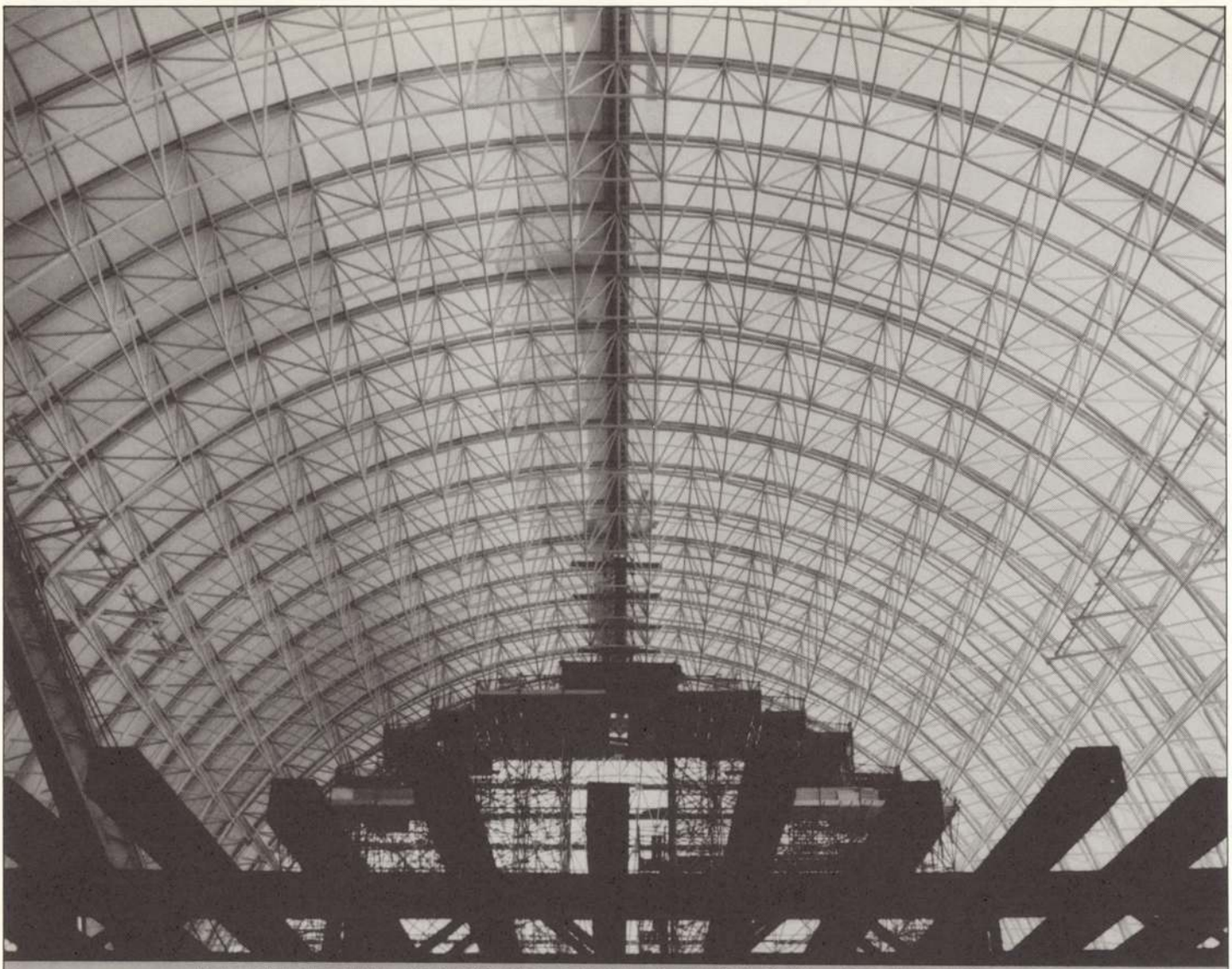


確かな内容を楽しく

難しいことをしかめっつらして読むのはもうやめよう．身につけるためには楽しむのが一番．２色刷になってわかりやすさは抜群だ．しかも，本を読むのがにが手な方や，仕事のあい間に読む人のために，肩が凝りそうなところでは“ノウハウおじさん（仮称なので名前募集中）”が登場する．技術書の殻をやぶった技術書．続刊にもご期待ください．

〈目録進呈〉

学芸出版社　京都市下京区木津屋橋通西洞院東入　☎075-343-0811

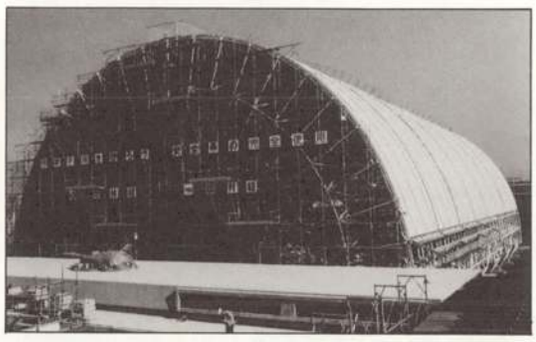


設計：大阪市都市整備局・㈱東畑建築事務所　元請：大林組・松村組共同企業体　施工：太陽工業株式会社

ふれあい空間「屋根のある広場」膜面技術による大空間

いま大阪・南港で建設中の大阪国際見本市会場、「屋根のある広場」。テフロンとガラス繊維とTMトラスによる恒久的大型膜面構造物です。

大陽工業は膜面技術にコンピュータを使って人類最先端のソフトを活かし、21世紀の大空間づくりにチャレンジしています。



太陽デント

太陽工業株式会社

環境事業部

〒153 東京都目黒区東山3－22－1 ☎(03) 714-3461
〒532 大阪市淀川区木川東4－8－4 ☎(06) 306-3065
〒452 名古屋市西区玉池町2 ☎(052)503-3111
〒003 札幌市白石区東札幌6条2－3－10 ☎(011)822-2111
〒980 仙台市清水小路8－2 ☎(0222)27-1364
〒730 広島市東区光町1－12－22 ☎(082)261-1251
〒812 福岡市博多区東比恵3－21－19 ☎(092)411-8003

●千葉・北関東・横浜・浜松・水島・西日本・サンフランシスコ・シカゴ
●一級建築士事務所●特定建設業者大臣許可(特-56)第3819号●(社)日本膜構造協会正会員

構造の頁

125
大阪国際見本市新会場 屋根のある広場の膜構造

徳田　裕英

屋根のある広場は、大阪南港地区に昭和60年4月オープン予定の大阪国際見本市新会場内のほぼ中央に位置し、会場における休憩の場としての機能のほか、シンボリックなスペースの創造を目的とする建物である。オープンな雰囲気と光を取り入れる手法として、屋根ふき材として膜構造を使用した。

昭和59年5月、恒久膜構造物を対象として、建設省住宅局建築指導課により定められた「建築基準法第38条に基づく認定を要する膜構造建築物の取り扱い基準」(以下「取り扱い基準」と略す)における規定に基づいて、昭和59年6月より(財)日本建築センター膜構造評定委員会において骨組膜構造として第一号の評定を受け、同年11月建設大臣による認定を得た。

同委員会では、構造部会と防災部会に分かれ並行して評定を受けた。構造評定の対象となったのは膜構造部分（取り付け鉄骨部分を含む）である。

本稿では、評定において検討項目のポイントとなった事項を中心に、設計の概要を紹介する。

膜構造形式

膜構造建築物は、膜材料が破損した場合においても建物全体の倒壊に至らないことが原則である。形式は、骨組膜構造、サスペンション構造、空気膜構造に分けられる。屋根のある広場は、安定した構造の骨組膜構造を採用し、鉄骨立体トラス架構の表面に、屋根材としての膜構造パネルを取り付けている。

膜材料と安全率

膜材は四フッ化エチレン樹脂コーテッドガラス繊維布（テフロンコーテッドガラス繊維布)厚0.8mmとし、不燃認定材料で「取り扱い基準」に定める各試験により、その性能が確認されている。膜材の引張破断強さ、縦糸方向14,480kg/m、横糸方向12,040kg/mに対して、安全率を長期6、短期4とし、許容応力度を定めた。

設計用風圧係数

連続アーチ断面（**図－1**）で、高さ30.8m、幅42m、長さ72mの建物形状に対して、設計用外圧係数は、日本建築学会「建築物荷重指針」に示す値を採用した。また、建物下部6mが開放である条件と、建物周囲三方を高さ10～17mの建物で囲まれていることより、内圧係数として、$Cpi=0.8$（桁行方向風向)、$Cpi=0.2$（張間方向風向）とした。(図－1参照)

積雪荷重

積雪時（設計最深積雪量18cm)、屋根頂部緩勾配域において、膜が変形しても融雪水の滞留がないことを確認し、また落下積雪に対して軒部分に庇を設け、通行人等への安全対策を施す。

膜材の緊張方法

膜は、常時緊張状態を持続することによってその形状を保持し得るから、膜材の伸びによるゆるみ、シワ等に対して再緊張が容易にできることが条件である。

図－2に膜の取り付け方法を示す。施工時、膜パネル(9m×30m)の2辺より初期張力(約350kg/m）を加えながら敷設したのち、ワイヤーケーブルに張力を与え、膜の緊張を持続すると同時に、膜固有の初期伸び（クリープ）の大部分を吸収し、積雪等の荷重に対して膜材のクリープによる変形の増大を抑える。再緊張の方法は、ワイヤーケーブルの軒端部を締め付けることにより行う。(膜クリープ後の引張強度の低下は見られない)

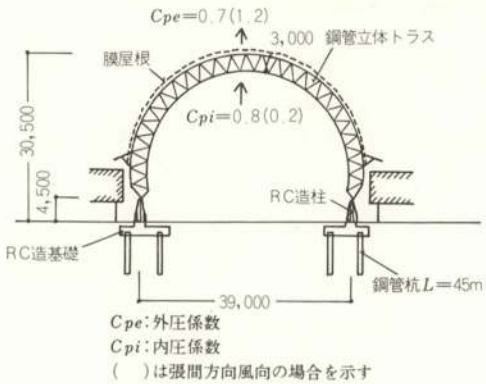
設計荷重による膜材等の最大変位量と最大応力度を、**表－1**に示す。

維持管理

膜構造は、ケーブル等のゆるみ、膜の損傷により、その形状の保持が損なわれることから、保守点検等の維持管理の体制が重要である。目視による日常管理以外に、1年ごとの定期点検、および荒天後の点検・補修の責任ある体制をとることになっている。

膜材の耐用年数は15年程度と考えられており、海外における同材料の使用事例では、現在10年余りを経過して、支障は生じていない。本建物では、近傍での屋外暴露材料の引張強度試験を3年ごとに実施し、強度の確認を行いつつ、建物の安全性を保持していく予定である。

（とくだ　やすひで　株式会社東畑建築事務所構造課長）

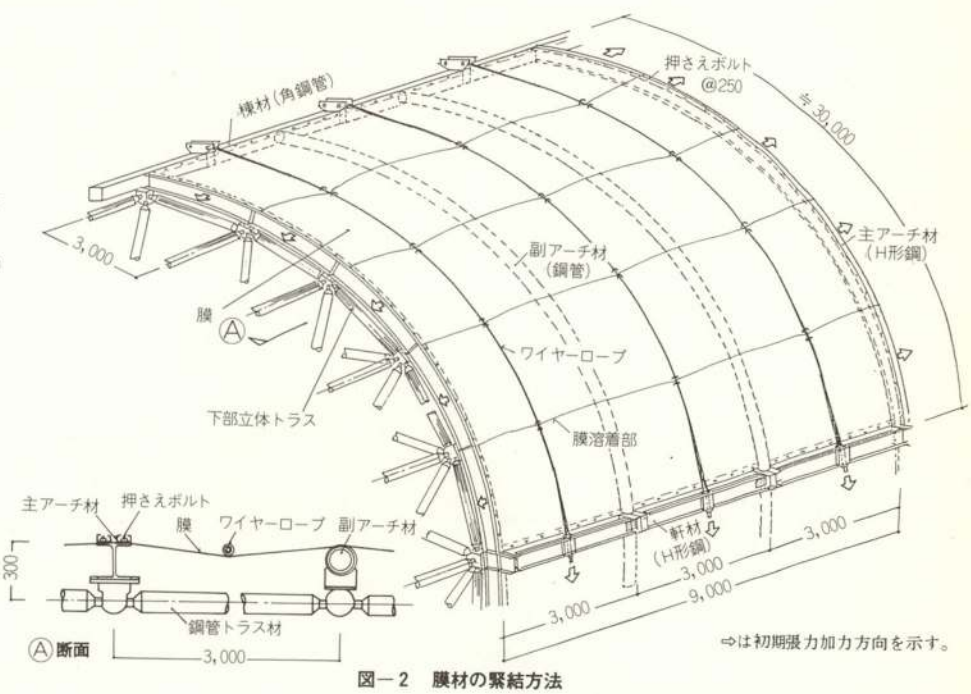


Cpe：外圧係数
Cpi：内圧係数
（　）は張間方向風向の場合を示す

図－1　断面図および風圧係数

表－1

	最大膜変位量 (cm)	最大膜応力度 (kg/m)	ケーブル張力 (kg)
初期状態時	2.4	281	626
積雪荷重時	4.6	663	476
風荷重時	(吹き上げ) 18.3	2,243	8,934



図－2　膜材の緊結方法

設備の頁

124 インバーターエアコンによる省エネルギー効果

大本　隆

54年6月に制定された「エネルギーの使用の合理化に関する法律」いわゆる“省エネ法”と、同法に関連する告示等により、建築物に対する省エネルギーの法的な判断基準として年間熱負荷係数（PAL）および空調エネルギー消費係数（CEC）が提示された。そして床面積2000㎡以上の事務所ビルにおいては、これらの数値を「省エネルギー計画書」として提出するよう定められた。

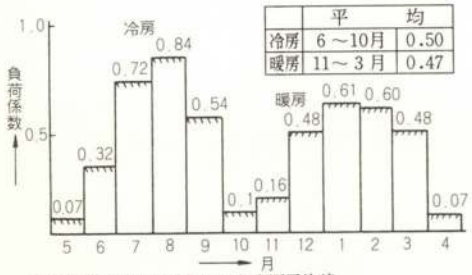
告示から4年が経過し、PALおよびCECの考え方も広く一般に普及し、空調設備の省エネルギーは建築設備設計においてますます重要なファクターとなってきている。

このような背景から空調機器メーカーに課せられた使命はいかに高効率な機器を市場に提供するかにあると思われる。

空調機器の省エネルギー施策とインバーター

空調機器の省エネルギー施策は、ⅰ）E·E·Rの改善、ⅱ）S·E·E·Rの改善、の二つに大別できる。E·E·Rについては、先に述べた省エネ法に定められた数値が一つの目安となり、省スペースニーズのからみからも一段落の観がある。そこで最近はS·E·E·Rの改善に焦点が移り、時々刻々変化する空調負荷に対しいかに効率よく、より少ない電力で冷・暖房運転を行うかが空調機器開発のポイントとなってきている。

図1は、東京地区の事務所ビルにおける月別の空調負荷係数を示したものであるが、選定された空調機器の容量に対し、8月においても負荷率は84%であり、年間を平均すると40～50%と、かなり余裕があることがわかる。変化する負荷に対し、空調機器は種々の方法により能力をコントロールしているわけであるが、このパーシャルロード時に機器の効率を向上させれば大幅なS·E·E·Rの改善になると着目され、空調機器の冷・暖房能力自体を変化させる方法がいろいろ検討された。「インバーター方式」「インジェクション方式」「アンローダ方式」「ポールチェンジ方式」等であるが、そのなかでもインバーターにより圧縮機の回転数を変え、それによって能力を無段階に変化させる方式は、最良のものと考えられている。



	平均
冷房	6～10月	0.50
暖房	11～3月	0.47

東京地区19ビルを対象とした実測平均値
平均延面積：約25,000㎡（空調衛生工学50巻7号より）

図1　月別空調負荷係数

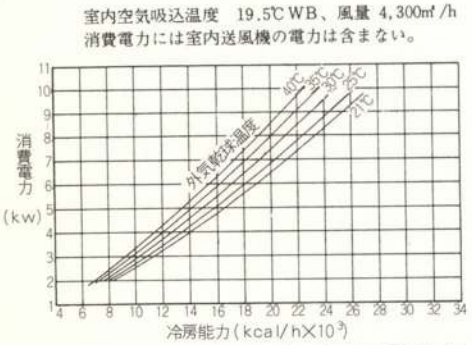


図2　10馬力インバーターパッケージエアコンパーシャルロード特性（冷房時）

省エネルギー効果

インバーターエアコンはつぎの理由により、一般機種と比べ約30%の省エネルギーを実現できる。

ⅰ）パーシャルロード時の機器の効率向上

①インバーターエアコンの熱交換器は最大周波数時、すなわち最大能力時で選定されている。低負荷になればなるほど、圧縮機に供給される周波数は低くなり、消費電力および冷・暖房能力も低下するわけであるが、このパワーセーブ時でも熱交換器は常に100%容量で使用されるため、圧縮能力に対する熱交換器能力の比率が増大し、圧縮機は低圧縮比高効率運転となり、機器の効率（E·E·R）は低負荷になればなるほど向上する。

②圧縮機の機械効率・圧縮効率は、回転数が低下するほど向上する。

以上の2点から、インバーターエアコンはパワーセーブ時には、冷・暖房能力の低下以上に消費電力が低下する特性を持つ。

図2に10馬力インバーターパッケージエアコンの冷房時のパーシャルロード特性を示す。

ⅱ）圧縮機の発停時のロスが生じない

一般のパッケージエアコンは圧縮機のON-OFFにより能力制御を行っているため、サーモスタットにより圧縮機が停止し、再び運転状態に入るときには冷・暖房能力に貢献しない無効運転を行っている。（暖房運転時で言えば、圧縮機が停止し、いったん冷えてしまった冷媒配管等を再び暖めるための無効運転）

これに対し、インバーターエアコンは能力可変範囲が30(50)～100%と広範囲であるので、よほどの低負荷になるまでは圧縮機は停止しない。このため無効運転もほとんど生じない。

10馬力パッケージエアコンにおいて、一般機種とインバーター機種とで、モデル例（**表1**参照）にて試算をすると、年間使用電力量で約30%、年間電力料金で約12万円の差額となる。これは両者ともパッケージ方式での比較であるが、他のシステム、たとえばチラー・ファンコイルシステムと比較すれば、ファンコイルからの放熱ロス等によりこの差はもっと大きくなり、試算では40%を越える省エネルギー率となっている。

おわりに

省エネルギーの基本は「生活環境の向上を図りながらエネルギーの有効利用を図る」こととあるが、省エネルギーを図るとともに、理想的な快適空間を作り出すことができるインバーター応用空調機器および空調システムは、まさにこの社会的ニーズに応えるものであると考える。

（おおもと　たかし
株式会社東芝設備機器事業部空調・ソーラー企画部主任）

表1　インバーターパッケージエアコン使用による節電料金試算（60Hz）
（ダクト形空冷ヒートポンプパッケージエアコン(10HP)とダクト形空冷ヒートポンプインバーターパッケージエアコン(10HP)との比較）

試算条件	(1) 冷房運転　6月～9月（120日間）＝1200時間 (2) 暖房運転　11月～3月（150日間）＝1500時間 } 10時間／1日運転 (3) 月間平均冷暖房負荷：東京地区19ビルを対象とした実測平均値（平均延面積 約25,000㎡）を使用する。（空調衛生工学 50巻7号より） (4) 電力量料金*：夏　季 26.60円/kWh（夏季料金は7月1日～9月30日の期間だが本試算では6月～9月は夏季料金を適用） 上記以外 24.20円/kWh 料金は中部・関西・九州電力の平均値 (5) 基本料金は含まない。 (6) 室内側送風機消費電力は除いて試算する。 (7) 補助ヒータ消費電力は除いて試算する。（RDA-108Hには補助ヒータが組み込まれている） 注）＊業務用電力契約、高圧6KV		
試算例	小～中規模事務所ビルの場合		
設計冷暖房負荷	24,000kcal/h		
選定機種	ダクト形空冷ヒートポンプパッケージ(10HP) RDA－108H	ダクト形空冷ヒートポンプインバーターパッケージ(10HP) RDA－109HT	
冷房 電力量料金	8,468kwh×26.60円/kWh＝225,Ⓐ200円	6,336kwh×26.60円/kWh＝168,Ⓒ500円	
暖房 電力量料金	6,852kwh×24.20円/kWh＝165,Ⓑ800円	4,200kwh×24.20円/kWh＝101,Ⓓ600円	
年間電力量料金	Ⓔ＝Ⓐ＋Ⓑ 391,000円	Ⓕ＝Ⓒ＋Ⓓ 270,100円	
年間差額	Ⓔ－Ⓕ ——— 120,900円 ———		

施工材料の頁

123 「ベントナイト電気付着膜」芯材引き抜き工法

今井　崇賀

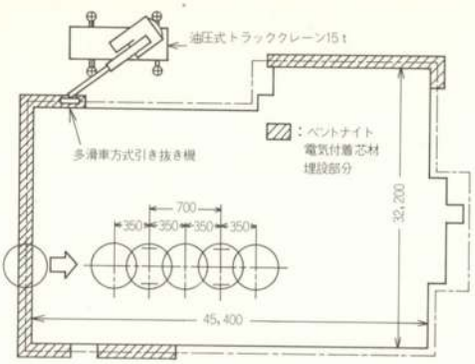


図8　埋設位置

b）引き抜き方法：引き抜き機は多滑車式（オーガストAG－120・油圧式トラッククレーン15ﾄﾝに装着）とした。当作業所は敷地条件に恵まれ、**写真1**のように、建物外部からの引き抜きを行った。作業員は引き抜き機オペレーター1名、相伴

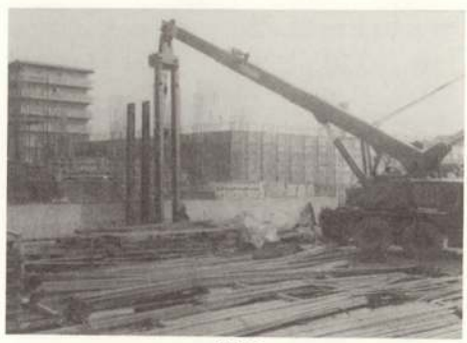


写真1

クレーンオペレーター1名と、手元技能工2名の、合計4名で作業を行った。

c）引き抜き本数と付着強度：埋設本数99本に対して、引き抜き本数は95本であり、96%の回収率であった。引き抜いた95本の付着強度の分布を**図9**に示す。引き抜き力は引き抜き機巻上クレー

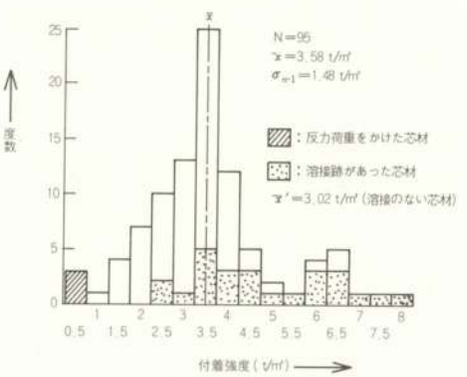


図9　付着強度の分布

ンに備えつけの、ブルドン管式圧力計を読み取って求め、この値を埋設部の表面積で割って付着強度とした。引き抜いたもののうち35本は、切梁用腹おこし受ブラケットの、溶接が認められた芯材であり、グラフの右側部（付着強度大）の大部分を占めていた。一方、左側部の3本は、引き抜き時に支柱の反力を受けて事前に沈下が認められたものである。いずれも約0.5t/m²以下の値で引き抜けている。

d）引き抜き工事の作業性：芯材を引き抜き機

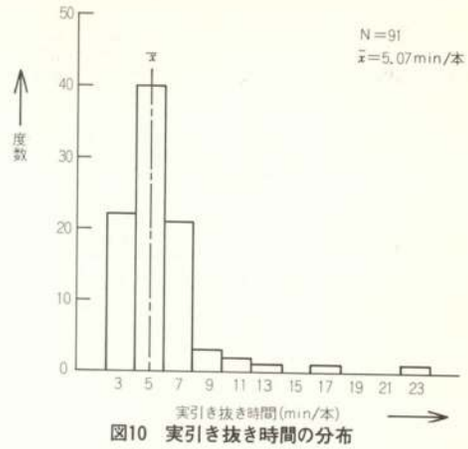


図10　実引き抜き時間の分布

によって引き抜き始めてから、引き抜きが完了するまでの時間を測定した結果、**図10**のような分布を示した。芯材1本当たりの実引き抜き時間の平均は約5分であり、全体の90%が8分以内に、実質引き抜きを完了している。

e）引き抜いた芯材の状態：引き抜いた芯材の表面は、全長にわたって湿っていた。芯材に残っていたベントナイトの膜は、地上で数分間空気にさらされると、パラパラと剥れ落ち、錆はなく黒皮の状態を保っている。

4．評価と水平展開

1日当たりの引き抜き延べ長さは400m/日～500m/日である。これは**図11**のように引き抜き力が、縁切り後急激に低下するという、ベントナイト方式特有の性質が寄与している。引き抜き後の整備も、水洗い程度ですみ、簡単である。

コスト面からみると、鋼材の新品・中古品の市況価格変動はあるが、一般的に引き抜き再利用することにより、**図12**のコスト比較に示すメリットが期待できる。

芯材の引き抜き工法は、開発されてからまだ日も浅く、施工技術者へのＰＲも十分でない。引き抜き力をさらに低減させる開発とともに、業界への浸透をはかりたい。　〈おわり〉

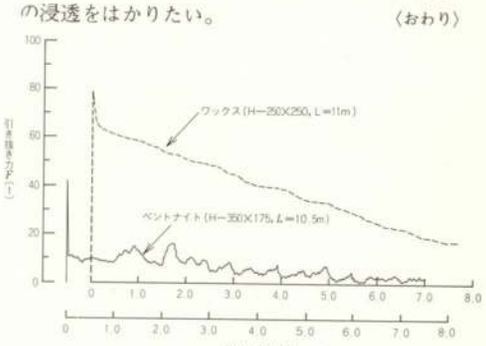


図11　引き抜き荷重曲線のちがい

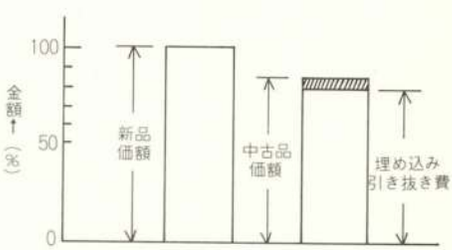


図12　芯材引き抜きコスト（H－350×175）

（いまい　たかよし　株式会社竹中工務店技術部機械課）

3．ベントナイト付着膜による引き抜き施工実績

引き抜き施工の実績として、西宮市（砂質地盤）での引き抜き事例を示す。

a）付着条件と埋設状況：付着条件を**表1**に示す。芯材はH－350×175×7×11で、埋め込み長さは10.5mである。埋め込み間隔は0.7mピッチで配置し、建物地下外壁に沿って**図8**に示す位置に埋設した。本数は99本、埋設期間は約140日間である。この間に掘削に始まる地下く体を施工した。

表1　付着条件

ベントナイト	豊順（赤城印）250メッシュ
ベントナイト濃度	ベ／水＝1/3.8
通電時間	5～6 min
電圧	30V
電流密度	70～80 A/㎡
膜厚	1.5～2.0mm

日本建築協会

月間の動き

昭和59年11月分

評議員会

定時評議員会
1日　4時～4時20分　於本会会議室
出席者　高橋保夫議長ほか42名(委任状共)
佐野正一会長ほか3名
議事 (1) 会長選任の件
(2) 副会長1名補選の件
(3) 昭和60年度評議員選出数決定の件

理事会

常任理事会
21日　4時～5時　於本会会議室
出席者　佐野、足立、薬袋正副会長ほか10名
議事 (1) 副会長1名補選の件
(2) 大阪住宅センターほか理事交代の件
(3) 理事会定例開催日変更の件
(4) 事務局職員下期賞与支給の件
(5) 入退会者承認の件
(6) 報告事項

編集委員会

「地方文化とホール建築」特集第2回編集幹事会
2日　6時～9時　於本会会議室
出席者　大野特別幹事ほか5名
議事　特集内容の検討、フリートーキング

第2回施工材料分科会
5日　4時～6時
出席者　横井幹事ほか4名
議事 (1) 昭和60年4月号施工材料特集の企画
(2)「施工材料の頁」の企画

「情報化をめぐる建築・都市事情」特集第5回編集幹事会
5日　6時～9時　於本会会議室
出席者　田中幹事ほか4名
議事　昭和60年3月号「情報化をめぐる建築・都市事情」特集の企画

「最近の新耐震と基礎の設計指針をめぐって」座談会
6日　3時～5時　於本会会議室
出席者　松岡広之(尼崎市)、角彰(竹中工務店)、棚橋秀光(日建設計)、山田裕治(山田建築構造事務所)、田中理夫(日本基礎建設協会)、松原範幸(コンクリートポール・パイル協会)、八尾真太郎(関西大学)、真塚達夫(東畑建築事務所)

第7回作品作風小委員会
7日　4時～7時　於本会会議室
出席者　加藤副委員長ほか7名
議事 (1) 最近の掲載状況報告
(2) 新建築調査表の選定
(3)「スケッチブック」欄掲載方法・レイアウト一新の件
(4) 新企画頁の内容検討、その他

委員会
8日　4時～6時　於本会会議室
出席者　井上委員長ほか5名
議事 (1) 11月号「第31回青年技術者」特集経過報告
11月号「ディテール」特集経過報告
(2) 12月号「光応用システムと建築」特集経過報告
(3) 1月号「大阪湾物語」特集経過報告および作品収集と年賀広告
(4) 2月号「建築物の基礎を考える」特集報告
2月号「東海」特集について
(5) 3月号「情報化をめぐる建築・都市事情」特集・作品特集の件
(6) 4月号施工材料特集の企画—施工材料分科会報告—
(7) 5月号以降の特集企画
(8) 小委員会報告
(9) 収支状況報告、そのほか

第2回設備分科会
9日　4時～5時半　於本会会議室
出席者　橋本幹事ほか2名
議事 (1)「光応用システムと建築」特集の原稿調整
(2)「設備の頁」の企画
(3) 7月号設備特集の企画

「地方文化とホール建築」特集第3回編集幹事会
19日　6時～9時　於本会会議室
出席者　大野特別幹事ほか4名
議事　特集内容の検討

第4回法令分科会
20日　2時～3時半　於本会会議室
出席者　松井幹事、南出委員
議事 (1) 法令コーナーの企画の具体化
(2) 昭和60年5月号法令特集の企画

第7回投稿欄小委員会
22日　4時～5時半　於本会会議室
出席者　中馬副委員長ほか3名
議事 (1) シリーズ「この人」「マイフォト」「美術館」
(2) 読者参加・投稿の企画、その他

「自由様式への道・建築家安井武雄伝」特集編集幹事会
26日　4時～5時半　於本会会議室
出席者　山本特別幹事ほか2名
議事　特集内容案の検討

第8回広告企画小委員会
27日　4時～5時半　於本会会議室
出席者　井上委員長ほか4名
議事 (1) 11月号「ディテールの思想」特集広告収入報告
(2) 12月号「光応用システムと建築」特集広告途中経過報告
(3) 正月号新建築・謹賀新年挨拶広告途中経過報告
(4) 2月号「建築物の基礎を考える」および「東海支部」特集広告途中経過報告
(5) 3月号「自由様式への道・建築家安井武雄伝」特集広告企画
(6) 特別企画
(7) 収支状況報告

事業委員会

見学会小委員会
1日　6時～8時　於本会会議室
出席者　上出副委員長ほか6名
議事 (1) 前回の事業委員会の報告
(2) 9月～10月の見学会の実施報告
(3) 11月以降の企画

若い会員の集い小委員会
6日　6時半～9時15分　於本会会議室
出席者　寺尾幹事ほか6名
議事 (1) 前回の事業委員会の報告
(2) 第3回、第4回の実施報告
(3) 第5回「みどり学習会(第11回)」の企画
(4) 第6回以降の企画

広報小委員会
7日　6時～8時半　於本会会議室
出席者　原見副委員長ほか8名
議事 (1) 前回の事業委員会の報告
(2) 本年度の小委員会活動

委員会
8日　0時半～2時　於本会会議室
出席者　三品委員長ほか6名
議事 (1) 各小委員会の事業報告並びに事業企画
(2) 本年度建築関係団体合同忘年懇親会開催
(3) その他

建材委員会

提案小委員会
15日　3時～4時　於本会会議室
出席者　牧田委員長ほか6名
議事　今後の委員会のあり方

委員会
15日　4時～5時半　於本会会議室
出席者　牧田委員長ほか9名
材料説明：ハイキエース(日本ステンレス)
担当・堀内三郎顧問
議事 (1) 今後の検討建材
(2) 今後の「新建材紹介コーナー」掲載予定

出版委員会

委員会
20日　4時～5時半　於本会会議室
出席者　須賀委員長ほか6名、学芸出版2名
議事 (1) 選書と新シリーズ〈プロのノウハウ〉の経過報告
(2) 新シリーズのテーマと執筆者選定
(3) 執筆料の件

設備トラブル研究会分科会
29日　5時半～8時　於本会会議室
出席者　河津隆之氏ほか2名
議事　「建築設備トラブル集」原稿調整

工高生デザインコンクール

表彰式
23日　2時～3時半　於本会会議室
出席者　一の会代表・岡橋作太郎氏、片倉審査委員長代行ほか3氏審査員、多胡・崎山教育正副委員長ほか3名
入選者　都島工高生ほか9名
見学場所　表彰式終了後、大阪北浜にある史跡・重要文化財「適塾」を見学(3時半→5時)

若い会員の集い

みどり学習会(第11回)
滋賀の秋……県立近代美術館・住友活機園・NEG大津工場を見る

10日　9時～18時半（貸切バス）
講　師　伊藤邦衛氏(株式会社伊藤造園設計事務所)
　　本城博一氏(滋賀県審議員…文化担当)
参加者　44名
※他に滋賀県立近代美術館から地元の建築設計家協会及び吉田造園の関係者約40名が参加した。

講　習　会

建築工事実務講習会（第40回）
13日　9時～17時　於建設交流館
科目講師
施工計画
　㈱大林組本店建築工務部次長　金田　宏氏
仮設見積
　㈱大林組本店建築工務部工務課長　安立　俊夫氏
積算業務
　㈱竹中工務店大阪本店見積課長　黒川征一郎氏
聴講者　68名

建　築　ク　ラ　ブ

朝食会
13日　8時半～10時　於大阪グランドホテル
出席者　68名
当日は、中野学校の一期生であり元陸軍少佐の扇貞雄氏をお招きして、ソ連の世界征覇の野望についてその一端を伺った。

忘　年　懇　親　会

20日　3時～5時　於関西建築会館
出席者　共催5団体各委員
議事 (1) 賛助金、寄贈品の申込に関する件
　(2) 招待者について
　(3) 福引きの方法について

福田朝生氏追悼会

実行委員会
8日　2時～4時　於本会会議室
出席者　市川委員長ほか4名
議事　追悼会の諸準備について
追悼会
17日　2時～3時　於大阪グランドホテル
出席者　250名

建築業務基準委員会

6日　2時～4時　於日本建築士会連合会
出席者　谷委員長ほか構成団体各委員
議事　建築業務基準について（継続）

建築防災関係法令研究連絡会

26日　2時～4時　於日本建築家協会
出席者　構成団体各委員
議事　関連法規との重複、矛盾などの検討

11月の入会者　（敬称略）

〔個人会員3名〕
奥野　勝己　　来海　素存　　末吉　俊郎

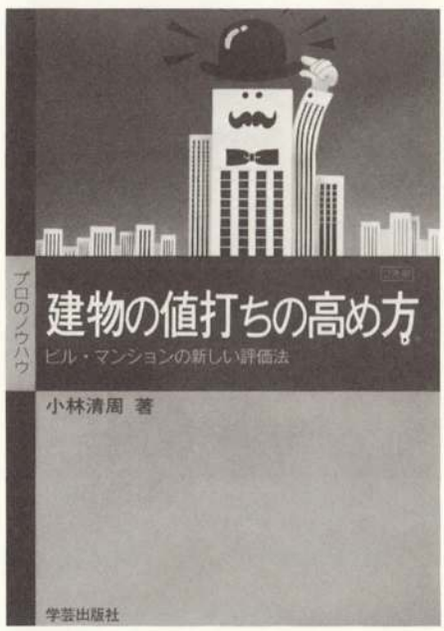
訂正
本誌59年11月号「ディテールの思想」特集60頁中の写真2「東海の家(家づくり'85特別優秀提案賞)」とあるのを、「いばらきの家(家づくり'85特別優秀提案賞)」に訂正します。

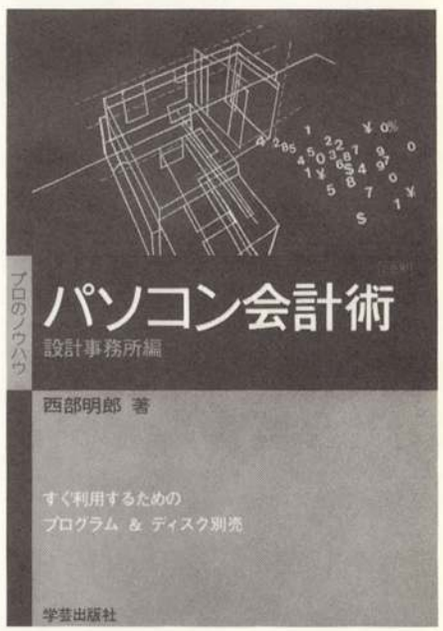
にぎわいを設計する
ショッピングセンターの計画
建築技術選書18　西脇顕正著
生き生きとした都心型商業施設の手引き
都市の中のにぎわいは人が集まり，そこに情報性・娯楽性・文化性が生れることにある．本書は従来の味気ない郊外型ショッピングセンターから脱皮するモデルとして，都心型商業施設をとりあげ，いかににぎわいを設計するか，そのイメージ・手法を明らかにした．とくに区分所有方式による複合商業ビルの可能性と問題点については詳述した．
主要目次：街と店舗のかかわりあい　1.商業施設開発の背景別分類　流通機構の変化から　都市再開発事業の産物　商店街の近代化を目ざして　その他　2.調査・企画　客がなくては成り立たない　商いは場所である　客の求めるものは何か　イメージプランの役割　複合化の検討　開発の採算性　商業集積度　3.商業施設とは　商店街の原型　商店街の種類と商店の性質　4.基礎プラン　社会計画　生態計画　5.店舗の配置　店舗の業態　業態構成　業種　業種構成と配列　適正面積　6.建築計画のポイント　施設内の面積配分　柱間隔と天井高　エスカレータなど　集客装置と内装の雰囲気づくり　什器備品のモジュール　バックルームの役割　施設のメンテナンス　7.設備計画のポイント　空調設備方式の決め方　照明の選び方と光源　一般建築設備　8.環境計画のポイント　外構計画　サイン計画　9.区分計画のポイント　再開発事業による商業施設の特性　区分所有方式から生れた建築機能設備計画　共有空間管理　ディベロッパーとテナントの工事区分と財産区分　10.商業施設の関連法令
6月20日発売　A5・144頁・1000円

16 石垣と石積壁
地方を歩くと素朴に築かれた石垣の美しさが印象深い．すばらしい石垣の伝統を現代に生かすために，建築関係者が知っておくべき知識を，デザインを中心に約300枚の図・写真によってずばり示す．　A5・160頁・1000円　窪田祐著

17 基礎と地盤の手ほどき
基礎や地盤の思わぬ事故で工事が難行したり，建物が使用に耐えなくなることは少なくない．本書は建築技術者に分りやすいよう，土や水の基本的な考え方から実際の設計例まで順序だてて解説する．　A5・144頁・1000円　中堀和英著

〈目録進呈〉　学芸出版社　京都市下京区木津屋橋通西洞院東入





日本建築協会企画・建築技術選書34
身障者・高齢者のための建築設計
吉田あこ 著
―斯界の第一人者がわかりやすく語る配慮設計のポイント集―
国際障害者年を迎えてから2年が経過した．全国の都市には，車いす使用者用トイレや盲人用信号など，身障者・高齢者を配慮した設計にあちこちでお目にかかる今日である．しかし，配慮したつもりでも，何らまとを得ていないものも随分と多い．なぜだろうか．
そうしたいくつかの例の中から，数編を文章化して「配慮する」とはどういうことかを考えてみた．
本書は，「身障者だから配慮設計」と身構えるのではなく，配慮設計について誰もが考えられる身近な解決のポイント集である．
主要目次
I　設計計画　―わかりやすい考え方―
●どんな理念，どんな姿勢で考えるか
●どれだけの数を対象にするのか
●ハンディキャップとはどういうことか
II　設計詳細　―目につく矛盾とミス?―
●国際シンボルマークについて考える
●車いすの動作スペースはどれだけ必要か
●段差カットの手法および排水溝との関係
●手すり高はどれだけとるか
●これからの配慮設計，MAIハウス計画

A5・160頁・定価1300円
〈目録進呈〉　☎075-343-0811　学芸出版社　京都市下京区木津屋橋通西洞院東入

賀　正

1985

設計事務所有志



株式会社

A.R.I 建築事務所

代表取締役　亀井晃治

本社事務所　大阪市南区谷町7丁目3番4-203号 新谷町第3ビル2F　TEL(06)768-1771(代)

アトリエ　東大阪市上石切町2丁目14－35　TEL (0743) 73—6137

株式会社 東建築設計事務所

代表取締役　東　秀保

大阪市北区天神橋2丁目5番18号 南森町センタービル4F　電話 06(358)5598・3497

株式会社 井上達明建築事務所

代表取締役　井上達明

〒530 大阪市北区西天満1丁目9番13号 パークビル中之島801　電話 06-361-1071代表

株式会社 伊東建築設計事務所

代表取締役　竹原永一郎

〒556 大阪市浪速区幸町2丁目2番20号(清光ビル) 電話(562)4343～5

株式会社 伊藤建築設計事務所

取締役会長　伊藤鑛一

代表取締役社長　鋤納忠治

本　社　名古屋市中区錦3丁目3-6(日経錦別館)　電話〈052〉951-1110(代)

東京事務所　東京都千代田区神田美土代町7(久保ビル)　電話〈03〉294-6061(代)

株式会社 泉沢建築設計事務所

代表取締役　泉　沢　哲　史

〒530 大阪市北区神山町14番3号(木津信ビル)　TEL(06)364-9071(代)

株式会社 浦辺建築事務所

代表取締役　浦辺鎮太郎
代表取締役　松村慶三

大阪市北区梅田1丁目12番39号・新阪急ビル〒530　電話 06(341)1727
東京事務所　電話 03(263)9758　福岡事務所　電話 092(761)2206

株式会社 久米建築事務所

取締役社長　永井賢城

本　社 東京都港区西麻布1丁目13番11号　電話 03(403)0251大代表
大阪事務所 大阪市西区江戸堀1丁目10番8号 帝人殖産ビル　電話 06(444)1161代　表

株式会社 小西設計

取締役会長　小西　岬
取締役社長　橋本正章

本　社 大阪市西区立売堀1丁目12番16号　電話(532)4051代表
大阪事務所 大阪市西区阿波座1丁目15番15号(第一協業ビル)　電話(532)4051代表
東京事務所 東京都千代田区神田鍛冶町3－3(大木ビル内)　電話(256)9301代表
広島事務所 広島市中区大手町2丁目7番1号(三葉ビル)　電話(246)0144

株式会社 佐藤武夫設計事務所

代表取締役社長　佐々木　群

本　社　〒105 東京都港区新橋4－6－15(日新建物ビル)　電話東京(03)436－3511(代)
東北支所　〒980 仙台市本町2－16－15(中村ビル)　電話仙台(0222) 61－7511
神奈川支所　〒231 横浜市中区曙町1-3 (伊勢佐木町ハイタウン)　電話横浜(045) 252－5755
中部支所　〒420 静岡市常盤町1－4－11(大和杉徳ビル)　電話静岡(0542) 54－0200
関西支所　〒550 大阪市西区新町1－2－13(新町ビル)　電話大阪(06) 538－1256
中国支所　〒730 広島市中区大手町1-1-26(大手町1番ビル)　電話広島(082) 244－1356
九州支所　〒812 福岡市博多区博多駅南1－2－15(事務機ビル)　電話福岡(092)451-2557(代)

株式会社 篠田川口建築事務所
株式会社 協同設備事務所

代表取締役社長　川口喜代枝

名古屋市東区泉1丁目21番21号　TEL 962－7581(代)
TEL 971－2255(協同)

株式会社 昭和設計

建築・都市・上下水道
調査計画・設計監理

代表取締役社長　岡本行善
代表取締役副社長　林唯夫

本社事務所　大阪市西区新町1丁目5番7号 四ツ橋ビル　TEL代表 532—3421
神戸事務所　神戸市中央区八幡通4丁目2番17号 郵船航空ビル　TEL078—251—0651
東京事務所　東京都港区赤坂3丁目12番5号 赤坂田町ビル　TEL 03—583—2086

株式会社 AAA(スリーエース)総合設計

代表取締役社長　浅井潤一
代表取締役所長　浅井謙

大阪市南区東清水町66(朝日プラザ心斎橋東ビル2F) 〒542 TEL06(245)7300(代)

株式会社 創美設計

代表取締役　中原英雄

大阪市北区末広町3番21号 星和地所扇町ビル6階　TEL 大阪(06)312—3587代表

株式会社 大建設計

取締役社長　吉田周
常務取締役 大阪事務所長　木村喬夫

本社　東京都港区新橋1丁目10番7号(大和銀行新橋ビル)　電話 03-572-4595(代)
大阪事務所　大阪市西区江戸堀1丁目12番8号 安田生命大阪ビル　電話 06-441-9351(代)
名古屋事務所　名古屋市中区栄4丁目6番15号名古屋日産生命館ビル　電話052-261-8531(代)
九州事務所　北九州市小倉北区紺屋町9番1号 明治生命小倉ビル6階　電話093-521-4285(代)
室蘭事務所　室蘭市仲町12番地　電話0143-45-7910

株式会社 大建企画設計
DAIKEN architects & planners

代表取締役　石中達夫

本社　大阪市西区京町堀1丁目13番20号　電話(443)8261
分室　電話(448)2070
東京事務所　東京都渋谷区神宮前4—8—2 浅田ビル　電話(475)4711

株式会社 竹内建築事務所

代表取締役　内藤一真

大阪市南区長堀橋筋2丁目35の1(日亜ビル)　電話 (211)2706(代)

株式会社 東海設計

代表取締役社長　小坂忠勝

本　　社　名古屋市中区栄3丁目7番1号（伊勢町ビル）〒460 TEL052-261-2651(代表)
東京事務所　東京都中央区京橋1丁目14番4号（東信ビル）〒104 TEL 03-561-0815(代表)

株式会社 東畑建築事務所

取締役会長　東畑謙三
取締役社長　市川宏

本社・大阪事務所　大阪市東区伏見町5丁目19　電話大阪(06)202-0391
東京事務所　東京都千代田区永田町2(永田町ビル)　電話東京(03)581-1251
名古屋事務所　名古屋市中村区名駅3(堀内ビル)　電話名古屋(052)571-8471
九州事務所　北九州市小倉北区魚町1－4－21（北九州清和ビル）　電話小倉(093)541-6531

株式会社 長田建築事務所

長田正雄

〒542 大阪市南区上汐2丁目4-12　ケーエスビル　電話 768－6121

株式会社 日建設計

取締役社長　薬袋公明
大阪本社代表　大西孝夫
土木業務所代表　松本澄

〒541　大阪市東区横堀2丁目38
電話 06-203-2361(大代表)

日積工務株式会社

代表取締役　生島道春

本　　社　〒542 大阪市南区島之内1丁目14番27号(宇野ビル)　TEL(06) 251－3195代表
東京支所　〒111 東京都台東区東上野1丁目3番8号(石沢ビル)　TEL(03) 836－1271代表
名古屋支所　〒460 名古屋市中区錦2丁目9番25号(豊島第2ビル)　TEL(052)221－7561代表
㈱京都日積　〒602 京都市上京区今出川通室町東入今出川町333番地(第2高橋ビル)　TEL(075)441－5690

株式会社 林設計事務所

代表取締役　林茂

大阪事務所　〒531 大阪市大淀区長柄中3丁目1番8号　電話(06) 351－6831
和歌山事務所　〒646 和歌山県田辺市稲成町東皆代231番地の6　電話(0739) 22－8227

株式会社 安井建築設計事務所

取締役社長　佐野正一

本　社　大阪市東区島町2丁目7番地　電話　06(943)1371(大代)
支　社　東京・名古屋・大阪・神戸・福岡

株式会社 横河建築設計事務所

代表取締役社長　小池正雄
取締役所長　河村栄蔵

本　社　東京都目黒区下目黒1－2－18　TEL (03) 492—7441
大阪事務所　大阪市東区伏見町5—42(大和生命ビル)　TEL (06) 202—4509

賀正

1985

建設業者有志

株式会社 あめりか屋

取締役社長　前野慶太郎

〒530　大阪市北区中之島四丁目3番25号　電話 (06) 444—1501

株式会社 淺沼組

取締役社長　淺沼茂夫

本社・大阪本店・大阪市天王寺区東高津町12番6号　電話 大代表 (768) 5222
東京本店・東京都新宿区荒木町5番地　電話代表 (357) 0261
支　店・名古屋・札幌・仙台・横浜・広島・福岡

株式会社 新(アタラシ)工務所

取締役社長　新昭一

本　店・大阪市北区曽根崎新地2丁目6番11号　電話 代表 大阪(347) 0110番
支　店・東京都千代田区猿楽町2丁目1番14号　電話 代表 東京(291) 3741番
支　店・名古屋市中区大須4丁目1番71号(時計ビル)　電話　名古屋 (262) 1725番

考える・創る・前進する

安藤建設株式会社大阪支店

支店長　沖田幸作

大阪市福島区福島6丁目3番21号　電話　代表　(453) 2190
本　社・東京都港区芝浦三丁目12番8号　電話 大代表 03 (457) 0111
支　店・名古屋・仙台・静岡・九州・広島・横浜・札幌
営業所・千葉・横浜・水戸・盛岡・新潟・神戸・京都・沼津・札幌・宇都宮・北九州・熊本

株式会社 今西組

取締役社長　今西壽雄

本　社　大阪市天王寺区上本町6丁目6番23-309号　電話06(779)3361
支　店　東京都新宿区内藤町1番地　電話03(354)0581
営業所　京都・奈良・西宮・神戸・埼玉

株式会社 大林組

取締役社長　大林芳郎

東京本社・東京都千代田区神田司町2丁目3番地　電話 大代表 (292) 1111番
本　店・大阪市東区京橋3丁目37番地　電話 大代表 (943) 1131番
支　店・札幌・仙台・横浜・北陸・名古屋・神戸・広島・四国・福岡

株式会社 奥村組

取締役社長　奥村俊夫

本　社　大阪市阿倍野区松崎町2の2の2　電話 大阪(06)621—1101(大代表)
東京支社　東京都港区元赤坂1の3の10　電話 東京(03)404—8111(大代表)
支　店　札幌・仙台・浦和・東京・横浜・千葉・新潟・名古屋・大阪・神戸・広島・高松・北九州・福岡

鹿島建設株式会社

取締役社長　鹿島昭一
常務取締役支店長　奥村吉朗

本　社　東京都港区元赤坂1－2－7　電話 03 (404) 3311(大代)
大阪支店　大阪市西区靱本町1－11－7　電話 06 (448) 3311(大代)

株式会社 金山工務店

代表取締役社長　佐野友彦

本　社　大阪市東区内淡路町1丁目2番地　〒540　TEL 06—942—5461(代)
東京支店　東京都中央区日本橋堀留町1丁目10番12号　共同ビル6F　〒103　TEL 03—663—7844(代)
京都支店　京都市下京区烏丸通り四条下る水銀屋町635番地　梓ビル9F　〒600　TEL 075—351—5841(代)
神戸支店　神戸市中央区加納町3丁目1番25号　広瀬ビル9F　〒650　TEL 078—392—1761(代)
堺支店　堺市三国ケ丘御幸通り8番地　三国ケ丘ビル2F　〒590　TEL 0722—22—3003
滋賀支店　滋賀県大津市皇子ケ丘1丁目2番3号　〒520　TEL 0775—24—1816
出張所　横浜・吹田

株式會社柄谷工務店

取締役社長　柄谷順一郎

本　社　尼崎市玄番南之町4番地　電話大阪 06(411) 1451(代)
営業所　大阪・西宮・神戸・高砂・豊田・三田・川西

共立建設株式会社大阪支店

代表取締役　所　寅雄
取締役大阪支店長　吉元孝順

本　社　東京都渋谷区道玄坂 1－16－10 新渋谷ビル　TEL (03)461−6141
大阪支店　大阪市東区内本町2丁目45番地 大阪内本町電電ビル6F　TEL (06)942−2491

株式会社 近畿建設

取締役社長　川﨑敬三

本　社　大阪市西区江之子島1丁目2番2号　電話　大阪06 (448) 5601代
滋賀支社　滋賀県栗太郡栗東町岡193の1　電話　0775 (52) 1361代

株式会社 熊谷組 大阪支店

取締役会長　牧田甚一
取締役社長　熊谷太一郎
専務取締役大阪支店長　星野晴彦

本　社　東京都新宿区津久戸町17番1　電話03(260) 2111番(大代表)
大阪支店　大阪市都島区片町2丁目10番5号　電話06(352) 1151番(大代表)

株式会社 小坂井組

取締役社長　小坂井嘉正

本　社　大阪市北区太融寺町5番4号　電話 大阪06 (311) 9331代表
京都支店　京都市中京区河原町通蛸薬師上ル ツルヤビル　電話 京都075(231) 7934

五洋建設株式会社

代表取締役社長　水野廉平
常務取締役大阪支店長　深谷林三

本　社　東京都文京区後楽2－2－8　電話 03 (816) 7111(代表)
支　店　大阪市北区梅田2－2－25　電話 06 (345) 0631(代表)

甲南建設工業株式会社

代表取締役　原　精一

大阪市淀川区十三本町2丁目4番28号　電話(06)308—1551大代表
尼崎市南武庫荘2丁目7番23号　電話　(06)437—9631代表
東京都中央区京橋3丁目13番10号(中島ゴールドビル)　電話　(03)564—5711代表
神戸市中央区磯上通5丁目1番24号　電話　(078)221—6293代表
福岡市博多区博多駅前3丁目2番8号(住友生命ビル)　電話　(092)471—7271
寝屋川・高槻・西宮・宝塚・堺

株式会社　鴻池組

代表取締役社長　鴻池藤一

本社
大阪本店　大阪市東区北久宝寺町4－27　電話 大阪(244)3500(ダイヤルイン受付台)
東京本店　東京都千代田区神田駿河台2-3-11　電話 東京(296)7700(ダイヤルイン受付台)
支店　名古屋・広島・福岡・鹿児島・松江・仙台・高松・札幌・横浜・神戸・京都・金沢

株式会社　金剛組

代表取締役　金剛利隆

本社　〒543 大阪市天王寺区四天王寺1丁目14番29号　TEL 大阪06(779)7731(代)
関東営業所　〒350-02 埼玉県坂戸市仲町12番69号　TEL 埼玉0492(83)8030

佐藤工業株式会社

取締役社長 佐藤欣治・取締役大阪支店長 梅木正二

本社・東京都中央区日本橋本町4－8　電話　東京(661)1231(大代)
大阪支店・〒541 大阪市東区北浜1丁目25番地　電話　大阪(203)7221(代表)
支店・札幌・東北・関東・東京・横浜・北陸・名古屋・中国・四国・九州

清水建設株式会社

社長　吉野照蔵
取締役大阪支店長　宮武保義

本社　東京都中央区京橋2－16－1　電話03(535)4111
大阪支店　大阪市西区土佐堀1－3－37　電話06(443)5431
支店　名古屋・広島・高松・福岡・金沢・仙台・札幌・横浜

大末建設株式会社

取締役社長　佐伯正也

本社
大阪本店　大阪市南区島之内2丁目4番10号　電話 03(213) 0555(大代)
支店　東京・福岡・名古屋・仙台・横浜・京都・神戸・広島・四国・沖縄

大成建設株式会社

取締役社長　佐古　一
専務取締役大阪支店長　松岡照夫

本　社　東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 新宿センタービル　TEL 東京(348)1111大代表
大阪支店　大阪市東区本町4丁目27番地　TEL 大阪 (262)1131大代表
支　店　東京・名古屋・九州・札幌・東北・広島・横浜・北信越・四国

限りない未来への挑戦

大日本土木株式会社

取締役社長　田口　栄

本　店　〒500 岐阜市宇佐南1丁目6番8号　電話0582(72)3141
大阪支店　〒530 大阪市北区堂島二丁目2番2号 近鉄堂島ビル　電話06(341) 5931

株式会社 竹中工務店

取締役社長　竹中統一

〒541　大阪市東区本町4丁目27　電話 大阪 (252) 1201番(大代表)

鉄建建設株式会社大阪支店

西日本業務担当常務取締役　児島　章

常務取締役支店長　金子越郎

〒541 大阪市東区瓦町4丁目56番地(瓦町K.Tビル)　電話(201) 1881(代表)
本社・東京都千代田区三崎町二丁目五番三号　電話 東京(262) 3411(代表)

戸田建設株式会社

取締役社長　戸田順之助
常務取締役大阪支店長　山口道博

本　社　東京都中央区京橋1丁目7番1号　TEL東京03(562)6111
大阪支店　大阪市西区西本町1丁目13番47号　TEL大阪06(531)6561
支　店　東京・関東・横浜・大阪・名古屋・札幌・仙台・広島・四国・九州

東海興業株式會社大阪支店

常務取締役支店長　鈴木仙吉郎

本　社　東京都中央区銀座7－13－10　電話 東京(545) 5111
大阪支店　大阪市北区堂島浜2-2-8 東洋紡ビル　電話 大阪(348) 5611
支　店　名古屋・仙台・札幌・福岡・横浜

総合建設業

東洋土建株式会社

取締役社長　阿部　暢

本　社　〒546 大阪市東住吉区東田辺2丁目3番2号　電話06(692)1331代表
支　店　〒106 東京都港区六本木2丁目3番9号 亀甲ビル　電話03(586)0751代表
営業所　横浜・名古屋

飛島建設株式会社 大阪支店

取締役支店長　石原昭一郎

大阪市東区島町2－28－1　〒540　TEL 06（942）2481
本社／東京都千代田区三番町2　〒102　TEL 03（263）3151
支店／札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・北陸・大阪・広島・福岡

南海建設株式会社

取締役社長　松川義一

本社　大阪市浪速区恵美須西3丁目14番22号　電話 06(644) 1212番
支店　東京都千代田区神田須田町1丁目5(新須田町ビル)　電話 03(251) 8431番
支店　大阪府岸和田市沼町18番1号(川長ビル)　電話 0724(23)2881番

明日をささえる

西松建設

本　社　東京都港区虎ノ門1－20－10　電話03(502)0211
関西支店　大阪市東区釣鐘町2－41　電話06(942)1131

日本国土開発株式会社

取締役社長　石上立夫
常務取締役大阪支店長　北荘香也

本　社　東京都港区赤坂4丁目9番9号　電話（03）403－3311(大代表)
大阪支店　大阪市西区西本町1丁目10番10号(西本町全日空ビル)　電話(06)538－7351(代)

野村建設工業株式会社

取締役社長　野村文英

本　社　大阪市東区高麗橋2丁目9番地　電話(202)4791代表
東京支店　東京都千代田区大手町2丁目1番1号　電話(241)4171代表

株式会社 間組大阪支店

取締役支店長　山本　惇

大阪市東区瓦町5丁目20番1号　電話 (201) 2751(大代表)
本　店・東京都港区北青山2丁目5番8号　電話 (405) 1111(大代表)
支　店・東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・北陸・札幌・広島・四国・東南アジア

不動建設株式会社

取締役社長　庄野　勝

大阪本社　大阪市東区平野町5丁目30番地　電話 06（201）1121番
東京本社　東京都台東区台東1丁目2番1号　電話 03（831）9111番
支　店　北海道・東北・千葉・横浜・名古屋・神戸・広島・四国・南四国・九州・北九州

不二建設株式会社

取締役社長　山口慎一郎

大阪本社　大阪市西区西本町3丁目1番9号　〒550 電話 06−541−5534代表
東京本社　東京都新宿区西新宿4丁目5番2号　〒160 電話 03−377−5171代表
支店・出張所　名古屋・福岡・札幌・仙台・静岡・大垣・京都・広畑・広島・大分

株式会社 藤木工務店

取締役社長　藤木鐵三

本　社　〒540 大阪市東区両替町1丁目13　電話 06(944)1468(代)
本支店　大阪・東京・倉敷・四国・京都・福岡
営業所　埼玉・多摩・静岡・名古屋・宇治・泉南・岡山・徳島・新居浜・長崎

豊國建設株式会社

代表取締役社長　松丸哲也

本　社　大阪市北区天満橋2丁目3番1号　電話 06 (353) 1001
支　店　東京・京都・東北
営業所　北上・盛岡・二戸・新井・福井・敦賀・舞鶴・尼崎・加古川・滝野・益田・三隅

真柄建設株式会社

取締役社長　真柄敏郎

本　社　金沢市彦三町1−13−43　電話 金沢(0762)31−1266(代)
東京本社　東京都千代田区麹町5−1−6　電話 東京(03) 263−1211(代)
支店・営業所　北陸・東京・大阪・名古屋・福井・富山・新潟・大津・京都・神戸・福岡・立川・七尾

地域社会に貢献する

総合建設

株式会社 **前田組**

取締役社長 前田敏彦

大阪府寝屋川市大成町1－1 TEL (0720) 24－1111

前田建設工業株式会社大阪支店

取締役支店長 川西光治

支店 大阪市都島区東野田町2丁目4番20号 電話 大阪 (353) 7891(代表)

本社 東京都千代田区富士見2丁目10番26号 電話 東京 (265) 5551(代表)

株式会社 **松村組**

取締役会長 松村雄二

取締役社長 松村雄吾

本社・大阪市北区天満2丁目1番33号 電話 大代表 大阪(353)1131

支店・東京・名古屋・札幌・仙台・広島・福岡

三井建設 株式会社 大阪支店

取締役支店長 高尾清次

大阪支店 大阪市北区中之島3－4－18(三井ビル2号館) TEL 06－446－1535

本店 東京都千代田区岩本町3－10－1 TEL 03－364－3456

村角建設株式会社

代表取締役 辻善仁

本社 大阪市住之江区浜口西2丁目12番9号 電話 06 (672) 3551～6番

支店 東京・神戸・堺・北海道・広島

村本建設株式会社

代表取締役 村本豊嗣

本店 奈良県北葛城郡広陵町安部547番地 電話 0745 (55) 1151(代表)

大阪本社 大阪市天王寺区上本町9丁目6番15号 電話06(774)2111(ダイヤル受付案内台)

東北・横浜・名古屋・三重・中国・九州

望月建設株式会社

取締役社長　望月小太郎

本　社　大阪市北区中崎西２丁目３番12号　電話 大阪（375）2345(代表)

株式会社 森組

取締役社長　森　幸彦

本　社　大阪市東区横堀２丁目１４番地　電話 ２０１－２７６１(代)
支　店　東京・名古屋・九州・奈良
営業所　仙台・新潟・横浜・甲府・京滋・神戸・広島・熊本・高松・徳島

株式會社 米田工務店

代表取締役　米田良男

本　社　〒543 大阪市天王寺区逢阪1丁目1番7号 TEL 大阪(06)771-7771代表

賀正

1985
団体・建材・設備工事・報道有志

財団法人 大阪建築防災センター

理事長　小西岬

〒540 大阪市東区常盤町１丁目39(大阪フコク生命ビル５階) 電話 06 (943) 7253

青盛建材株式会社

取締役会長　青盛巖
取締役社長　青盛健

広島市中区舟入幸町１９番１０号　電話 082－292－3200
福岡・岡山・松江・下関・徳山・鳥取・福山

株式会社 梅彦

取締役社長 松永嘉一郎

営業所 大阪市北区中崎西2丁目1番3号 電話 06 (312) 6171代
茨木工場 茨木市豊川3丁目1番6号 電話0726 (43) 5185代

大塚製薬グループ

大塚オーミ陶業株式会社

代表取締役社長 大塚正士

本社 大阪市東区豊後町10番地 TEL 06 (946) 6211
支店 東京都千代田区神田司町2丁目9番地 TEL 03 (294) 1388
工場 滋賀県甲賀郡信楽町大字柞原字寿谷 TEL 07488 (2) 3001

創刊30年

もっとも信頼され、読まれている情報紙

株式会社 建設日報社

代表取締役社主 重村登龍

本社 〒550 大阪市西区靱本町2丁目5番2号
電話 大阪 06 (444) 2405～9, (444) 6431～4

クリヤマ株式会社

代表取締役社長 栗山芳雄

本社——大阪市淀川区西中島1丁目12番4号〒532 TEL.06-305-2871大代表
TELEX. 523-3908
東京支店——東京都渋谷区南平台町15番13号〒150 TEL. 03-463-1841代表

よりよき環境へ技術で挑む——

株式会社 精研

取締役会長 木内清三
取締役社長 和田正八郎

本社 大阪市南区瓦屋町2丁目11—16(オートセンタービル) 電話 768—5031(代)
東京支店 東京都千代田区九段南2丁目2—5(九段ビル) 電話 262—3241(代)
四国営業所 徳島県鳴門市撫養町小桑島前浜28—3(西谷ビル) 電話08868-5-0924(代)

東西アスファルト事業協同組合
西日本床工事事業協同組合

株式会社 タテバヤシ商店

代表取締役 舘林彦四郎

〒601 京都市南区西九条大国町37 電話 (075) 681—7221(代)



東亜印ルーフィング

東亜工業株式会社

建設省計振発
第５５号認可

東亜アスファルト防水事業協同組合

本　社　〒581 大阪府八尾市南太子堂6丁目4番27号　電話 0729－94－5682
営業所　　東　京・名古屋
工　場　　大　阪・東　京・和歌山



田島応用化工株式会社

東京営業所　〒101 東京都千代田区岩本町３－11　電話（03）866－6101
大阪営業所　〒550 大阪市西区京町堀１－10－５　電話（06）441－5951



田島ルーフィング株式会社

東西アスファルト事業協同組合

東　京：〒101　東京都千代田区岩本町３－11－13　電話（03）862－8531
大　阪：〒550　大阪市西区京町堀１－10－５　電話（06）443－0431



東洋シヤッター株式会社

本社　〒540 大阪市東区両替町１－12(日生谷町ビル)　電話(06) 943－6571㈹
支店　〒106 東京都港区六本木6-3(第一地所麻布ビル)　電話(03) 497－2911㈹
　　〒980 仙台市二日町７－９(新光社ビル)　電話(0222)62－5245㈹
　　〒454 名古屋市中川区山王1－2－30(時計ビル)　電話(052)331－6171㈹
　　〒733 広島市西区小河内２－12(山肩ビル)　電話(082)291－3773㈹



コピーの綜合コンサルタント

株式会社 ナイガイ

代表取締役社長　木　下　みどり

本　　社	大阪市北区堂島２丁目１番18号	ＴＥＬ（06）345－９０５５
御堂営業所	大阪市東区本町４－27(御堂ビル)	ＴＥＬ（06）252－３９０６
横堀営業所	大阪市東区横堀２丁目36－４	ＴＥＬ（06）202－５２６０
神戸営業所	神戸市中央区磯辺通４－２－26	ＴＥＬ（078）251－０５９５
新大阪営業所	大阪市淀川区西中島５－13－15	ＴＥＬ（06）308－２６６８

造園土木　　設計施工



株式会社 西川造園

〒573　大阪府枚方市北中振３丁目27番17号
ＴＥＬ　０７２０－３３－８９９８代

株式会社 西原衛生工業所大阪店

代表取締役社長　伴　一　郎

大阪市大淀区中津六丁目8番4号　電話 大阪（458）3531番(代)

大阪で唯一の

株式会社 日刊建設新聞社

代表取締役　中山豊雄
代表取締役　中山敏夫

大阪本社　大阪市東区高麗橋1丁目3（東洋ビル）　電話 202—6861(代表)
社長室　大阪市東区高麗橋1丁目20（メゾン高麗橋）　電話 229—0341
分室　大阪市東区高麗橋詰町26（ユニ高麗橋）　電話 941—6847(代表)

建設業界の情報は……日刊建設産業新聞
近畿圏の工事ニュースは……日刊建産速報

株式会社 日刊建設産業新聞社

常務取締役大阪支社長　中村勝則

大阪支社　〒541 大阪市東区淡路町1丁目14(八千代ビル)　電話06(231)8171(代)
神戸支局　〒651 神戸市中央区八幡通4丁目2—25　電話078(291)0541～2
京都支局　〒602 京都市上京区河原町丸太町東入俵屋町460　電話075(211)1911
本社　〒173 東京都板橋区板橋1丁目48—9　電話03(961)1691(代)

マルエス印▲ルーフィング▲シングル▲コーピング▲不燃シングルSPベストロン

日新工業株式会社 大阪支店

本社　東京都足立区千住東2—23—4　☎東京(882) 2424 (代)
大阪支店　大阪市西区新町1丁目12番22号　☎大阪(533)3191大代表
営業所　東京・名古屋・福岡・札幌
出張所　広島・仙台　工場／埼玉・山形・北海道

日本アスファルト防水工業 協同組合 関西支部

大阪市西区新町1丁目12番22号　日新工業株式会社大阪支店内
電話（533）3191大代表

電算写植システム

日本写植印刷株式会社

代表取締役　神田都義

本社　〒545 大阪市阿倍野区阪南町7—5—30　電話06(606)1111代
東京営業所　〒160 東京都新宿区高田馬場3-12-6 高田馬場西商店街ビル801号　電話03 (360) 6847
広島営業所　〒739-01 東広島市八本松町米満109—5　電話0824 (28) 6253
津山写植センター　〒708 津山市福田1372—1　電話08682(8)4377
日本写植センター　〒892 鹿児島市名山町4—7 三宝ビル　電話0992 (26) 4371

富士造園土木株式会社

代表取締役　金　岡　昭　雄

本　社　宝塚市山本東２丁目６番17号　電話宝塚0797－88－0501～６

ビニロイド　防水　責任施工
アコシート　防水　責任施工
ACフロア35　責任施工
防熱工事設計施工
プラスオール　コーキング　製造販売

三星産業株式会社

〒550 大阪市西区京町堀１－10－８（大栄ビル）　Tel.〈443〉9721（代）
〒101 東京都千代田区神田小川町3-28（三東ビル）　Tel.〈292〉1961（代）
出張所：札　幌〈721〉6031・6307　仙台〈21〉5366（代）
名古屋〈931〉4574・3393　福岡〈78〉3361（代）

ムツミ産業

三協アルミニウム工業株式会社代理店　日立化成工業株式會社代理店
アルケン工業株式会社代理店　新明和工業株式會社代理店
豊和工業株式會社代理店　近畿車輌株式会社 代理店
積層ユニット株式会社代理店　住友ゴム工業株式会社代理店

ムツミ産業株式会社

代表取締役　傳　馬　正　明

〒550 大阪市西区靭本町１丁目17番15号　電話（06）大代表 441－０３７８番
出張所：東京・広島　　工　場：大津・竹原

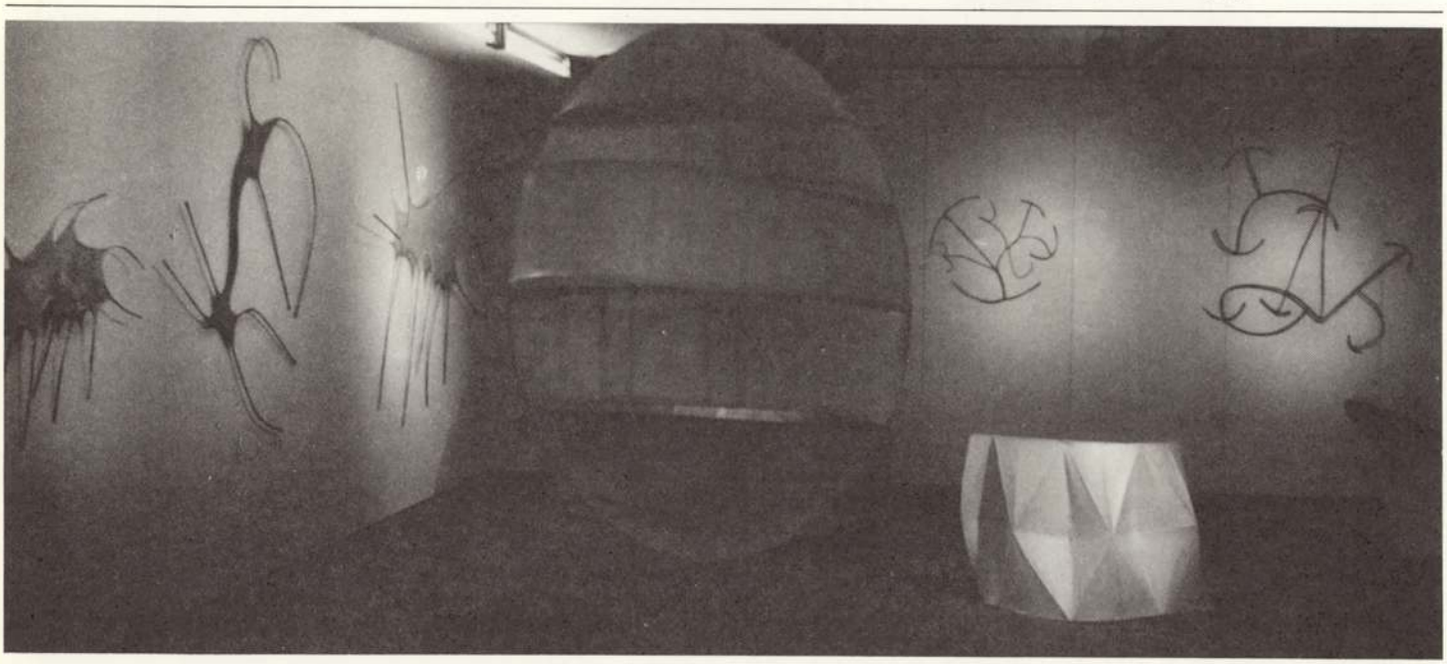
デザインされた環境づくり

UNION

株式会社ユニオン

取締役社長　立　野　一　郎

本　　社　大阪市西区南堀江2-13-22　〒550 電話 06(532) 3731(代)
東京営業所　東京都墨田区石原４－３－１　〒130 電話 03(625) 8131(代)
名古屋営業所　名古屋市東区筒井町1-14-9　〒461 電話052(935) 6021(代)
虎ノ門ショールーム（17森ビル1F）東京都港区虎ノ門1-26-5　〒105 電話 03(508) 2558(代)



防火 構造認定(防火第404号)

モルタルクラックが大幅に減少
工期の短縮が図れる左官用高級スタッコ

シンコー **白モルタル**

地震に強い家をつくるモルタル下地合板

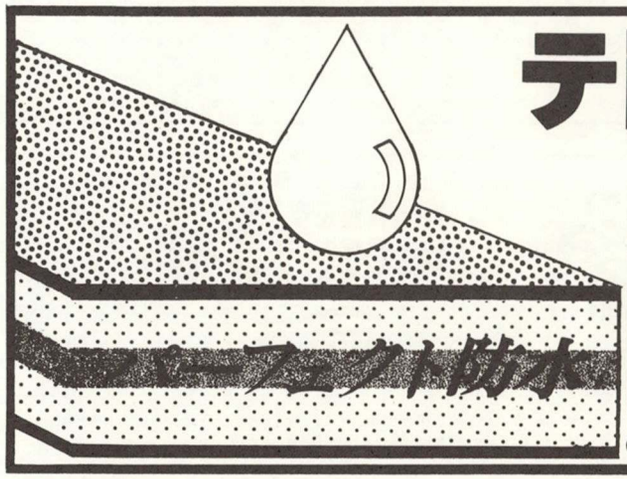
ラスカット

左官作業の近代化
一発で特殊「白モルタル」スタッコ仕上

スーパーローラー

(株)新興建材工業所

〒550 大阪市西区南堀江4丁目32—11 ☎(06)538—2951(代)
営業所 明石・中国・四国・高槻・東京・新潟・仙台



テトカッパー防水層

防水専業の研究・経験から生れたすくない資源のパーフェクトな防水層です。
この防水層は(一層防水)施工するだけで、防水は完璧です。
温度変化に伸びがなく、柔軟性に富み、耐酸、耐薬品性に優れ、腐蝕しません。

カッパー防水帯 コーパータイト 新工法
オクロン防水帯 プレノテクト吹付工法

●お申込次第カタログ進呈

奥山化工業株式會社

本社	東京都中央区銀座8—4—9	電話03 (571) 2703
大阪事務所	大阪市淀川区東三国6—1—41	電話06 (391)1081-2
埼玉営業所	埼玉県桶川市東1—3—30	電話0487(74)2845-6
厚木出張所	神奈川県厚木市金田259	電話0462 (21) 1761
名古屋出張所	名古屋市南区若草町33	電話052 (811) 3660
九州出張所	佐賀県佐賀郡諸富町大字諸富津450	電話0952 (47) 2945

■防火・防煙シャッター
■ステンレスシャッター
■アルミニュームシャッター
■軽量シャッター
■クリスタルシャッター
その他特殊シャッターの製造

アフターサービスの24時間態勢完備

鈴木シャッター販売株式会社

大阪市北区茶屋町5番2号 電話大阪(06市外局番)371代表4151～6
北陸営業所 金沢市長田町119番地 電話金沢(0762市外局番)65—5135～6
神戸営業所 神戸市長田区大橋8-4-7 電話神戸(078市外局番)611—7971
631—2021

防火・防煙から避難装置まで
建築防災の総合メーカー

豊かな経験
最新の技術

東洋シャッター

東洋シャッター株式会社

本社：大阪市東区両替町1—12 日生ビル ☎(943)6571代表
東京・横浜・盛岡・仙台・水戸・静岡・岡崎・名古屋・富山・大津・京都・神戸・広島・高松・福岡他全国主要都市

空気調和・給排水・衛生・防災設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区浜松町1-25-7　電話 (434)6171(大代)
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話 (302)2271(代)
支　店　北海道・東北・名古屋・中国・九州
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

空気調和設備
衛生設備 設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町3番5号　電話 (352) 1131 (代)
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町1-35-8　電話 (667) 3431 (大代)
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

空調・衛生
防災・汚水処理 設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区角田町2番15号 電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル 電話 京都561局4944(代)
神戸市中央区下山手通6-2-8 電話 神戸341局5892

空気調和・衛生設備 設計施工

株式会社 三晃空調

取締役社長　齋藤博

本　社　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話 06—363—1371
東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話 03—344—1911
大阪本店　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話 06—363—1371
支　店　仙台市大町2丁目2番10号　電話0222—61—3002
名古屋市中村区名駅南2丁目14番19号　電話052—581—8571
広島市中区紙屋町1丁目2番22号　電話0822—47—4535
福岡市中央区大名2丁目4番22号　電話092—761—3795
出張所　青森・秋田・宇都宮・横浜・福井・京都・神戸・松江・高松・下関・沖縄

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設　計　施　工

大阪電気暖房株式会社

本　店　大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　〒550 電話(06)441-8231(大代)
東京本社　東京都中央区銀座2丁目2番17号　〒104 電話(03)535-5251(代表)
支　社　名古屋・大阪・福岡
支　店　札幌・仙台・新潟・大宮・千葉・横浜・金沢・天理・岡山・広島・高松
営業所　帯広・函館・青森・秋田・盛岡・前橋・長野・静岡・豊田・津・富山・福井・京都・神戸・徳山・松山・高知・北九州・熊本・鹿児島・那覇
出張所　旭川・福島・松江・徳島・長崎
海外支店　シンガポール・ホンコン

空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む

株式会社精研

本　社　大阪市南区瓦屋町2丁目11番16号 (オートセンタービル1,2階)
郵便番号542　電話 大阪(06) 768—5031代表
メンテナンス部　電話 大阪(06)768—1651代表
東京支店　東京都千代田区九段南2丁目2番5号(九段ビル2〜4階)
郵便番号102　電話 東京(03) 262—3241代表

■給排水衛生　■冷暖房
■空気調和設備　■その他管工事一切の設計・施工

斎久工業株式会社

本　社　東京都千代田区大手町2-6-2 (日本ビル)
電話 03-(270)-7411(代)
大阪支社　大阪市北区中之島4-2-38　電話 06-(443)5041(代)
支　店　札幌・岡山
営業所　仙台・千葉・横浜・名古屋・金沢・四国・広島・福岡
出張所　福井・倉敷・松山・宇都宮・静岡・苫小牧

新日本空調株式会社

大阪支店　大阪市北区堂島浜1丁目2番6号 (新大ビル)
電話 (06) 344—6031 (代)
本　社　東京都中央区日本橋本石町4-2(三井第二別館)
電話 (03) 279—5671 (大代)
名古屋・九州・広島・札幌・東海村・北陸・大分

空気調和設備
給排水・衛生水道
電気設備
厨房

環境衛生施設
荷役運搬機械
化学鉱山機械

三機工業株式会社

取締役社長　玉置純治郎
取締役支店長　杉浦敏郎
大阪市東区北浜2丁目22番地　電話 大阪(202) 代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋・九州・北海道・中国・東北・北陸・四国・シンガポール
営業所　横浜・静岡・豊田・岡山・金沢・新潟・香港



創業1901
須賀工業株式会社
大阪市西区土佐堀1丁目2番30号 TEL.06-441-5171(大代表) 〒550

FUTABAYA DECORATORS,LTD



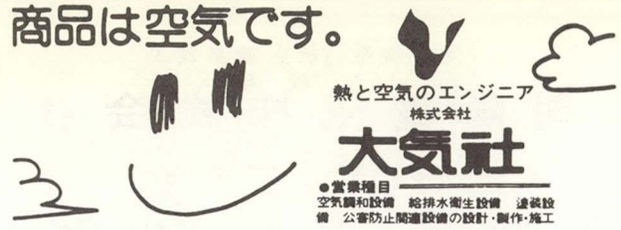
建築物船舶等造作工事、家具建具・室内装備工事
内外装飾織物・窓掛敷物壁紙類一式/**設計施工**

二葉屋装備工業株式会社

(創業大正7年)

大阪府摂津市東別府3丁目7番8号
電話 大阪 (06)349—9193代表
大阪府知事建築業者許可(般—48)第12064号

商品は空気です。



熱と空気のエンジニア
株式会社
大気社

●営業種目
空気調和設備　給排水衛生設備　塗装設備
防　公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京支店　東京都新宿区西新宿2-6-1　☎03－344－1851(大代)　大阪支店☎06－4ﾙ－5851(代)
名古屋支店☎052－211－1535(代)　九州支店☎092－431－2147　営業所：札幌・仙台・横浜・京都
神戸・広島　出張所：新潟・金沢・大宮・静岡・豊田・岡山・松山・熊本・鹿児島・沖縄・バンコク

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

㈱西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津6丁目8番4号　電話大阪(458)3531番
支店・営業所　福岡・京都・天理・川西

空気調和　搬送機設備
給排水衛生　設計施工

第一工業株式会社
大阪支店

大阪支店　〒530 大阪市北区西天満3丁目6番14号
電話　06－364－6661(代表)
本　社　〒100 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話　03－211－8511(代表)

空調・衛生・防災設備　設計並施工

日本管工業株式会社

本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪支店　大阪市北区天満1-5-20　電話(06)352－3501(代)
三重支店　津市栄町2－111　電話(0592)26－3610(代)
四日市営業所　四日市市西末広町　電話(0593)53－7431(代)
滋賀営業所　大津市中央2丁目4-28　電話(0775)22－9738(代)

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

高砂熱学

大阪支店　大阪市北区芝田1丁目4-8(北阪急ビル9階)
電話　大阪(372)2511　(代表)
本　社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

Carrier
冷暖房はキャリア
CARRIER

東洋キヤリア工業(株)デストビューター関西地区
日本冷熱工産株式会社
本社及大阪営業所　吹田市豊津町40番38号
電話大阪(384)1201～7

MODAIR
空気調和設備
換気・除塵設備　設計施工

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区靭本町3－1－27　TEL(443) 8071
本社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL(562) 1351
支店　名古屋・福岡

活字のない印刷

日本写植印刷株式会社

代表取締役　神田都義

本　社　〒545 大阪市阿倍野区阪南町7-5-30　☎06(606) 1111代
日本写植センター　〒892 鹿児島市名山町4-7 三宝ビル　☎0992 (26) 4371
津山写植センター　〒708 津山市大手町8番5号 模範店会館　☎08682 (4) 1771
沖縄写植センター　〒900 南風原村兼城 沖縄印刷団地　☎0988 (55) 6100

ガス設備の設計・施工のご相談は
大阪ガス指定工事会社・大阪ガス住設機器特約店

大晃設備株式会社

本社：設備部
大阪営業所　大阪市北区西天満5-11-12　電 06—313—1846
枚方営業所　枚方市甲斐田東町9－3　電0720—49—2128

空気調和設備・給排水衛生設備・上下水道施設
環境衛生施設・公害防止施設／設計・施工・監理

山田工業株式会社

本　社　大阪市西区京町堀1－6－8　電話 06(443)8161(大代表)
(環境装置事業部専用)　電話 06(447)0831　(代表)
分析センター　大阪市淀川区三津屋南1-1-35　電話 06(308)1491
支　店　東京・名古屋・福岡
営業所　京都・神戸・姫路・広島・高松・松山

飛鳥野瓦(意匠登録549771号)
渡辺式緩勾配安定瓦(実用新案登録出願中110750 110751)　製造販売
各和洋瓦全般・カラーベスト・モニエル瓦・セキスイカワラU

創業67年　綜合施工卸
久保田鉄工・松下電工㈱・日本モニエル㈱・積水化学工業㈱・富士スレート㈱・特約代理店

瓦寅工業株式会社

本　社　大阪市生野区林寺1丁目5番14号　〒544
電話 06(715) 0201代表～5番
営業所　大阪市平野区　工場　兵庫県三原郡(淡路島)

文化庁・宮内庁・各府県庁
国宝 重要文化財　社寺・天理教教会本部　御用達

株式会社瓦宇(かわらう)工業所

代表取締役　小林麻造
〒630 奈良市西新在家町17番地
電話 奈良(0742)26－2901番(代表)

電気・計装工事 設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗 原 信 英

大阪市北区角田町1-1 東阪急ビル TEL06-313-1101
支 店 東 京・名 古 屋・舞 鶴・京 都・天 理
大 阪 南・神 戸・広 島・四 国・九 州

電気設備 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役 山 本 貴 士

本　　社 大阪市北区中之島3－2－4 朝日ビル TEL 大阪06 (385)1361(代)
大阪営業所 TEL 大阪06(385)1361(代) 京都営業所 TEL 京都075(311)1185(代)
東京営業所 TEL 東京03(574) 0 6 6 5 福岡出張所 TEL 福岡092(771) 6 1 6 8

電気工事設計施工

株式会社 三 興 社

代表取締役 土 井 敏 裕

本　　社 大阪市北区西天満2丁目6－8(堂ビル7階)
電　　話 (361) 3 6 7 1 (代)
支　　店 東京都中央区日本橋箱崎町20番5号
電　　話 (671) 1 4 7 8 (代)
出張所 川 崎・相 模 原・堺・滋 賀

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
大 阪 支 社

大阪支社長 横 田 幸 一

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地 電話大阪 (202)0325～9番
本　　社 東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支　　社 札幌・仙 台・丸 ノ 内・名 古 屋・福 岡
営業所・出張所 全国主要都市2ヶ所

総合設備工事《設計・施工》
建築・電気・通信・送電線・プラント・計装・空調・土木

太陽工藤工事株式会社

取締役会長 小 林 四 郎
取締役社長 代 谷 正 元

本社 大阪市福島区福島7—22—8 Tel 06-452-1151(大代)
東京 東京都港区芝2－2－17 Tel 03-454-7311(大代)
支社 福岡・広島・名古屋・神戸・京都

限りなきクリーンに挑戦する!!
電気設備・クリーンルーム・冷暖房設備
給排水衛生設備・計装制御設備・立体自動倉庫
エネルギー集中監視システム・回転式自転車置場
設 計 施 工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉 納 伝 三

本　　社 〒530 大阪市北区西天満2－6－8(堂ビル) TEL 06(364)1471 TELEX 523－3287
東京支店 〒105 東京都港区新橋2-16(ニュー新橋ビル) TEL 03(504)0231 TELEX 222－6724
名古屋支店 〒462 名古屋市北区金城三丁目12－14 TEL 052(991)5131
神戸支店 〒657 神戸市灘区岩屋中町1-2-9(エビスビル) TEL 078(881)5571

内外産建築用大理石　テラゾーブロック
花崗岩・其ノ他石材　テラゾータイル
ネオパリエ　各種カラー平板

株式会社 旭大理石工作所

本社工場 〒535 大阪市旭区中宮1丁目10番9号 電話(06)954-6661代表
京都工場 〒610-03 京都府綴喜郡田辺町大住 電話(07746)2-0374
岡山工場 〒709-04 岡山県和気郡和気町大字原 電話(08699)3-1365

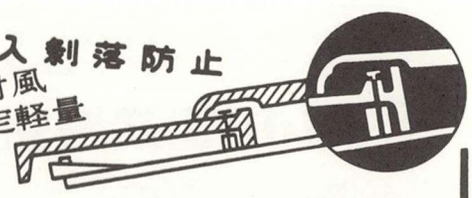
電気・計装・空調工事 設計施工

ヤマト電気エンジニアリング株式会社

取締役社長 山 本 永 造

本 社 大阪市北区西天満5丁目1番3号
TEL 06—364—3056 (代)
支 店 東京・神戸・広島・岡山
事業所 名古屋・岡山・札幌・苫小牧・浜松・滋賀
京都・高砂・三原・徳山・松山・新居浜・福岡・沖縄

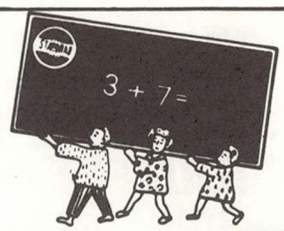
雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量



ナニワ緩勾配瓦

3寸緩勾最適軽量水止付(空葺)瓦

ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町二丁目七四二 電話641五〇六五



Standard Board&Slate

フタバ黒板

〒547 大阪市平野区加美北3－4－5 TEL 大阪06(792)5858代

奉仕感謝の店

タイル工事施工

株式会社 川岸窯業商店

本　　社 大阪市西区西本町1－13—33(靱本町バス停前)
電話 大阪 06(532)代0461 〒550
天理営業所 天理市丹波市町新町50

飛 鳥 野 瓦(意匠登録549771号)
渡辺式緩勾配安定瓦(実用新案登録出願中110750 110751) } 製造販売
各和洋瓦全般・カラーベスト・モニエル瓦・セキスイカワラU

創業67年 綜 合 施 工 卸
久保田鉄工・松下電工㈱・日本モニエル㈱・積水化学工業㈱・富士スレート㈱・特約代理店

瓦寅工業株式会社

本 社 大阪市生野区林寺1丁目5番14号 〒544
電話 06(715) 0201代表～5番
営業所 大阪市平野区 工 場 兵庫県三原郡(淡路島)

特殊壁装材製造販売　和室に最適
●聚楽壁紙●ホクシノン(無機質壁紙)
(株)ホクシンクロス
〒583 大阪府羽曳野市島泉８－173－1
TEL(0729)39－3610
工場　〒580　大阪府松原市三宅中8丁目1番9号
第一　〒639-11奈良県大和郡山市小泉町2744
第二　〒597　大阪府貝塚市王子５０１

岡田ペーパー株式会社
OPCo
大阪市西区北堀江２丁目５番20号
ＴＥＬ 06－531－4601(代)
06－541－2305(代)
フロアーサンディングシステム関連商品
研磨材料 & 研磨機器
布紙ペーパー & ジスクペーパー

営業種目
●防　水　工　事　塗布防水・シート防水・モルタル防水
●樹脂注入接着工法　各種樹脂注入接着補修工事
●亀裂補修工事　各種樹脂注入・充填・コーキング
●シーリング工事　シリコン・チオコール・ウレタン・アクリル
●吹　付　工　事　アクリル・リシン・弾性タイル・その他
◇建設業許可　大阪府知事許可（般－53）第51225号
◇日本シーリング工事業協会々員
大阪市北区末広町３－２１
星和地所扇町ビル201 S
TEL 06(315)0701
(株)特殊技研

建設業界をアシストする
ポゾリス
■コンクリート用混和剤　■無収縮グラウト材
■鉄筋コンクリート用防せい剤　■工業用特殊床材
製造元 日曹マスタービルダーズ株式会社
販売元 ポゾリス物産株式会社
本　社／東京都港区六本木3－16－26 ☎ 03-582-8811
大阪営業所／大阪市東区北浜３－７ ☎ 06-202-3294

デンカCSA　デンカセメント
セキサンバイル(S M.AC.PC.RC)
カネライトフォーム. ALC. 鋼材
建築材料一式
浜宗産業株式会社
代表取締役 濱岡　浩
本　社　〒629-31 京都府竹野郡網野町字網野
ＴＥＬ　(07727)2－２２２０(代)
舞鶴営業所　〒624　舞鶴市福来１６０-1
ＴＥＬ　(0773) 76－0133(代)

省エネルギー時代の断熱用シート防水材
日立バイナリーシートP
日立バイナリーシートPは，日立防水シートに発泡ポリエチレンを独自の貼り合わせ技術で積層した，二重構造の断熱兼用二重防水シートです。
日立電線株式會社 本社 東京都千代田区丸の内2丁目1番2号(千代田ビル)

デンカCSAファミリー製品
●デンカCSA……コンクリートのひびわれ防止に
(膨張性混和材)
●デンカタスコン……鉄骨ベース、逆打部の充填モルタルに
(グラウト用無収縮材)
●デンカキューデックス……コンクリート躯体の漏水補修に
(止水・補修用急硬セメント)
●デンカES……地盤補強用薬液注入
(土質安定用急硬材)
●デンカΣ1000……コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に
(製品用超高度混和材)
電気化学工業株式会社
近畿地区販売店
金森藤平商事株式会社
TEL 大阪（０６）３３２－６８６１
TEL 東京（０３）２７２－８５０１
小浦産業株式会社
TEL 大阪（０６）４４３－６１８１
光洋物産株式会社
TEL 大阪（０６）２５２－６０００
株式会社 トーゴー／本社
TEL 滋賀・守山（０７７５）８３－２３８１

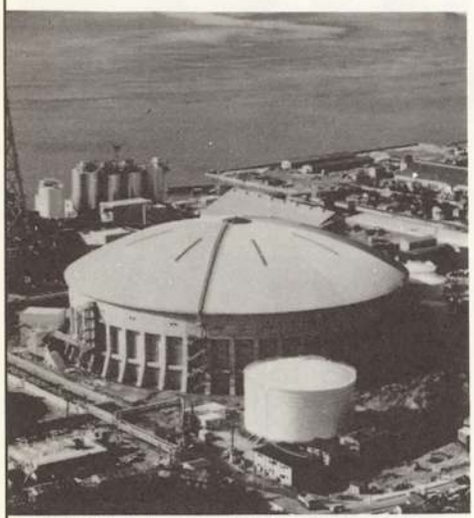
特　許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

半世紀の実績が誇る技術とアフターケアー！

長尺物・色彩豊富・責任施工

品　種・オリエンタルカラースーパーメタル(CSPM)
・オリエンタルスチールライト(ＳＴＬ)
・オリエンタルメタル(ＯＰＭ)


電発竹原火力石炭庫屋根に採用

波板規格　S小波・S大波・V波・ボックス波・Wジャンボ波・Vデッキ
SVジャンボ波・其の他

用　途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
各種換気装置〔モニター・ベンチレーター・ムーバー・エキゾスター(強制)〕
ホーンタイト(防音壁)・其の他

※ カタログを御請求下さい

オリエンタルメタル製造株式会社

大阪本社　〒660　尼崎市昭和南通り３－26 松本ビル　電話大阪(06)412－5131(代)
営業部　〒660　尼崎市昭和南通り３－26 松本ビル　電話大阪(06)412－5131(代)
支店及工場　大阪・九州・名古屋・広島・東条・刈谷
姫路(東洋建材工業．株)
東京本社及工場　〒335　蕨市塚越５丁目６番32号　電話 蕨(0484)42－3115(代)
支店及工場　東北

出版案内――好評発売中

建築技術
〒160 東京都新宿区北新宿1－8－1 中島ビル8F
振替口座 東京0－72417番 ☎東京03(363)4211(代)

専門技術者のための　編集部 編
建築構造問題快答集
1 A5・430頁 2 A5・385頁 3 A5・373頁 各巻共 定価3,800円・送料300円
4 A5・340頁 定価3,700円・送料300円
新刊5 A5・366頁 定価3,800円・送料300円

納まりやすく施工しやすい配筋の指導書
建築 配筋読本 ●改訂版
井上 博・北小路宏 共著
B5・162頁 定価3,200円・送料300円

設計者と現場マンのためのわかる溶接
増補 溶接読本
井上 博 著
B5・149頁 定価3,000円・送料300円

目と手で確かめた水と土の記録
増補 最新場所打ぐい工法
北中克己 著
A5・341頁 定価3,500円・送料300円

建築技術者並びにビル管理者のための
建築工事 内外装の損傷と補修
同編集部 編
B5・289頁 定価3,600円・送料300円

建築技術者のためのわかる設備
建築 設備読本 Ⅰ給排水衛生設備編
井上 博 著
B5・171頁 定価3,200円・送料300円

建築構造実務者を対象とした
山形骨組の応力計算
筒井助幸 著
A5・210頁 定価3,200円・送料300円

工事検査方法を解いた唯一の指導書　亀田泰弘 監修
新版 建築工事検査の実際
上巻 B5・453頁 定価6,000円・送料350円
下巻 B5・535頁 定価7,000円・送料350円

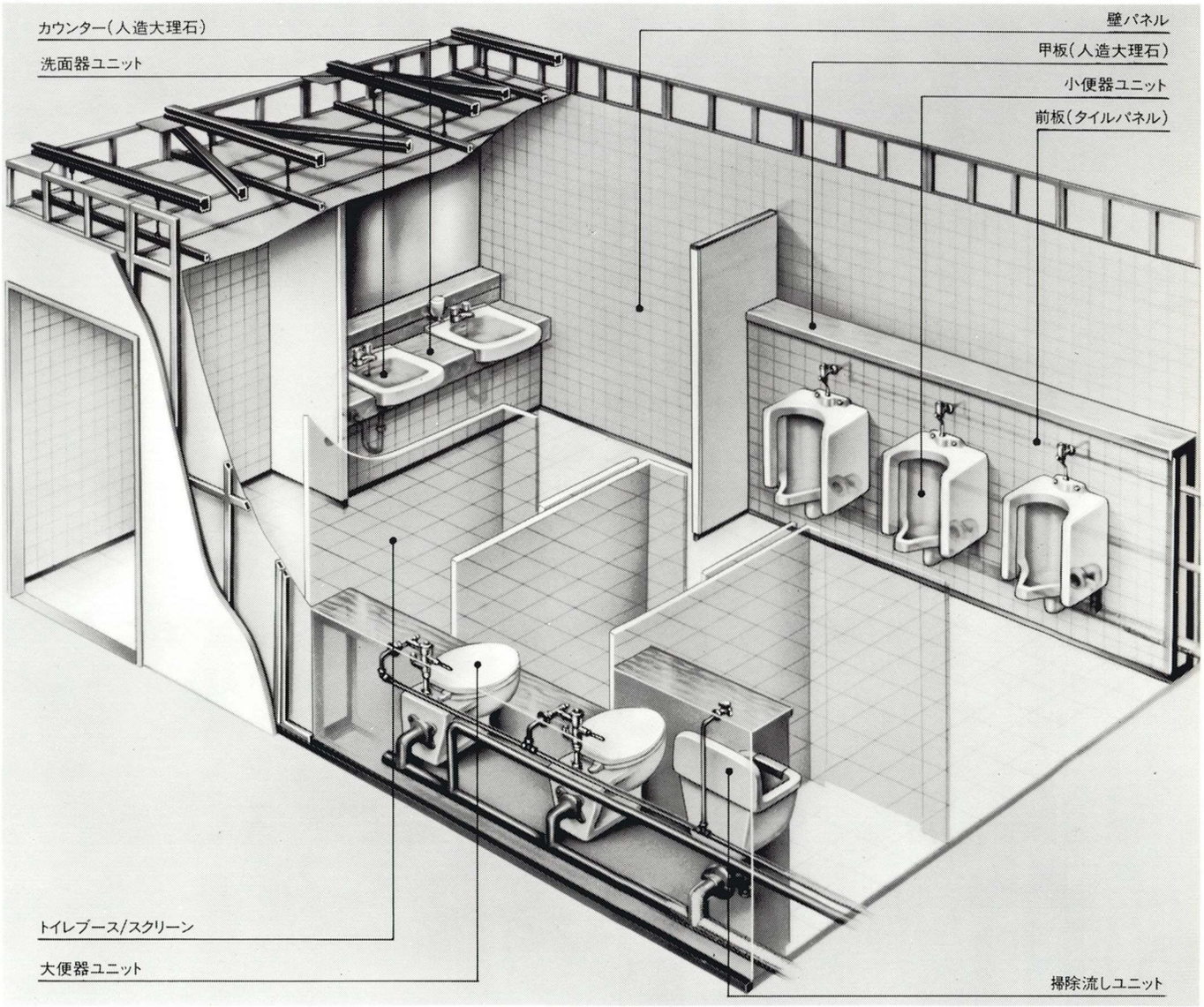
計画➡設計➡施工➡技術の総合専門誌
月刊 建築技術 2
No.402　2月号予定目次　定価1,000円

●ステンドグラス(2)……成田 明子
●小規模現場用足場の使い方……小川 勝教
●小径木を利用した本実加工のプレハブ住宅……井瓜喜久子
●屋上設置物に作用する風力……岡田 恒
●非排水型枠工法……大矢知得憲
●事務所ビルOA化の配線設計(2)……小坂 逸郎
●建築構造計算のためのポケコン活用術(2)……藤井 文雄
●地震力に対する建築物の基礎の設計指針……杉村 義広
●構造計算データシート(最終回)……構建設計研究所
●建築経済統計図表 ●フォトニュース ●トピックス ●建築家の良識 ●読者コーナー ●海外の話題 ●建材の動向 その他



全国書店毎月18日一斉発売！　お早目に最寄りの書店でお求め下さい

タイルパネルによるトイレのシステム化を実現。



伊奈システムトイレは、乾式タイルパネルの壁と、給排水管等横引配管を内蔵したケーシングと器具を一体化させた配管ユニット(タイルパネル前板と人造大理石甲板で仕上)およびトイレブース、スクリーンから構成され、設計条件に合わせ、システム的に組み合わせ、レイアウトできます。

〈システムトイレの特長〉●組立工法なので、養生期間もなく、施工が簡単で、工期も大幅に短縮できます。●工場生産のため、高精度で安定した品質が得られます。●タイル仕上げなので、カラフルで、豪華なイメージのトイレになります。●錆びたり、変色したりせず、長期にわたり清潔感を保てます。●耐震性能に優れています。●メンテナンス性に優れています。

カタログ・技術資料は下記の弊社支店にお問い合わせください。

伊奈システムトイレ

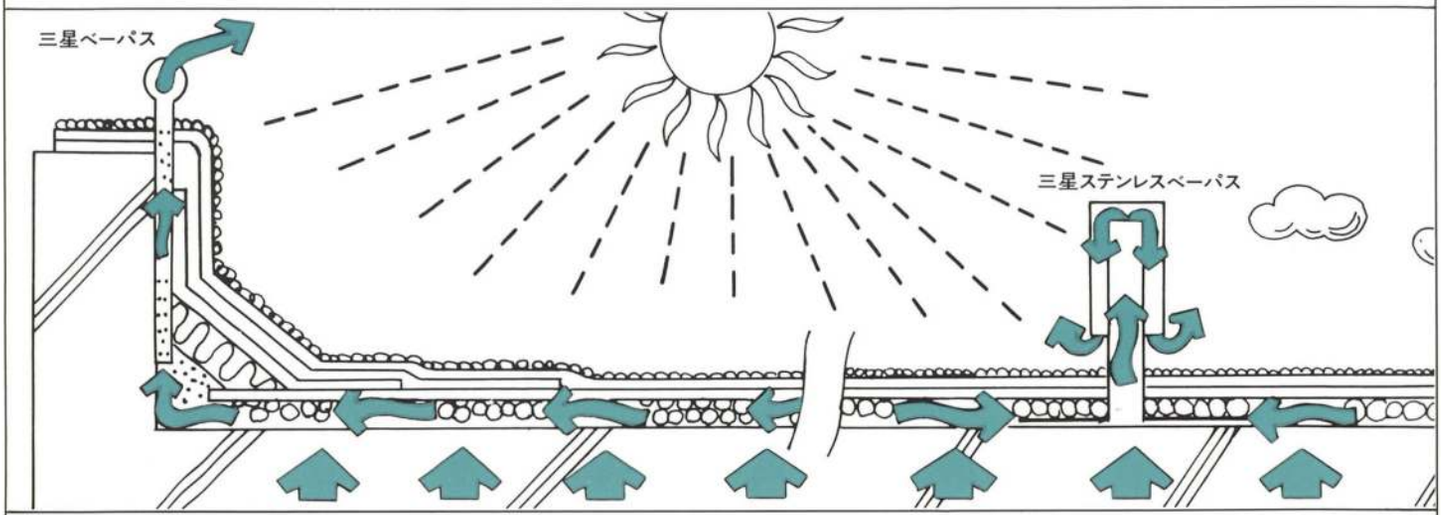


ina
伊奈製陶

本社〒479 愛知県常滑市鯉江本町3−6 ☎05693(5)2700㈹ 支店:東京/03(561)1710 大阪/06(532)6081 名古屋/052(962)1271 札幌/011(271)1701
仙台/0222(63)1710 金沢/0762(64)1710 高松/0878(21)1701 広島/082(223)1710 福岡/092(471)1710

防水層の“ふくれ”を追求した

三星ベーパス
三星ステンレス・ベーパス



湿気の逃げ道をつくりました。!

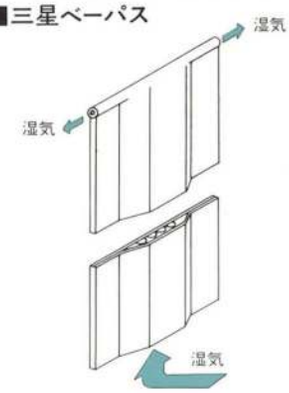
三星ベーパス・ステンレスベーパスは、防水層の立上り部と平面部から湿気抜きを行う、もっとも優れた湿気抜きシステムです。
露出防水におけるふくれ防止に取組んできた田島ルーフィングが、画期的な工法〈絶縁工法一部分接着工法〉を開発、さらに露出防水機能を一段と高める湿気抜き材〈三星ベーパス・ステンレスベーパス〉を登場させました。

部分接着工法＋	三星ベーパス 三星ステンレスベーパス

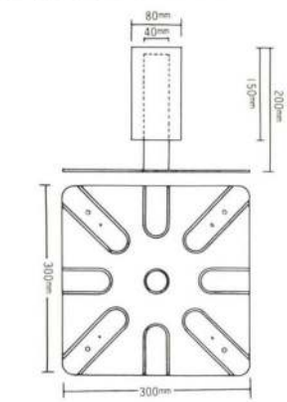
バリボード工法＋	三星ベーパス 三星ステンレスベーパス

上記工法と併用すれば、理想的な湿気抜きシステムが完成します。

■三星ベーパス



■三星ステンレスベーパス



●企画係まで資料をご請求ください。

露出防水の機能を高める、湿気抜き材料

三星ベーパス〈立上り部用〉

三星ステンレス・ベーパス〈平面部用〉

田島ルーフィング株式会社

東京 〒101 東京都千代田区岩本町3-11-13 電話(03)862-8531
大阪 〒550 大阪市西区京町堀1-10-5 電話(06)443-0431
札幌・仙台・金沢・名古屋・広島・高松・福岡

建築と社会 第66輯第1号
昭和60年1月25日発行（毎月1回25日発行）
昭和24年3月19日第3種郵便物認可
社団法人 日本建築協会 〒530 大阪市北区梅田1の1の3の2100 電話大阪06(348)0635
（表紙デザイン・吉引顕久）
振替口座大阪一三九九七五番
定価九五〇円（送料共）
正会員の購読料は会費にふくめて徴収